

1906迄 (2431件)

- 1905年-12:00|ウリス・フツナ| |||<即位>フランス保護領ウリス・フツナ諸島シガ-ウ王「Savelio Keletaona」(~1908年)
- 1905年-08:00|マレーシア| |||<就任>レバウ統治者(ウンダ・ンルアク・レバウ)「ダ・トウク・レラ・マハラジャ・スルン・ビン・ミア」(~1922年没)
- 1905年-08:00|インドネシア| |||<即位>ハンカラン君主「Suryanegara」(~1918年)
- 1905年-07:00|タイ| |||<就任>メー・ホン・ソソ国主(ハルササティ)「ハヤ・フイサン・ホン・ソソ・ブリ」(~1941年)
- 1905年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン精神的支配者・国家元首「ジグメ・ドルジ」(~19311111没)
- 1905年-05:30|インド| |||<就任>キヤンガル国摂政「チャールズ・ハーバート」(~12.11)
- 1905年-05:30|インド| |||<就任>ジャソ国統治者(デュワン)「キルワール・シン」(~1915年)
- 1905年-05:00|パキスタン| |||<就任>マラン統治者(サドム)「メフル・アッラー・マフムド・カーン2世」(~1917年)
- 1905年-05:00|ウズベキスタン/ロシア| |||<就任>ロシア帝国トルキスタン総督「デアン・スポティッチ」(~1906年)
- 1905年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン首席大臣「サルダール・アブドゥル・クトゥス・カーン」(~1916年)
- 1905年-03:00|マヨット/フランス| |||<就任>フランス領マヨット植民地総督「ジャン・オーギュスト・ガストン・シヨリエ」(~1906年)
- 1905年-03:00|カンタタ| |||<就任>ミタ統治者「アブドゥル・アズス・ブルワダ」
- 1905年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>オーストリア臨時総督「Konstantin Adamovich Karangozov」(~1906年)
- 1905年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ハリコフ臨時総督「Konstantin Sokratovich Starynkevich」(~1906年)
- 1905年-01:00|スペイン| |||<就任>19代メニナ=シトニア公「ルイス・ホセ・アルバレス・デ・トレド・イ・カロ」(~19150609死去)先代の子
- 1905年-01:00|ナイジェリア| |||<即位>オヨ王国ラニ・アコノヤ、オバ (~1911年)
- 1905年 00:00|セネガル| |||<就任>カント(南ブントゥ)首長「アブドゥル・シーガ・シ」(~1917年)
- 1905年 00:00|セネガル| |||<就任>カント(北ブントゥ内)首長「ウハ・ホカル・シ」(~1921年)
- 1905年 00:00|セネガル| |||<就任>ザアロ統治者(ファンカマ)「キタ・テンバ・ジヤロ」「サジョ・タンバ・ラ・ジヤロ」(?)
- 1905年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>テムネ王国統治者(ハイス)「ハイ・ブルチ」(2回目~1908年)
- 1905年 00:00|モリタニア/フランス| |||<制定>フランス保護領カニット
- 1905年 04:00|アンギラ/イギリス| |||<就任>イギリス領アンギラ治安判事「G. B. Mason」(~1906年)
- 1905年 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ管理者「ウィリアム・ダグラス・ヤング」(1913年から代行~1914年3月)
- 1905年1月-13:00|トンガ| |||<就任>トンガ王国首相「シャボン・トウイ・ヘレウ」(~同月)無所属⇒「シオネ・トウホウ・マアアオナ」(~19120930)無所属
- 1905年1月-09:00|日本| ||明治38年|<刊行>正岡子規著「仰臥漫録」
- 1905年1月-09:00|日本| ||明治38年|<掲載>白秋, 詩「全都覚醒賦」(「早稲田学報」懸賞応募・1等作品)
- 1905年1月-09:00|日本| ||明治36年|<死去>伯爵(公家)三条家分家「姉小路公義」⇒養子「姉小路公政」が襲爵(⇒19470503、廃止)
- 1905年1月-09:00|日本| ||明治38年|<連載開始>夏目漱石「吾輩は猫である」を「ホトキス」に
- 1905年1月-09:00|日本| 関西大学| 明治38年| 関西法律学校が関西大学に改称
- 1905年1月-09:00|日本| 山形県東置賜郡高島町| 明治38年| <改称>山形県東置賜郡高畑町→高島町
- 1905年1月-02:00|南アフリカ| |||南アフリカでルイ・ボタらが人民党を結成
- 1905年1月-01:00|中央アフリカ/フランス| |||<就任>ウガンダ・チャリ総督代行「アルフォンス・キヨロ」(~8.22)
- 1905年1月-01:00|カナダ/オーストラリア| |||<就任>タルマチ自治領総督「ニコラス・フライヘル・フォン・カルテッリ」(19060126まで代行~19111009)
- 1905年1月1日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>月刊雑誌「讃岐人」
- 1905年1月1日-09:00|日本| ||明治38年|久栄堂(大阪)創業(千葉徳松). 習字帖・浄瑠璃本などを出版
- 1905年1月1日-09:00|日本| ||明治38年|詩歌集:恋衣(本郷書院)山川登美子・与謝野晶子・茅野雅子合著
- 1905年1月1日-09:00|日本| ||明治38年|女子文壇社創業(野口竹次郎)投稿雑誌「女子文壇」創刊
- 1905年1月1日-09:00|日本| ||明治38年|川越電気鉄道石炭火力発電所操業開始(埼玉県初の火力発電所)
- 1905年1月1日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第011号「塩専売/準備=関スル職員ノ件」, 明治38年勅令第012号「塩専売/準備=要スル建築事務=関スル職員ノ件」公布
- 1905年1月1日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第001号「非常特別税法中改正法律」, 明治38年法律第003号「酒造税法中改正法律」, 明治38年法律第004号「酒精及酒精含有飲料税法中改正法律」, 明治38年法律第005号「麦酒税法中改正法律」, 明治38年法律第006号「沖縄県酒類出港税則中改正法律」, 明治38年法律第007号「酒母、醪及麴取締法」公布施行, 明治38年法律第008号「酒造組合法」, 明治38年勅令第001号「非常特別税法施行規則中改正追加ノ件」, 明治38年勅令第003号「酒造税法施行規則中改正加除ノ件」, 明治38年勅令第004号「酒精及酒精含有飲料税法施行規則中改正追加ノ件」, 明治38年勅令第005号「麦酒税法施行規則中改正加除ノ件」, 明治38年勅令第006号「醤油税則施行規則中改正追加ノ件」, 明治38年勅令第007号「酒母、醪及麴取締法施行規則」, 明治38年勅令第008号「酒造組合法施行規則」, 明治38年勅令第009号「間接国税犯則者処分法施行規則中改正削除ノ件」, 明治38年勅令第010号「塩専売法第四十五条=依ル塩製造/許可=関スル件」, 明治38年勅令第013号「非常特別税法中砂糖消費税、輸入税及織物消費税=関スル規定ヲ台港ニ施行スル件」各公布施行
- 1905年1月1日-09:00|日本| 江別町営石狩川線| 明治38年| 江別村営石狩川線[江別駅-石狩川堤防]0.4km開業
- 1905年1月1日-09:00|日本| JR西日本片町線| 明治38年| 関西鉄道支線[放出-片町]旅客営業再開→[桜ノ宮-新木津][放出-片町]
- 1905年1月1日-09:00|韓国| 鮮鉄京釜本線||京釜鉄道[草梁-釜山鎮(1915~21移設)-龜浦-勿禁-院堂-三浪津-密陽-楡川-清道-慶山-大邱-新洞-倭館-若木-金烏山-金泉-秋風嶺-黃澗-弥勒(1906~9廃止)-永同-深川-伊院(1919移設)-沃川-増若-大田-坪村(1906~7廃止)-新灘津-馬尾浦(1906~9廃止)-芙江-内坂(1906~7廃止)-鳥致院-葛巨里(1906~7廃止)-全義-小井里-天安-稷山(1906~7廃止)-成歎-平沢-西井里-振威(1906~9廃止)-烏山-餅店-水原-

1906迄 (2431件)

- 富谷 (1906~9廃止)-軍浦場-安養-始興-永登浦]開通、京仁鉄道[永登浦~京城]統合→[草梁~京城]
1905年1月1日-09:00|日本|東京電力|明治37年|川越電気鉄道石炭火力発電所操業開始(埼玉県初の火力発電所)
1905年1月1日-09:00|日本|山口県柳井市|明治38年|<合併>山口県玖珂郡[柳井津町・古開作村・柳井村]が合併→柳井町
1905年1月1日-01:00|スイス| ||<就任>スイス連邦大統領「マーク・エミール・ルシェ」FDP(1期目~12.31)
1905年1月1日 05:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・第三回旅順総攻撃>午後、日本軍は重要拠点である望台を占領
1905年1月1日 08:30|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・第三回旅順総攻撃>16時半、旅順のロシア軍指令官ステッセルが降伏を申入れる(旅順陥落)
1905年1月2日-09:00|日本| ||明治38年|<廃業>(個人)中西銀行[奈良]
1905年1月2日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|日本軍が旅順要塞を占領/開城規約に調印
1905年1月2日-04:00|ロシア| ||ロシア軍「セヴァストポリ」旅順降伏により、日本軍による捕獲を防ぐため、旅順港外で自沈
1905年1月2日-01:00|ドイツ| || (~4)ケレスパスの戦い/ウイトブーイとドイツ軍両軍に多数の損害が出た
1905年1月3日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>実業之日本社「婦人世界」
1905年1月3日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|ロシア政府汽船「Bogatyr」(明治33年、Boyd & Company, Limited持船として進水、竣工日不明→その後、ロシア政府に移籍)捕獲その後、「白銀丸」と命名:旅順港外に沈没していたロシア海軍「Silatch」を日本海軍が捕獲(19071024、旅順工作部により浮揚)
1905年1月3日-01:00|フランス| ||フランスで宗教団体の教育活動を禁止する法律が施行される
1905年1月3日 03:00|仏領ギニア/フランス| ||<就任>ギニア暫定総督「Charles Emmanuel Joseph Marchal」(~6.30)
1905年1月4日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ルーマニア王国閣僚会議議長(首相)「プリシペ・ゲオルゲ・ゲルゴール・カンタク・ノ」(2回目~19070324)
1905年1月4日 06:00|アメリカ| ||<死去>セド・ア・トマス、アメリカの指揮者(生年1835年)
1905年1月5日-09:00|日本| ||明治38年|<連載>夏目漱石「吾輩は猫である」[朴トギス1月号~]<はじめ短編として発表/好評に応じて、10回にわたって連載>
1905年1月5日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治38年|日本憲兵隊、漢城とその周辺地域の治安警察権を、韓国警察に代わり掌握
1905年1月5日 06:00|アメリカ| ||トミニオンラインの客船「ケルムニク」から「オタ」に改名(1910年オスマン帝国に売却「Guldjema」と改名)
1905年1月6日-09:00|日本|関西大学|明治38年|<改称>「私立関西法律学校」⇒「私立関西大学」
1905年1月6日-09:00|日本|東急百貨店|明治38年|白木屋で日本の百貨店初の「福引き」を開催
1905年1月8日-02:00|ギリシャ| ||ギリシャ・カルキキ半島地震(M6.8)死者2千人
1905年1月9日-08:00|フィリピン| ||フィリピンの和島でウツップの反乱が起こる
1905年1月10日-09:00|日本|伊予鉄高浜線|明治38年|伊予鉄道高浜線:高浜駅移設
1905年1月12日-09:00|日本| ||明治38年|<死去>侯爵(公家)正親町源氏「広幡忠朝」(46歳)陸軍大尉、貴族院議員⇒23日、「広幡忠隆」が襲爵(⇒19470503、廃止)
1905年1月12日-09:00|日本| ||明治38年|<死去>初代吉田玉造(77歳)人形浄瑠璃の人形遣い
1905年1月12日-09:00|日本| ||明治38年|東洋汽船汽船「亞米利加丸」日本海軍に入籍、假装巡洋艦とする
1905年1月12日 00:00|イギリス/日本| ||明治38年|香港からウラジオストクに向かっている途中の対馬海峡で英貨物船「レントン」拿捕没収
1905年1月13日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第015号「艦隊条例第二条中追加ノ件」、明治38年勅令第016号「海軍艦船条例中改正削除ノ件」各公布
1905年1月13日-03:00|ソリア/イタリア| ||イタリアがサンバルからベナフェイル港の主権を購入(7.8発効)
1905年1月13日-01:00|ドイツ| ||<死去>リッパ侯「アレクサンダー」
1905年1月13日-01:00|ナイジェリア/イギリス| ||<就任>南ナイジェリア保護区高等弁務官代理「Widenham フランシス・Widenham Fosbery」(~2.23)
1905年1月14日-09:00|日本/中国|商船三井|明治38年|<運行開始>大阪商船:大阪大連線(第1船舞鶴丸)
1905年1月14日-01:00|ドイツ| ||<死去>エルスト・アッペ(64歳、1840.1.23生)ドイツの天文学者・数学者・物理学者/光学理論で貢献、レンズや集光器を發明
1905年1月14日 00:00|イギリス| ||<死去>3代ケアンズ伯「ハーバート・ジョン・ケアンズ」
1905年1月14日 00:00|イギリス| ||<就任>4代ケアンズ伯「ウィルフレッド・ダラス・ケアンズ」(~19461023死去)
1905年1月15日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第017号「税関官制中改正ノ件」、明治38年勅令第018号「稅務監督局官制中改正追加ノ件」、明治38年勅令第019号「稅務署官制第二条中改正ノ件」各施行(14日公布)
1905年1月15日-09:00|日本|JR西日本山陰本線|明治38年|京都鉄道[京都-丹波口]間に大宮駅再開業
1905年1月15日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|乃木希典大将とロシア軍ステッセル中将が旅順水師營で旅順軍港攻防戦停戦条約締結
1905年1月15日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国首相「イェンス・クリスチャン・クリステンセン」(~19081011)
1905年1月16日-09:00|日本|東京電力|明治38年|<送電開始>東京電灯:南千住発電所(蒸気タービン4, 500kW)
1905年1月16日-01:00|ドイツ| ||<死去>初代常磐津文字兵衛(67歳)浄瑠璃三味線方
1905年1月17日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|元ロシア帝国海軍駆逐艦「レンテリヌイ」(240トン)整備完了、日本海軍山彦型駆逐艦「(2代)暁」と命名
1905年1月18日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>「長崎新聞」(長崎本紺屋町、→1935.8廃刊)

1906迄 (2431件)

- 1905年1月18日-02:00|フィンランド| |||<就任>フィンランド 大公国国務大臣(サントペ テルブルク)「コンスタンティン リンダー」(~11.28)
- 1905年1月19日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ペンシルベニア級装甲巡洋艦ACR-7「(2代)コロブ」(13780t, ウィリアム・クラップ & サンズ・シッフ & エンジニアリング社)
- 1905年1月21日-09:00|日本| ||明治38年|<大相撲>明治38年1月場所[東京本所回向院](10日間)幕内優勝:(東関脇)國見山, 9勝0敗1休
- 1905年1月21日-09:00|日本| ||明治38年|東京府と千葉県との境界に江戸川橋(16日竣工)渡橋式を挙行
- 1905年1月21日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第020号「担保トシテ政府ニ納ムヘキ国債証券ノ価格算定ニ関スル件」, 明治38年勅令第021号「明治三十六年勅令第二百八十三号(勸業債券及興業債券ヲ保証金ニ使用スル得ル件)中加除ノ件」, 明治38年勅令第022号「陸海軍軍人軍属旅費前金渡ノ件」陸海軍軍人又ハ職工旅費前金渡ノ件」各公布
- 1905年1月21日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第012号「臨時事件費支弁ニ関スル法律」施行(1日公布)
- 1905年1月21日 04:00|ドミニカ共和国/アメリカ| |||ドミニカの財政危機に対してドミニカの関税徴収をアメリカの管轄下に置く
<議定書締結
- 1905年1月21日 06:00|アメリカ| |||アメリカの天文学者パーシバル・ローエルは、この日火星に運河があることを観察したとノートにスケッチとともに書き残した
- 1905年1月22日-08:00|中国/ロシア/日本| ||大韓帝国・光武9年|<日露戦争>烏邦牛にて、騎兵第2旅団の将校斥候がロシア騎兵に遭遇し、ほぼ全滅に近い状況が起こる
- 1905年1月22日-04:00|ロシア| ||ロシア暦1月9日|ロシア、血の日曜日事件/サントペ テルブルクで民衆のデモ行進に対して軍隊が発砲し、1000人以上が死亡し、2000人以上が負傷
- 1905年1月23日-09:00|日本| ||明治38年|奈良県吉野郡で最後の日本狼が射殺される/これで日本狼は絶滅
- 1905年1月24日-09:00|日本| JR九州香椎線|明治38年|博多湾鉄道[奈多-香椎]間に和白簡易停車場新設
- 1905年1月24日-01:00|イタリヤ| |||<就任>聖ヨネ騎士団大公グランドマスター代行「アレクサンドロ・カブラニカ・デ・イマルケジ・カブラニカ・テル・グアリッ(臨時副官)」(~3.6)
- 1905年1月24日-01:00|フランス| |||<就任>フランス第三共和政第61代首相モリス・ルーヴェイ[民主共和同盟](第2次~1906年3月12日)
- 1905年1月26日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第023号「臨時陸軍中央金櫃部条例」公布
- 1905年1月26日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||南アフリカで、3106カラットのダイヤモンド「ル・クリナン」が発見され、イギリス王室のコレクションに加えられる
- 1905年1月26日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Enrique Segura y Campoy」(~10月、死去)
- 1905年1月27日-05:30|インド| |||<就任>ジャバルプル国ラジャ「クリシュナチャー4世ハタンチャー」(~19171116没)
- 1905年1月27日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Raimundo Fernandez-Villaverde[保守党](~19050623)
- 1905年1月28日-09:00|日本| ||明治38年|日本閣議、独島=竹島を「本邦所屬」と定め、日本領とする
- 1905年1月28日-01:00|フランス| |||女性誌「ビューウールズ」が、女性のための文学賞「フェミナ賞」を創設
- 1905年1月29日-09:00|日本| ||明治38年|<廃刊>週刊「平民新聞」(「直言」をもってこれに代える)
- 1905年1月29日-09:00|日本| JR北海道函館本線|明治38年|北海道鉄道[小沢-然別]間に銀山/駅新設
- 1905年1月29日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・黒溝台会戦>朝第8師団は黒溝台を再度占領、ロシアを渾河右岸に駆逐(死傷者:日本軍約9300名, ロシア軍約10600名)
- 1905年1月29日-01:00|オーストリア| |||<初演>グスタフ・マーラー《リュッケルトによる5つの詩》《少年鼓手》《亡き児をしのぶ歌》
- 1905年1月30日-13:00|サモア/米領サモア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領サモア知事「チャールズ・ブレイトード・テイラー・ムーア」(~19080521)
- 1905年1月30日-09:00|日本| 福岡県大牟田市|明治36年|<死去>立花種恭(70歳)元筑後三池藩主・知藩事、若年寄・老中格、貴族院議員
- 1905年1月31日-09:00|日本| ||明治36年|<死去>伯爵(新華)「副島種臣」脳溢血のため(78歳、文政11(1828)0909生)佐賀藩士、外務卿・枢密院副議長・内務大臣⇒三男「副島道正」が襲爵(⇒19470503、廃止)
- 1905年1月31日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第024号「在韓国帝国公使館ニ警視ヲ置ク件」公布
- 1905年2月-01:00|フランス| |||<初演>クロード・アルド・ビュッシー《仮面》《喜びの島》ウイニス
- 1905年2月1日-09:00|日本| 愛知県知多郡南知多町|明治38年|<町制施行>愛知県知多郡豊浜村→豊浜町
- 1905年2月1日-09:00|日本| 山陰合同銀行|明治38年|若桜融通合資会社が(資)若桜銀行と改称
- 1905年2月1日-09:00|日本| 日本郵政|明治38年|日本郵船会社官鉄横浜~神戸間に船車振替乗車券を発行
- 1905年2月1日-09:00|日本| 福岡県京都郡みやこ町|明治38年|<合併>福岡県京都郡[東犀川村・西犀川村・南犀川村]が合併→犀川村
- 1905年2月1日-05:30|インド| |||<就任>ハンガール国統治者(ナワグ)「ジョン・シャルル・モロー」(~19081219)
- 1905年2月1日-05:30|インド/イギリス| |||ハンガール国をイギリス領インド(マドラス)が統治(~19081219)
- 1905年2月1日-01:00|ハンガリー| |||ハンガリー総選挙。自由党敗北。テイサ・イシュヴァーン首相退陣
- 1905年2月1日 06:00|アメリカ| |||T.ローズヴェルト、森林局を内務省から農務省に移管し、権限を強化
- 1905年2月2日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガルギニア総督「カルロス・テ・アルメイダ・ペッサニャ」(~19060813)
- 1905年2月3日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第028号「俘虜收容所条例」公布
- 1905年2月4日 00:00|セネガル/フランス| |||ブントゥはフランス植民地セネガルに編入(同年分裂、シエフト・カントンの下で王朝統治継続)
- 1905年2月4日 03:00|アルゼンチン| |||アルゼンチンで急進党革命勃発
- 1905年2月4日-04:00|ロシア| ||ロシア暦1月22日|内相ミルスキーが辞職してフルギンが就任
- 1905年2月5日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>平民社「直言」(「平民新聞」の後継紙として)

1906迄 (2431件)

- 1905年2月5日-09:00|日本| ||明治38年|広島県横川と可部の間に日本初の乗り合い自動車が登場
- 1905年2月6日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第029号「専売局作業会計規則第九条中改正/件」、明治38年勅令第030号「海軍服制中改正追加/件」各公布
- 1905年2月6日-09:00|日本| 祐徳軌道|明治38年|祐徳馬車軌道[祐徳門前-(19090100以前、古枝)-八本木(>1915以前、浜>1927~29肥前浜)]間、[五町田-塩田-(19090100以前、下久間)-志田原-西山-檜崎-上野-永島-馬場-松原]間延伸→[祐徳門前~松原]開業; [(1910以前、中川>廃止)-(19090100以前、真崎)]間に鹿島(>1927~29肥前鹿島)、北鹿島、五ノ宮/駅新設
- 1905年2月6日-08:00|中国/日本| ||明治38年|旅順に鎮守府開庁
- 1905年2月7日-09:00|日本|伊予鉄城北線|明治38年|伊予鉄道道後線:木屋町駅を簡易乗降場に変更(>その後駅に変更)
- 1905年2月7日-09:00|日本|伊予鉄道道後線|明治38年|伊予鉄道道後線:木屋町駅を簡易乗降場に変更(>その後駅に変更)
- 1905年2月7日-09:00|日本|JR西日本関西本線|明治38年|奈良鉄道[(京都-)木津-奈良]→関西鉄道/合併
- 1905年2月7日-09:00|日本|JR西日本桜井線|明治38年|奈良鉄道[奈良-桜井]路線譲渡→関西鉄道[奈良-高田]
- 1905年2月7日-09:00|日本|JR西日本奈良線|明治38年|奈良鉄道[京都(-)桃山-木津(-奈良)]→関西鉄道/合併
- 1905年2月7日-08:00|フィリピン/アメリカ| |||<就任>アメリカ領フィリピン総督「Luke Edward Wright」(~19060330)
- 1905年2月7日 00:00|イギリス| |||イギリス海軍戦艦「キング・エドワード7世」(17500トン)デヴォンポート工廠で竣工就役
- 1905年2月7日 04:00|ドミニカ共和国/アメリカ| |||米-ドミニカ行政協定締結。米国、ドミニカの財政困難につけこみ税関管理行政協定を押しつける
- 1905年2月8日-09:00|日本| ||明治36年|<死去>2代松林伯円。中風のため(74歳) 講談師
- 1905年2月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>アドルフ・フォン・メンツェル(89歳)ドイツの画家・版画家
- 1905年2月10日-09:00|日本| ||明治38年|岡山県津山市のハノラ館開館
- 1905年2月10日-09:00|日本| ||明治38年|香川県教育会図書館、高松市七番丁に開館/蔵書冊数18,846冊
- 1905年2月11日-09:00|日本| ||明治38年|森下南陽堂が、「仁丹」を発売[50銭]<紅殻でコーティングされた赤大粒仁丹/銀粒は1929年>
- 1905年2月11日-09:00|日本| ||明治38年|如山堂創業(今津隆治)(大正7年建築書院を買収、株式会社に改組。昭和3年2月解散、同年9月工業書院創立。4年12月敬文館を兼設)
- 1905年2月11日-08:00|中国| ||明治38年|ダリーニを大連と改名
- 1905年2月11日 00:00|イギリス| |||ロンドンで、モーターショーが開幕
- 1905年2月13日-09:00|日本| ||明治38年|英貨物船「レソントン」を「沖ノ島丸」と改称
- 1905年2月14日-09:00|日本| ||明治38年|商船「名取川丸」が大阪港で濃霧のため沈没し、乗員94人が行方不明となる
- 1905年2月14日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第031号「服制/地質=関スル件」、明治38年勅令第032号「農商務省主管/国有林産物品ヲ問屋営業者ニ委託シテ随意契約ニ依ル売払ヲ為スコトヲ得ル件」各公布
- 1905年2月14日-09:00|日本|商船三井|明治37年|<創業>辰馬本家汽船部(→新日本汽船)
- 1905年2月15日-09:00|日本| ||明治38年|三代目坂東玉三郎、没
- 1905年2月15日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第033号「台湾総督府税関官制第一条中改正/件」公布
- 1905年2月15日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍デングァー級防護巡洋艦C-17「ガルフ・エストン」(3200t,ウィリアム R. トリッグ社)海軍工廠ノフォークにて
- 1905年2月16日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第020号「国債証券価格計算=関スル法律」公布施行
- 1905年2月16日-01:00|フランス| |||仏、2年間の徴兵制施行
- 1905年2月17日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第034号「租税其他/歳入金/代用証券取扱=関スル件」、明治38年勅令第035号「官設鉄道ニ於テ徴収シタル通行税/払戻金一時繰替支弁/件」各公布
- 1905年2月17日-05:30|インド| |||<就任>サングリ国摂政「リチャード・ジョン・チャールズ・バーク」(~19100602)
- 1905年2月17日-04:00|ロシア| |||<死去>ロシア大公「セルゲイ・アレクサンドロヴィチ」(47歳)社会革命主義者イヴァン・カキヤエフにより爆弾で暗殺される
- 1905年2月18日-09:00|日本/アメリカ| ||明治38年|<死去>フレデリック・イーストレイク、流行性感冒をこじらせて急性肺炎で(49歳、生年1856年)アメリカの英語教育家/日本人女性の太田なをみと結婚し東湖と号した
- 1905年2月20日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第036号「明治三十七年勅令第百六十一号(煙草専売局見習員=関スル件)第一条中改正/件」公布
- 1905年2月20日-05:30|インド| |||<就任>キラス国統治者(タークル)「ハルシジ・ライシジ」(~1920年)
- 1905年2月20日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク州総督「ジョアン・アントニオ・デ・アゼベド・コウチニョ・フラゴリョ・セケイラ」(~1906年10月)
- 1905年2月20日 10:00|ポリアニア/フランス| |||<就任>フランス領ルアノ知事「Philippe Emile Jullien」(~19070329)
- 1905年2月21日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第037号「下士兵卒家族救助令中追加/件」公布施行
- 1905年2月22日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武9年|韓国政府、「軍部官制」公布/参謀部・教育部は軍部に吸収、参謀局・教育局が部内に新設、教育部所管の陸軍幼年学校・陸軍武官学校・陸軍研成学校等は軍部所管/軍法・医務・海防局、軍務局に吸収、軍法課・医務課・海防課
- 1905年2月22日-09:00|日本|島根県|明治38年|内務省、竹島を島根県の所轄と定める
- 1905年2月23日-09:00|日本|東芝|明治38年|<死去>2代田中久重(60歳)技術者、実業家
- 1905年2月23日-04:00|ロシア| |||ロシア「インペリアル・アレクサンドル3世」(14181t, サクト・ヘルブルグのバルチック造船所で製造)カシヤットで竣工就役

1906迄 (2431件)

- 1905年2月23日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ペシルグ エニア級装甲巡洋艦ACR-5「ウェスト・ウァーシニア」(13680t, ニューポ
ート・ニューズ・シッフビルディング&トライドック社)
- 1905年2月23日 06:00|アメリカ| |||米シカゴで弁護士ポール・ハリスらが相互扶助クラブ(ローリークラブ)初会合
- 1905年2月24日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第028号「巡查看守退隠料及遺族扶助料法中改正法律」,
明治38年法律第029号「明治三十五年法律第二十九号(台湾=在勤ル巡查看守退隠料及遺族扶助料=関スル件)中改
正法律」各公布施行
- 1905年2月24日-09:00|日本|山口大学|明治38年|山口高等学校を母体に山口高等商業学校設立
- 1905年2月24日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>日本軍最右翼の鴨緑江軍(満州軍揮下
)が清河城にこもるロシア軍を攻撃して攻め落とす
- 1905年2月24日-01:00|ナジツェリア/イギリス| |||<就任>南ナジツェリア保護区高等弁務官代理「Algernon ション・パーナート・Ha
rcourt」(~4.3)
- 1905年2月25日-01:00|赤道ギニア/スペイン| |||<就任>フェルナント・ホー総督「ホセ・ゴメス・デ・ラ・セルナ・シエンフエゴス」(~19060326)
- 1905年2月25日 06:00|アメリカ| |||キューバ・ライン所有客船「カロー」(19524トン)ジョン・ブ라운・アンド・カンパニーによって竣工、リ
ウアップール〜ニューヨーク間の処女航海(後地中海〜ニューヨーク間の航路を担当→1932年「大西洋丸」と改名→1933年スクラップ)
- 1905年2月26日-09:00|日本| ||明治38年|<任意解散>(株)百二十二銀行[三重]
- 1905年2月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武9年|韓国政府、「各部官制通則」公布(初めて各部に大臣官房
(秘書室)設置)
- 1905年2月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武9年|韓国政府、「議政府官制」公布(議政府自体には局課は置
かず各部大臣の合議体機能は維持)
- 1905年2月26日-01:00|フランス| |||<死去>マルセル・シュヴァップ、フランスの作家(生年1867年)
- 1905年2月27日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第041号「捕獲審検令中改正加除ノ件」公布
- 1905年2月27日-09:00|日本|JR西日本桜島線|明治38年|西成鉄道[安治川口-天保山(廃止)]1.61km開業/国が同時
に借上げ
- 1905年2月27日-09:00|日本|フイデアール・イングス|明治38年|<改称>近合名会社⇒(名)植田銀行
- 1905年2月27日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>第一軍も攻撃を開始し、前哨基地を落
として一定の戦果をあげた
- 1905年2月27日-01:00|ナジツェリア/イギリス| |||グラー中尉の率いる一隊がカラクイの村でパヘロ族と交戦し双方に相当の
被害が出、パヘロは敗北しグアチャパンの方向に逃亡
- 1905年2月28日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍春雨型駆逐艦「吹雪」(375トン)呉海軍工廠で竣工就役
- 1905年2月28日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第043号「戦時又ハ事変ニ際シ臨時特設ノ部局又ハ陸海軍ノ部
隊ニ配属セシムル文官補調ノ件」,明治38年勅令第044号「明治三十二年勅令第百五十一号(臨時林野下戻処分調査ニ関
スル職員ノ件)第二条中改正ノ件」各公布
- 1905年2月28日-01:00|フランス| |||<死去>クレマン・ジュラー、フランスの医者・経済学者(生年1819年)
- 1905年2月28日-01:00|ドイツ/ロシア| |||独露通商条約調印
- 1905年3月-09:00|日本| ||明治38年|<死去>伯爵(新華)旧薩摩藩家老小松家「小松帯刀」⇒弟「小松重春」が襲爵(
⇒1925年、死去)
- 1905年3月-09:00|日本| ||明治38年|「新流行」創刊
- 1905年3月-09:00|日本|商船三井|明治38年|Acties. Standard(Bull & Gjærsten)貨物船「Standard」(1473G/T, 1904
年、ノルウェー・サンテ・フィヨルドのFramnes Mek. Verkstedで竣工)大阪商船(大阪)に売却、「福州丸」と改名
- 1905年3月-09:00|日本|商船三井|明治38年|Akties. Ocean(J. P. Pederson & Son)貨物船「Bjornstjerne」大阪商
船(大阪)に売却、「温州丸」と改名
- 1905年3月-01:00|ドイツ/日本|商船三井|明治38年|ドイツのC. Andersen鉄製貨客船「Cassius」大阪商船会社(大阪)に
売却、「彰化丸」と改名
- 1905年3月-01:00|ノルウェー/日本|商船三井|明治38年|ノルウェー・クリスチヤニアのActieselskabet "ORANGE"貨客船「Orange」(1
670G/T, 1896年、ノルウェー・フェヴィグのFevigs Jernskibsbygで竣工)大阪商船会社(大阪)に売却、「潮州丸」と改名
- 1905年3月 00:00|イギリス| |||グラスゴーのW. of Scotland S. S. Co. Ltd. 貨物船「Craighall」(4515G/T)スコットランド・ク
ラスゴーのD. W. Henderson Co. で建造進水
- 1905年3月1日-09:00|日本| ||明治38年|平田東助の主唱により、大日本産業組合中央会設立
- 1905年3月1日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第038号「俘虜処罰ニ関スル法律」公布施行
- 1905年3月1日-09:00|日本|JR西日本大阪環状線|明治38年|関西鉄道:桃山→桃谷/駅名改称
- 1905年3月1日-09:00|日本|中国銀行|明治38年|<改組>(個人)日笠銀行⇒(資)日笠銀行[岡山, 3.20開業]
- 1905年3月1日-09:00|日本|平成筑豊鉄道田川線|明治38年|九州鉄道[香春-夏吉]旅客営業廃止
- 1905年3月1日 10:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>第3軍(乃木希典大将)第9師団、18時頃
からの砲撃の後、四方台占領/鴨緑江軍(川村景秋大将)は第11師団・後備第1師団とともに目標の攻撃失敗
- 1905年3月1日 12:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>20時、第1軍(黒木為楨大将)第12師団、
西三成子山攻略失敗
- 1905年3月1日 15:30|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>23時30分、第38連隊第2大隊長は敵前20
0mに達したことを第9連隊に連絡のため発砲するが、逆にロシア軍に察知され、第2大隊第7・8中隊は半数が死傷す
る損害を蒙る/第2大隊は小樹子に退却、ロシア軍は追尾して、第38連隊の陣前100mに迫る
- 1905年3月2日 05:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>第8師団第16旅団は北台子西方の西に
ある長灘を占領/午後、第8師団は小叡拉堡子を、第4師団は金山屯を占領/午後、第1軍第29連隊が第20号角堡壘
を攻撃、第3大隊(長屋竹緑少佐)第5中隊がほぼ全滅、第7・11・12中隊は兵力半減の損害、次に前進した第4・9中隊

1906迄 (2431件)

- の2個小隊も3分の2が死傷。遂に、第29連隊長島田大佐も第1線にでて戦死。連隊副官代理石川正雄中尉と第4連隊長代理長屋少佐が連携して、更に攻撃し、ロシア軍守兵を壊走させるが、第29連隊は追撃の余力なし/鴨緑江軍第11師団は、午後、ようやく救兵台西方高地を占領
- 1905年3月2日 06:00|アメリカ| |||<死去>スタン・ウィードマン、メジャーリーグ(生年1861年)
- 1905年3月2日 09:30|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>17時30分、第9師団第36連隊第1中隊が彰駅を占領
- 1905年3月2日 10:30|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>18時30分、彰駅の第36連隊第1中隊(代理吉村中尉)はロシア軍の攻撃で全滅/第2軍第4師団はロシア第8軍団を砲撃、第5師団も北台子に砲撃を集中。ロシア軍は退却し、第4師団は北台子西方堡壘を占領/第5師団も前進し、これによりロシア軍が退却
- 1905年3月3日-09:00|日本| ||明治38年|<完成>和強楽堂[東京神田]
- 1905年3月3日-04:40|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>午前3時20分、近衛師団近衛第2旅団(渡辺章少将)第3・4連隊がロシア軍第3線散兵壕まで奪取
- 1905年3月3日-04:10|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>午前3時50分、第2師団第29連隊長代理・第2大隊長田中館佳橋少佐が第6・8中隊を率い高台嶺東方高地に突進、田中館少佐が戦死しほぼ全滅状態。第3大隊(長屋竹緑少佐)・第1大隊(喜入徳之助少佐)が攻撃続行するが、損害大(高台嶺攻撃での第29連隊の死傷717)
- 1905年3月3日-03:30|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>午前4時30分、近衛師団近衛第2旅団(渡辺章少将)第3・4連隊がロシア軍第3線本陣地に迫るが死傷者続出
- 1905年3月3日-03:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>午前5時、近衛師団近衛第2旅団(渡辺章少将)第3・4連隊退却(死傷者:第3連隊454・第4連隊674)
- 1905年3月3日-03:00|ソマリア| |||サイト・ムハマト・アブド・アッラー・アルハサンの反乱(~1911年)
- 1905年3月4日-09:00|日本| ||明治38年|<死去>伯爵(武家)「南部利祥」戦死⇒弟「南部利淳」が襲爵(⇒19300101、死去)
- 1905年3月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武9年|韓国軍の扈衛隊は宮内府主殿院所属となり、「扈衛局」に改称
- 1905年3月4日-09:00|日本|南都銀行|明治38年|(株)田原本銀行、八木銀行に買収
- 1905年3月4日-01:00|イタリア| |||イタリアのジョリッティ内閣が総辞職
- 1905年3月5日-09:00|日本| ||明治38年|小栗風葉が、読売新聞に「青春」の連載を開始
- 1905年3月5日-03:00|ソマリア/イタリア| |||ムハマト・ビン・アブド・アラが、イタリアとの協定によりイタリア領ソマリランド内に領地を認められる
- 1905年3月6日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>ロシア南下部隊「レン」隊、大転湾橋を攻撃するも午後5時、「レン」隊は退却(損害:「レン」隊1,700、第27連隊541(うち戦死202))
- 1905年3月6日-01:00|イタリア| |||<就任>聖ヨハネ騎士団大公「ラント・マスター」ガレアツォ マリア・グラーフ・フォン・トゥン・ウント・ホーエンシュタイン(~19310326)
- 1905年3月6日 06:00|アメリカ/日本| ||明治38年|<死去>ダビッド・モル(74歳)アメリカの教育者・教育行政官/日本の女子教育に尽力
- 1905年3月7日-03:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>夜明け頃、第2軍第3師団第5旅団第6連隊は三軒屋を、第33連隊(吉岡友愛中佐)は干洪屯を攻略
- 1905年3月7日 01:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>午前9時前、第3軍第9師団(大島中将)第18旅団(平佐良蔵少将)第19連隊(山田良水中佐)は造化屯西北の蒲河畔に到着。この時、造化屯よりロシア軍の猛攻、第9師団左翼隊は前進を停止、これが右翼隊や第7師団の行動も制止させる
- 1905年3月7日 05:30|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>13時30分、第3軍第1師団は奉天～法庫門街道の三台子北方の董家台に到着するが、第9師団の停止を知り停止。造化屯の第19連隊へ第36連隊第3大隊が派遣、第19連隊と並んだときには、兵力は3分の1が失われている状況
- 1905年3月7日 06:20|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>14時20分、三軒屋をロシア軍が攻撃、第33連隊長吉岡中佐が戦死し、三軒屋守備隊は一部が李官堡へ、大部が干洪屯へ退却
- 1905年3月7日 08:30|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>16時30分、第3軍第9師団右翼隊・第6旅団長一戸兵衛少将は、ロシア兵の退路を絶つため、第7連隊(野溝甚四郎中佐)に転湾橋と造化屯に向わせる。野溝中佐は途中負傷、砲撃で造化屯に火災が発生、これを機に第19連隊が突進、第9師団に右接する第7師団(大迫尚敏中将)も進撃。左翼隊・第13旅団第25・26連隊は第9師団第7連隊と直結して転湾橋に進む
- 1905年3月7日 10:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>日没直前、転湾橋に火災、ロシア兵が退却し、第3軍第7師団左翼隊・第13旅団第25・26連隊が転湾橋を占領
- 1905年3月7日 11:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>19時頃、第19連隊と第7連隊第2大隊が造化屯に突撃するも、敵前50mで挫折
- 1905年3月8日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第045号「明治三十七年勅令第二十五号(臨時海軍軍法会議及海軍合囲地軍法会議ニ於ケル主理、録事、海軍警査ニ関スル件)中改正削除ノ件」、明治38年勅令第046号「明治三十七年勅令第三十一号(臨時海軍監獄ニ関スル件)第三条改正ノ件」各公布
- 1905年3月8日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第013号「明治三十五年法律第四十九号(国勢調査ニ関スル件)中改正法律」、明治38年法律第014号「古社寺保存法第十六条ニ依リ国庫ヨリ支出スヘキ金額ニ関スル法律」、明治38年法律第016号「在外帝国専管居留地特別会計法中改正法律」、明治38年法律第017号「煙草専売局及製鉄所据置運轉資本補足ニ関スル法律」、明治38年法律第019号「国債証券及貯蓄債券ノ利子所得税免除ニ関スル法律」各施行(0216公布)
- 1905年3月8日 01:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>午前9時頃、後丁香屯北側墓地の戦い、

1906迄 (2431件)

第3軍第7師団右翼隊・後備第15旅団戦死522・戦傷524・捕虜10の大敗、退却。左翼隊・第13旅団(吉田清一少将)は八家子が攻略されたものと信じて小韓村に進撃。途中、八家子のロシア軍から攻撃され第26連隊第3大隊(山内正生少佐)が応戦するが死傷者続出

1905年3月8日 02:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>午前10時過ぎ、第3軍第9師団第6旅団第35・7連隊が八家子に進出。八家子手前でロシア軍に攻撃され、第1線の第35連隊に死傷者続出

1905年3月8日 04:40|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>12時40分、第3軍第9師団第6旅団第35連隊第2大隊と第7師団第26連隊第3大隊が突撃。ロシア軍砲撃により攻撃停滞。この時、八家子守備隊長ザボリスキー大佐が戦死、ロシア兵は大韓屯へ退却開始。第9師団第18旅団第36連隊は大韓屯を攻撃。隣接の第7師団第13旅団は小韓屯をめざす

1905年3月9日 00:30|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>午前8時30分、第3軍第1師団第2旅団第2連隊は観音屯へ進撃、第1線第3・2大隊は半数近くの死傷者を出し攻撃停止

1905年3月9日 05:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>13時、第3軍第1師団第2旅団後備第16連隊は砂塵の中から現れた4個の攻撃隊(5個連隊)に奇襲される、後備第16・1連隊は田義屯に壊走。同時に、右側に隣接する第1師団第2旅団にも波及し、これも退却・壊走

1905年3月9日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍ペンシルベニア級装甲巡洋艦ACR-4「(2代)ペンシルベニア」(13680t, ウィリアム・クラフ & サズ・シッフ & エンジン・ヘルディング社)

1905年3月9日 09:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>17時、ロシア軍が再度第1師団左翼を攻撃。第1師団損害2,358(内戦死747)・後備第1旅団死傷1,939(内戦死761)、第3軍全体死傷5,470(内戦死1,753)の80%

1905年3月9日 09:30|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>17時30分、クハトキン大将は参謀長カワロ中将に総退却命令/夜、クハトキン、奉天駅より脱出、北方虎石山に向う

1905年3月10日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第047号「戦役中諸学校校馬馬糧増加ノ件」、明治38年勅令第049号「高等教育会議規則第四条中追加ノ件」各公布

1905年3月10日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・奉天会戦>日本軍は無人になった奉天占領/第四軍はロシア軍を追撃し、2個師団に打撃を与えた

1905年3月10日-01:00|ナミビア/ドイツ| |||キルヒナー大尉の指揮する一隊はマレンゴによってアオブで敗北

1905年3月10日 00:00|イギリス| |||イングランドでフェルシフFC創立

1905年3月11日-01:00|ルウェー| |||<就任>ルウェー首相ヒーター・クリスチャン・ハスレブ・ミヒルセン(~19071023)

1905年3月11日-01:00|ナミビア/ドイツ| |||ナルダスの戦い/カッツ少佐の率いる一隊がマレンゴとモリスと戦いマレンゴは敗北

1905年3月12日-01:00|イタリア| |||<初演>オットリーノ・レズーキ《喜歌劇「エンツォ王」》

1905年3月13日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第050号「大蔵省官制中追加ノ件」公布

1905年3月14日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第051号「海軍工廠資金会計規則」公布

1905年3月14日-09:00|日本|国鉄岩内線|明治38年|岩内馬車鉄道[小沢-幌似-前田-山崎-岩内-岩内港]開業

1905年3月14日-02:00|エストニア/ロシア| |||<就任>ロシア領エストニア総督代行「アレクサンドル・ニコラエヴィッチ・キリス」(1回目~4.20)

1905年3月14日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「レギナルド・ホルワード・モガン」(~19080429)

1905年3月15日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>福沢諭吉「大阪時事新報」

1905年3月15日-09:00|日本|鳥取県八頭郡八頭町|明治38年|<合併>鳥取県八頭郡[登米村・逢郷村]が合併→丹比村

1905年3月15日-09:00|日本|山梨中央銀行|明治38年|<改称>釜右(株)⇒(株)小林銀行

1905年3月16日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第026号「砂糖消費税法中改正法律」、明治38年法律第027号「輸入原料砂糖戻税法中改正法律」、明治38年法律第031号「耕地整理法中改正法律」各施行(0224公布)

1905年3月16日-03:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|早暁、鴨緑江軍、鉄嶺を占領し尋て鉄嶺北方遼河右岸の高地を占領

1905年3月16日-01:00|イタリア| |||<就任>イタリア王国首相(閣僚評議会議長)「トマゾ・ティットニ」(~28日)

1905年3月16日 06:00|アメリカ| |||(~20日)アメリカのジョン・ジョセフ・モンゴメリーが設計したタンテム翼のグライダーが、ダニエル・マロンの操縦で900m上空の熱気球から切り離され、18分の飛行の後予定の着陸地点に着陸

1905年3月17日 06:00|アメリカ| |||F.ローズヴェルト、アンナ・エリアと結婚

1905年3月17日 06:00|アメリカ| |||アルバート・アインシュタイン、光量子仮説論を完成

1905年3月18日-09:00|日本| ||明治38年|<創業>大住省三郎「上野風月堂」[東京上野広小路]

1905年3月18日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第056号「税関ニ於ケル内国税賦課徴収ニ関スル件」公布

1905年3月18日-09:00|日本|静岡県湖西市|明治38年|<編入>静岡県浜名郡吉津村の一部<中ノ郷>を編入→新居町

1905年3月18日-01:00|ドイツ| |||アインシュタイン、論文「光の発生と変換に関する一つの発見的な見地について」(光電効果論文)投稿/論文は6月発行、Annalen der Physik(Germany), 17, 132-148

1905年3月18日 00:00|セネガル/ベナン/コートジボワール/ギニア/マリ/ニジェール/フランス/モリタニア/ブルキナファソ| |||<就任>フランス領西アフリカ総督「カミユ・ギー」(~4.22)

1905年3月19日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第032号「司法官試補実地修習期間減縮ニ関スル法律」施行(0227公布)

1905年3月19日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|日本軍が開原を占領

1905年3月20日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第057号「外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル件(明三八法六六)ヲ台湾ニ施行」公布

1905年3月20日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第066号「外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律」公布施行

1905年3月20日-09:00|日本|札幌北洋ホールディングス|明治38年|札幌貯蓄銀行が(株)江差貯蓄銀行、(株)松前銀行を

1906迄 (2431件)

合併し(株)北海道貯蓄銀行と改称

- 1905年3月21日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第036号「罹災救助基金法中改正法律」, 明治38年法律第039号「不動産登記法中改正法律」各施行(1日公布)
- 1905年3月21日-09:00|日本| ||明治38年|落語の人気回復のために、三遊派と柳派らが落語研究会を結成、日本橋常磐木倶楽部で第一回公演
- 1905年3月21日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|日本軍が昌図を占領
- 1905年3月21日 00:00|イギリス/アフガニスタン| ||イギリスが、アフガニスタンとの新協定で国境画定を再確認し、ロシアを牽制
- 1905年3月22日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第058号「貴族院令中改正追加/件」公布
- 1905年3月22日 00:00|イギリス| ||イギリスが少年の炭鉱労働8時間制を実施
- 1905年3月23日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治38年|韓国で第一銀行券が発行される
- 1905年3月23日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第070号「明治二十六年勅令第九十三号(東京帝国大学講座/件)中改正追加/件」, 明治38年勅令第071号「明治三十六年勅令第六十八号(京都帝国大学講座/件)中改正追加/件」各公布
- 1905年3月23日-09:00|日本|京都大学|明治38年|京都帝大に薬物学、産科学講座が新設
- 1905年3月24日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第073号「株式会社第一銀行/韓国ニ於ケル業務ニ関ル件」公布
- 1905年3月24日-09:00|韓国|鮮鉄京釜本線|大韓帝国・光武9年|京釜鉄道:京城→西大門/駅改称
- 1905年3月24日-01:00|フランス| ||<死去>ジュール・ヴェルヌがアミアンで(77歳、18280208生)フランスの小説家/「海底二万哩」や「十五少年漂流記」など80冊に及ぶ科学冒険小説を書き、SF小説の始祖となった
- 1905年3月25日 07:00|メキシコ| ||メキシコ、金本位制採用(4月14日金貨の自由鑄造廃止、金為替本位制へ)
- 1905年3月26日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第078号「臨時事件費支弁ニ関ル件(明三八法一二)ニ依リ英国倫敦及北米合衆国紐育ニ於テ募集ル公債ニ関ル件」公布
- 1905年3月26日-09:00|日本|北海道松前郡松前町|明治38年|<死去>松前修広(41歳)元蝦夷松前藩主・知藩事
- 1905年3月26日-08:00|台湾/日本|台鉄縦貫線|明治38年|台湾総督府鉄道縦貫線[彰化-茄苳脚-員林-社頭-田中央]延伸→[基隆~白公坑][彰化~田中央][濁水~打狗]
- 1905年3月27日-09:00|日本| ||明治38年|生命保険会社談話会より生命保険会社協会と改称
- 1905年3月27日-09:00|日本|静岡銀行|明治38年|<改称>二六(資)|静岡県浜名郡北浜村|⇒(株)二六信用銀行
- 1905年3月28日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第041号「居留民団法」, 明治38年法律第042号「明治二十九年法律第六十三号(律令発布/件)/有効期間ニ関ル法律」, 明治38年法律第043号「医師免許規則中改正法律」, 明治38年法律第044号「市町村立小学校教育費国庫補助法及教育基金令ニ依リ沖縄県/配賦金及配当金、仕払残額ヲ翌年度ニ繰越使用ニ関ル法律」(19040401から適用)各施行(8日公布)
- 1905年3月28日-09:00|日本|長崎大学|明治38年|長崎高等商業学校設立
- 1905年3月28日-09:00|日本|名古屋工業大学|明治38年|名古屋高等工業学校創立
- 1905年3月28日-08:00|中国| ||<死去>黄遵憲(56歳、生年1848年)清の詩人・外交官
- 1905年3月28日-01:00|イタリヤ| ||<就任>イタリヤ王国首相(閣僚評議会議長)「アレクサンドロ・フォルティス」(~19060208)
- 1905年3月28日-01:00|オランダ/日本| ||明治38年|Ohrvikens AB「Industrie」鎮海湾外で船舶書類不備及びスパイ容疑により日本海軍軍艦「春日」により拿捕
- 1905年3月28日 04:00|ドミニカ共和国/アメリカ| ||<制定>米国保護領ドミニカ共和国(~19410402)
- 1905年3月29日-09:00|日本| ||明治38年|歌舞伎座で日本人作曲によるはじめての歌劇「露営の夢」(曲・北村季晴)上演
- 1905年3月29日-09:00|日本|JR|北海道官設鉄道→逓信省鉄道作業局/移管・編入
- 1905年3月30日-09:00|日本/台湾| ||明治38年|(台湾)律令1号「台湾煙草専売規則」
- 1905年3月30日-09:00|日本| ||明治38年|東洋汽船貨客船「ろせった丸」を尾城汽船(東京)に売却, 神戸~横濱定期航路に就航(1905年, 日露戦争に病院船として参加→1906. 6, 朝日新聞社の満韓巡航船として使用→1908年, 船名録から削除, その後芝浦岸壁でワロティング・ホルとして使用, 第1次世界大戦中に廃棄); 東洋汽船貨客船「ろひら丸」尾城汽船(東京)に売却
- 1905年3月30日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第046号「国税徴収法中改正法律」, 明治38年法律第047号「外国ニ於ケル銀行事業ニ関ル法律」, 明治38年法律第048号「日本勸業銀行法中改正法律」, 明治38年法律第049号「日本興業銀行法中改正法律」, 明治38年法律第050号「北海道拓殖銀行法中改正法律」各施行(10日公布); 明治38年勅令第067号「国税徴収法施行規則第二十四条中改正/件」施行(23日公布)
- 1905年3月30日-02:00|ギリシャ| ||クレタ島でギリシャとの合併を望み暴動
- 1905年3月31日-09:00|日本| ||明治38年|瀬田川洗堰(滋賀県, 通称南郷洗堰)完成
- 1905年3月31日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第123号「明治三十三年勅令第三百八十五号(臨時国有林野/特別経営ニ関ル職員/件)中改正/件」, 明治38年勅令第124号「臨時国有林作業ニ関ル職員/件」, 明治38年勅令第125号「鉱山監督置事務官特別任用/件」各公布
- 1905年3月31日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第018号「北海道官設鉄道用品資金会計法廃止法律」施行(0216公布); 明治38年勅令第072号「臨時台湾土地調査局官制廃止/件」施行(24日公布); 明治38年勅令第104号「東京郵便電信学校官制廃止/件」<東京郵便電信学校を廃し規模を縮小して通信官吏練習所とする>, 明治38年勅令第106号「北海道鉄道部官制廃止/件」各施行(29日公布)
- 1905年3月31日-04:00|ロシア/中国/日本| ||明治38年|日本軍が綿花街の敵を駆逐し同地及其北方高地を占領
- 1905年3月31日 00:00|モロッコ/ドイツ| ||第1次モロッコ事件発生。ドイツ軍が突然モロッコ最北端のタンジールに上陸し、「領土保全・門戸開放」を要求

1906迄 (2431件)

- 1905年3月31日 00:00 | 伊予 | ||| コントールの短篇集『シャロック・ホームズの復活』が発刊。前作で死亡したことになる名探偵ホームズが復活
- 1905年4月-09:00 | 日本 | 熱海軌道組合線 | 明治38年 | 豆相人車鉄道 [小田原-熱海] → 熱海鉄道に社名変更
- 1905年4月-09:00 | 日本 | 椋山女学園大学 | 明治38年 | 椋山正式が名古屋市富士塚町に名古屋裁縫女学校を開校
- 1905年4月-09:00 | 日本 | 広島修道大学 | 明治38年 | 私立修道学校を私立修道中学校とする
- 1905年4月-08:00 | 中国 | 商船三井 | |<運航開始>大阪商船: 鎮南浦安東線
- 1905年4月-07:00 | タイ | ||| タイで奴隷廃止法が公布
- 1905年4月-04:00 | ロシア | |||<初演>アレクサンドル・コンスタンティノヴィチ・グラスノフ《ヴァイオリン協奏曲イ短調Op. 82》77-7
- 1905年4月-03:00 | イエメン/トルコ | ||| イエメンはサを占領 (~9月)
- 1905年4月-01:00 | コソボ/アルバニア | |||<就任>コソボのワス(総督)「マフムト・シェフケット・パシャ」(~1908年8月)
- 1905年4月-01:00 | ドイツ | ||| この月、ドイツのホマンとシャウティが梅毒の病原体を発見
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | || 明治38年 |<創刊>大日本国民中学会「新國民」4月号
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | || 明治38年 | 塩の専売担当部署として大蔵省が管轄する塩務局を全国22箇所に設置
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | || 明治38年 | 樺太経営同志会発足(箕浦勝人, 関直彦)
- 1905年4月1日-09:00 | 日本/韓国/朝鮮 | || 大韓帝国・光武9年 | 韓日通信機関協定に調印(通信機関を日本に委任)
- 1905年4月1日-09:00 | 韓国/朝鮮 | || 大韓帝国・光武9年 | 普成専門学校、設立(現、高麗大)
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | || 明治38年 | 明治38年勅令第127号「台湾総督府税関官制第四条中改正/件」公布
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | || 明治38年 | 明治38年法律第009号「登録税法中改正法律(本)」, 明治38年法律第010号「相続税法」各施行(0101公布); 明治38年勅令第026号「台湾総督府国語伝習所官制廃止/件」, 明治38年勅令第027号「台湾に於ける蕃人子弟の就学を奨励せしむるに關する件」各施行(0203公布); 明治38年法律第015号「海軍工廠資金會計法」, 明治38年法律第022号「蚕病予防法」各施行(0216公布); 明治38年勅令第038号「蚕種検査手数料に關する件」施行(0221公布); 明治38年勅令第040号「山口高等学校ヲ山口高等商業学校ト改称する件」施行(0225公布); 明治38年法律第033号「地租条例中改正法律」, 明治38年法律第034号「所得税法中改正法律」, 明治38年法律第035号「北海道一級町村及二級町村の租税外国庫蔵入の徴収をシムル法律」, 明治38年法律第037号「北海道罹災救助基金法」, 明治38年法律第040号「遠洋漁業奨励法」各施行(0301公布); 明治38年法律第051号「台湾銀行に於て發行する銀行券の偽造變造等に關する法律」施行(0310公布); 明治38年法律第059号「裁判所管轄区域變更に關する法律」, 明治38年法律第060号「裁判所管轄区域變更に關する法律」, 明治38年法律第061号「裁判所管轄区域變更に關する法律」, 明治38年法律第064号「在外指定学校職員退隠料及遺族扶助料法」各施行(0313公布); 明治38年勅令第054号「税関官制第四条中改正/件」, 明治38年勅令第055号「所得税法施行規則中改正追加/件」各施行(0318公布); 明治38年法律第067号「裁判所構成法中改正法律」, 明治38年勅令第062号「通信官署經費渡切規則」郵便、電信及電話官署經費渡切規則」, 明治38年勅令第059号「海軍探炭所官制中改正追加/件」, 明治38年勅令第060号「海軍監獄官制第七条中改正/件」各施行(0322公布); 明治38年勅令第063号「公使館領事館費用条例中改正加除/件」, 明治38年勅令第064号「外国在勤警部巡查任用及支給規則中改正加除/件」, 明治38年勅令第068号「相続税法施行規則」, 明治38年勅令第069号「監獄官制第三条中改正/件」各施行(0323公布); 明治38年勅令第074号「花菱検査所官制」, 明治38年勅令第075号「製鉄所官制第二条中改正/件」, 明治38年勅令第076号「臨時専用漁業免許処分調査に關する職員/件」各施行(0324公布); 明治38年勅令第082号「大蔵省官制中改正追加塩専売/準備に關する職員/件廃止/件」, 明治38年勅令第083号「塩務局官制」, 明治38年勅令第084号「塩専売/準備に要する建築事務に關する職員/件第二条中改正/件」各施行(0328公布); 明治38年勅令第087号「内務省官制中改正加除及土木監督局官制及明治二十七年勅令第八十四号(河川道路港湾調査に關する職員/件)同第八十五号(内務省直轄臨時土木工事施行に關する職員/件)廃止/件」, 明治38年勅令第088号「伝染病研究所官制」, 明治38年勅令第089号「台湾総督府専売局官制中改正追加/件」, 明治38年勅令第090号「台湾総督府地方官官制中改正/件」, 明治38年勅令第091号「明治三十五年勅令第七十三号(港務部設置/件)中改正追加/件」, 明治38年勅令第092号「文部省官制中改正/件」, 明治38年勅令第093号「東京帝国大学官制中改正/件」, 明治38年勅令第094号「京都帝国大学官制中改正/件」, 明治38年勅令第095号「史料編纂に關する職員制」, 明治38年勅令第096号「文部省直轄諸学校官制第一条中追加/件」, 明治38年勅令第098号「農商務省官制中改正削除/件」, 明治38年勅令第099号「鉱山監督署官制」鉱務署官制」, 明治38年勅令第100号「農事試験場官制第四条中改正/件」, 明治38年勅令第101号「逓信省官制中改正削除/件」, 明治38年勅令第103号「航路標識管理所官制第六条中改正/件」各施行(0329公布); 明治38年勅令第105号「鉄道作業局官制中改正/件」, 明治38年勅令第112号「文武判任官等級表中改正加除/件」, 明治38年勅令第114号「遠洋漁業奨励法に依り奨励金を下付し得べき漁業/種類、船舶/噸数/制限並漁獲員/資格及定員に關する件」各施行(0329公布); 明治38年勅令第115号「港務部職員服制中改正追加/件」, 明治38年勅令第119号「特許局官制中改正追加/件」各施行(0330公布); 明治38年勅令第120号「塩務局職員特別任用令」, 明治38年勅令第121号「明治二十六年勅令第九十六号(月俸十五円未満/判任官特別任用/件)中追加/件」, 明治38年勅令第122号「塩務局見習員に關する件」, 明治38年勅令第126号「北海道庁鉄道部職員ヨリ鉄道作業局職員に特別任用/件」各施行(0331公布); 明治38年法律第070号「刑執行猶予に關する法律」公布施行
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | || 明治38年 | 「第4回全国製産品博覽会」開催(~5月31日) [開催地] 京都府 [会場] 岡崎公園博覽会館 [主催] 京都博覽協会 [入場者] 184, 617人
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県浅口郡里庄町 | 明治38年 |<合併>岡山県浅口郡 [里見村・新庄村] が合併 → 里庄村
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県浅口市 | 明治38年 |<合併>岡山県浅口郡 [鴨方村・津田村・小坂村] が合併 → 鴨方村, [大島中村・西大島村] が合併 → 大島村, [竹村・占見村・吉備村] が合併 → 三和村
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県倉敷市 | 明治38年 |<合併>岡山県児島郡 [東興除村・西興除村] が合併 → 興除村
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | 群馬県高崎市 | 明治38年 |<町制施行>群馬県群馬郡室田村 → 室田町
- 1905年4月1日-09:00 | 日本 | JR西日本桜島線 | 明治38年 | 西成鉄道 [安治川口-天保山] 1. 61km開業 → [(大阪-) 西九条-安治川口-天保山]

1906迄 (2431件)

- 1905年4月1日-09:00|日本|JR東日本京浜東北線|明治38年|日本鉄道東北線[上野-田端]間に日暮里駅開業
1905年4月1日-09:00|日本|JR東日本常磐線|明治38年|日本鉄道海岸線[日暮里-三河島-南千住]間開通→[日暮里-岩沼]開業、上野発着列車の田端駅でのスイッチバック運転解消
1905年4月1日-09:00|日本|JR北海道宗谷本線|明治38年|北海道官設鉄道天塩線[旭川-名寄]→官設鉄道天塩線/移管; 剣淵(ケヌチ→ケンブチ)/駅名読み変更
1905年4月1日-09:00|日本|JR北海道根室本線|明治38年|北海道官設鉄道十勝線[下富良野-落合], 釧路線[利別-釧路]→官設鉄道/移管
1905年4月1日-09:00|日本|JR北海道函館本線|明治38年|北海道官設鉄道上川線: 旭川(アサヒカワ→アサヒガワ)/読み変更
1905年4月1日-09:00|日本|JR北海道富良野線|明治38年|北海道官設鉄道富良野線[旭川-下富良野]移管→官設鉄道
1905年4月1日-09:00|日本|島根県松江市|明治38年|<合併>島根県八束郡[玉造村・湯町村]が合併→玉湯村
1905年4月1日-09:00|日本|中京女子大学|明治38年|中京裁縫女学校創立
1905年4月1日-09:00|日本|奈良教育大学|明治38年|奈良県女子師範学校を創設(奈良県師範学校女子部を廃止)
1905年4月1日-09:00|日本|山口県岩国市|明治38年|<合併>山口県玖珂郡[岩国町・横山村]が合併→岩国町
1905年4月1日-09:00|日本|山口県山口市|明治38年|<合併>山口県吉敷郡[山口町・上宇野令村]が合併→山口町
1905年4月1日-08:00|台湾/中国|商船三井||<運航開始>大阪商船: 淡水福州線(台湾総督府命令航路)
1905年4月1日-03:00|ソマリ/イギリス||<就任>イギリス領ソマリランド 弁務官「エリック・ジョン・イーグルス・スウェイン」(~1906年3月)
1905年4月1日-01:00|サンマリノ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ベルツィ」[「ハスクア・レ・フシヤニ」]
1905年4月1日-01:00|ナミビア/ドイツ||「ファム」の戦い/コルリウス・フレデリクスとベロの指揮下の1隊。ドイツ人が大損害を受けた
1905年4月1日 00:00|モリタニア||<就任>ドイツ連邦エミール(アハカ系)「ウスマン・イブン・ハッカル」(~1909年)
1905年4月2日-09:00|日本||明治38年|明治38年法律第057号「登録税法中改正法律」、明治38年法律第058号「登録税法中改正法律」、明治38年法律第062号「戸主ニ非ザル者爵ヲ授ケルル場合ニ関スル法律」、明治38年法律第063号「外国裁判所ノ囑託ニ因ル共助法」各施行(0313公布)
1905年4月2日-09:00|日本|名鉄瀬戸線|明治38年|瀬戸自動鉄道[矢田-木ヶ崎(>1924以前、廃止)]-(役場前>廃止)-
聯隊前-笠寺道(>1944休止)-小幡-小幡原(>1944休止)-大森-(1912以前、志談味道>1921以前、廃止)-印場(>1944
休止)-
(194204頃、旭前)-聾石(>1937~42廃止)-新居-平池(>1944休止)-三郷-根ノ鼻(>1944休止)-今村(>1945頃、
水野)-学園前(>1926~27廃止)-追分-(1912以前、桜川>1915以前、廃止)-瀬戸]間14.6km開業
1905年4月2日 03:00|日本||明治38年|社会主義伝道隊は午前9時に平民社を出発、赤旗をかかげ太鼓をたたいて銀座、京橋、日本橋、今川橋、外神田を行進、檄文数千枚を撒布し正午に上野に到着/午報を合図に待機していた百余名が赤色の小旗をかざし、社会主義万歳を呼号して集まると、これに巡査数十名が襲いかかる/結果、31人が検束される
1905年4月3日-09:00|日本||明治38年|日本花柳病予防協会設立/性病に関する啓蒙・予防・治療運動開始
1905年4月3日-09:00|日本|都電蓬莱橋線|明治38年|東京電気鉄道外濠線[(八官町-)土橋(>1908廃止)-幸橋(>1907五二館前>1908廃止)-日比谷公園(>1907内幸町)-議事堂前(>1908廃止)-虎ノ門内(>1909霞ヶ関)]開業
1905年4月3日-08:00|中国/ロシア/日本||明治38年|日本軍が鷲鷹樹及四面城附近の敵を駆逐し同地を占領
1905年4月3日 03:00|アルゼンチン||アルゼンチンでホカ・ジュニアズ創立
1905年4月4日-09:00|日本||明治38年|総持寺所有の内種絵図絹本着色前田利家夫人像一幅が国宝に指定
1905年4月4日-09:00|日本||明治38年|明治38年法律第065号「東京市区改正土地建物処分規則中改正法律」施行(0315公布)
1905年4月4日-08:00|中国/ロシア/日本||明治38年|日本軍が孤榆樹占領
1905年4月4日-05:30|インド||インド北部で地震(マグニチュード7.8)死者2万人
1905年4月4日-01:00|ベルギー||<死去>コンスタン・ムニエ(73歳)ベルギーの画家・彫刻家
1905年4月5日-09:00|日本||明治38年|韓国、安昌浩らが共立協会を結成/民族独立運動開始
1905年4月5日-09:00|日本||明治38年|日刊紙「日本」が、トルストイ作・内田魯庵訳「復活」の連載を開始
1905年4月5日-09:00|日本|JR九州長崎本線|明治38年|九州鉄道長崎線[浦上(長崎を改称)-長崎]延伸→[鳥栖~山口(~)諫早-長崎]
1905年4月5日-09:00|日本|都電御茶ノ水線|明治38年|東京電気鉄道[竹町-師範学校前(>1911御茶ノ水)]間開業
1905年4月5日-09:00|日本|都電錦町線|明治38年|東京電気鉄道[御茶ノ水(>1907頃、廃止)-師範学校前(>1911頃、御茶ノ水)]延伸→[(常盤橋~神田橋~)錦町河岸~師範学校前]
1905年4月5日-02:00|南アフリカ/イギリス||<就任>イギリス領トランスヴァール植民地総督・最高司令官代行「アーサー・ローリー」(~23日)
1905年4月6日-09:00|日本||明治38年|若島権四郎: 21代横綱襲名(-明治40年1月)
1905年4月7日-09:00|日本|土佐電棧橋線|明治38年|土佐電気鐵道潮江線: 棧橋停留場移設(1953以前、旧位置に岸壁通停留場再開業)
1905年4月7日-01:00|ナミビア/ドイツ||「マンガ」に率いられたドイツ軍がウイトブーイとコパにナ族連合とオリファント川(ケイブ川)近くのナブコヒスで戦う/ウイトブーイは戦いに敗れ、砂漠に逃げそこで死亡
1905年4月8日-09:00|日本||明治38年|明治38年勅令第128号「沈没船舶売却/場合ニ於ケル買受人資格ニ関スル件」公布施行
1905年4月8日 04:00|グアドループ/フランス||<就任>グアドループ 知事「Leon Jules Pol Boullloche」(~19060801)
1905年4月10日-08:00|フィリピン||フィリピンの和島でパラの乱が起こる(~11月20日)
1905年4月11日-09:00|日本||明治38年|明治38年勅令第129号「臨時取締ノ為庁府県ニ警部ヲ置ク件」、明治38年勅

1906迄 (2431件)

令第131号「地租条例施行規則第二条中追加ノ件」各公布

- 1905年4月11日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第132号「海軍機関術練習所条例第三十条改正ノ件」公布施行
- 1905年4月12日-09:00|日本|阪神本線|明治38年|阪神電気鉄道本線[出入橋-福島(>1945休止)-野田-淀川-稗島-大和田-佃-杭瀬-大物-尼崎-出屋敷-蓬川-武庫川-鳴尾-今津-西宮東口-西宮-戎-打出-芦屋-深江-青木-魚崎-住吉-御影-石屋川-東明-新在家-大石-岩屋-春日野道-新生田川(>1933廃止)-旭通-神戸]間開業
- 1905年4月12日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|日本軍は火羅に於て敵と衝突し之を撃攘し營盤東方にある蒼汁の要地を占領
- 1905年4月13日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武9年|(14日)、兵制改革により、韓国軍整理縮小実施/元帥府(韓国軍最高司令部格)解体/親衛隊は侍衛隊歩兵聯隊に改編
- 1905年4月13日-09:00|日本| ||明治38年|<死去>田口卯吉。慢性腎炎のため(51歳、生年1855年)経済学者、歴史家、衆議院議員
- 1905年4月13日-01:00|スウェーデン| ||<就任>第10代スウェーデン首相ヨハン・ラムステット(~19050802)
- 1905年4月14日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第133号「戒嚴宣告ノ件」、明治38年勅令第134号「塩専売法(明三八法一)ヲ施行セラル地方ニ関ル件」、明治38年勅令第135号「間接国税犯則者処分法施行規則第一条中追加ノ件」、明治38年勅令第136号「塩専売法第三十八条ニ依リ間接国税犯則者処分法中収税官吏又ハ稅務署長ニ属スル職務ヲ行フキ官吏ノ件」、明治38年勅令第137号「塩専売法第四十四条ニ依ル塩稅徵收ニ関ル件」各公布
- 1905年4月14日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第068号「船舶法中改正法律」、明治38年法律第069号「船舶職員法中改正法律」、明治38年勅令第077号「登録税法施行規則中追加ノ件」各施行(0325公布);明治38年勅令第079号「船舶登記規則第三十条中追加ノ件」施行(0327公布)
- 1905年4月14日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|日本軍は英額城、八家子占領
- 1905年4月15日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>有楽社、漫画雑誌「東京ハック」(漫画雑誌の先駆、北沢楽天が主宰)
- 1905年4月15日-09:00|日本| ||明治38年|愛媛県松山市のハノヲ館開館
- 1905年4月15日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|日本軍は通化占領
- 1905年4月17日-09:00|日本|三井住友フィナンシャルグループ|明治38年|荒木銀行が(名)大西銀行(~昭和4)と改称
- 1905年4月18日-09:00|日本|リソナホールディングス|明治38年|日本勧業銀行月報社、東京(日本勧業銀行内)に設立
- 1905年4月18日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍ペンシルベニア級装甲巡洋艦ACR-8「(2代)メリラント」(13680t,ニューポート・ニューズ・シッピングビルディング&ドライドック社)
- 1905年4月19日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第138号「警視庁官制中改正加除ノ件」、明治38年勅令第139号「北海道庁官制」、明治38年勅令第140号「地方官官制」、明治38年勅令第142号「文武判任官等級表中追加ノ件」、明治38年勅令第145号「道庁府県事務官特別任用ノ件」、明治38年勅令第146号「明治三十二年勅令第三号(警視特別任用ノ件)中追加ノ件」、明治38年勅令第147号「警部消防士特別任用令」、明治38年勅令第148号「警察官及消防官服制中改正ノ件」、明治38年勅令第149号「明治二十二年勅令第二百二十二号(警察官及消防官帯剣ノ件)中改正ノ件」、明治38年勅令第150号「明治三十八年度歳出予算中第一予備金ヲ以テ補充シ得キ費途ノ件」、明治38年勅令第151号「通信省外国留学生規程第一条中追加ノ件」各公布
- 1905年4月19日-01:00|ガボン/フランス| ||<就任>フランス領ガボン植民地副総督代行「ポール・ジャン・フランソワ・クシュリエ」(~8.5)
- 1905年4月19日 00:00|イギリス| ||<死去>6代スタンホフ伯「アーサー・フィリップ・スタンホフ」
- 1905年4月19日 00:00|イギリス| ||<就任>7代スタンホフ伯・13代フェスターフィールド伯「ジェームス・リチャード・スタンホフ」(~19670815死去)
- 1905年4月20日-09:00|日本| ||明治38年|金尾文淵堂創業(金尾種次郎)三宅雪嶺の雑誌《日本及日本人》を受け、また木下尚江《火の柱》をはじめ、与謝野晶子《新訳源氏物語》その他を出版
- 1905年4月20日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第152号「明治三十四年勅令第三百三十九号(獣疫及畜牛結核病予防ニ関ル費用負担区分)第一条改正ノ件」公布
- 1905年4月20日-09:00|日本|ほくほくフィナンシャルグループ|明治38年|(個人)神沢銀行を(名)神沢銀行(~大正7)に改組、富山に設立
- 1905年4月20日-02:00|エストニア/ロシア| ||<就任>ロシア領エストニア総督「アレクセイ・アレクサンドロヴィッチ・ロビン」(~10月)
- 1905年4月20日 04:00|BES諸島/オランダ| ||<就任>ボネール副知事代理「Herman Statius Muller」(~19070601)
- 1905年4月21日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第153号「国民兵役ニ在ル者ノ服役及召集ニ関ル件」公布施行
- 1905年4月21日-09:00|日本|ENEOSホールディングス|明治38年|大倉喜八郎・浅野総一郎ら、南北石油を設立(明40.9保土ヶ谷製油所完成)
- 1905年4月21日 00:00|イギリス| ||<死去>5代フェスター伯「フランス・ゴドルフィン・ペラム」
- 1905年4月21日 00:00|イギリス| ||<就任>6代フェスター伯「ジョゼフィン・ブルトネル・ペラム」(~19261114死去)
- 1905年4月22日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド 暫定総督「ジョセフ・パスカール・フランソワ」(~19061005)
- 1905年4月23日-01:00|フランス| ||ジャン・レオン・ジョリスら社会主義者が「フランス社会党(統一社会党)」を結成/社会主義諸派の統一
- 1905年4月24日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ポントレカダ民政知事「Luis de Bettencourt de Medeiros e Camara」(1期目~19060323)
- 1905年4月25日-09:00|日本|博文館|明治38年|合資会社博進社印刷所、株式会社博文館印刷所に改組・改称《文芸倶楽部》《小学世界》など博文館発行14種類の月刊誌を印刷するとともに博文館以外のものの受注を開始
- 1905年4月25日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|(~28日)ロシア帝国海軍巡洋艦「クモボク」が4隻の日本商船を撃沈
- 1905年4月26日-09:00|日本| ||明治38年|吉田三郎右衛門所有「松前丸」焼失

1906迄 (2431件)

- 1905年4月27日-01:00|ベルギー| ||ベルギーのレジューで万国博覧会が開催(~11/6)ベルギー-独立75周年
- 1905年4月27日 04:00|米領グアーン諸島/デンマーク| ||<就任>セントクロア総督「Christian Magdalus Thestrup Gold」(~19080221)
- 1905年4月28日-09:00|日本| ||明治38年|山崎紫紅の「上杉謙信」が真砂座で上演された, 配役伊井容峰外
- 1905年4月28日-09:00|日本|香川大学|明治38年|木田郡立乙種農学校を木田郡立甲種農林学校と改称
- 1905年4月29日-05:30|インド| ||<就任>ハンスワ国統治者(マハラ)「ジャンプー・シン」(~19131227没)
- 1905年4月29日 06:00|アメリカ| ||アメリカのジョン・ジョフ・モンゴメリとダニエル・マローがグライダーの公開飛行で、1200mの高さの熱気球から切り離される飛行を行う
- 1905年5月-09:00|日本| ||明治38年|<初演>「杳手鳥孤城落月」作・坪内逍遙/淀君、片桐且元(二役), 三代目片岡我當/大阪角座
- 1905年5月-09:00|日本| ||明治38年|尼崎汽船大阪共同組が尼崎汽船部(大阪)に改組
- 1905年5月-09:00|日本|福井県|明治38年|福井県、幸橋(福井市)竣工
- 1905年5月-08:00|中国/日本|商船三井|明治38年|上海のBoyd & Co.「大亭丸」大阪商船(大阪)に売却、「大福丸」と改名
- 1905年5月1日-09:00|日本| ||明治38年|平民社で茶話会を開く/最初のメデー集会
- 1905年5月1日-03:00|ソマリア/イタリア| ||<就任>イタリア領ソマリランド王立委員「ルイジ・ムカテリ」(~19060124)
- 1905年5月1日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ウクライナのロシア総督「Yevgeniy Nikolayevich Volkov」(~19060111)
- 1905年5月1日-01:00|ポーランド/ロシア| ||ウクライナ、メデーのデモ行進中、労働者と露軍が衝突/死者100人、負傷者多数
- 1905年5月3日-09:00|日本| ||明治38年|<出版>石川啄木(19)処女詩集「あこがれ」/全77篇、定価50銭、序文与謝野鉄幹、序詩上田敏
- 1905年5月4日-08:00|中国/ロシア/日本| ||明治38年|日本軍は八寶屯、釣魚台占領
- 1905年5月5日 06:00|アメリカ| ||黒人向けの「シカゴ・デファインダー」紙が創刊
- 1905年5月7日 06:00|アメリカ| ||アメリカ西海岸で日本人・朝鮮人排斥同盟が結成
- 1905年5月8日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第156号「占領地民政署/職員ニ関スル件」公布
- 1905年5月8日-04:00|ロシア| ||明治38年|ロシア、ハール・ミリュコフ、労働組合連合会を組織/国会設置と普通選挙制の導入を提唱
- 1905年5月8日-01:00|オランダ/日本| ||明治38年|Societa Anonima per Ricuperi Sottomarini「Sars」を日本海軍汽船「猿橋丸」と命名
- 1905年5月8日-01:00|ナミビア/ドイツ| ||ガナチャフの戦い/コルネリスとゴーの指揮するドイツ軍の間で戦われコルネリスは敗北しヘルバの方向に逃れた
- 1905年5月9日-09:00|日本| ||明治38年|愛知県尾西織物同業組合組織
- 1905年5月9日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍隼型水雷艇「雉」代艦(152トン)呉海軍工廠で建造、完成
- 1905年5月9日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第157号「専売塩特別定価売渡及交付金下付規則」、明治38年勅令第158号「塩購入ニ関スル随意契約及塩売渡/場合ニ於テ契約書省略/件」各公布施行
- 1905年5月9日-09:00|日本|御殿場馬車軌道|明治38年|御殿場馬車鉄道[新橋御殿場駅-籠坂峠]→野中御殿場馬車鉄道/買収
- 1905年5月9日-09:00|日本|JR東日本|明治38年|<死去>小野義真(67歳)日本鉄道会社社長
- 1905年5月9日-09:00|日本|森永製菓|明治38年|森永西洋菓子製造所、エンゼル商標を登録し、新聞広告で使用開始
- 1905年5月9日-06:30|マヤンマー/イギリス| ||<就任>英領ビルマ副総督「ハーバート・サークル・ホワイト卿」(~19100519)
- 1905年5月9日-01:00|ナイツェリア/イギリス| ||<就任>南ナイツェリア保護区高等弁務官代理「ジェームス・Jamieson Thorburn」(~7.30)
- 1905年5月9日 00:00|イギリス| ||イギリス海軍戦艦「コンウォール」(17000トン)デボンポート工廠で竣工就役
- 1905年5月10日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍春雨型駆逐艦「霞」(375トン)呉工廠で竣工
- 1905年5月10日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第159号「地租条例第四条第一項第一号及第二号ニ依ル公共団体及期間指定ノ件」公布
- 1905年5月10日 00:00|カナダ/イギリス| ||<就任>ゴールドコースト総督・最高司令官代行「ハーバート・ブライアン」(2回目~11.12)
- 1905年5月11日-09:00|日本| ||明治38年|新聞社在籍劇評家による若葉会, 第1回文士劇を歌舞伎座で公演, 岡鬼太郎ら出演
- 1905年5月11日-09:00|日本|商船三井|明治38年|大阪商船会社貨客船「舞子丸」大連から営口に向け航行中に触雷、沈没
- 1905年5月11日-03:00|マダガスカル/フランス| ||<就任>フランスのマダガスカル総督代行「シャルル・ルイ・レブル」(~19060101)
- 1905年5月11日-01:00|ドイツ| ||アインシュタイン、論文「熱の分子論から要求される静止液体中の懸濁粒子の運動について」(ブラウン運動論文)投稿/論文は7月発行, Annalen der Physik(Germany), 17, 549-560
- 1905年5月12日-09:00|日本| ||明治38年|<死去>野口寧斎(39歳)漢詩人、妹の夫・野口男三郎に殺害された可能性がある
- 1905年5月12日-09:00|日本|都電牛込線|明治38年|東京電気鉄道[神楽坂(>1907頃、牛込見附)-飯田橋]開業
- 1905年5月12日-09:00|日本|都電御茶ノ水線|明治38年|東京電気鉄道[飯田橋-諏訪町(>1907廃止)-小石川橋-水道橋-本郷元町-湯島五丁目(竹町を改称>1914順天堂前)]延伸→[飯田橋-師範学校前(>1911御茶ノ水)]
- 1905年5月12日 00:00|モリタニア/フランス| ||<就任>フランス領モリタニア総督代行「ルイ・フレジャン」(~27日)
- 1905年5月13日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第160号「戒厳宣告ノ件」公布
- 1905年5月13日-09:00|日本|JR九州香椎線|明治38年|博多湾鉄道:和白簡易停車場移設

1906迄 (2431件)

- 1905年5月14日-09:00|日本|JR東日本外房線|明治38年|房総鉄道[長者町-大原]間に三門駅旅客営業開業
- 1905年5月15日-09:00|日本|JR西日本山陰本線|明治38年|官設鉄道[青谷-泊-松崎]11.91km延伸→[青谷~米子(境)]開業
- 1905年5月15日-08:00|台湾/日本|台鉄縦貫線|明治38年|台湾総督府鉄道縦貫線[葫蘆仔-潭仔仔-台中-烏日-大肚]延伸→[基隆~白公坑][葫蘆仔~大肚][彰化~田中央][濁水~打狗]:[林鳳堂-拔仔林]間に蕃仔田駅新設
- 1905年5月15日 06:00|アメリカ| |||米国カリフォルニア州の110エーカーの土地が売却されガス設立
- 1905年5月16日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第162号「地方森林会規則第八条中改正削除ノ件」公布施行
- 1905年5月16日-08:00|台湾/日本|台鉄縦貫線|明治38年|台湾総督府鉄道縦貫線:拔仔林駅廃止
- 1905年5月16日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領南アフリカ首相「チャールズ・ジョン・スミス」無党派(~19061128)
- 1905年5月17日-11:00|ニュージーランド/フランス| |||<就任>ニュージーランド知事「Charles Amedee Rognon」(~9.17)
- 1905年5月18日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第163号「陸軍軍属従軍服制中追加ノ件」公布
- 1905年5月18日-09:00|日本/中国|商船三井|明治38年|<運航開始>大阪商船:大阪漢口線
- 1905年5月19日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第167号「北海道庁森林監守服制中改正ノ件」, 明治38年勅令第168号「作業及鉄道会計規則第二十二条中追加ノ件」各公布
- 1905年5月19日-08:00|フィリピン/ロシア/イギリス| |||ハルツック艦隊はマニラ諸島付近でイギリス汽船「オール・ハミヤ」を拿捕
- 1905年5月20日-09:00|日本| ||明治38年|<大相撲>明治38年5月場所[東京本所回向院](10日間)幕内優勝:(西大関)荒岩, 9勝0敗1休
- 1905年5月20日-09:00|日本| ||明治38年|翻刻発行者全員はその供給販売業務を営むため合名会社(国定教科書共同販売所)を設立
- 1905年5月20日-09:00|日本|大阪府堺市|明治38年|<改称>大阪府南河内郡大草村が改称→大草村
- 1905年5月20日-04:00|ロシア| |||ロシア帝国海軍戦艦「ホフマン」(12900t, ニコラエフのニコラエフ海軍工廠で製造)セバストポリで竣工
- 1905年5月20日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領南アフリカ植民地総督「セルムン伯爵ウィリアム・ウオルテグレイヴ・パーマー」(~19070701)
- 1905年5月21日-09:00|日本/中国|商船三井|明治38年|下旬<運航開始>大阪商船:長崎鎮南浦線
- 1905年5月21日-01:00|イタリア| |||イタリアで鉄道国有化法案が可決
- 1905年5月22日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第169号「煙草専売局職員特別任用令中追加ノ件」, 明治38年勅令第170号「砂糖消費税法施行規則第十三条中追加ノ件」各公布
- 1905年5月22日-01:00|ロシア/日本| ||明治38年|Bergings och Dykeri A/B Neptun「Herakles」を日本海軍が授受、汽船「栗橋丸」命名
- 1905年5月22日 06:00|アメリカ| |||<死去>ジョージ・セツトレイン、メジャーリーグ(生年1844年)
- 1905年5月23日-09:00|日本|阪神本線|明治38年|阪神電気鉄道本線:蓬川駅廃止
- 1905年5月23日-04:00|ロシア| |||<死去>イヴァン・カキヤエフ、セルゲイ・アレクサンドロヴィチ殺害の罪で処刑された(27歳)ロシアの詩人・プロリスト
- 1905年5月23日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領南アフリカ植民地総督・最高司令官「セルムン伯爵ウィリアム・ウオルテグレイヴ・パーマー」(~19100531)
- 1905年5月25日-09:00|日本/台湾| ||明治38年|(台湾)律令3号「台湾土地登記規則」、律令5号「台湾土地登録税規則」
- 1905年5月25日-09:00|韓国/朝鮮| |||京釜鉄道、漢城-釜山間全通
- 1905年5月25日-09:00|日本| ||明治38年|日本天然瓦斯株式会社設立される/明治44年から長岡を中心にガスの供給を開始する
- 1905年5月25日-09:00|日本| ||明治38年|和歌山水力電気株式会社設立
- 1905年5月25日-04:00|ロシア| ||ロシア暦5月12日|ロシア、イワグ・オヴ・オス・センスク、ストライ開始/最初の労働者代表ル・イト結成(~8月4日)
- 1905年5月25日 05:00|パナマ/アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国パナマ運河地帯軍政総督「チャールズ・エドワード・マクーン」(~19061012)
- 1905年5月26日-09:00|日本| ||明治38年|同文館《大日本百科大辞書》のうち《商業大辞書》第1巻発行(わが国における本格的専門事典の始)
- 1905年5月26日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第071号「売薬税法」, 明治38年勅令第155号「売薬税法施行規則」各施行(6日公布)
- 1905年5月27日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第172号「台湾総督府鉄道部官制第二条中改正ノ件」公布
- 1905年5月27日 00:00|モリタニア/フランス| |||<就任>フランス領モリタニア総督「ベルナルド・ローラン・モンタネカブトウボスク」(~1907年11月)
- 1905年5月27日 05:15|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>14時17分、連合艦隊の砲弾がハルツック艦隊の第1戦艦隊旗艦「クニヤージ・スヴォロフ」と第2戦艦隊旗艦「オスリヤビヤ」に多数命中し火災を生じさせた
- 1905年5月27日 05:25|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>14時27分、第2戦艦隊所属の装甲巡洋艦「浅間」が被弾により舵機を損傷し戦列から離れた
- 1905年5月27日 05:50|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>14時50分、「クニヤージ・スヴォロフ」と「オスリヤビヤ」は甲板上や艦内の各所で火災を起こしながら右へ大きく回頭して戦列から離脱/ハルツック艦隊の2番艦、戦艦「インペラートル・アレクサンドル3世」も集中砲火を受けて列外に出た

1906迄 (2431件)

- 1905年5月27日 06:10|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>15時10分,ロシア帝国海軍艦隊装甲艦(2代)「オリアービヤ」日本軍艦の集中砲火により沈没(515名近くが戦死)
- 1905年5月27日 06:30|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>15時30分,病院船「アリョー」と同「コストロマ」は仮装巡洋艦「佐渡丸」や同「満州丸」に捕捉され、臨検のため荒れた外海から三浦湾に移動させられた
- 1905年5月27日 07:20|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>16時20分,曳船「ルーシ」を撃沈し、仮装巡洋艦「ウラル」や工作艦「カムチャツカ」にも損害を与え脱落させた
- 1905年5月27日 08:40|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>17時40分ごろ,第1戦隊は孤立していた「ウラル」を撃沈
- 1905年5月27日 10:00|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>19時,漂流していた「カムチャツカ」は第4戦隊などの攻撃により沈没
- 1905年5月27日 10:05|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>19:03,ロシア帝国海軍艦隊装甲艦「インペラートル・アレクサンドル3世」が大きく左へ列外に出てから沈没,乗員全員が戦死
- 1905年5月27日 10:20|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>19時20分,ロシア海軍戦艦「クニャーシ・スヴォロフ」は第5戦隊に随伴していた第11艇隊の魚雷により沈没(925名が戦死)/19時20分、「ホロノ」は2回の大爆発を起こし転覆、沈没
- 1905年5月27日 11:20|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>20時20分,第3・第4駆逐隊の雷撃によって装甲巡洋艦「アドミラル・ヒエモ」が大破炎上,対馬沖まで向かい翌朝未明に自沈処分
- 1905年5月27日 12:05|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>21:05,第4駆逐隊司令の鈴木貴太郎は、連繫機雷作戦を用いて戦艦「ナヴァリン」を撃沈
- 1905年5月27日 13:15|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月14日|<日露戦争・日本海海戦>22:15,第4駆逐隊司令の鈴木貴太郎は戦艦「ツィーヴェリキー」を雷撃によって大破させた
- 1905年5月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||京義線開通
- 1905年5月28日-09:00|日本海/ロシア/日本| ||明治38年|戦艦「アリョー」(27日,日本海軍の砲撃により43名戦死)、海防戦艦「ゲネラル・アドミラル・アブラムシ」,同「アドミラル・セネーヴィン」はすべて降伏
- 1905年5月28日-09:00|日本| ||明治37年|渡瀬庄三郎博士が「まついか」を「ほたるいか」と命名
- 1905年5月28日-09:00|日本|岩手大学|明治37年|盛岡高等農林学校開校
- 1905年5月28日-04:00|ロシア| ||ロシア暦5月15日|ウヴァノヴォヴォスク市に最初の「ソヴイェト(評議会)」結成/ソヴイェト:工場を基礎として一定割合で選挙された全市労働者代表会議(労働者500人につき代表1人を選出)、地区労働者の闘争指導機関
- 1905年5月28日-03:30|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>夜明けごろ,「千歳」は北上の際に単艦で行動していた駆逐艦「バズブリューフイ」と遭遇し、居合わせた駆逐艦「有明」とともにこれを攻撃、撃沈
- 1905年5月28日-02:00|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>朝,駆逐艦「フレシヤチ」は前日の被弾が原因で沈没
- 1905年5月28日-01:40|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>7:20,ロシア海軍戦艦「ホロノ」27日の日本海軍の砲撃により、大火災、弾火薬庫の誘爆により爆沈,戦死者865名
- 1905年5月28日 00:00|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>9:00,巡洋艦「アドミラル・ヒエモ」、駆逐艦「不知火」に接近を知り自爆/仮装巡洋艦「佐渡丸」、「ヒエモ」乗組員523救助、他101は対馬・茂木海岸上陸
- 1905年5月28日 00:00|日本海/ロシア/日本| ||明治38年|夜戦によって大破していた戦艦「ツィーヴェリキー」が沈没,ロシア帝国海軍舷側砲装甲艦「ドミトリ・ドンスコイ」自沈
- 1905年5月28日 01:55|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>10:53,ロシア帝国「インペラートル・ニコライ1世」は降伏/「インペラートル・ニコライ1世」の前方を進んでいた「イムルト」はこれに従わず、東方へ逃走ウラジオストクに向かったが、ロシア沿岸で座礁して爆破の上放棄された
- 1905年5月28日 02:00|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>11:02,沖島北東でロシア海軍戦艦「ツィーヴェリキー」放棄転覆沈没
- 1905年5月28日 03:05|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>12:04,ロシア帝国「グロムキ」は殆どの砲を破壊され、砲弾も撃ちつくし、旋回状態に入ったため、総員退去,艦長戦死、自沈
- 1905年5月28日 05:00|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<イルツィン号投降事件>14:00,バルチック艦隊の特務艦「イルツィン」は損害のため島根県沖まで逃れ、船は放棄(29日朝沈没)
- 1905年5月28日 05:30|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>14:30,「佐渡丸」に追われたロシア帝国装甲巡洋艦「ウラジミール・モマフ」沈没(19050519除籍),乗員406は「満州丸」に収容/「ウラジミール・モマフ」には駆逐艦「グロムキ」がついていたが、駆逐艦「不知火」と水雷艇「第63号艇」に追撃され、蔚山沖にて降伏し日本側はこれを捕獲しようとしたがそのまま沈没
- 1905年5月28日 05:30|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>14:30,ロジェストヴェンスキー長官・幕僚、「フイヌ」より更に駆逐艦「バトウイ」に移乗,駆逐艦「グロムキ」とウラジオに向う。「フイヌ」は巡洋艦「ドミトリ・ドンスコイ」により撃沈処分
- 1905年5月28日 07:45|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>16:45,「漣」と「陽炎」が砲撃を開始し「グロムキ」は逃げつつ応戦したが、「バトウイ」は機関停止を行い降伏/「漣」はこれをロジェストヴェンスキー司令官とともに捕獲/「グロムキ」は「陽炎」の追撃を振り切り、数少ないウラジオ到着組の1つとなった
- 1905年5月28日 09:10|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>18:10,海防装甲艦

1906迄 (2431件)

- 「アドミラル・ウァーコフ」は「警手」に砲撃され抵抗をあきらめ自爆して沈没(艦長以下83戦死、漂流339収容)
- 1905年5月28日 10:45|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>19:45、第1戦隊、捕獲船「ニコライ世」「アリョー」を引率して戦場を離脱、佐世保に向う
- 1905年5月28日 12:00|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>21:00、装甲巡洋艦「アドミラル・ナヒモフ」沈没(乗員523、「佐渡丸」に収容、101は対馬琴村の茂木海岸上陸)18名死亡
- 1905年5月28日 13:00|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>22:00、音羽隊の砲撃によりロシア帝国巡洋艦「スヴェトローナ」は運動の自由を失い蛇行始めるが、勇戦し巡洋艦「音羽」に戦死4・負傷19の損害を与える
- 1905年5月28日 14:05|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>23:06、「音羽」「新高」の攻撃でロシア帝国巡洋艦「スヴェトローナ」沈没(死者170・救出291)/駆逐艦「フイストル」は「新高」と駆逐艦「業雲」に追われ逃走をあきらめて朝鮮半島沖に朝鮮海岸に座礁させ乗員脱出後に爆破処分
- 1905年5月28日 14:30|日本海/ロシア/日本| ||明治38年;ロシア暦5月15日|<日露戦争・日本海海戦>「トミリー・ドンスコイ」は深夜に退艦・自沈、翌朝日本側が放棄された艦を発見して捕獲作業に入る前に沈没
- 1905年5月29日-01:00|セルビア| ||<就任>セルビア王国閣僚評議会議長「リュボ・ミル・スタヤノヴィッチ」(~19060314)
- 1905年5月29日 01:00|中国/ロシア| ||明治38年|輸送船「スグィーリ」は上海へ入港して清に抑留された
- 1905年5月30日-09:00|日本| ||明治38年|石川啄木(19)・節子、結婚式。啄木の帰郷間に合わず節子のみのみ式
- 1905年5月30日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第175号「臨時台港戸口調査ニ関スル職員ノ件」公布
- 1905年5月30日 01:00|中国/ロシア| ||明治38年|水雷母艦「コレヤ」は上海へ入港して清に抑留された
- 1905年5月31日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第176号「臨時博覧会事務局官制廃止ノ件」施行(30日公布)
- 1905年5月31日-09:00|日本|北海道勇払郡占冠村|明治38年|<分離>北海道勇払郡辺富内村を分離独立→占冠村
- 1905年6月-09:00|日本| ||明治38年|<完成>岡倉天心「六角堂」(五浦)
- 1905年6月-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>月刊「家庭教育絵ばなし」最初の子供向き絵本
- 1905年6月-09:00|日本|日本郵船|明治38年|日本郵船が横濱北清線開始
- 1905年6月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル・ギニア総督代行「ホセ・マテウス・ラパ・ヴァレンテ」(3回目~19060213)
- 1905年6月 04:30|ベネチア| ||カストロがベネチア大統領に再選される
- 1905年6月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武9年|大韓帝国が「貨幣条例」を実施
- 1905年6月1日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第011号「塩専売法」<塩を専売とする>施行(0101公布);明治38年勅令第161号「花菱検査規則」施行(0515公布);明治38年勅令第173号「海軍軍属文官従軍服制」施行(0529公布)
- 1905年6月1日-09:00|日本|甲府電車軌道|明治38年|山梨馬車鉄道[石和-富士川河岸][八日町-甲府停車場前]→山梨軽便鉄道/路線譲渡
- 1905年6月1日-09:00|日本|八十二銀行|明治38年|(株)高井銀行,(株)六十三銀行に合併
- 1905年6月1日-09:00|日本|三菱UFJフィナンシャル・グループ|明治38年|(株)堀川銀行,名古屋銀行に買収、内海銀行に改称し事業継続
- 1905年6月1日 06:00|アメリカ| ||「ルイスーク100年記念万国博覧会」開催(~10月15日)[会場]ポートランド(アメリカ)/オレゴン州探検100年記念、民間(日本参加)
- 1905年6月2日-09:00|日本| ||明治38年|神田YMCAにて、楽苑会第1回公演が、小松耕輔作詞作曲のホウラ「羽衣」(日本初の創作ホウラ)、山田源一郎作曲のカタケタ「都良香」を演目としてスタート
- 1905年6月2日 05:40|日本| ||明治38年|14時39分頃、M7.3の芸予地震起こる、死者11名、家屋全潰50戸、同半潰98戸
- 1905年6月3日-09:00|日本|JR九州香椎線|明治38年|博多湾鉄道[須恵-新原]延伸→[西戸崎~新原]開業
- 1905年6月3日-09:00|日本|都電江東橋線|明治38年|東京市街鉄道[元町(>1907頃、廃止>1908頃、東両国>1915頃、両国停車場>両国駅前>1929頃、国技館前)-松坂町二丁目東両国方向のみ(>1908頃、廃止)-小泉町亀沢町方向のみ(>1908頃、小泉町>1909頃、廃止)-(1912相生町)-相生町三丁目-亀沢町一丁目(>1908頃、廃止)-(>1908頃、亀沢町)]間開業
- 1905年6月3日-09:00|日本|都電業平線|明治38年|東京市街鉄道[(1908頃、亀沢町)-亀沢町(>1907頃、亀沢町車庫前>廃止>1913頃、車庫前>1917廃止)]間開業
- 1905年6月3日-09:00|日本|都電両国橋線|明治38年|東京市街鉄道(街鉄)[両国-元町(>東両国>両国停車場前>両国駅前>国技館前)]間開業→[小川町-元町]
- 1905年6月3日-09:00|日本|兵庫県姫路市|明治38年|<死去>小笠原貞孚(56歳)元播磨安志藩主・知藩事
- 1905年6月3日-08:00|フィリピン/ロシア/アメリカ| ||一等巡洋艦「オレク」、同「アウローラ」、二等巡洋艦「ジエムチュク」はマニラへ入港してアメリカに抑留された
- 1905年6月3日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍タビュク級砲艦PG-17「タビュク」(1084t;Gas Engine & Power Co. & Charles L. Seabury & Co.;⇒1919年、艦種を雑役艦第6号AG-6に改める)
- 1905年6月4日-08:00|中国/ロシア/イギリス| ||駆逐艦「ボートル」はイギリス船に曳航を依頼して上海へ入港し清に抑留された
- 1905年6月5日-09:00|日本| ||明治38年|九条信用組合
- 1905年6月5日-09:00|日本/ロシア| ||明治38年|元ロシア汽船「スガリ」を「松江丸」と命名
- 1905年6月6日-09:00|日本/ロシア| ||明治38年|ロシア帝国海軍艦隊装甲艦「アリョー」日本艦隊に編入され、戦艦「石見」と命名(1912年8月28日、一等海防艦に類別変更→1923年5月9日、武装撤去後に雑役船に編入され標的船に指定)

1906迄 (2431件)

- ;ロシア海軍海防戦艦「アドミラル・セニャーグ・イン」(1896年、ロシアのアドミラルチスキ工廠で竣工)を艦籍に編入、二等海防艦「見島」となった(1922041日、特務艇(潜水艇母艇)とされる);ロシア海軍海防戦艦「ゲネラル・アドミラル・アブラムツィン」(1899年、ロシアのセント・ピートルスブルク造船廠でロシア海防戦艦として竣工)を編入、日本海軍海防艦「沖島」就役;ロシア海軍駆逐艦「ベドレーイ」(350トン、1903年、ロシア・ペテルブルクにあるヴルスキー造船所で竣工)日本海軍に編入「皐月」と命名;ロシア帝国海軍艦隊装甲艦「インペラトル・ニコライ1世」戦列艦(二等戦艦)として日本艦隊に編入戦艦「壱岐」と命名(1212、海防艦に類別)
- 1905年6月6日-09:00|日本|千葉銀行|明治38年|<合併>(株)正信銀行[千葉県市原郡平三村]⇒(株)小草畑銀行
- 1905年6月7日-09:00|日本| ||明治38年|<死去>岸田吟香(73歳)新聞記者、実業家、教育者
- 1905年6月7日-09:00|日本| ||明治36年|<死去>岸田吟香、新聞記者・実業家・教育家(生年1833年)
- 1905年6月7日-01:00|ノルウェー| ||<即位>ノルウェー国王「ヒーター・クリスチャン・ヘルスラブ・ミヒェルン(王権を行使する首相)」スウェーデンとの同君連合終了(~11.25)
- 1905年6月7日-01:00|ドイツ| ||ドイツで芸術家集団「ブリュック」が結成
- 1905年6月8日-01:00|ドイツ| ||<死去>ホーエンツォレルン=ジグマリンゲン侯「レオリンルト」
- 1905年6月8日-01:00|ドイツ| ||<就任>ホーエンツォレルン=ジグマリンゲン侯「William」(~19271002死去)
- 1905年6月8日-01:00|フランス| ||フランス、ホワゾン兄弟はアルシュテック注文のフロートをつけた水上グライダーをセヌ河に浮かべてモーターフロートで曳航する実験を行い150mの飛行に成功
- 1905年6月9日-09:00|日本| ||明治36年|歌舞伎座で北村季晴原曲「露営の夢」を上演(慶応ウグ 礼合唱団も出演)
- 1905年6月9日-04:00|ロシア| ||ロシア各地で反乱・暴動起きる(ロシア第一革命の始まり)
- 1905年6月9日 00:00|イギリス| ||<ゴルフ>第45回全英オープン選手権優勝:ジェームズ・ブレイト(2回目)(スコットランド/318)
- 1905年6月9日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| ||<就任>サンピエール島・ミクロン島総督「Gabriel Angoulvant」(~19060512)
- 1905年6月10日-09:00|日本| ||明治38年|無我苑から他力主義利他主義を理想に掲げる宗教雑誌「無我の愛」創刊
- 1905年6月11日 06:00|アメリカ| ||アメリカのペンシルバニア鉄道が、ニューヨークとシカゴ間を18時間で走る列車の運行を開始
- 1905年6月12日-09:00|日本/台湾|商船三井|明治38年|<運航開始>大阪商船:沖縄経由大阪基隆線
- 1905年6月12日-04:00|ロシア| ||ロシア帝国海軍艦隊装甲艦「スラヴァ」(15275t)サンクトペテルブルクのバルト工廠で竣工(1907年9月27日、類別を艦隊装甲艦から戦列艦に変更)
- 1905年6月14日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍砲艦「天城」除籍
- 1905年6月14日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第178号「保管金規則ヲ台湾ニ施行スル件」公布
- 1905年6月15日-09:00|日本| ||明治38年|大日本帝国海軍巡洋艦「高砂」除籍
- 1905年6月15日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第180号「明治三十六年勅令第二号(警視庁ニ臨時防疫職員ヲ置ク件)中改正追加ノ件」公布
- 1905年6月15日-09:00|日本|JR東日本奥羽本線|明治38年|官営奥羽北線[横手-飯詰-大曲]間延伸→[横手-青森]開業
- 1905年6月15日-01:00|ナミビア/ドイツ| ||(~17)15日から3日間ナミビアで戦いがあった/マレンゴとヘントリックの連合軍とドイツ軍でドイツ側に損害が多数でた
- 1905年6月18日-08:00|台湾| ||台湾の暴風雨に倒潰家屋約3600戸、半潰3500戸、流失船数十隻
- 1905年6月18日-01:00|スウェーデン| ||<死去>ペーテル・テオドール・クレベ、スウェーデンの化学者・地質学者(生年1840年)
- 1905年6月18日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国首相「ゲザ・バロフエジエルグアリー・コムロス・ケルシュティ」(~19060408)
- 1905年6月18日-01:00|ポーランド| ||ポーランドで国民労働者同盟が発足
- 1905年6月19日-09:00|日本| ||明治38年|旧対露同志会、講和問題同志聯合会を組織
- 1905年6月20日-09:00|日本| ||明治38年|大阪堀江の貸座敷経営者中川万次郎が、家族や抱え芸妓・妻吉ら六人を殺傷(妻吉事件)
- 1905年6月20日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第181号「血清、痘苗、「ツベルクリン」及治療液代価納付ニ関スル件」公布施行
- 1905年6月20日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第182号「関税法施行規則第七十九条中改正ノ件」公布
- 1905年6月20日-09:00|日本| ||明治38年|「中学世界」に竹久夢二の投稿挿絵「筒井筒」掲載/夢二署名画の初め
- 1905年6月20日-05:30|インド| ||<就任>ベンジャミン・ラッセル(タークル)「プラン・チャンド」(~19390604没)
- 1905年6月21日-09:00|日本| ||明治38年|北越水力電気株式会社設立
- 1905年6月21日 06:00|アメリカ| ||シカゴで世界産業労働者連盟(IWW)が結成
- 1905年6月22日-05:30|インド| ||<就任>ハンガリー王国統治者(ナワブ)「ケラム・アリ・カーン3世」(~19220122没)
- 1905年6月22日-05:00|日本| ||明治38年|未明、大阪の堀江遊郭「山海楼」主人・中川萬次郎が発狂し家族6人を殺傷(5人死亡)
- 1905年6月22日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「デミトリオス・ケルギオウ・リス」(3回目~12.21)
- 1905年6月22日-02:00|ブルガリア/セルビア| ||セルビアがブルガリアと関税同盟を結ぶ
- 1905年6月23日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Eugenio Montero Rios[自由党](~19051201)
- 1905年6月23日 06:00|アメリカ| ||ライトライナー3号が初飛行
- 1905年6月24日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武9年|韓国政府、国庫証券条例を公布/日本第一銀行から2百万円の短期国債を発行させる
- 1905年6月24日 06:00|アメリカ| ||<テニス>第25回全米選手権混合ダブルス優勝:オーガスタ・シュルツ&クラレンス・ホバート
- 1905年6月24日 06:00|アメリカ| ||<テニス>第25回全米選手権女子シングルス優勝:エリザベス・ムーア
- 1905年6月24日 06:00|アメリカ| ||<テニス>第25回全米選手権女子ダブルス優勝:ヘレン・ホーマン&キャリー・ニロー
- 1905年6月25日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>大日本少女会「日本の少女」6月号

1906迄 (2431件)

- 募集=関ル件 (明三八勅一九四)ニ依リ英国倫敦北米合衆国紐育及独逸国ニ於テ募集ル公債ニ関ル件各公布
- 1905年7月8日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・樺太の戦い>日本軍はコルコフ(日本名:大泊)を占領
- 1905年7月8日 00:00|イギリス/アメリカ| ||<テニス>第29回ウィンブルドン選手権女子シングルス優勝:メイ・サットン
- 1905年7月8日 00:00|イギリス| ||<テニス>第29回ウィンブルドン選手権男子シングルス優勝:ローレンス・ド・ハティ
- 1905年7月8日 00:00|イギリス| ||<テニス>第29回ウィンブルドン選手権男子ダブルス優勝:ローレンス・ド・ハティ&レジナルド・ド・ハティ
- 1905年7月9日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王領カリヤ諸島市民知事「Juan Saenz Marquina」(2期目~19060129)
- 1905年7月10日-09:00|日本|阪神本線|明治38年|阪神電気鉄道本線:旭通駅廃止
- 1905年7月10日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・樺太の戦い>日本軍はウラジミロフカ(日本名:豊原市-北豊原駅付近・現在のロシア名:ユズノハリンスク)を占領
- 1905年7月10日-02:00|ルーマニア/ロシア| ||ロシア暦:1905/6/27|ルーマニアはロシアへ戦艦「ホ・チョムキン=ヴァリチエスキー公」を返還
- 1905年7月12日-09:00|日本| ||明治38年|<解散>(株)東肥銀行[熊本]
- 1905年7月12日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第196号「陸軍戦時服服制」陸軍軍服服制」公布
- 1905年7月12日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・樺太の戦い>ウラジミロフカ西方のダリ村(日本名:豊原市西久保)付近の林で、日本軍はロシア軍主力を撃破し、捕虜200人を得た/日本軍は19人が戦死し、58人が負傷
- 1905年7月12日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「A. N. ロバート」(2期目~10. 29)
- 1905年7月14日-09:00|日本| ||明治38年|拿捕船「Kotic」を日本海軍汽船「北洋丸」と命名
- 1905年7月15日-09:00|日本| ||明治38年|詩歌集『夏姫』三木露風
- 1905年7月15日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍神風型駆逐艦「潮」(450t)呉海軍工廠で竣工
- 1905年7月15日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治38年|農商務省の示唆により紡績業者、棉花栽培協会設立/韓国における綿花栽培を推進、みずからも農場を経営(1912年解散)
- 1905年7月15日-09:00|日本| ||明治38年|棉花栽培協会設立
- 1905年7月15日-09:00|日本|東武伊勢崎線|明治38年|東武鉄道伊勢崎線:堀切駅休止
- 1905年7月16日-09:00|日本| ||明治38年|金刀比羅宮宝物館(香川県)完成<設計久留正道>
- 1905年7月16日-09:00|日本|東武伊勢崎線|明治38年|東武鉄道伊勢崎線:白髭駅休止
- 1905年7月16日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・樺太の戦い>コルコフ方面司令官アルチェフスキー大佐が日本軍に降伏
- 1905年7月17日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第197号「農商務省官制中改正加除ノ件」公布
- 1905年7月17日-03:00|サウジアラビア| ||<死去>メッカ・シャリフ「アウン・アル=ラフィーク・ハッシャ・イブン・ムハンマド」
- 1905年7月17日 13:00|日本|鹿児島県|明治38年|<明治38年7月鹿児島県がオ漁船ふたたび集団遭難>朝、宇治群島(薩摩半島・南さつま市沖合70km)付近で、川辺郡内の多数のオ漁船が操業中、10艘が暴風により帆柱を叩き折られて沈没、264人が死亡/そのうち枕崎の漁船が3艘沈没し77人死亡、坊泊の漁船は4艘が破壊沈没し115人死亡
- 1905年7月18日-09:00|日本| ||明治38年|<開館>金刀比羅宮宝物館(1号館)<設計:久留正道>
- 1905年7月18日-09:00|日本|都電厩橋線|明治38年|東京市街鉄道[上野広小路-御徒町-西町]間、[小島町-北三筋町(>1908頃、三筋町)-栄久町-新福富町-厩橋-外出町]間開業
- 1905年7月18日-09:00|日本|都電業平線|明治38年|東京市街鉄道[亀沢町(>1907頃、亀沢町車庫前)廃止>1913頃、車庫前>1917廃止]-本所割下水-石原町-外手町]間開業→[(1908頃、亀沢町)-外手町]
- 1905年7月18日 00:00|イギリス| ||<死去>7代ケハ-伯「フランス・トマス・ド・グレイ・ケハ-」廃絶
- 1905年7月18日 00:00|イギリス| ||イギリス海軍偵察巡洋艦「ハ・スフィンダ-」(2940トン)竣工就役
- 1905年7月19日-09:00|日本|磐城炭礦軌道線|明治38年|磐城炭礦軌道線[湯本-(関船)-(下船尾)-野田-(住吉)-大原-(大根)-(柘形)-小名浜-小名浜派出所]9. 7km開業
- 1905年7月20日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治38年|韓国の反日義兵、忠清道、江原道などで決起
- 1905年7月20日-09:00|日本|常陽銀行|明治38年|<設立>(株)大子銀行[茨城]
- 1905年7月20日-09:00|日本|三菱重工業|明治38年|<創立>「神戸三菱造船所」
- 1905年7月20日-05:30|インド/イギリス| ||イギリスのインド総督ジョージ・カーゾンが、ベンガル州を東西に分割するベンガル分割令を公布
- 1905年7月21日-09:00|日本| ||明治38年|<開館>日光美術館
- 1905年7月21日-09:00|日本| ||明治38年|<任意解散>(株)常盤銀行[愛媛県東宇和郡笠置村]
- 1905年7月21日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第198号「陸軍補充兵ヲ以下士ニ補充シ及雑卒ヲ兵卒ト為スノ件」公布施行
- 1905年7月21日-09:00|日本|JR九州香椎線|明治38年|博多湾鉄道:酒殿駅閉鎖
- 1905年7月21日-01:00|イタリア| ||イタリアのアルメロ・ダ・スカによって造られたイタリア最初の半硬式飛行船、Aeronave Italiaが飛行
- 1905年7月21日 00:00|セネガル/ベナン/ブルキナファソ/コートジボワール/ギニア/マリ/モリタニア/ニジェール/フランス| ||<就任>フランス領西アフリカ総督代行「マルシャル・アンリ・マラン」(~11. 5)
- 1905年7月21日 12:00|アメリカ| ||朝、サン・デイエゴ湾内でアメリカ海軍ヨークタウン級砲艦PG4「ベニントン」(1710t)ボイラーの爆発事故により着底し乗員60名が死亡
- 1905年7月22日-09:00|日本| ||明治38年|鹿児島島のサコ採集船や鰹漁船が暴風雨で遭難し、350人余りが行方不明になる
- 1905年7月22日-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド総督代行「統治評議会:インドのゴア及びプリアス大司教アントニオ・セバステアノ・ヴァレンテ(9回目)/アルフレド・アウグスト・デ・メントンサ・ダ・ビデ/ホセ・エミリオ・デ・サンタ・タ・ケニャ・カステル・ブランコ/

1906迄 (2431件)

- フランスコ・マリア・ペ・イシヨト・ガ・エイラ(1回目) (~11. 8)
- 1905年7月22日 06:00|ベリス/イギリス| ||<就任>イギリス領ホンジュラス総督「ハリー・ユージーン・ウォルター・ゲラント」(~8. 7)
- 1905年7月24日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍假裝巡洋艦「亞米利加丸」除籍(8月29日, 解傭)→東洋汽船
- 1905年7月24日-09:00|日本|山陰合同銀行|明治38年|<改称>(資)東京勸業銀行⇒(資)第三十八銀行
- 1905年7月24日-09:00|日本|横浜市電本牧線|明治38年|横浜電気鉄道本牧線[大江橋(>横浜停車場前)桜木町駅前)-尾上町五丁目(>真砂町五丁目)真砂町四丁目)尾上町五丁目)-尾上町三丁目西行(>1928頃、廃止)-尾上町一丁目西行(>1928頃、廃止)-真砂町(>1940頃、真砂町一丁目)市役所前>1950以降、横浜公園前>1959頃、市庁前)-港橋(>1928頃、廃止)-花園橋-吉浜橋-西ノ橋(>元町五丁目>元町)]間開通, 18両の車台で運転
- 1905年7月24日-01:00|ドイツ/ロシア| ||<ウイリヘルム2世とニコライ2世が独露同盟条約に調印(23日)するが、両国政府の反対により破棄される
- 1905年7月24日 13:00|ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・樺太の戦い>日本軍は北樺太アレクサンドロフ(日本名:落石-オッチ)附近に上陸、ロシア軍はわずかに抵抗を示しつつも、島の深奥部へ退却したため、日本軍はその日の夕方にはアレクサンドロフを占領
- 1905年7月26日-09:00|日本|秋田県秋田市|明治38年|秋田市役所が全焼
- 1905年7月27日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・樺太の戦い>日本軍は北樺太ルコフ占領
- 1905年7月27日 00:00|トゴ/ドイツ| ||<就任>ドイツ保護国トゴランド知事「ヨハン・ヘルム・フェリクス・ジュリアス・グラーフ・フォン・ゼック・アウ・ノイフェン」(~19101107)
- 1905年7月28日-09:00|日本| ||明治38年|工業所有権保護協会の発会式
- 1905年7月28日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|<就任>唐風戸庁長官(知事)「熊谷喜一郎」(~19070331)
- 1905年7月29日-09:00|日本/台湾| ||明治38年|(台湾)律令9号「民事訴訟特別手続」、律令10号「刑事訴訟特別手続」<①検察官は、非現行犯事件でも急速を要すると思料するときは公訴提起前に限り勾引状を発することができる②さらに禁錮以上の刑に該当すると思料するときは勾留状を発し、又は検証・差押え・搜索をなすことができる③法院は公判開廷前でも職権をもって証人・鑑定人の呼出を決定できる④被告人等からの受書が提出され、又は口頭での出頭命令がなされたときには、召喚状又は呼出状を発したのと同1の効力を生じる⑤弁護人による上訴を禁止>
- 1905年7月29日-09:00|日本/アメリカ| ||明治38年|日米、桂・タフト秘密協定締結/日本の韓国支配と米のフィリピン支配を承認
- 1905年7月29日-04:00|レニオン/フランス| ||<就任>レニオン知事代理「Fernand Ernest Therond」(~19060830)
- 1905年7月30日-09:00|日本| ||明治38年|<移転増築>神苑会「神宮農業館」[三重県伊勢倉田山へ]
- 1905年7月30日-09:00|日本/台湾| ||明治38年|東京で孫文を中心とする中国革命同盟会結成
- 1905年7月30日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍春雨型駆逐艦「有明」(375トン)横須賀造船廠で竣工
- 1905年7月31日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍第一型「第一潜水艇」(124トン)アメリカの電気リック・ボート社で建造後分解して輸入、横須賀工廠にて竣工
- 1905年7月31日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第199号「捕獲審検令第三条中改正ノ件」公布
- 1905年7月31日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|<日露戦争・樺太の戦い>南樺太のロシア軍長官リャブノフ中将は降伏/日本軍、樺太を占領
- 1905年7月31日-01:00|オーストリア/ハンガリー| ||オーストリア=ハンガリー帝国海軍装甲巡洋艦「ザンクト・ゲオルク」(8069トン)ボロ造船所で竣工就役(1917年5月15日、カッタ軍港で士官用の居住施設として使用→1920年、イタリアに回航されタンクにて解体処分)
- 1905年8月-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>「備後時事新報」
- 1905年8月-09:00|日本| ||明治38年|石原産業海運貨物船「金泉丸」(4717G/T)進水
- 1905年8月-03:00|イェメン/トルコ| ||<就任>オスマン帝国イェメン・ウリス(総督)「Ahmed Fevzi Pasha」(3期目~1908. 10)
- 1905年8月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>アレクホ・ワリス(総督)「Mehemet Nazim Pasha」(~1906. 9)
- 1905年8月1日-09:00|日本| ||明治38年|日比谷公園音楽堂が開堂
- 1905年8月1日-09:00|日本|秋田県秋田市|明治38年|<編入>秋田駅所在地及び周辺、南秋田郡寺内村の一部<八橋字一里塚の一部>旭川村の一部<泉字馬場・字新堰・字反町・保戸野字原ノ町・手形字山崎>、広山田村の一部<楢山字観音前・字長沼・字宮田・字愛宕下>を編入→秋田市
- 1905年8月1日-01:00|ジブラルタル/イギリス| ||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「フレデリック・ウィリアム・エドワード・フォレストナー」(~19100730)
- 1905年8月1日 06:00|アメリカ| ||アメリカ海軍防護巡洋艦(3代)「テトロイト」退役
- 1905年8月2日-01:00|スウェーデン| ||<就任>第11代スウェーデン首相クリスチャン・ルンデバーク(~19051107)
- 1905年8月3日-01:00|ナイジェリア/イギリス| ||<就任>南ナイジェリア保護区高等弁務官代理「フレデリック・セトン ジェームズ」(~9. 27)
- 1905年8月4日-09:00|日本|三重交通神都線|明治38年|伊勢電気鉄道[山田(>山田駅前)-外宮前]間0. 3km延伸→[山田-二見]開業
- 1905年8月4日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヴァルター・フリンク、ドイツの細胞学者(生年1843年)
- 1905年8月4日-01:00|ドイツ| ||ドイツの細菌学者ヴァルター・フリンク没(1843. 4. 21~)細胞を染色法で染め、分裂過程を詳細に研究した
- 1905年8月5日-01:00|ガボン/フランス| ||<就任>フランス領ガボン植民地副総督代行「アルフレッド・ルイ・フルー」(~19060427)
- 1905年8月5日 00:00|イギリス| ||ウェルズのアーネスト・ウィロズが製作した半硬式飛行船、ウィロズ No. 1初飛行
- 1905年8月7日 06:00|ベリス/イギリス| ||<就任>イギリス領ホンジュラス総督代行「フィリップ・クラーク・ヨーク」(2回目~10. 18)
- 1905年8月8日-09:00|日本| ||明治38年|<創業>藤井元治郎「藤井パン」(→1947. 4新店舗「トック」開業)

1906迄 (2431件)

- 1905年8月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>フランツ・ルロー、ベルリン工科大学学長・技術者(生年1829年)
- 1905年8月8日 13:00|日本|鹿児島県|明治38年|<明治38年8月台風>五島列島の南西に位置する男女群島付近で操業中の、長崎県富江町などのサコ採取船とカサ漁船が、台風が五島列島西方海上を通過した際、暴風雨による激しい海のうねりを受け沈没、100余人が犠牲となった。同県下では、長崎半島近海洋上の高島炭鉱の職員住宅などが被害を受けるなど、全県下で相当な被害(304人死亡)があった/佐賀県では九州鉄道長崎線の客車7両、貨車5両編成の列車が、17時ごろ、武雄駅手前、約2.2kmの西谷峠で、突風にあおられ客車5両、貨車3両が谷底に転落、残る客車2両も線路脇に横転し1人が死亡、42人が重軽傷(1人は病院収容後翌日死亡)を負った。18時ごろには、同鉄道唐津線相知駅付近でも暴風雨により客車3両が横転、3人が重軽傷を負うなど、全県下で46人が死亡
- 1905年8月9日-09:00|日本/フランス| ||明治38年|<日本公開>月世界旅行(フランス1902年9月1日)製作・監督・脚本:ジュール・メリエ
- 1905年8月9日-09:00|日本|栃木県大田原市|明治38年|<死去>大関増勤(57歳)元下野黒羽藩主・知藩事
- 1905年8月10日 00:00|イギリス| |||イングランドでクリスタルパレスFC創立
- 1905年8月11日 00:00|イギリス| |||イギリスで外国人移民規制法と失業労働者法が成立
- 1905年8月12日-09:00|日本| ||明治38年|旧パノラマ館跡の難波パノラマ館開館
- 1905年8月12日-09:00|日本/イギリス| ||明治38年|第2回日英同盟協約調印,即日実施(9月27日公布)/英のインド領有・国境防衛措置承認。日本の朝鮮「指導・監理及保護」承認(韓国の保護国化を認める)。日英軍事「攻守同盟」関係
- 1905年8月12日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第200号「明治三十七年勅令第二百三十二号(臨時金鉱調査ノメ大蔵省ニ職員ヲ置ク件)廃止ノ件」公布
- 1905年8月12日-09:00|日本|都電牛込線|明治38年|東京電気鉄道[四谷見附-本村町-市ヶ谷見附-新見附-逢坂下-神楽坂(>1907頃、牛込見附)]延伸→[四谷見附-飯田橋]
- 1905年8月13日-04:00|ロシア| ||ロシア暦8月23日;明治38年|全ロシア農民同盟の創立大会
- 1905年8月14日-09:00|日本/中国|商船三井|明治38年|<運航開始>大阪商船:大阪安東県線
- 1905年8月16日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍神風型駆逐艦「神風」(450t)横須賀海軍工廠で竣工
- 1905年8月17日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国首相「テオドル・ハーマン・デ・ミスター」(~19080212)
- 1905年8月17日-01:00|コンゴ共和国/ガボン/フランス| |||<就任>フランス領中央コンゴ長官代行「エドゥアル・エミール・レオン・テル」(~19060511)
- 1905年8月18日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第201号「政府ニ於テ産業組合ヨリ物品ノ買入ヲ為ストク随意契約ニ依ルコトヲ得ルノ件」公布
- 1905年8月18日-09:00|日本|中央大学|明治38年|東京法学院大学が、中央大学と改称
- 1905年8月19日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|樺太開拓のために内務省下に樺太民政署設置、本庁をアレクサンドロフク、支所をコルコフ(大泊町)に設置
- 1905年8月19日-04:00|ロシア| ||ロシア暦8月6日|ロシア、国会設置法公布
- 1905年8月19日-02:00|イギリス| |||<死去>イギリス保護領バスターント大酋長「ロトリ・レツィー」
- 1905年8月19日-01:00|フランス| |||<死去>ウィリアム・アトルフ・ブゲロー、フランスの画家(生年1825年)
- 1905年8月19日-01:00|ナミビア/ドイツ| |||<就任>ドイツ領南西アフリカ王領植民地総督代行「エドゥアール・デ・トリッヒ・ローター・フォン・トロット」(~11月)
- 1905年8月20日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治38年|韓国の元容八、義兵蜂起(忠北・永春)
- 1905年8月20日-09:00|日本/中国| ||明治38年|孫文ら、東京で中国革命同盟会結成、興中会・光復会等が大団団結
- 1905年8月20日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|露防護巡洋艦「ワリヤグ」浮上し日本艦籍に編入、巡洋艦「宗谷」と命名
- 1905年8月21日-09:00|日本/ロシア|日本郵船|明治38年|日本郵船が函館大泊(コルコフ)線開始(田子浦丸)
- 1905年8月21日-02:00|イギリス| |||<就任>イギリス保護領バスターント大酋長「ルイ2世ロトリ」(~19130128没)
- 1905年8月22日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍神風型駆逐艦「初霜」(450t)横須賀海軍工廠で竣工
- 1905年8月22日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|ロシア帝国海軍「ペリスグイット」捕獲浮揚後、帝国軍艦籍に編入、戦艦「相模」となる(1912年8月28日、一等海防艦に艦種変更);ロシア帝国海軍装甲艦「ホルムガア」(1897年竣工,1898年就役)日本海軍に編入され一等戦艦「丹後」と改名(1912年8月28日、一等海防艦に艦種変更);ロシア帝国海軍防護巡洋艦「ヴァリヤグ」引き上げられ日本海軍の二等巡洋艦「宗谷」となる;ロシア帝国海軍防護巡洋艦「バルウタ」日本海軍籍に編入、二等巡洋艦「津軽」となる(1911年以降、機関術訓練艦として使用→19200401、敷設艦に類別変更→19220401、艦籍を除籍、雑役船となる);ロシア帝国巡洋艦「バヤン」戦利艦として日本艦籍に編入、巡洋艦「阿蘇」となる(19200401、敷設艦に類別変更)
- 1905年8月22日-01:00|中央アフリカ/フランス| |||<就任>ガボン・チャリ総督代行「ガクトル・エミール・ムル」(~19060216)
- 1905年8月22日 00:00|イギリス| |||イギリス海軍戦艦「ヒントウスタン」(16350トン)ジョン・ブラウン・アンド・カンパニーで竣工就役
- 1905年8月22日 01:15|日本/イギリス| ||明治38年|10時16分ごろ、大分県姫島沖で、軍用船「金城丸」がイギリス汽船「ハロウグ」と衝突し沈没/帰還兵155人が死亡
- 1905年8月24日-02:00|フィンランド| |||<初演>ジャン・シベリウス《嘆きななかれ、アルベルト・エデルフェルトの思い出》
- 1905年8月25日-09:00|日本| ||明治38年|<廃業>(個人)伊藤銀行[山梨]
- 1905年8月25日-09:00|日本| ||明治38年|山路愛山ら国家社会党結成
- 1905年8月26日-09:00|日本| ||明治38年|靱山書店創業(靱山仁三郎)。俳書堂を譲受け、その商号を用いて俳書出版、のち靱山書店名義で文学書発行
- 1905年8月27日-09:00|日本| ||明治38年|能登善吉「函館丸」釧路から宮古に向け航海中、陸中国大田名郡字門の

1906迄 (2431件)

沢岩礁に乗り上げ破壊、全損

- 1905年8月28日-09:00|日本| ||明治38年|弘道館創業(辻本卯蔵)《哲学雑誌》の発行発売を引受け、また学術書および中等教科書出版
- 1905年8月29日-05:30|インド| |||<就任>パキスタン国統治者(タル・サヒブ)「ハート・ウルジジ - マンジジ -」(~19480215)、摂政「ウィリアム・コートネイ・チュダ - オウエン」(1回目~19120117)
- 1905年8月29日-05:30|インド/イギリス| |||パキスタン国をイギリス領インドが統治(~19191127)
- 1905年8月31日 06:00|アメリカ| |||<テニス>第25回全米選手権男子シングルス優勝:ヒールズ・ライト
- 1905年8月31日 06:00|アメリカ| |||<テニス>第25回全米選手権男子ダブルス優勝:ルコム・ウォード & ヒールズ・ライト
- 1905年9月-09:30|オーストラリア| |||後のアメリカ合衆国大統領ハート・フーバーが、ブローケン・ヒルでジシク・コーポレーションを結成(後にコジシク・リファイント・オブ・オーストラリア社)
- 1905年9月-09:00|日本| ||明治38年|<運用開始>盛岡電気:宇津野発電所[岩手県]120KW(1973.7廃止)岩手県初の水力発電所
- 1905年9月-09:00|日本| ||明治38年|「戦友」詞・真下飛泉、曲・三善和氣(「学校及び家庭用言文一致叙事唱歌・戦績」で発表)[ここはおくにをなんびやくり]
- 1905年9月1日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>山田芸艸堂「京都美術」9月号
- 1905年9月1日-09:00|日本| ||明治38年|貨物船「沖ノ島丸」を「若宮丸」と正式命名、日本海軍運送船として使用
- 1905年9月1日-09:00|日本/ロシア| ||明治38年|日露両国、休戦議定書に調印(休戦)
- 1905年9月1日-09:00|日本|岡山県真庭市|明治38年|<合併>岡山県真庭郡[河陽村・大庭村]が合併→川東村;真庭郡[米来村・櫻野村]が合併→美和村
- 1905年9月1日-09:00|日本|神戸製鋼所|明治38年|合名会社鈴木商店の神戸製鋼所設立
- 1905年9月1日-09:00|日本|長崎大学|明治38年|長崎高等商業学校開校(0329設立)
- 1905年9月1日 05:00|エカトル| |||<就任>エカトル共和国大統領「リガルト・イ・ガルス」(~19060115)
- 1905年9月1日 06:00|カタール| |||アルバータとサスカチュワンの両州がカタール連邦に加入
- 1905年9月2日-09:00|日本/ロシア| ||明治38年|元ロシア帝国海軍駆逐艦「シールヌイ」(240トン;8月、旅順で引き上げ、整備)日本海軍山彦型駆逐艦「文月」と命名(引き続き竹敷にて改造整備、1909年就役)
- 1905年9月2日-08:00|中国| ||清・光緒31年|清朝が科挙廃止
- 1905年9月2日-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>エリザヴェトポリ県知事「アレクセイ・アレクセイエヴィチ・カラチエフ」(~1908年)
- 1905年9月2日 12:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ダビュク級級哨戒砲艦PG-18「パデューカ」(1084t;Gas Engine & Power Co. & Charles L. Seabury & Co.;⇒1919年、艦種を雑役艦第7号AG-7に改める)
- 1905年9月3日-05:30|インド| |||<就任>カンパラ国ラジャラム・チャンドラ・シン・マトルラージ・ブラマルハール・ライ」(~19221226)
- 1905年9月3日-01:00|ナミビア/ドイツ| |||アライスの戦いでコネリウスが敗北
- 1905年9月4日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第202号「政府ニ於テ建築工作其ノ他直接事業ニ要スル材料ニ関スル随意契約ノ件」公布
- 1905年9月5日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア国民防衛連盟の結成
- 1905年9月5日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>近事画報社「少年智識画報」9月号
- 1905年9月5日-09:00|日本| ||明治38年|山陽鐵道渡峽船「壹岐丸」(1681G/T)三菱合資会社三菱造船所(長崎)で竣工
- 1905年9月5日-09:00|日本| ||明治38年|東京・日比谷で講和反対国民大会開催、交番や新聞社など襲い暴動化(日比谷焼き打ち事件)/この騒動で群衆側死亡者13人、焼失した建物、警察署2、同分署6、派出所226、教会3、民家その他47、そのほか電車15両
- 1905年9月5日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍第一型「第二潜水艇」(124トン)「第三潜水艇」(124トン;米国エレクトリック・ボート社製)横須賀工廠で米国人技師の指導のもと組み立て完成
- 1905年9月5日 06:00|アメリカ/ロシア/日本| ||ロシア暦8月23日;明治38年|アメリカ合衆国ニューハンプシャー州ポーツマス近郊のメイン州にあるポーツマス海軍造船所において、日本全権小村寿太郎(外務大臣)とロシア全権セルゲイ・ウイッテの間で日露戦争の講和条約「ポーツマス条約」調印(翌月14日批准、16日公布、11月25日批准書交換)/日本の朝鮮半島に於ける優越権を認める/ロシアは樺太の北緯50度以南の領土を永久に日本へ譲渡/ロシアは東清鉄道の内、旅順-長春間の南満洲支線と、付属地の炭鉱の租借権を日本へ譲渡/ロシアは関東州(旅順・大連を含む遼東半島南端部)の租借権を日本へ譲渡/ロシアは沿海州沿岸の漁業権を日本人に与える
- 1905年9月5日 08:00|日本| ||明治38年|夕方、東京市内で警察官所2ヶ署焼打ち、事件は収束
- 1905年9月5日 11:00|日本| ||明治38年|夜は神戸で交番焼き打ちが起こる/10数名が検挙される
- 1905年9月6日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第205号「東京府内一定ノ地域ニ戒厳令中必要ノ規定ヲ適用スルノ件」、明治38年勅令第206号「新聞紙雑誌ノ取締ニ関スル件」、明治38年勅令第207号「東京府内一定ノ地域ニ戒厳令中必要ノ規定ヲ適用スルノ件(明三八勅二〇五)ノ施行ニ関スル件」各公布施行
- 1905年9月6日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第208号「乗馬兵科ノ者ヲテ憲兵ノ勤務ヲ補助セシムルノ件」各兵科ノ者ヲテ憲兵ノ勤務ヲ補助セシムルノ件」公布
- 1905年9月7日-09:00|日本| ||明治38年|「萬朝報」「都新聞」「東京二六新聞」「報知新聞」の4新聞発行停止
- 1905年9月8日-09:00|日本| ||明治38年|「日本新聞」「人民新聞」の2新聞発行停止
- 1905年9月9日-09:00|日本| ||明治38年|KGC(Kobe Golf Club)主催、神戸六甲山上コースで日本最初の婦人ゴルフ競技開催/出場者はすべて外国人だった
- 1905年9月9日-09:00|日本| ||明治38年|「東京朝日新聞」「京都朝報」「大阪日報」「大阪朝日新聞」の4新聞発行停止
- 1905年9月9日-01:00|イタリア| |||イタリアのカブリア地方で地震発生/数千人が死亡したと考えられる

1906迄 (2431件)

- 1905年9月10日-09:00|日本| ||明治38年|<刊行>火鞭会機関誌「火鞭」(~1906年5月(第9号)で終刊)後年のプロレタリア文学の先駆をなすもの
- 1905年9月10日-09:00|日本| ||明治38年|雑誌「直言」が発行停止
- 1905年9月10日-03:00|ジブチ/フランス| ||<就任>フランス領ソマリランド 総督代行「ルイ・オーギュスト・ベルラン・カリエール」(2回目~10.13)
- 1905年9月10日 06:00|アメリカ| ||<死去>ヒート・ブラウン、メジャーリーグ-(生年1861年)
- 1905年9月11日-09:00|日本/韓国|省線関釜航路|明治38年|<運航開始>山陽鉄道:関釜航路(貨客船「壱岐丸」(1681t, 三菱重工業長崎造船所)就航(→1906年, 逓信省(下関)に移籍→1909年, 大蔵省(下関→東京)に移籍)
- 1905年9月11日-07:30|日本| ||明治38年|大日本帝国海軍戦艦「三笠」佐世保港内で後部弾薬庫の爆発事故のため午前1時半ごろ沈没, 339名の死者を出した(19060808, 浮揚, 佐世保工廠で修理→19080424, 第1艦隊旗艦として現役に戻った→19210901, 一等海防艦)
- 1905年9月12日-09:00|日本| ||明治38年|夜は横浜で交番焼き打ちが起こる/93名が起訴される
- 1905年9月12日-09:00|日本| ||明治38年|「東京新聞」「山梨民報」の2新聞発行停止
- 1905年9月12日 03:00|スリナム/オランダ| ||<就任>オランダ領ギナジ総督代行「テ・イェー・ハント・リック・ハウエー」(~11.18)
- 1905年9月13日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>内外出版協会「中学文林」(木下祥真)
- 1905年9月13日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治38年|日韓航行自由協定書調印(日本が貿易独占)
- 1905年9月13日-09:00|日本|JR西日本美祿線|明治38年|山陽鉄道[厚狭-厚保-四郎ヶ原-伊佐-大嶺]19.63km開業
- 1905年9月13日 06:00|アメリカ| ||日露戦争中, 宗谷海峡で日本海軍が拿捕した米国「CENTENIAL」釈放後, 米国へ帰航中に消息不明
- 1905年9月14日-09:00|日本|JR東日本奥羽本線|明治38年|官営奥羽南線[湯沢-十文字-横手]間延伸→[福島-横手]間全通
- 1905年9月14日-01:00|イタリヤ| ||<死去>ピエール・ブラザ、フランスの探検家(生年1852年)
- 1905年9月15日-09:00|日本|都電溜池線|明治38年|東京電気鉄道[葵橋-溜池-山王下-赤阪見附-紀伊国坂(>1908廃止)>1918紀/国坂下)-学習院前(>1909四谷仲町)-四谷尾張町(>1908廃止)-四谷見附]開業
- 1905年9月15日-01:00|ハンガリー| ||ブダペストで普通選挙要求のストライキが起こる(血の金曜日)
- 1905年9月17日-11:00|ニュージャージー/フランス| ||<就任>ニュージャージー知事「Victor Theophile Liotard」(~19080318)
- 1905年9月17日-09:00|日本|都電厩橋線|明治38年|東京市街鉄道[西町-竹町-小島町]間延伸→[上野広小路-外出町]
- 1905年9月18日 00:00|イギリス| ||<死去>ジョージ・マクナルド、スコットランドの小説家・詩人・児童文学者(生年1824年)
- 1905年9月22日 06:00|アメリカ/イギリス| ||<ゴルフ>第11回全米オープン選手権優勝:ウィリアム・アンダーソン(4回目)(スコットランド/314)
- 1905年9月23日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍神風型駆逐艦「弥生」(381t)横須賀海軍工廠で竣工(19241201、雑役船に編入)
- 1905年9月24日-09:00|日本| ||明治38年|神戸六甲山上コースで、日本最初のゴルフ・クラブ「トライオン」競技開催
- 1905年9月24日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|ロシア海軍「レオ・イザン」帝国軍艦籍に編入、戦艦「肥前」となる(1921年9月1日、一等海防艦に艦種変更)
- 1905年9月25日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍雑役船「周防」解体完了、船体は呉港外三ツ子島の護岸用に沈置
- 1905年9月25日 07:00|メキシコ| ||マゴンラ、セントルイスでメキシコ自由党(PLM)を結成
- 1905年9月26日-09:00|日本| ||明治38年|<完成>徳島公園
- 1905年9月26日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>日本昆虫学会「昆虫學雑誌」9月号
- 1905年9月26日-09:00|日本| ||明治38年|天皇直属の機関である関東総督府が設置された。本部は遼陽に置かれた
- 1905年9月27日-09:00|日本|京都府南丹市|明治38年|<死去>小出英尚(57歳)元丹波園部藩主・知藩事
- 1905年9月27日-01:00|ドイツ| ||ドイツのアインシュタインの『特殊相対性理論』が掲載された書物が発行される/特殊相対性理論の第2論文で、有名なE=mc2を導く
- 1905年9月27日 00:00|イギリス/日本| ||明治38年|第二回日英同盟協約公布
- 1905年9月28日-01:00|ナイジェリア/イギリス| ||<就任>南ナイジェリア保護区高等弁務官代理「Widenham フランス・Widenham Fosbery」(~12.22)
- 1905年9月28日-01:00|フランス/ドイツ| ||ドイツ、フランスがモロッコ問題に関する協定に調印
- 1905年9月30日-04:00|ロシア| ||ロシア帝国海軍戦艦「ボチョムキン=タウリチスキ=公」は「ハンテレイモン」と改名
- 1905年10月-09:00|日本| ||明治38年|「一寸法師」詞・巖谷小波, 曲・田村虎蔵<尋常小学唱歌一の中>[ゆびにたりにないいっすんぼうし]
- 1905年10月-09:00|日本|商船三井|明治38年|大阪市石材運搬船「第一犬島丸」「第四犬島丸」三井物産船舶部(神戸)に売却、貨物船に改造
- 1905年10月-09:00|日本|商船三井|明治38年|大阪商船貨客船「大智丸」(1258G/T)大阪鐵工所櫻島造船場(大阪)で竣工(→1906年, 大阪天津線に就航)
- 1905年10月-09:00|日本/台湾|日本郵船|明治38年|日本郵船が横濱高雄線開始
- 1905年10月-08:00|ブルネイ/イギリス| ||<就任>イギリス保護領ブルネイ領事代行「マルコム・スチュワート・ハンニバル・マッカーサー」(2回目~12.5)
- 1905年10月-03:00|タンザニア| ||<就任>タンザニア第一大臣代行「アーサー・エドワード・ハリントン・ライクス」(⇒1906年, 第一大臣~1908.10)

1906迄 (2431件)

- 1905年10月-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッドのワシ「アブドゥルカドゥル・エフェンディ」(~1906年12月)
- 1905年10月-02:00|エストニア/ロシア| |||<就任>ロシア領エストニア総督代行「アレクサンドル・ニコラエヴィチ・ギルス」(2回目~12.31)
- 1905年10月-01:00|スペイン| |||<死去>スペイン領メリウ総督「Enrique Segura y Campoy」
- 1905年10月-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領スロベニア大統領「テオドール・フライヘル・シュヴァルツ・フォン・カステン」(~1916年5月)
- 1905年10月 06:00|アメリカ| |||ライト兄弟がライト フライヤー-3号で飛行時間は40分、飛行距離40kmに達した
- 1905年10月1日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍神風型駆逐艦「子日」(450t)呉海軍工廠で竣工
- 1905年10月1日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍第一型「第四潜水艇」「第五潜水艇」(124トン;米国エレクトリック・ボート社製)横須賀工廠で米国人技師の指導のもと組み立て完成
- 1905年10月1日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年法律第024号「古物商取締法中改正法律」、明治38年法律第025号「質屋取締法中改正法律」各施行(0224公布);明治38年勅令第210号「明治三十二年勅令第三百四十二号(開港及開港ニ於テ輸出入ノ貨物ノ指定ニ関スル件)中改正ノ件」施行(0921公布);明治38年勅令第211号「大蔵省臨時建築部官制」施行(0927公布)
- 1905年10月1日-09:00|日本|熊本県上益城郡嘉島町|明治38年|<合併>熊本県上益城郡[大川村・上島村]が合併→大島村
- 1905年10月1日-09:00|日本|徳島県三好市|明治38年|<町制施行>徳島県三好郡池田村→池田町
- 1905年10月1日-09:00|日本|広島県広島市|明治38年|広島県広島市東練兵場の第5師団および宇品貨物廠の倉庫27棟、焼失
- 1905年10月1日-03:00|ケニア/イギリス| |||<就任>イギリス保護領東アフリカ総督代行「フレデリック・ジョン・ジャクソン」(2回目~12.31)
- 1905年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オノリオ・ファットリ」「ピエールマテオ・カトニ」
- 1905年10月2日-09:00|日本|百五銀行|明治38年|<買収>(株)亀山銀行⇒(株)百五銀行
- 1905年10月3日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ暫定総督「Vicente Muniz Cuadrado」(2期目~同年)
- 1905年10月5日-09:00|日本| ||明治38年|二葉亭四迷(無署名)「ひとりごと」(「東京朝日」3回連載)桂の独白の形をとった諷刺を利かせた政治評論
- 1905年10月5日 06:00|アメリカ| |||初の30分以上の飛行/アメリカ、オービル・ライトの操縦するフライヤー-3号がオハイオ州デイトンで38分の飛行に成功
- 1905年10月6日-09:00|日本| ||明治38年|<発行>夏目漱石「吾輩は猫である」(上編)大倉書店・服部書店、定価95銭/ペスターに(雑誌「ホトギス」)に05年から06年に連載、大正年間に13万部以上)
- 1905年10月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>フェルディナント・フォン・リヒホフェン(72歳、1833.5.5生)ドイツの地理学者・探検家/現代地理学の発展に貢献
- 1905年10月6日-01:00|スイス| |||スイス中央銀行設立
- 1905年10月7日-05:30|イット| |||<就任>ケニヤ国統治者(ターケル)「ハーデフ・シン」(~19480415)
- 1905年10月8日-09:00|日本| ||明治38年|<死去>侯爵(公家)閑院流「菊亭修季」(49歳)⇒11月6日、長男「菊亭公長」が襲爵(⇒19440923、死去)
- 1905年10月8日-09:00|日本|JR北海道函館本線|明治38年|官設鉄道[朝里-銭函]間に張碓/駅新設
- 1905年10月8日-04:00|ロシア| ||ロシア暦9月25日|<開通>シベリア横断鉄道(ハイル迂回線)
- 1905年10月9日-09:00|日本| ||明治38年|平民社の解散「直言」廃刊
- 1905年10月9日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第214号「専売塩特別定債買渡及交付金下付規則中改正加除ノ件」公布
- 1905年10月9日-09:00|日本|八十二銀行|明治38年|<設立>(個人)高島銀行[長野]
- 1905年10月10日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍駆逐艦「雷」大湊港にて機関部が爆発事故を起こし、船体が断裂し着底(19131105、除籍)
- 1905年10月10日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第213号「憲兵条例第二十一条中改正ノ件」施行(6日公布);明治38年勅令第216号「明治二十八年勅令第四百十号(陸海軍人軍属公務ニ起因シ傷疾疾病再発ノ者官費治療ノ件)中削除ノ件」公布施行
- 1905年10月10日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第217号「海軍大学校条例中改正削除ノ件」公布
- 1905年10月10日-09:00|日本|徳島県阿南市|明治38年|<町制施行>徳島県那賀郡富岡村→富岡町
- 1905年10月11日-09:00|日本| ||明治38年|内田老鶴園新社を設立
- 1905年10月11日-09:00|日本|JR九州唐津線|明治38年|九州鉄道:妙見→西唐津(>1930以前、移設)/駅名改称
- 1905年10月11日-09:00|日本|都電溜池線|明治38年|東京電気鉄道[琴平宮前-葵橋]延伸→[琴平宮前-四谷見附]開業
- 1905年10月11日-09:00|日本|都電虎ノ門線|明治38年|東京市街鉄道霊南坂線[桜田町-霞ヶ関-琴平宮前-霊南坂]開業/1907休止
- 1905年10月11日-09:00|日本|都電蓬莱橋線|明治38年|東京電気鉄道外濠線[虎ノ門内(>1909霞ヶ関)-琴平宮前]延伸→[土橋(>1908廃止)-琴平宮前]開業
- 1905年10月12日-01:00|フランス| |||パリで国際航空連盟(FAI)が創設される
- 1905年10月13日-09:00|日本| ||明治38年|<刊行>上田敏役、詩集「海潮音」(本郷書院、1円)
- 1905年10月13日-03:00|ジブチ/フランス| |||<就任>フランス領マリランド 総督代行「ラファエル・アントネット」(~19060519)
- 1905年10月14日-09:00|日本| ||明治38年|作家・小島烏水ら、発起人となって「山岳会」を結成(1967年日本山岳会と改称)
- 1905年10月14日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アリ・ハッサン・イブン・アブドゥルアッラー」(~19081026)

1906迄 (2431件)

- 1905年10月15日-09:00|日本|東洋紡|明治38年|尾張紡績・名古屋紡績が、三重紡績に合併
- 1905年10月15日-08:00|台湾/日本|台鉄縦貫線|明治38年|台湾総督府鉄道縦貫線[田中央-二八水]延伸→[基隆~白公坑][葫蘆ト~大肚][彰化~二八水][濁水~打狗];[濁水-斗六]間に石榴班駅新設
- 1905年10月15日-01:00|フランス| |||初演>フランスの作曲家グロト・ド・ビュッシーの管弦楽曲、交響詩「海」(パリ、コンセルヴァトル・カミュ・シュヴイール指揮)
- 1905年10月16日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第219号「戒厳解止ノ件」公布
- 1905年10月16日-05:30|インド| |||インド総督カーゾンがベンガル分割令を施行し、ベンガル州と東ベンガル・アッサム州に分割される
- 1905年10月17日-09:00|日本| ||明治38年|日本基督教女子青年会(YWCA)が設立される/会長は津田梅子
- 1905年10月17日-08:00|中国/日本| ||明治38年|日本、遼陽に関東総督府設置/天皇に直属。関東州守備と民政の統轄。駐留兵は約1万
- 1905年10月17日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍セント・ルイス級防護巡洋艦C-22「(3代)チャールストン」(9700t, ニューポート・ニューズ・シップビルディング&ドライドック社)
- 1905年10月18日-09:30|オーストラリア| |||無線電信法により、郵政大臣に無線電信に対する権限が与えられた
- 1905年10月18日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>国工社「技藝之友」10月号
- 1905年10月18日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第220号「海軍下士卒ノ有ル証書、証状有効期限延期ノ件」公布
- 1905年10月18日-08:00|中国/日本| ||明治38年|<就任>第1代関東総督:大島義昌(~19060901)
- 1905年10月18日 06:00|ベリズ/イギリス| |||<就任>イギリス領ホンジュラス総督「エリック・ジョン・イーグルス・スウェイン卿」(19060813まで代行~1913年)
- 1905年10月19日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍山彦型駆逐艦「(2代)暁」を「山彦」と改名
- 1905年10月19日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍神風型駆逐艦「如月」(450t)横須賀海軍工廠で竣工
- 1905年10月19日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第221号「通信省部内ノ官吏ニシテ戦時ニ際シ所属部局以外ニ於テ臨時通信事務ニ従事シ又ハ陸海軍特設ノ事務ニ従事シタル者ノ復歸ニ関ル件」公布
- 1905年10月19日-09:00|日本|大阪ガス|明治38年|大阪瓦斯(株)開業
- 1905年10月20日-09:00|日本| ||明治38年|三井物産船船部貨物船「長白山丸」門司から室蘭に向けて航行中、荒天のため男鹿半島白碕の北西0.5哩沖の岩礁に乗り上げ破壊、横浜で競売処分
- 1905年10月20日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第222号「戦用食糧品ヲ陸軍各部隊ノ賄料ニ換給ルノ件」公布
- 1905年10月21日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第224号「糧秣交換ニ関ル随意契約ノ件」公布
- 1905年10月21日-09:00|日本|JR北海道根室本線|明治38年|官設鉄道釧路線[帯広-止若-利別]延伸→[滝川-落合][帯広-釧路]開業
- 1905年10月21日-04:00|ロシア/中国|満鉄営口線||東清鉄路南満支線[大石橋-営口]開業
- 1905年10月21日-04:00|ロシア/中国|満鉄旅順線||東清鉄路南満支線[臭水-営城子-旅順]開業→[臭水~旅順][南関嶺-夏家河子]
- 1905年10月21日-04:00|ロシア/中国|満鉄連京線||東清鉄路南満支線[大連-臭水-南関嶺-大房身-金州-三十里堡-普蘭店-瓦房店-得利寺-万家嶺-熊岳城-蓋平-大石橋-海城-鞍山站-遼陽-煙台-沙河-蘇家屯-奉天]開通
- 1905年10月22日-09:00|日本|ほくほくフィナンシャルグループ|明治38年|<改組改称>(個人)永守銀行[富山]⇒永守貯蓄銀行
- 1905年10月22日-08:00|フィリピン| |||<死去>アヤンダールサラム・ムタン「Dato Ali」王国はなくなる
- 1905年10月23日-08:00|中国| |||清国、1両銀貨本位制採用
- 1905年10月23日-04:00|ロシア| |||モスクワ労働者武装蜂起
- 1905年10月23日-02:00|ロシア| |||<就任>ケルラント総督「レオニド・ミハイロヴィッチ・クニャゼフ」(~19100723)
- 1905年10月23日 04:00|刊| |||刊で労働者暴動/死者550人
- 1905年10月24日-09:00|日本|静岡銀行|明治38年|<改称>(株)遠江貯蓄銀行[静岡県浜名郡浜松町]⇒(株)遠江銀行
- 1905年10月24日-01:00|ナミビア/ドイツ| |||(~25)ハルベ-ストムドの戦い/オランジェ川沿いハド・リフト近く。クリスチャンとマルンゴがドイツ人と戦いドイツ側損害は大きく、将校3人兵士14人が戦死
- 1905年10月25日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|ロシア帝国戦艦「ホビエタ」帝17日に浮揚、国軍艦籍に編入、戦艦「周防」となる(1912年8月28日、一等海防艦に艦種変更→1922年4月1日、除籍、雑役船に類別)
- 1905年10月25日-04:00|ロシア| |||ロシア、立憲民主党(カゲツト)結成
- 1905年10月25日-01:00|ドイツ| |||<称号変更>リッペ=ヒェンステルフェルト侯「Leopold」⇒リッペ侯「レオポルト4世」(~19181112退位リッペ侯国は廃止)
- 1905年10月26日-09:00|日本| ||明治38年|講和問題同志連合会、国民倶楽部に改組
- 1905年10月26日-09:00|日本| ||明治38年|山陽鐵道渡岐船「對馬丸」(1679G/T)三菱合資会社三菱造船所(長崎)で竣工
- 1905年10月26日-04:00|ロシア| |||ロシア暦10月13日|ワトトッキー(26)主導下で、サウト・ペテルブルクで初の労働者ソヴィエト(評議会)成立
- 1905年10月26日-04:00|ロシア| |||ロシアのチタヤでチタヤ人虐殺事件が起こり、1000人を超えるチタヤ人が死亡
- 1905年10月26日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| |||スウェーデンとノルウェー、カールスタッド条約調印/ノルウェー、スウェーデンとの同君連合を解消
- 1905年10月27日-05:30|インド| |||<就任>ケアンツァル国ラジャ「ゴピナート・ナヤン・ハンツ・デオ」(~19260812没)

1906迄 (2431件)

- 1905年10月28日-09:00|日本| ||明治38年|宮城県仙台市のパノラマ館開館
- 1905年10月28日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第225号「農会令」公布施行
- 1905年10月28日-09:00|日本|三井住友フィナンシャルグループ|明治38年|(資)神戸川崎銀行,兵庫に設立(明治38.11.21開業)
- 1905年10月29日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ロバート・マクレーン・スチュワート卿」(2期目~19060822)
- 1905年10月30日-09:00|日本| ||明治38年|<死去>伯爵(公家)中御門庶流持明院家支流「園基祥」⇒息子「園基資」が襲爵(⇒1928年死去)
- 1905年10月30日-04:00|ロシア| ||ロシア暦10月17日|[露暦10月17日]10月勅令/ニコライ2世、立憲体制を承認、不履行。憲法を認可。ドゥーマに立法権を付与。選挙権枠を拡大。市民の基本的な人権としての自由を保障
- 1905年10月31日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|元ロシア帝国海軍水雷巡洋艦「ガイヤーク」(400トン;1894年竣工、日露戦争で旅順港に沈没→1905年8月、旅順で引き上げ、整備)を日本海軍敷波型駆逐艦「敷波」「巻雲」と命名
- 1905年10月31日-02:00|ウクライナ| ||ロシア暦10月18日|ロシアのキエフなどでユダヤ人大虐殺が始まる
- 1905年10月31日 06:00|アメリカ| ||ニューヨークで、ロンドンで上演禁止となっていた「ウルフ夫人の職業」が上演される/1晩で上演禁止になる
- 1905年10月31日-04:00|ロシア| ||ロシア暦10月18日|皇帝ニコライ2世がセルゲイ・ウイッテを首相に指名
- 1905年11月-09:30|オーストラリア| ||メルボルンで2日間自動車大会が開催された
- 1905年11月-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>「帝国画報」
- 1905年11月-09:00|日本| ||明治38年|<廃業>横川〜可部間乗合自動車が馬車業者の反対、営業不振で
- 1905年11月-04:00|ジョージア| ||<就任>ゲリア委員会議長「ヘンリー・ヘンリー・チカ・イェリ」農民反政府勢力が支配(~19060123)
- 1905年11月-02:00|コロンビア/アメリカ| ||<就任>コロンビア自由国総督代行「アルバート・ブルーノ・アマテ・ラントワ・ヴァン・ローテ」(~1907年1月)
- 1905年11月-01:00|ナミビア/ドイツ| ||<就任>ドイツ領南西アフリカ王領植民地総督「フリートリヒ・フォン・リンデクイスト」(~19070520)
- 1905年11月 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア長官「フィリップ・クラーク・ヨーク」(~1909年)
- 1905年11月1日-09:00|日本| ||明治38年|山陽鉄道関釜連絡船旅客船「対馬丸」(1679t)三菱長崎造船所にて竣工就航(→1906年、逓信省(下関)に移籍→1909年、大蔵省(下関→東京)に移籍)
- 1905年11月1日-09:00|日本| ||明治38年|農商務省山林局林業試験所、東京目黒に設置(1910年に林業試験場と改称)
- 1905年11月1日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第226号「海事局職員ニ臨時在韓国帝国領事館附ヲ命ル件」公布
- 1905年11月1日-09:00|日本|JR西日本|明治38年|滋賀県栗太郡草津町において神社仏閣の参詣、観光等の団体旅行をあっ旋する目的で南新助により創業(大正初期に称号を「日本旅行会」とする)
- 1905年11月1日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>キエフボジニヤウ・ホルニニ総督「Vladimir Aleksandrovich Sukhomlino v」(~19081231)
- 1905年11月2日-10:00|ケアン/アメリカ| ||<就任>ケアン知事代理「Luke McNamee」(1期目~19061203)
- 1905年11月2日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第227号「収入印紙ヲ以テ手数料、罰金、科料、過料、刑事追徴金、訴訟費用及非訟事件費用ヲ納ムルコトヲ得ル件」、明治38年勅令第228号「明治三十八年九月五日後ニ拿捕シタル船舶及其ノ載貨ノ釈放ニ関スル件」各公布
- 1905年11月3日-09:00|日本| ||明治38年|三田商業研究会創業(野依秀市)《三田商業界》創刊(明治41年5月、同誌を《実業之世界》と改題、社名を実業之世界社と改称)
- 1905年11月3日-08:00|フィリピン/アメリカ| ||<就任>アメリカ領フィリピン総督「ヘンリー・C・アイト」(~19060919)
- 1905年11月3日-05:30|インド| ||<就任>アウンツ国統治者(ハンツ・プ・ラティン・イ)「コー・バルクリシュナラオ・パ・ラシラム・ナ・サ・ヒブ」(~19091104)
- 1905年11月5日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>「尾道評論」(広島県尾道市)
- 1905年11月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||韓国の京義鉄道(漢城-新義州)の開通式が行われる
- 1905年11月5日-09:00|日本|福岡県遠賀郡芦屋町|明治38年|<合併>福岡県遠賀郡[芦屋町・山鹿村]が合併→芦屋町
- 1905年11月6日-09:00|日本| ||明治38年|<掲載>菅野須賀子、半自伝小説「露子」(「牟婁新報」)
- 1905年11月6日-04:00|ロシア| ||<就任>全ロシア閣僚会議議長(首相)「セルゲイ・ユリウ・イチウ・ウイッテ伯爵」(~19060505)
- 1905年11月6日-01:00|ポーランド| ||ワルシャワで自治復活を求めて暴動
- 1905年11月7日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第229号「在外指定学校職員退隠料及遺族扶助料法ニ於ケル学校職員ノ資格及在職年数算定方等ニ関スル件」、明治38年勅令第230号「在外指定学校職員ノ名称待遇及任用解職ニ関スル件」在外指定学校職員令」各公布施行
- 1905年11月7日-01:00|スウェーデン| ||<就任>第12代スウェーデン首相カール・スターヴ(~19060529)
- 1905年11月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武9年|韓国政府、弁護士法を制定
- 1905年11月8日-09:00|日本| ||明治38年|大阪鉄工所で木造船[巖島丸]竣工、山陽鉄道宮島航路[宮島~巖島]に就航(1920年宇高航路に客船として転属)
- 1905年11月8日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第231号「臨時秩禄処分調査委員会規則及臨時秩禄処分調査局官制廃止ノ件」公布

1906迄 (2431件)

- 1905年11月8日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「アルナルド・ノゲイラ・デ・ノヴァイス・ゲデス・レボロ」(~19070214)
- 1905年11月8日-04:00|ロシア| ||ロシア暦10月26日|クオンシュタットで海兵が武装蜂起
- 1905年11月8日-04:00|ロシア| ||ロシア暦10月26日|ロシアのチタでユダヤ人虐殺事件が起こり、1000人を超えるユダヤ人が死亡
- 1905年11月9日-04:00|ロシア| ||ロシア暦10月27日|セント・ペテルブルク、「ノヴァヤ・ジズニ(新生活)」創刊
- 1905年11月10日-09:00|日本| ||明治38年|<創刊>新紀元社、月刊宗教・思想雑誌「新紀元」(1906年11月10日終刊) 菊判48頁、12銭
- 1905年11月10日-09:00|日本| ||明治38年|<破産>(株)横芝銀行[千葉県山武郡横芝町]
- 1905年11月10日-09:00|日本| ||明治36年|歌舞伎座にて坪内逍遙作、東儀鉄笛作曲のオペラ「常闇」を上演
- 1905年11月10日-09:00|日本/アメリカ| ||明治38年|「日米間著作権保護=関係条約」東京で調印(これにより日米間には翻訳の自由が認められる)1906.5.10実施
- 1905年11月11日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第232号「明治三十六年勅令第五号(海軍区ノ件)中改正ノ件」公布
- 1905年11月12日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>コールト=コスト総督・最高司令官「ジョン・ヒッカーズギル・ロジャヤ」(2回目~19060402)
- 1905年11月13日-08:00|中国| |||中国の廬漢(京漢)鉄道開通
- 1905年11月13日-04:00|ロシア/日本| ||明治38年|日本郵船小樽支店で樺太国境画定会議開催、樺太の北緯50度以南を正式譲渡、ロシア領沿岸漁業権を確立
- 1905年11月14日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第233号「台湾総督府官制中改正削除ノ件」、明治38年勅令第235号「台湾総督府評議会章程第一条中削除ノ件」各公布
- 1905年11月14日 00:00|イギリス| |||イギリス機械技術者ホワイトヘッド 没/82歳(誕生:18230103)魚形水雷を開発した
- 1905年11月15日-09:00|日本| 岐阜県恵那市|明治38年|<死去>松平乗命(58歳)元美濃岩村藩主・知藩事、陸軍奉行
- 1905年11月15日-01:00|フランス| ||フランスの自動車レースで、デュフォー兄弟が時速157kmの世界新記録を出す
- 1905年11月16日-09:00|日本| ||明治38年|<開館>静岡市物産陳列館
- 1905年11月17日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治38年|第2次日韓協約調印/韓国の外交権を奪い、保護国とした
- 1905年11月17日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治38年|日韓協約に反対し、韓国各地で反日暴動が起こる
- 1905年11月17日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>フランドル伯「フィリップ」
- 1905年11月17日-01:00|ルクセンブルグ| |||<死去>ルクセンブルグ大公「アドルフ」(生年1817年)
- 1905年11月17日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯「シャルル」(~19830601)
- 1905年11月17日-01:00|ルクセンブルグ| |||<即位>ルクセンブルグ大公「ウィレム4世」アドルフの長男(~19120225死去)
- 1905年11月18日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド 帝国副王・総督「ミント伯爵ギルバート・ジョン・エリオット=マレー・キンマウント」(~19101123)
- 1905年11月18日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>ロシア領フィンランド 総督代行「アントン・フライヘル・ザルツァ」(~12.6)
- 1905年11月18日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ 領ギアナ総督「アレクサンダー・ウィレム・フレデリック・アイゼンブルク」(~19080228)
- 1905年11月19日 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>フランス植民地コートジボワール総督代行「アルバート・アートル・ネグー」(2回目~19061027)
- 1905年11月20日-09:00|日本| ||明治38年|西川光二郎・堺利彦ら凡人社設立、西川光二郎・山口義三ら平民社主流派、「直言」の後継紙「光」(半月刊)創刊/キリスト教派分離後の社会民主主義機関誌
- 1905年11月20日-09:00|日本| ||明治38年|中央報徳会設立
- 1905年11月20日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治38年|日本、韓国統監府および理事庁官制を公布
- 1905年11月20日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第236号「臨時国債整理局官制」、明治38年勅令第238号「大蔵省官制第九条中改正ノ件」、明治38年勅令第239号「臨時国債整理委員会規則」各公布
- 1905年11月21日-09:00|日本| ||明治38年|第1次桂太郎内閣が総辞職
- 1905年11月21日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ総督「Jose Marina Vega」(~1910年)
- 1905年11月21日-01:00|ドイツ| |||ドイツ海軍装甲巡洋艦「ヨルク」(10266トン)ブローム=ウント=フォス社で竣工就役
- 1905年11月21日 00:00|イギリス| |||イギリス海軍防護巡洋艦「エンカウンター」(5880トン)デヴァンポート造船所で竣工就役
- 1905年11月21日 05:00|キューバ| |||ハバナ市内のアルサル、ラ・サルタとバタノで自由党員による武装蜂起が発生
- 1905年11月22日-09:00|日本| 北鉄松金線|明治38年|松金馬車鉄道[有松-野町]間延伸→[ハツ矢~野町]開業
- 1905年11月23日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第240号「韓国=統監府及理事庁ノ置ケルノ件」公布
- 1905年11月23日-09:00|日本| 都電御茶ノ水線|明治38年|東京電気鉄道[師範学校前(>1911御茶ノ水)-神田松住町(>1907松住町)]延伸→[飯田橋-神田松住町]
- 1905年11月23日-04:00|ロシア| |||露、地主、大商人層などの穏健派が十月十七日同盟(十月党、オクチャリスト)を結成
- 1905年11月24日-09:00|日本| ||明治38年|<死去>伯爵(公家)御子左家「冷泉為紀」⇒息子「冷泉為系」が襲爵(⇒19461018死去~19470503廃止)
- 1905年11月24日-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>バクー県知事「ウラジミール・ウラジミロヴィチ・アリシエフスキー」(~1915年12月)
- 1905年11月24日-04:00|ロシア| ||ロシア暦11月11日|セヴァストポリで、シュミット中尉の反乱が起こる
- 1905年11月25日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第241号「国債整理ノ為明治三十七年法律第一号及同三十八年法律第十二号ニ依リ公債ヲ募集スルノ件」公布
- 1905年11月25日-09:00|日本| JR東日本中央本線|明治38年|官設鉄道[富士見-青柳-茅野-上諏訪-下諏訪-岡谷]間27.52km延伸→[八王子~岡谷]開業

1906迄 (2431件)

- 1905年11月25日-08:00|中国| |||清国に考察政治館設置
- 1905年11月25日-07:30|日本|石川県七尾市|明治38年|<石川県七尾、明治38年の大火>府中町の旅館から出た火によって、大手町から檜物町、さらに御祓川を越えて松本町辺りまで延焼し、東は作事町、橋町の一部まで類焼して、民家689戸の被害を出した/郡役所、町役場がふたたび焼けている
- 1905年11月25日-04:00|ロシア/日本| |||ロシア暦11月11日|日露講和条約の批准書を交換し講和が成立
- 1905年11月25日-04:00|ロシア/中国|満鉄連京線||東清鉄路南満支線[奉天-虎石台-新台子-鉄嶺-開原-昌図]延伸→[大連~昌図]
- 1905年11月25日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー国王「ホーコン7世」(1回目~19400925)
- 1905年11月25日-01:00|ルウェー| |||人民投票によりホーコン7世を国王に選出され即位(-1957年9月21日)
- 1905年11月26日-09:00|日本/中国| |||明治38年|<創刊>孫文らの中国革命同盟会、機関誌「民報」(日本、東京)
- 1905年11月26日-09:00|日本| |||明治38年|報徳会設立、二宮尊徳の教えを全国に普及させる
- 1905年11月26日-04:00|ロシア| |||ロシア暦11月13日|セヴアストポリの蜂起においてロシア帝国海軍戦艦「ホフムキン=クワリ=チェスキ=公」は叛乱した艦船に合流、この叛乱もまた鎮圧され、失敗に終わった
- 1905年11月26日-04:00|ロシア| |||ロシア暦11月13日|トロツキー(26)、ムンシエグイと協力して大衆的政治機関紙「ナチャ=ロ(出発)」創刊
- 1905年11月27日-09:30|オーストラリア| |||<テニス>第1回オーストラレシアン選手権男子シングルス優勝:ロドニー=ヒース
- 1905年11月27日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<テニス>第1回オーストラレシアン選手権男子ダブルス優勝:ランドルフ=ライセット&トム=タウチル
- 1905年11月27日 05:00|キューバ| |||選挙を前にキューバ各地で自由党の武装反乱が発生
- 1905年11月28日-09:00|日本|伊豆箱根鉄道駿豆線|明治38年|豆相鉄道[三島-三島町]間に三島六反田駅開業
- 1905年11月28日-04:00|ロシア| |||政府装甲艦隊はセヴアストポリ蜂起の中心であった巡洋艦チヤコフを包囲し、これを炎上させ大規模な叛乱は政府軍によって鎮圧され
- 1905年11月28日-02:00|フィンランド| |||<就任>フィンランド大公国国務大臣(サントペ=テルブルク)代行「エトヴァルト=エルストロム」(2回目~19060205)
- 1905年11月28日 00:00|アイルランド| |||アイルランドのダブリンで、独立を目指したシン・フェイン党が成立
- 1905年11月29日-09:00|日本| |||明治38年|明治38年勅令第242号「明治三十八年勅令第二百五号及同年勅令第二百六号廃止ノ件」公布
- 1905年11月30日-09:00|日本| |||明治38年|明治38年勅令第243号「大阪府及兵庫県ニ臨時防疫職員ヲ置クノ件」公布
- 1905年12月-09:30|オーストラリア/イギリス| |||英国がアッシュモア礁を正式に占領
- 1905年12月-09:00|日本/南米|日本郵船|明治38年|<運航開始>東洋汽船:南米西岸航路
- 1905年12月1日-12:00|フランス=ツナ| |||<就任>フランス保護領カリス=ツナ諸島居住者「Maxime Viala」(~19090831)
- 1905年12月1日-09:00|日本| |||明治38年|明治38年勅令第223号「関税法施行規則第七十三条中改正追加ノ件」施行(1021公布)
- 1905年12月1日-09:00|日本| |||明治38年|明治38年勅令第262号「水雷団条例」公布
- 1905年12月1日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Segismundo Moret[自由党](~19060706)
- 1905年12月1日 04:00|ガイアナ| |||暗黒の日曜日|ジョージタウン、群衆が建物を占拠し蜂起。深夜までに7人が死亡/まもなく派遣された英国軍により騒擾は鎮圧される
- 1905年12月1日 05:00|キューバ| |||大統領=議会選挙、エストラダ=パルマ大統領は対立候補なしで信任される、議会でも与党の中道党が圧勝
- 1905年12月2日-09:00|日本| |||明治38年|明治38年勅令第244号「外交官及領事官官制中改正追加ノ件」、明治38年勅令第246号「明治二十八年勅令第百五十号(外交官領事官及貿易事務官交代/際臨時増員ノ件)中改正ノ件」、明治38年勅令第247号「在外公館職員官等令第一条中改正ノ件」、明治38年勅令第248号「公使館領事館費用条例中改正ノ件」、明治38年勅令第249号「大使館通訳官=関員ノ件」、明治38年勅令第250号「領事官特別任用令及明治三十七年勅令第四十二号(外務通訳生ヲ外務書記生ニ任用ノ件)中改正ノ件」各公布
- 1905年12月2日-08:00|中国/日本| |||明治38年|日本政府が清国留学生の取締規則を制定
- 1905年12月3日-09:00|日本|愛媛県西条市|明治38年|<死去>松平頼英(63歳)元伊予西条藩主・知藩事
- 1905年12月3日-05:30|インド| |||<就任>英国統治者(ターケル)「ハリチャンドラシンジ」(~19480215)
- 1905年12月3日-04:00|ロシア| |||キエフで暴動。市街戦に発展
- 1905年12月4日-09:00|日本|十六銀行|明治38年|(株)間銀行、岐阜に設立(明治39.03.-開業)
- 1905年12月4日-02:00|フィンランド| |||フィンランド議会、ロシア化措置を撤廃、公用語としてのロシア語使用廃止
- 1905年12月5日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第51代首相「ヘンリー=キャンベル=ル=バナム卿」自由党(~19080407)
- 1905年12月5日-04:00|ロシア| |||ロシア暦11月22日|モスクワで、労働者ウエイトが成立
- 1905年12月6日-09:00|日本| |||明治38年|八団体(理想団・直行団・新紀元社・国家社会党・普選同盟会・誠友会・青年同志会・光社)が普通選挙連合会結成
- 1905年12月6日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>ロシア領フィンランド総督「ニコライ=ニコラエウイッチ=ジエラルト」(~19080215)
- 1905年12月7日-09:00|日本| |||明治38年|新吉原大門前のパノラマ館開館
- 1905年12月7日-09:00|日本|山形県山形市|明治38年|<死去>水野忠弘(50歳)元近江朝日山藩主・知藩事、貴族院議員
- 1905年12月8日-09:00|日本| |||明治38年|明治38年勅令第253号「海軍軍令部条例第八条中改正ノ件」、明治38年勅令第254号「海軍望楼条例」公布
- 1905年12月8日-09:00|日本|中部電力|明治38年|関西水電株式会社設立(1922年6月東邦電力と改称)
- 1905年12月9日-01:00|ドイツ| |||<初演>リヒルト=ゲオルク=シュトラウス《歌劇「サロメ」》シュツ

1906迄 (2431件)

- 1905年12月9日-01:00|フランス| ||フランスで国家と教会を分離する政教分離法が公布される
- 1905年12月9日 04:00|パラグアイ| ||<就任>パラグアイ共和国暫定大統領「セリオ・ハ・エ・コンサレス」(~19061125)
- 1905年12月10日-01:00|オーストリア/ドイツ/ポーランド/スウェーデン| ||第5回ノベル賞授賞式/物理学賞:ドイツのP. レナルト/化学賞:ドイツのA. vonハイヤー/医学・生理学賞:ドイツのR. コッホ/文学賞:ポーランドのH. シェンキエビチ/平和賞:オーストリアのB. vonツトナー
- 1905年12月11日-09:00|日本|ENEOSホールディングス|明治38年|久原房之助, 赤沢銅山(後の日立鉱山, 茨城県)を買収, 操業開始
- 1905年12月11日-03:30|イラン| ||テヘランで、砂糖業者に体罰を加えた市の役人に宗教学僧が反発し、立憲革命の口火を切る
- 1905年12月12日-09:00|日本| ||明治38年|日本海軍神風型軍艦「子日」駆逐艦に変更
- 1905年12月12日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第255号「鎮守府条例第十条中改正/件」, 明治38年勅令第256号「海軍修理工場条例中加除/件」, 明治38年勅令第257号「要港部条例中改正追加/件」, 明治38年勅令第258号「海軍艦船条例中改正追加/件」, 明治38年勅令第259号「艦隊条例中加除/件」, 明治38年勅令第260号「駆逐隊条例」, 明治38年勅令第261号「潜水艇隊条例」, 明治38年勅令第263号「陸奥国下北郡大湊ヲ要港ト為シ其ノ境域ヲ定ムルノ件」各公布
- 1905年12月12日-09:00|日本|古河機械金属|明治38年|<死去>古河潤吉(36歳)古河財閥当主
- 1905年12月12日-04:00|ロシア| ||ノヴォシシク共和国の樹立宣言
- 1905年12月13日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第264号「明治三十七年勅令第四十号(長崎県対馬島庁書記技手臨時増置/件)廃止/件」, 明治38年勅令第265号「牛馬/売買及貸渡ニ関スル随意契約/件」各公布
- 1905年12月14日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第266号「医薬用、工業用酒精戻税規則第二条ニ依ル酒精使用証明書下付ニ関スル件」公布
- 1905年12月15日-09:00|日本| ||明治38年|崇文館創業(山岸見喜寿郎)学習参考書出版. 別商号として文書館を用う(明治45年, 東京崇文館と改称)
- 1905年12月15日-09:00|日本|兼松|明治38年|<改組>北川商店⇒江商合資会社
- 1905年12月15日-09:00|日本|JR北海道函館本線|明治38年|北海道鉄道: 歌棄→熱郭, 磯谷→目名, 真狩→狩太, 忍路→蘭島, 高島→小樽中央/駅名改称
- 1905年12月15日-04:00|ロシア| ||モスクワ、ロストフ連隊反乱
- 1905年12月16日-09:00|日本| ||明治38年|<運用開始>下切水力発電所[岐阜県岐阜県高山市下切町1805番地]650KW
- 1905年12月16日-04:00|ロシア| ||50日間のソヴイェト支配終る/ペテルブルク・ソヴイェト、軍隊に包囲される/ソヴイェト議長代理トツキー以下300人の執行委員、逮捕
- 1905年12月16日 04:00|アンティガ・バーブーダ/イギリス/アンギラ/トミニカ国/セントセントクリストファー・ネイビス/英領ヴァージン諸島| ||<就任>リワード 諸島総督・最高司令官代行「ハリー・ヘクス・ジュー・カ・ベル」(2回目~1906年8月)
- 1905年12月17日-04:00|ロシア| ||モスクワ、ロストフ連隊の反乱、鎮圧される
- 1905年12月18日-09:00|日本|筑後軌道本線|明治38年|筑後馬車鉄道[縄手-(荘島)-(中央市場前)-(1915以前、芋扱川)-(日吉町)-東久留米(>1915以前、国道)]延伸→[縄手~吉井町]開業
- 1905年12月18日-01:00|モンテネグロ| ||<就任>モンテネグロ総理大臣「ザール・ミジュ・シュ・コグ・イツ」(1回目~19061123)
- 1905年12月18日 00:00|イギリス| ||<就任>初代フリス伯「ロバート・ウインザー=クラフ」(~19230306死去)
- 1905年12月19日-02:00|リトアニア/ロシア| ||<就任>リトアニア及び北西部の地方総督「コンスタンチン・ファデー・エー・イチ・クルシグ・イツキ」(~1909年)
- 1905年12月19日-01:00|ドイツ| ||アルベルト・アインシュタイン、ブラウン運動についての第2論文が受理される(「物理学年報」誌)
- 1905年12月19日-01:00|セルビア| ||モンテネグロのニコライ1世が新憲法を制定し、普選による議会を開設
- 1905年12月19日 00:00|イギリス| ||ロンドンで、交通災害のために救急車2台が導入される
- 1905年12月20日-04:00|ロシア| ||モスクワ・ソビエトのゼネスト、交戦の末軍隊により鎮圧
- 1905年12月21日-09:30|オーストラリア| ||移民制限法を改正/ヨロップ言語によるテストが規定の言語に変更される
- 1905年12月21日-09:00|韓国/日本/朝鮮| ||明治38年|<就任>大日本帝国韓国総監「伊藤博文侯爵」(~19090614死去)
- 1905年12月21日-09:00|日本| ||明治38年|第1次桂太郎内閣が総辞職
- 1905年12月21日-09:00|韓国/日本/朝鮮| ||明治38年|統監府・理事庁官制公布(韓国京城に統監府, 要地に理事庁をおき, 統監は天皇に直隷)
- 1905年12月21日-09:00|日本| ||明治38年|明治38年勅令第267号「統監府及理事庁官制」, 明治38年勅令第271号「統監府及理事庁高等官官等令」, 明治38年勅令第272号「文武判任官等級表中加除/件」, 明治38年勅令第275号「統監府総務長官及統監秘書官/任用分限及官等ニ関スル件」, 明治38年勅令第276号「統監府及理事庁職員特別任用令」, 明治38年勅令第277号「統監府及理事庁警察官特別任用令」, 明治38年勅令第279号「文官懲戒令中改正加除/件」各公布
- 1905年12月21日-09:00|日本|清水銀行|明治38年|<買収>(株)清水商業銀行⇒清水銀行
- 1905年12月21日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「ゲオルギオス・ニコラウ・テオトキ」(4回目~19090720)
- 1905年12月21日 00:00|カヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王領カヤ諸島総司令官「Tomas Bouza Cebreiro」(~19070522)
- 1905年12月22日-08:00|中国/日本| ||明治38年|「満洲に関する日清条約」調印(即日実施, 翌年1月9日批准, 1月23日批准書交換, 1月31日公布)ロシアの利権の引継ぎなど

1906迄 (2431件)

- 1905年12月22日-04:00|ロシア| ||モスクワで労働者が武装蜂起
1905年12月22日 00:00|イギリス| ||<就任>初代リヴァプール伯「セシル・ジョージ・サウシル・フォージヤム」(~19070323死去)
1905年12月23日-09:30|オーストラリア| ||西オーストラリアで「ホリズニース」法が立法化/「ホリズナル」の特別保留地に対する統制拡大、保護官にさらなる権力が与えられた
1905年12月23日-09:00|日本| ||明治38年|帝国党の佐々友房を中心に甲辰倶楽部などが合流して76人で新政党大同倶楽部結成
1905年12月23日-09:00|日本|商船三井|明治38年|大阪商船貨客船「大信丸」(1304G/T)大阪鐵工所櫻島造船場(大阪)で竣工
1905年12月23日-04:00|ロシア| ||モスクワで労働者が武装蜂起、軍隊が鎮圧
1905年12月24日-09:00|日本|伊予銀行|明治38年|<買収>(名)八束銀行[愛媛県松山市]⇒(株)伊予農業銀行
1905年12月24日-09:00|日本|京急本線|明治38年|京浜電気鉄道[川崎-(1915八丁)]-市場(1915廃止)1916再開業)-鶴見-(1911総持寺)-生麦-子安-中木戸(仲木戸)-反町-神奈川停車場前(神奈川)]延伸→[大森-神奈川停車場前(神奈川)]開業
1905年12月24日-09:00|日本|広島銀行|明治38年|<買収>(名)八束銀行[愛媛県松山市]⇒(株)伊予農業銀行
1905年12月25日-09:00|日本|横浜市電住吉町線|明治38年|横浜電気鉄道住吉町線[尾上町五丁目-住吉町四丁目東行-住吉町二三丁目東行-住吉町一丁目(境町一丁目)-弁天通一丁目-県庁前-英一番館前-通町-薩摩町]間開通
1905年12月25日-04:00|ロシア| ||「ロシア共和国」評議会)は占拠していた総督府を放棄して町から撤退、叛乱は鎮圧
1905年12月25日 04:00|トミニカ共和国| ||<就任>トミニカ共和国大統領代行「国务大臣評議会:マニエル・ラマルシェ・ガリアン/エミリアーノ・テヘラ・ペロンソ/アント・レス・ジュリアス・モントリオ・モスコソ/フランシスコ・レオン・バスケス・ラハラ/カルロス・エドゥアルド・ヒネブラ・ペレグリン/エラテ・イ・アブドム・ウイクトリア・ウイクトリア/フェリコ・ベラスケス・イ・ヘルナンデス」(~29日)
1905年12月26日-09:00|日本|「ジャパニゼーション」|明治38年|久原房之助、赤沢銅山(茨城県)を買収、日立銅山と改称、操業開始(→日本鋳業→「ジャパニゼーション」)
1905年12月27日-09:00|日本| |明治38年|明治38年勅令第281号「陸軍大学校学生ニ関スル件」公布
1905年12月27日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|明治38年|<死去>京極高厚(77歳)元但馬豊岡藩主・知藩事、貴族院議員
1905年12月27日-04:00|ロシア| ||露、モスクワの武装反乱、セメノフスキー連隊により鎮圧/死者千
1905年12月29日-09:00|日本| |明治38年|明治38年勅令第282号「山口県ニ臨時防疫職員ヲ置ク件」、明治38年勅令第284号「第六回内国勸業博覧会開設延期ノ件」、明治38年勅令第285号「醸造試験所官制第八條追加ノ件」、明治38年勅令第286号「参謀本部条例第四條中改正ノ件」、明治38年勅令第287号「蕃地警察事務ニ従事スル台湾總督府職員又ハ其ノ遺族ニ一時金ヲ給スルノ件」、明治38年勅令第289号「煙草製造専売ニ要スル諸物件、労力供給ノ請負等ニ関スル随意契約ノ件」、明治38年勅令第290号「製鉄所ニ於テ事業上必要ナル器具機械及諸材料ノ購入ニ関スル随意契約ノ件」各公布
1905年12月29日-09:00|日本|JR九州香椎線|明治38年|博多湾鉄道[新原-宇美]延伸→[西戸崎~宇美]全通
1905年12月29日-09:00|日本|都電市ヶ谷線|明治38年|東京市街鉄道[富士見町(1908頃、九段上)-(1917富士見町)1933九段三丁目]-三番町]間開業
1905年12月29日-09:00|日本|都電番町線|明治38年|東京市街鉄道[富士見町(1908頃、九段上)-五番町(1933三番町)-半蔵門]開業
1905年12月29日 04:00|トミニカ共和国| ||<就任>トミニカ共和国大統領「ラモン・アルトゥーロ・カセス・バスケス」(19060112まで代行~19111119)
1905年12月30日-01:00|オーストラリア| ||<初演>「フランチ・レハール」《歌劇「メー・ウイト・ウ」》ウイーン劇場
1905年12月30日 03:00|ブラジル| ||「ブラジル」銀行が創設される
1905年12月31日-03:00|ケニア/イギリス| ||<就任>イギリス保護領東アフリカ総監「ジェームズ・ヘイス・サドラー」(~19070507)
1905年12月31日-02:00|エストニア/ロシア| ||<就任>ロシア領エストニア総督「ニコライ・ゲオルギエヴィッチ・フォン・ヒュンティンク」(~19060203)
1906年-11:00|「バヌアツ/イギリス/フランス/トンガ/ヒトケアン諸島/ソロモン諸島/ツバル/キバヌ/トケラウ/フィジー」| ||<設立>イギリス・フランス共同統治領ニューヘブリディーズ
1906年-09:00|日本| |明治39年|<死去>伯爵(新華)「山田繁栄」⇒4月12日、養子「山田英夫」が襲爵(⇒19450526、死去)
1906年-09:00|日本|セブン&アイ・ホールディングス|明治37年|大阪に十合洋服店開店
1906年-09:00|日本|福井県福井市|明治39年|<編入>福井県吉田郡岡保村の一部(大字増谷)→足羽郡酒生村
1906年-08:00|フィリピン| ||<即位>マギンタ・ナ・スルタン「ムハンマド・Mangigin bin Datu」(~1926年)
1906年-07:00|タイ| ||<就任>パタニ高等弁務官「フヤ・サセニノン」(~1923年)
1906年-07:00|タイ| ||<就任>モンthon・ナコン・シー・タマート弁務官「フヤ・チョンラップ」(~1910年)
1906年-05:00|ウズベキスタン/ロシア| ||<就任>ロシア帝国トルキスタン総督「マツィエフスキー」(~1907年)
1906年-03:00|カンタール| ||<就任>ポンヤ統治者(オカマ)「キマ3世」(~19080909没)
1906年-03:00|カンタール/イギリス| ||「ブザヤ」が英国当局により合併
1906年-03:00|カンタール/ベルギー/イギリス| ||「ブソコ」はコンゴ(ベルギー)保護領とカンタール保護領に分割
1906年-02:00|ボツワナ/イギリス| ||<就任>イギリス保護領ベチアラント常駐委員「フランス・ウィリアム・ハンゼン」(~1916年)
1906年-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ボツワナ臨時総督「Pavel Fyodorovich Glagolev」(~1907年)
1906年-02:00|モザンビーク| ||<就任>キタンゴニア首長「サイト・イブン・アミン」
1906年-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ハリコフ臨時総督「Nikolay Nikolayevich Peshkov」(?)

1906迄 (2431件)

- 1906年-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<就任>北ナイジェリア保護区高等弁務官代理「アーサー・Willoughby ジョージ・Lowry Cole」(~同年)
- 1906年-01:00|ベナン| |||<就任>ベナン統治者「サビ・ハンクリ・ジヤト1世ヌル・ガソバ・リンゴビ」(~1910年)
- 1906年-01:00|ニジェール| |||<就任>ダカラム国摂政「ウスマン・ベラマ」(~19230227)
- 1906年-01:00|ニジェール/フランス| |||<就任>フランス領ニジェール司令官「クレゴワール・イグナス・ド・ミニク・ラモル」(~1907年)
- 1906年-01:00|カメルーン| |||<即位>レイ・フーバ・スルタン国フーバ・ニッタ「フーバ・ジヤマ」(~1945年没)
- 1906年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>カンパ首長「ラホ・イ・グアラ」(~1917年没)
- 1906年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>カア・メンデ統治者「ラホ・イ」(~19171226没)
- 1906年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ノコワ摂政「ハモンヤ」(~1908年)
- 1906年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ピリワ摂政「アリ」(~1907年)
- 1906年 00:00|モロッコ| |||<就任>モロッコ大宰相「アルアミンアルハジ・ウマルジ」(~1907年)
- 1906年 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ島副知事代理「Jan Jacob Beaujon」(~1907年)
- 1906年 04:00|アンギラ/イギリス| |||<就任>イギリス領アンギラ治安判事「Wilfrid Murray Wigley」⇒「W. T. Samuels」(~1910年)
- 1906年 04:00|プエルトリコ| |||<就任>クレウ島市長「Pedro Marquez Morales」(~1912年)
- 1906年1月-09:00|日本| ||明治39年|<掲載>伊藤左千夫「野菊の墓」(雑誌「朴トキス」)
- 1906年1月-09:00|日本| ||明治39年|<竣工>鎌倉海浜村ル設計:ジョサイフ・コンドル
- 1906年1月-09:00|日本| ||明治39年|<創刊>実業之日本社, 月刊大衆の児童文学誌「日本少年」(~1938年10月)
- 1906年1月-09:00|日本| ||明治39年|<復刊>「早稲田文学」20銭(島村抱月・片上天弦・御風・正宗白鳥・未明・雨雀・星湖・近松秋江ら。藤村・泡鳴・花袋・秋声ら寄稿)
- 1906年1月-09:00|日本|東急百貨店|明治39年|<発行>白木屋、PR雑誌「流行」
- 1906年1月-09:00|日本|日本郵船|明治39年|東洋汽船貨客船「香港丸」桑港線に復帰
- 1906年1月-09:00|日本|博文館|明治39年|<創刊>博文館、月+年4定期増刊「幼年画報」(新しい絵雑誌のジャンルを切り開いた雑誌として位置づけられる~1935年12月)
- 1906年1月-01:00|カメルーン/ドイツ| |||<就任>ドイツ保護領カメルーン総督代行「フランツ・ルトヴィヒ・ヴィルヘルム・ミュラー」(~11月)
- 1906年1月 04:00|ドミニカ共和国| |||ドミニカ前大統領モリスの支持者は、サンチャゴとプエルトリコで反乱
- 1906年1月1日-09:00|日本| ||明治39年|<刊行>与謝野晶子, 歌集「舞姫」
- 1906年1月1日-09:00|日本| ||明治39年|足尾銅山で日本鉱山労働組合結成
- 1906年1月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治38年勅令第283号「海軍煉炭製造所条例」施行(19051229公布)
- 1906年1月1日-09:00|日本|JR西日本山陽本線|明治39年|山陽鉄道:長岡→西大寺/駅名改称
- 1906年1月1日-09:00|日本|静岡県伊東市|明治39年|<町制施行>静岡県田方郡伊東村→伊東町
- 1906年1月1日-09:00|日本|博文館|明治39年|<創刊>博文館「寫眞畫報」1月号(押川方存)
- 1906年1月1日-09:00|日本|広島県呉市|明治39年|<改称町制施行>広島県安芸郡瀬戸島村→音戸町
- 1906年1月1日-09:00|日本|みずほファイナンシャルグループ|明治39年|<合併>(株)長浜銀行⇒近江銀行
- 1906年1月1日-09:00|日本|山口県光市|明治39年|<町制施行>山口県熊毛郡室積村→室積町
- 1906年1月1日-08:00|マレーシア/イギリス| |||ラアンはイギリスの植民地統治に戻る(~19460401)
- 1906年1月1日-04:00|ロシア| |||モスクワの労働者による武装蜂起が近衛連隊により鎮圧される
- 1906年1月1日-03:00|マダガスカル/フランス| |||<就任>フランスのマダガスカル総督「ヴィクトル・オガヌール」(~19091213)
- 1906年1月1日-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<就任>南ナイジェリア保護区高等弁務官代理「ジェームズ・Jamieson Thorburn」(~2. 11)
- 1906年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連邦大統領「ヨハ・ルードヴィヒ・フォーラー」FDP(1期目~12. 31)
- 1906年1月1日 00:00|イギリス| |||英、外国人法発効/移民希望者は入国許可前に経済状態・心身健康状態に関する厳しい尋問を受ける/露や中欧からの貧しい移民希望者に大きな打撃
- 1906年1月3日-09:00|日本| ||明治39年|実業之日本社から婦人雑誌「婦人世界」創刊
- 1906年1月4日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>公爵(公家)九条流摂関家嫡流「九条道孝」(68歳)⇒長男「九条道実」が襲爵(⇒19330119、死去)
- 1906年1月4日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>福地源一郎(桜痴、66歳)ジャーナリスト・作家・劇作家・政治家、衆議院議員
- 1906年1月4日-09:00|日本| ||明治39年|秋田の院内鉱山で火災があり、100人が死亡
- 1906年1月4日-09:00|日本|大分交通別大線|明治39年|豊州電気鉄道[南新地~別府]→豊後電気鉄道/組織変更
- 1906年1月4日-04:00|ロシア/中国|満鉄柳樹屯線||東清鉄路[大房身-柳樹屯]開業
- 1906年1月5日-09:00|日本| ||東京・永田町の閑院宮家が火災となる
- 1906年1月6日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第002号「在外公館費用条例中加除ノ件」公布
- 1906年1月7日-09:00|日本| ||明治39年|第1次西園寺公望内閣成立/~19080714
- 1906年1月9日-09:00|日本|百十四銀行|明治39年|(株)宇多津貯蓄銀行、(株)宇多津銀行に合併
- 1906年1月10日-09:00|日本| ||明治39年|明治38年勅令第268号「統監府通信官署官制」施行(19051221公布); 明治38年勅令第278号「統監府通信官署職員特別任用令」施行(19051221公布); 明治38年勅令第280号「官設鉄道、郵便、電信、電話官署出納員現金出納ニ関ル件(明三三勅四〇八)、郵便電信電話官署ノ現金受払ニ関ル件(明三六勅二三)及通信官署経費渡切規則ヲ統監府通信官署ニ準用スル件」施行(19051221公布)
- 1906年1月10日-09:00|日本|香川県仲多度郡多度津町|明治39年|<死去>京極高典(71歳)元讃岐多度津藩主・知藩事、貴族院議員
- 1906年1月11日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ウクライナのロシア総督「Vasiliy Vasilyevich Novitskiy」無所属(~191104)

1906迄 (2431件)

21)

1906年1月12日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第003号「特命全権大使著任前ニ於ケル大使館ニ関スル件」公布
1906年1月12日-09:00|日本|チツ|明治39年|野口遵が曾木電気を設立
1906年1月12日 00:00|イギリス| ||イギリス総選挙で自由党が過半数を得る/労働代表委員会が29議席を獲得
1906年1月13日-09:00|日本| ||明治39年|大相撲|明治39年1月場所[東京本所回向院] (10日間) 幕内優勝: (西横綱)常陸山, 9勝0敗1休
1906年1月13日-04:00|ロシア| ||<死去>アレクサンドル・ボロフ、ロシアの物理学者 (生年1859年)
1906年1月14日-09:00|日本| ||明治39年|大阪商船「鎮西丸」中村丑太郎 (大阪) に売却 (→1908年, 中山藤次郎 (新潟) に売却→1909年, 東洋物産 (新潟) に売却→1917年, 和島貞二 (函館) に売却)
1906年1月14日-09:00|日本| ||明治39年|樋口伝、西川光三郎らが日本平民党を結成
1906年1月14日 05:00|エカトル| ||<就任>エカトル共和国大統領「セルゲイ・イワノヴィチ・コルネエフ」 (2回目、19061009まで最高首領、その後19070101まで暫定大統領~19110812)
1906年1月15日-09:00|日本|商船三井|明治39年|大阪商船貨客船「開城丸」 (2085G/T) 川崎造船所 (神戸) で竣工
1906年1月15日-08:00|台湾/日本|台鉄縦貫線|明治39年|台湾総督府鉄道縦貫線 [二八水-北濁水-濁水] 延伸→ [基隆~白公坑] [葫蘆トシ~大肚] [彰化~打狗]
1906年1月15日 05:00|エカトル| ||<退任>エカトル共和国大統領「リザルト・イ・ガリア」
1906年1月16日-01:00|スイス| ||スイス連邦銀行が始動
1906年1月16日 00:00|モロッコ/フランス/ドイツ/スペイン| ||第一次モロッコ事件終了. アルヘirasで停戦会議
1906年1月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|外部、廃止され、議政府に外事局を設置
1906年1月17日-01:00|フランス| ||クルモン・アルマン・ファリエル、フランス大統領に選出
1906年1月17日-01:00|ドイツ| ||ツェッペリン飛行船L22号が激しい突風で破壊される
1906年1月18日-12:00|マニラ諸島/ドイツ| ||<就任>マニラ諸島地方長官代行「ルートヴィヒ・カイザー」 (~5月没)
1906年1月18日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第004号「在外公館費用条例中加除ノ件」公布
1906年1月18日 00:00|トコ| ||<就任>ロシア摂政「ジヤクソン・ラッティ・カフ・ヴ・ローソン」 (~19090204)
1906年1月19日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第006号「鉄道用品交換ニ関スル随意契約ノ件」公布
1906年1月19日-08:00|中国| ||北京に巡警総庁設置
1906年1月19日-01:00|ドイツ| ||ベルリンで、ハフトマンの「そしてヒッパは踊る」が初演される
1906年1月19日 03:00|仏領ギニア/フランス| ||<就任>ギニア暫定総督「Albert Antoine Baptiste Dubarry」 (1期目~3.30)
1906年1月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|韓国の「公使・領事制」を廃止
1906年1月20日-09:00|日本|都電市ヶ谷線|明治39年|東京市街鉄道 [招魂社脇 (三番町を改称) 1917廃止] - (1917-一口坂) 1950~64移設) - 三番町 (>1921頃、廃止) - 市ヶ谷見附] 延伸→ [富士見町-市ヶ谷見附]
1906年1月20日 00:00|イギリス| ||イギリス海軍巡洋艦「フェューク・オブ・エンソハラ」 (13550トン) ベンブルック工廠で竣工就役
1906年1月21日-09:00|日本|IGR|いわて銀河鉄道|明治39年|日本鉄道 [盛岡-好摩] 間に滝沢駅開業
1906年1月22日-01:00|オーストリア/セルビア| ||オーストリア・ハンガリー帝国がセルビア国境封鎖
1906年1月23日-09:00|日本|リソナホルディングス|明治39年|<買収営業譲渡> (株) 川東貯金銀行⇒ (株) 大阪貯蓄銀行
1906年1月24日-09:00|日本|商船三井|明治39年|大阪商船会社貨客船「多摩丸」長崎から釜山に向け航行中、潮流の速力を誤認、長崎県平戸瀬戸付近 (平戸海峡広瀬の南西) で座礁、沈没
1906年1月24日-04:00|ロシア| ||<初演>セルゲイ・イワノヴィチ・ラマニノフ《歌劇「けちな騎士」》 《歌劇「フランチェスカ・ダ・リミニ」》
1906年1月25日-03:00|マリア/イタリア| ||<就任>イタリア領マリランド王立委員代行「アレクサンドロ・サマリ」 (2回目~2.5)
1906年1月25日-01:00|スペイン| ||スペインのバス・フェルナンデス・デ・ユーロがフランスのボアからスペインのグナダまでのピレネー山脈を越える気球飛行に成功
1906年1月26日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第008号「明治三十七年勅令第百五十八号 (煙草専売局ニ於ケル臨時雇員使用ノ件) 中改正ノ件」公布
1906年1月26日-01:00|ドイツ| ||<死去>イゼンブルク=ヒューデインゲン侯「フルーノ」
1906年1月27日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第009号「海軍武官官階中改正ノ件」, 明治39年勅令第010号「海軍服制中改正追加ノ件」各公布
1906年1月28日-09:00|日本| ||明治39年|堺利彦ら日本社会党結成/2月24日に日本平民党が合流/党員は約200人、評議員に片山潜らが選ばれた
1906年1月28日-09:00|日本|足利ホルディングス|明治39年|<改称> (株) 山二銀行 [千葉県海上郡嚶鳴村] ⇒ (株) 海上銀行
1906年1月29日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>浪花亭駒吉 (65歳) 浪曲師
1906年1月29日-01:00|デンマーク| ||<死去>デンマーク王「クリスチャン9世」87歳 (誕生18180408)
1906年1月29日-01:00|デンマーク| ||<即位>デンマーク王「フレデリク8世」クリスチャン9世とルイーゼ・フォン・ヘッセン=カッセルの長男 (~19120514死去68歳)
1906年1月30日 00:00|ポルトガル| ||<就任>フンチャル地区民政知事「Joao de Soares Branco」 (~3.22)
1906年1月31日-09:00|日本/カタール| ||日本とカタールが通商条約を調印
1906年1月31日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第012号「視学官及視学特別任用令中改正加除ノ件」公布
1906年1月31日 05:00|エカトル/コロンビア| ||エカトル・コロンビア地震>エカトル沖で地震 (マグニチュード 8.8) 死者2000人
1906年2月-09:30|オーストリア| ||サーファーの団体が「ボンド・イ・サーフ・ベ・イ・ス・ライフェイ・イン・クラブ」を設立/この種のクラブとしては世界で最初

1906迄 (2431件)

- 1906年2月-09:00|日本| ||明治39年|<初演>二の替り「女夫波」作・田口掬汀、「椀久末松山」作・渡辺露亭
- 1906年2月-09:00|日本|松竹|明治39年|<開場>松竹「道頓堀中座」
- 1906年2月-02:00|南アフリカ/イギリス| ||スールランドでバントウ人が大規模な反英反乱(バンハットの反乱)
- 1906年2月1日-09:00|日本| ||明治39年|<開館>帝国図書館(→国立国会図書館支部上野図書館→国際こども図書館)<設計:久留正道、真水英夫ほか>
- 1906年2月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第007号「在外公館ニ於テ会計規則ニ定メル手續ヲ省略スルノ件(明三〇勅五八)ヲ統監府及理事庁ニ準用スルノ件」施行(0123公布)
- 1906年2月1日-09:00|日本|国鉄宇品線|明治39年|山陽鉄道:比治山簡易停留場移設
- 1906年2月1日-09:00|日本|北海道岩見沢市|明治39年|<町制施行>北海道空知郡岩見沢村→岩見沢町
- 1906年2月2日-09:00|日本|大阪市電|明治39年|大阪市が電気鉄道課を新設
- 1906年2月2日-09:00|日本|三井住友フィナンシャルグループ|明治39年|<改称>博融株式会社→博融銀行
- 1906年2月2日-01:00|フランス| ||仏、政府官吏の教会財産目録作成に暴動発生。570人負傷
- 1906年2月2日 06:00|アメリカ| ||(米)テンパー造幣局設立
- 1906年2月3日-09:00|日本| ||明治39年|旧Ohrvikens AB「Industrie」を日本海軍汽船「板橋丸」と改名
- 1906年2月3日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第014号「統監府及所属官署職員服制」, 明治39年勅令第015号「統監附陸海軍武官官制」各公布
- 1906年2月3日-02:00|エストニア/ロシア| ||<就任>ロシア領エストニア総督代行「アレクサンドル・ニコラエヴィッチ・キル」(3回目~3. 12)
- 1906年2月4日-09:00|日本|ふくおかフィナンシャルグループ|明治39年|<設立>(株)津田銀行[石川]
- 1906年2月5日-08:00|中国/日本|満州国国鉄奉山線|明治39年|新奉鉄道(日本軍用鉄道)[奉天-(瀋陽)皇姑屯]-馬三家-興隆店-巨流河-新民]開業
- 1906年2月5日-03:00|ソマリア/イタリア| ||<就任>イタリア領ソマリランド王立委員代行「ジヨウ アンニ・チェリナ・フェローニ」(~19070518)
- 1906年2月5日-02:00|フィンランド| ||<就任>フィンランド大公国国務大臣(サントペル伯爵)「カール・フレデリック・ラングホフ」(~19130421)
- 1906年2月8日-09:00|日本| ||明治39年|東洋印刷株式会社設立(代表:手塚猛省、信陽堂石版所・猶興舎石版所等を合併設立)。のち活文堂(活版印刷)・帝国印刷株式会社と合併
- 1906年2月8日-09:00|日本|JR西日本播但線|明治39年|山陽鉄道播但線[姫路-新井]間改マイル。16km延長
- 1906年2月8日-01:00|イタリア| ||<就任>イタリア王国首相(閣僚評議会議長)「シト・ニコソニーノ男爵」(1回目~5. 30)
- 1906年2月8日 10:00|ホリネア| ||ヒチに台風/死者数千人
- 1906年2月9日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|統監府、韓国警察機構を解体し、日本憲兵隊が警察と司法警察を掌握/日本憲兵が韓国内の警察権を管理する「警察憲兵制度」の発足
- 1906年2月9日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第018号「韓国ニ駐劄スル憲兵/行政警察及司法警察ニ関スル件」公布
- 1906年2月9日-05:30|インド| ||<就任>ザイバード国支配者(マック)「セイン・カーン・ゾラウル・カーン」(~1923年1月没)
- 1906年2月9日 06:00|アメリカ| ||アメリカで、ケックのトーステッド・コングレック社が創業となる
- 1906年2月10日-09:00|日本| ||明治39年|<創刊>読売同好会「同好」2月号
- 1906年2月10日-05:30|インド| ||<就任>ヒンドル国ラジャ「カハ・キョール・チャントラ・マルドラジ・ジャグデブ」(~19480101)
- 1906年2月11日-09:00|日本| ||明治39年|<再刊>柳原正之(極堂)「伊予日日新聞」(政党色を廃除)
- 1906年2月11日-05:30|インド| ||<就任>ファリドコット国ラジャ「バルヒル・インダール・シン」(~19180101没)、摂政「サルタル・バハドゥール・レサルタル・バハドゥール・シン」(~1909年6月)
- 1906年2月11日-01:00|スペイン| ||スペインでカロニア分離派の組織「ソリダリダート・カタナ」結成
- 1906年2月12日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第020号「明治三十三年勅令第三百二十九号(救恤寄附金ノ保管出納ニ関スル件)中追加ノ件」公布
- 1906年2月13日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第002号「日本興業銀行法中改正法律」公布施行
- 1906年2月14日-09:30|オーストラリア| ||C. J. デニスとA. E. マーティンがアデレードで風刺雑誌の『ガッドフライ』誌を出版
- 1906年2月15日-09:00|日本| ||明治39年|近事画報社から実業・経済・グラフ雑誌「実業画報」創刊
- 1906年2月15日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第021号「統監旗制定ノ件」公布
- 1906年2月15日-09:00|日本|東武大谷軌道線|明治39年|野州人車鉄道石材[鶴田~徳次郎][仁良塚-芳原]を譲受→宇都宮石材軌道線[鶴田~徳次郎][仁良塚-芳原][材木町~風返][荒針-弁天山][西原町-立岩(1929頃廃止)]/宇都宮軌道運輸を改称
- 1906年2月16日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第022号「統監府通信官署官制第六条中改正ノ件」公布
- 1906年2月16日-04:00|UAE| ||<死去>トバイ首長「Maktoum bin Hasher Al Maktoum」
- 1906年2月16日-04:00|UAE| ||<死去>トバイ統治者(ハキム)「Sheikh Maktum2世 ibn Hushur」
- 1906年2月16日-04:00|UAE| ||<就任>トバイ統治者(ハキム)「Sheikh Bati ibn Suhayl」(~1912. 11、死去)
- 1906年2月16日-01:00|中央アフリカ/フランス| ||<就任>バンギ・チャリ総督「ルイス・ポール・エミリー・ラミー」(4. 4から代行~12. 25)
- 1906年2月16日 00:00|イギリス| ||1月12日のイギリス総選挙で下院に29議席を獲得した労働代表委員会が、労働党と改称/ジェームズ・ケアハティが初代党首となる
- 1906年2月16日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿「アバティーン伯爵ジョン・キャンベル・ハミルトン・ゴードン」(2回目~19150219)
- 1906年2月17日-09:00|日本| ||明治39年|坪内逍遙・島村抱月ら、文化運動団体として文芸協会創立、東京・芝で発会式/余興として「新曲浦島」「沓手鳥孤城落月」作=坪内逍遙
- 1906年2月18日-09:00|日本| ||明治39年|福島県平町の大火(570戸)
- 1906年2月18日-01:00|アントワープ| ||<就任>アントワープ公国共同大公「フランス第三共和政大統領アルマン・ファリエル」(~19130218)

1906迄 (2431件)

- 1906年2月18日-01:00|フランス| |||<就任>フランス共和国第三共和政9代大統領アルマン・フアリエール。ARD, PRD (~19130218)
- 1906年2月19日-09:00|日本| ||明治39年|5紡績会社が日本綿布輸出組合を結成、綿布の満州輸出を促進
- 1906年2月19日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ヴァージニア級戦艦BB-17「(2代)ロード・アイランド」(14948t, フォア・リワード・シッフ & エンジン・ビルディング社)
- 1906年2月19日 06:00|アメリカ| |||ケロッグ・コンフレク誕生
- 1906年2月22日-09:00|日本/アメリカ| ||明治39年|日本・ハワイ間修交通商条約公布
- 1906年2月24日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「朝風」(381t)川崎神戸造船所で竣工
- 1906年2月24日-09:00|日本| ||明治39年|日本平民党が日本社会党に合流し、日本社会党第1回大会を開催
- 1906年2月24日-01:00|フランス| |||<初演>シャル・ガミュー・サン・サンス《歌劇「祖先」》
- 1906年2月24日-01:00|イタリア| |||イタリアでカリック選挙連合結成
- 1906年2月24日 00:00|イギリス| |||<死去>7代ヘスペラ伯「ウォルター・ウィリアム・ブラザンボーン」
- 1906年2月24日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ヘスペラ伯「エドワード・ボーンボーン」(~19201201死去)
- 1906年2月24日 05:00|キューバ| |||各地で自由党員の蜂起/反乱部隊がハバナ郊外のグアナコア兵舎を襲撃、兵士数人を殺害
- 1906年2月25日-09:00|日本| ||明治39年|<創刊>吉川弘文館「高潮」2月号
- 1906年2月25日-09:00|日本/中国|商船三井|明治39年|<運航開始>大阪商船:大阪天津線(第1船大信丸)
- 1906年2月25日-09:00|日本|山梨中央銀行|明治39年|<設立>矢崎銀行[9.21開業]
- 1906年2月27日-09:00|日本| ||明治39年|アメリカ人婦人のフェリスが、仙台市に東北育児院を創設
- 1906年2月27日-01:00|フランス/イギリス/オーストリア| |||イギリスとフランスがニュー・ヘブリデス諸島に関する条約を締結
- 1906年2月27日 06:00|アメリカ| |||<死去>サミュエル・ラングレー、アメリカの天文学者(生年1834年)
- 1906年2月28日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「若葉」(381t)横須賀海軍工廠で竣工
- 1906年3月-09:00|日本|京都府|明治39年|<開設>京都府「嵐山公園」(亀山公園)
- 1906年3月-09:00|日本|明治薬科大学|明治39年|神田薬学校を明治薬学校と改称
- 1906年3月-03:00|マリア/イギリス| |||<就任>イギリス領マリアンダ 弁務官「ハリ・エドワード・ヒラー・コルト」(1回目~1907年7月)
- 1906年3月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>タマスカ・ワス「Ibrahim Shukri Pasha」(~1908.12)
- 1906年3月-01:00|フランス| |||<初演>クロード・アシル・ド・ビュッシー《映像1》→《映像第1集》“水の反映”がイエニス
- 1906年3月 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト弁務官「Wilfred Bennett Davidson-Houston」(~1918年)
- 1906年3月 05:00|タークス・カイコス諸島/イギリス| |||<就任>タークス・カイコス諸島弁務官「Frederick Henry Watkins」(~1914.7)
- 1906年3月1日-09:00|日本| ||明治39年|<移転改称>今泉七五郎「今泉動物園」⇒「浪越教育動植物苑」[大須]
- 1906年3月1日-09:00|日本| ||明治39年|三重紡績会社・大阪紡績会社・金巾紡績会社の3紡績会社、綿布輸出組合三栄組を結成し、綿布の朝鮮輸出促進を協定
- 1906年3月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第013号「明治三十八年勅令第百六十六号(郵便貯金利子割合)中追加/件」施行(0131公布)
- 1906年3月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第025号「明治三十六年勅令第二百三十三号(外国駐劭陸軍武官/在勤俸ニ関スル件)中改正/件」公布
- 1906年3月1日-09:00|日本| ||明治39年|郵便振替貯金制度施行(0109公布)
- 1906年3月1日-09:00|日本|名鉄瀬戸線|明治39年|瀬戸自動鉄道[大曾根-矢田]延伸→[大曾根-瀬戸]開業
- 1906年3月1日-09:00|日本|読売新聞|明治39年|<創刊>読売新聞社「中学文芸」3月号
- 1906年3月1日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島市民知事「Ramon Ledesma Hernandez」(~7.8)
- 1906年3月2日-09:00|日本| ||明治39年|関西美術院、開院式(院長・浅井忠)
- 1906年3月3日-09:00|日本|都電信濃町線|明治39年|東京電気鉄道[信濃町-権田原-陸軍大学校前(>1907頃、廃止)-青山一丁目]開業
- 1906年3月3日-09:00|日本|都電広尾線|明治39年|東京電気鉄道[青山一丁目-蛇ヶ池(>1907廃止)-三聯隊裏(>1940墓地裏)-青山墓地下(>1909墓地下)-霞町-筈町-赤十字病院下-広尾橋-天現寺橋]開業
- 1906年3月3日-03:00|マヨット/フランス| |||<就任>フランス領マヨット植民地総督「フェルナン・フォー」(~1907年)
- 1906年3月4日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第001号「臨時事件費支弁ニ関スル法律」施行(0212公布)
- 1906年3月4日-04:00|ロシア| |||ロシア、労働組合法制定
- 1906年3月5日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>伯爵(公家)中御門流持明院家支流「壬生基修」⇒22日、長男「壬生基義」が襲爵(⇒19361027、死去)
- 1906年3月5日-09:00|日本| ||明治39年|山代温泉の旅館経営者の出資で山代軌道設立
- 1906年3月6日-01:00|フランス| |||<初演>ジョルジュ・ビゼー《喜歌劇「ドン・プロヒオ」》
- 1906年3月7日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第026号「海軍准士官下士任用進級条例第十四条中追加/件」公布
- 1906年3月7日-02:00|フィンランド| |||フィンランドで満24歳以上の男女に普通選挙権が付与される
- 1906年3月8日-09:00|日本| ||明治39年|汽船「松江丸」を日本海軍艦籍に編入、海防艦「松江」となる(19180201、運送船→19200401、運送艦に類別→19220401、測量艦に類別変更)
- 1906年3月8日-09:00|日本| ||明治39年|三栄綿布輸出組合設立(朝鮮向け輸出組合)
- 1906年3月8日-04:00|ロシア/日本| ||明治39年|ロシア船「エカテリナ」正式に日本海軍艦籍に編入、水雷母艦「韓崎」

1906迄 (2431件)

- 1906年3月10日-01:00|フランス| |||フランスのクレール炭鉱で大爆発があり、1200人が死亡
- 1906年3月10日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Charles Louis Lepreux」(~1908. 7)
- 1906年3月11日-09:00|日本| ||明治39年<施行>明治39年法律第3号「台湾銀行法中改正法律」(2. 19公布)
- 1906年3月11日-09:00|日本| ||明治39年<都電焼き討ち事件>運賃値上げに反対した市民が路面電車を、焼失車両54
- 1906年3月11日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|大韓体育クラブ、結成(最初の近代的体育団体)
- 1906年3月12日-02:00|エストニア/ロシア| |||<就任>ロシア領エストニア総督「ヒョートル・ペトローヴィッチ・パシコフ」(~19070731)
- 1906年3月12日-01:00|フランス| |||<就任>フランス第三共和政第62代首相フェルディナン・サラン[共和主義急進派・急進社会党](第1次~1906年10月25日)
- 1906年3月12日 03:00|アルゼンチン| |||<死去>アルゼンチン共和国大統領「マヌエル・ベドローデ・キンタ・イ・サンス・デ・ガウ」
- 1906年3月12日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>アルゼンチン共和国大統領「ホセ・マリア・コルネリオ・フィゲロア・アルコルタ」(~19101012)
- 1906年3月13日-09:00|日本/台湾| ||明治39年| (台湾) 律令2号「台湾浮浪者取締規則」<庁長は、1定の住居又は生業を有せず、公安を害し又は風俗を紊す虞があると認められた本島人に対して、定住又は就業を戒告することができる。②その効果がないときには、定住又は就業を命令し、必要な拘束を加えることができる>
- 1906年3月13日-09:00|日本| ||明治39年| 明治39年法律第005号「明治三十五年法律第二十九号(台湾ニ在勤ル巡査看守陸軍監獄看守及陸軍警守退隠料及遺族扶助料ニ関スル件) 中改正法律」施行(0221公布)
- 1906年3月13日-01:00|フランス| |||<死去>ジョゼフ・モエ、フランスの発明家(生年1823年)鉄筋コンクリートを考案した
- 1906年3月14日-09:00|日本| ||明治39年<連載>吾妻隼人(山中峯太郎)処女小説「真澄大尉」(「大阪毎日新聞」~5月26日)日露戦争での軍事探偵の物語
- 1906年3月14日-09:00|日本| 白洋舎| 明治39年| 五十嵐健治、洗濯業白洋舎を東京日本橋呉服町に開業
- 1906年3月14日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア王国閣僚評議会議長「サヴァ・グレルツ」(5回目~4. 30)
- 1906年3月15日-09:00|日本| ||明治39年<創刊>堺利彦「社会主義研究」由文社/社会主義運動史上最初の専門研究雑誌(~8月1日、終刊5号)
- 1906年3月15日-09:00|日本| ||明治39年| 東京市電値上げ反対デモの2000人余りが市庁、電鉄会社に押し掛け、電車を襲う/軍隊や騎馬巡査が出動して鎮圧
- 1906年3月15日-09:00|日本| ||明治39年| 「戦勝記念博覧会」開催(~5月31日)[開催地]大阪府[会場]天王寺公園/日本初の観覧車
- 1906年3月15日-09:00|日本| 博文館| 明治39年<創刊>博文館から文芸、投書雑誌「文章世界」
- 1906年3月15日 00:00|イギリス| |||<設立>ロール・ロイス社[イギリス]航空機用エンジンや乗用自動車の製造
- 1906年3月17日-08:00|台湾| |||台湾の嘉義地方で大地震が起こり、1258人の死者、4200戸以上の家屋倒壊の被害が出る
- 1906年3月17日 00:00|イギリス| |||イギリス海軍巡洋艦「フラック・プリンス」(13550t)テムズ鉄工造船所で竣工就役
- 1906年3月18日-09:00|日本| ||明治39年| 蔵前工業会設立(機械工芸会、化学工芸会が合併)
- 1906年3月18日-02:00|ルーマニア| |||ルーマニアのトリアン・ガイが動力飛行を試みる。高度1m、距離12mの跳躍であった。欧州における動力による初飛行であると主張したが記録は未公認
- 1906年3月19日 06:00|アメリカ| |||L・デ・フォレスト、三極真空管を発明、特許申請(11月13日に特許取得)
- 1906年3月20日-09:00|日本| ||明治39年<移転開館>帝国図書館(上野図書館)東京・上野公園に新築(鉄骨石造の図書館建築の始)
- 1906年3月20日-09:00|日本| ||明治39年<任意解散>(資)田原銀行[奈良]
- 1906年3月20日-09:00|日本| ||明治39年| 近事画報社からスポーツ、レジャー雑誌「遊楽雑誌」創刊
- 1906年3月20日-01:00|イタリア| |||シチリア島沖のウステイカ島、火山の大噴火で壊滅
- 1906年3月20日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第46代首相「エルネスト・ド・マルフォ・ヒンツェ・リベイロ」(3期目~5. 19)
- 1906年3月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年| 韓国政府、「銀行条例」、「農工銀行条例」を公布
- 1906年3月21日-09:00|日本| 都電江戸川線| 明治39年| 東京市街鉄道[九段坂下(>1908九段下)-飯田町三丁目(>1933飯田町一丁目)-飯田町五丁目-飯田橋]間開業
- 1906年3月21日-09:00|日本| 都電九段線| 明治39年| 東京市街鉄道[俎橋-九段坂下(>1908頃、九段下)]延伸→[小川町-九段坂下(>1908頃、九段下)]
- 1906年3月21日-09:00|日本| 福岡県豊前市| 明治39年<死去>小笠原貞正(67歳)元豊前千束藩主・知藩事
- 1906年3月22日-09:00|日本| ||明治39年| 明治39年法律第007号「非常特別税法中改正法律」、明治39年法律第008号「軍艦水雷艇補充基金/組入ニ関スル法律」各施行(2日公布)
- 1906年3月22日-09:00|日本| 群馬県高崎市| 明治39年<高崎大火>連雀町より出火。250戸が焼失、高盛座も
- 1906年3月22日-01:00|フランス/イギリス| |||初の国際ラグビー試合(パリ)/英、仏に35対8で勝利
- 1906年3月22日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区民政知事「Jose Ribeiro da Cunha」(3期目~5. 17)
- 1906年3月22日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラト・ロイスモ民政知事「Antonio da Fonseca Carvao Paim da Camara」PR(~5. 17)
- 1906年3月23日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポントデ・ルガダ民政知事「Francisco de Melo Manuel Leite de Arruda」PR(1期目~5. 17)
- 1906年3月24日-09:00|日本| ||明治39年<死去>三吉正一(54歳)電気技術者
- 1906年3月24日-01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督代行「エルネスト・アウグスト・ゴメス・デ・ソウザ」(1回目~5. 30)
- 1906年3月24日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ民政知事「Jose Bressane Leite Perry, visconde PR de Leite Perry」(2期目~5. 17)

1906迄 (2431件)

- 1906年3月24日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースティウス島副知事代理「Theophilus George Groebe」(5期目~19070928)
- 1906年3月25日-09:00|日本| ||明治39年|破壊(島崎藤村)<被差別部落の青年を主人公とした長篇小説/自費出版>
- 1906年3月25日-01:00|ハンガリー| |||ハンガリーでア・ヒムが独立社会主義農民党を結成
- 1906年3月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|韓国政府、「水利組合条例」を公布
- 1906年3月26日-09:00|日本|サッポロ・ホールディングス|明治39年|大日本麦酒[札幌、日本(エビス)、大阪(朝日)]の3社が合併|創立
- 1906年3月26日-01:00|赤道ギニア/スペイン| |||<就任>フェルナンド・ホー総督「デ・イコ・サバト・ラ・イ・マダレナ」(1回目~9.20)
- 1906年3月26日 06:00|アメリカ| |||ロケット工学の研究をしていたゴダードは、マチューセツの雪の積った畑で、初の液体燃料ロケットを打ち上げた
- 1906年3月27日-07:00|タイ| |||<就任>チャクリ-王朝摂政「ワジラウッタ」王子(~19071117)
- 1906年3月27日-01:00|フランス| |||<死去>ウジェーヌ・カリエル(57歳)フランスの画家
- 1906年3月27日 00:00|ギニア/フランス| |||<就任>フランス領ギニア植民地副総督代行「ジュール・ルイ・リシャール」(~19070516)
- 1906年3月27日 06:00|アメリカ| |||<死去>トッド・ラムゼイ、メジャーリーグ-(生年1864年)
- 1906年3月28日-09:00|日本|岡山県勝田郡勝央町|明治39年|<町制施行>岡山県勝田郡勝間田村→勝間田町
- 1906年3月28日-09:00|日本|岡山県倉敷市|明治39年|<町制>岡山県児島郡味野村が町制改称→味野町
- 1906年3月28日-09:00|日本|岡山県備前市|明治39年|<町制施行>岡山県和気郡日生村が町制施行→日生町、三石村→三石町
- 1906年3月28日-09:00|日本|中国銀行|明治39年|<改称>(株)二六貯金銀行⇒(株)普通銀行
- 1906年3月28日 00:55|日本|長崎県|明治39年|<長崎県西彼杵炭田三菱高島炭鉱崩壊坑が爆発事故>午前9時55分、長崎半島西沖合に浮かぶ高島炭鉱の崩壊坑口から、突如、爆音と共に高さ30mに達する火炎があがった。同坑口から次いで大きな黒煙が吹き出され、坑内の設備の大部分は崩れ落ちた。入坑していた307人全員が死亡
- 1906年3月29日-09:00|日本| ||明治39年|<移転>(株)鴨川銀行[千葉⇒東京]
- 1906年3月30日-09:00|日本|熊本大学|明治39年|第五高等学校工学部を独立させて熊本高等工業学校設立
- 1906年3月30日-09:00|日本|東北大学|明治39年|仙台高等工業学校設置
- 1906年3月30日-08:00|フィリピン/アメリカ| |||<就任>アメリカ領フィリピン総督代理「ヘンリー・Clay Ide」(⇒4.2総督~9.19)
- 1906年3月30日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<就任>ギニア総督「Louis Alphonse Bonhoure」(~5.30)
- 1906年3月31日-09:00|日本| ||明治39年|貴衆両院議員に鉄道無賃乗車券の交付開始
- 1906年3月31日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第051号「明治三十七八年従軍記章条例」、明治39年勅令第061号「博覧会開設臨時調査会官制」各公布
- 1906年3月31日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第004号「明治三十一年法律第三号(北海道官設鉄道会計ニ関スル件)廃止法律」施行(0219公布);明治39年勅令第034号「捕獲審検所及高等捕獲審検所閉鎖ノ件」施行(30日公布)
- 1906年4月-11:00|ミクロネシア/パラオ/ドイツ| |||<就任>西カリソ諸島・パラオ政治的軍事的総督代行「ゲルグ・フリッツ」(1回目~1907年)
- 1906年4月-09:00|日本| ||明治39年|東京信託会社、株式会社に改組(最初の株式会社組織信託会社といわれる)
- 1906年4月-09:00|日本|静岡大学|明治39年|静岡県尋常師範学校女子部が独立し静岡県女子師範学校が設立
- 1906年4月-09:00|日本/中国|日本郵船|明治39年|日本郵船が神戸大連線開始
- 1906年4月-02:00|ザンビア/イギリス| |||<就任>イギリス保護領ローデシア北西部管理者代理「Francis James Newton」(~8月)
- 1906年4月-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュトラのワリス「サフ・セッキ・パシヤ」(~1907年2月)
- 1906年4月 00:55|日本|長崎県平戸市|明治39年|<死去>松浦脩(75歳)元肥前平戸新田藩主
- 1906年4月1日-12:00|オーストリア| |||<就任>トイ帝国オーストリア長「コンラート・ゲッペルト」(~1908年没)
- 1906年4月1日-09:00|日本| ||明治39年|<掲載>夏目漱石「坊っちゃん」(「ホトギス」付録)<江戸っ子の若い主人公が四国の中学に数学の教師として赴任する>
- 1906年4月1日-09:00|日本/ロシア| ||明治39年|<創刊>露字日刊新聞「ウオア(自由)」ロシアの革命党員の手による(→1907.3領事館からの干渉圧迫があり廃刊)
- 1906年4月1日-09:00|日本| ||明治39年|工業教育会(大阪)創業(宇野米吉)はじめ労働問題・工場関係書、のち縦横関係書出版
- 1906年4月1日-09:00|日本| ||明治39年|農業世界(博文館→43巻6号:昭23.6-博友社)創刊-63巻6号(昭43.6)月刊
- 1906年4月1日-09:00|韓国/朝鮮| |||平城と漢城をむすぶ京漢線が全線開通
- 1906年4月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第023号「北海道ニ於ケル郡ノ廃止及郡界ノ変更ニ関スル件」施行(0221公布);明治39年法律第006号「国債整理基金特別会計法」施行(0302公布);明治39年法律第009号「産業試験費講習費国庫補助法」施行(0310公布);明治39年勅令第028号「海軍採炭所官制別表中改正ノ件」施行(0324公布);明治39年勅令第030号「明治三十二年勅令第三百四十二号(開港及開港ニ於テ輸出スベキ貨物ノ指定ニ関スル件)中加除ノ件」、明治39年勅令第031号「明治三十二年勅令第六十九号(税関支署名称位置及管轄区域ノ件)ノ件」、明治39年勅令第044号「中央气象台官制中改正追加ノ件」各施行(0329公布);明治39年勅令第032号「臨時行賞事務ニ関スル職員」、明治39年勅令第033号「印刷局官制第二条中改正ノ件」、明治39年勅令第035号「衛生試験所官制第六条中改正ノ件」、明治39年勅令第037号「専売局作業会計規則中改正ノ件」、明治39年勅令第038号「税関官制第四条中改正ノ件」、明治39年勅令第039号「東京帝国大学官制中改正追加ノ件」、明治39年勅令第040号「京都帝国大学官制中改正ノ件」

1906迄 (2431件)

- 件」, 明治39年勅令第041号「文部省直轄諸学校官制第一条中追加/件」, 明治39年勅令第042号「臨時教員養成所官制第四条中改正/件」, 明治39年勅令第043号「帝国図書館官制第二条中改正/件」, 明治39年勅令第047号「鉱山監督署官制第二条中改正/件」, 明治39年勅令第048号「種牛牧場官制」, 明治39年勅令第049号「蚕業講習所官制第八条中改正/件」, 明治39年勅令第050号「遠洋漁業奨励=関ル職員設置」, 明治39年法律第015号「塩専売法中改正法律」, 明治39年法律第016号「醬油税則中改正法律」各施行 (0330公布); 明治39年勅令第053号「日本薬局方調査会官制」, 明治39年勅令第054号「明治三十年勅令第三百九十五号 (北海道庁支庁/名称位置及管轄区域表) 中加除/件」, 明治39年勅令第055号「大蔵省臨時建築部官制中改正追加/件」, 明治39年勅令第056号「明治三十年勅令第十三号 (横浜港灣維持=関ル職員/件) 中改正/件」, 明治39年勅令第057号「林区署官制中改正削除明治三十八年勅令第二百二十四号 (臨時国有林作業=関ル職員/件) 廃止/件」, 明治39年勅令第059号「足尾国有林復旧事業=関ル職員設置/件」, 明治39年勅令第064号「文武判任官等級表中改正加除/件」各施行 (0331公布); 明治39年法律第020号「軍人恩給法中改正法律」, 明治39年法律第021号「明治三十三年法律第七十五号 (台湾=在勤ル官吏/恩給及遺族扶助料=関ル件) 中改正法律」, 明治39年法律第022号「明治三十三年法律第七十六号 (台湾=服役ル軍人/恩給及遺族扶助料=関ル件) 中改正法律」各公布施行
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | | 明治39年 | 明治39年勅令第065号「在外公館費用条例中改正加除/件」, 明治39年勅令第066号「明治三十七年勅令第三十二号 (戦時又ハ事変=際) 臨時外務省=属ヲ置ク/件」廃止/件」各公布
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | | 明治39年 | 陸軍戸山学校・陸軍騎兵実施学校・陸軍夜戦学校・陸軍要塞砲兵射撃学校が開校
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | | 明治39年 | 「凱旋記念内国製産品博覧会」開催 (~5月31日) [開催地] 京都府 [会場] 岡崎公園博覧会館 [主催] 京都博覧協会 [入場者] 224, 397人
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 愛知県清須市 | 明治39年 | <合併> 愛知県西春日井郡 [新川町・桃栄町・寺野村・阿原村] が合併→新川町
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 愛知県豊田市 | 明治39年 | <合併> 愛知県西加茂郡 [高岡村・藤河村・富貴下村の一部<上川口・下川口・御作>] が合併→藤岡村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 大分県別府市 | 明治39年 | <合併> 大分県速見郡 [別府町・浜脇町] → 別府町
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県岡山市 | 明治39年 | <合併> 岡山県児島郡 [灘村・彦崎村の一部] が合併→灘崎村、[福岡村・彦崎村の一部・木見村の一部] が合併→郷内村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県久米郡久米南町 | 明治39年 | <分離編入> 岡山県久米郡加美村の一部が分離編入→稲岡南村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県倉敷市 | 明治39年 | <合併> 岡山県児島郡 [福岡村・彦崎村の一部・木見村の一部] 合併→郷内村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県倉敷市 | 明治39年 | <分離編入> 岡山県児島郡木見村の一部を編入→田ノ口村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県高梁市 | 明治39年 | <編入> 岡山県川上郡成羽村→成羽町に編入
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県玉野市 | 明治39年 | <合併> 岡山県児島郡 [日比村・玉野村の一部] が合併町制→日々町、[田井村の一部・玉野村の一部] が合併→宇野村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 岡山県玉野市 | 明治39年 | <分離編入> 岡山県児島郡田井村の残部を編入→八浜町
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 香川県 | 明治39年 | 木田郡立甲種農林学校を香川県立農林学校と改称
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 熊本県阿蘇市 | 明治39年 | <町制施行> 熊本県阿蘇郡内牧村→内牧町
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 熊本県熊本市 | 明治39年 | <町制施行> 熊本県飽託郡春日村→春日町
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 熊本大学 | 明治39年 | 第五高等学校工学部、分離独立して熊本高等工業学校設置
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | JR西日本播但線 | 明治39年 | 山陽鉄道播但線 [新井-竹田-和田山] 間13. 84km延伸開業→ [飾磨-豆腐町] [姫路-和田山] 全通
- 1906年4月1日-09:00 | 日本/中国 | 商船三井 | 明治39年 | <運航開始> 大阪商船・長崎大連線
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 新潟県北蒲原郡聖籠町 | 明治39年 | <合併> 新潟県北蒲原郡 [聖籠村・蓮野村・蓮瀧村・藤井村の一部<横井・笠柳>] 合併→聖籠村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 新潟県長岡市 | 明治39年 | <合併> 新潟県古志郡 [川西村・四箇村] 合併→上川西村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 新潟県長岡市 | 明治39年 | <市制施行> 新潟県古志郡長岡町→長岡市
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 新潟県新潟市 | 明治39年 | <合併> 新潟県西蒲原郡 [秋津村・曲通村・中合村] 合併→月潟村、北蒲原郡 [藤井村の一部<藤寄>・島崎村・鳥屋村・笹山村] 合併→木崎村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 新潟県南魚沼市 | 明治39年 | <合併> 新潟県南魚沼郡 [塩沢町・吉里村・栢窪村・富実村・中目来田村・上島村・大富村の一部] が合併→塩沢町、[上関村・大沼村・大君田村] 合併→石打村、[六日町・大富村の一部<西泉田>・小栗山村・君帰村・欠ノ上村・余川村・川窪村・美佐島村・八幡村・三和村の一部<大月・東泉田>] 合併→六日町、[三和村の一部<雲洞>・南旭村・長崎村・旭村] 合併→上田村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 新潟大学 | 明治39年 | 新潟県女子師範学校が新潟県長岡女子師範学校に改称
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 北海道旭川市 | 明治39年 | <発足> 北海道上川郡 [東旭川村・永山村] が村制施行
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 北海道芦別市 | 明治39年 | <発足> 北海道空知郡芦別村が村制施行
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 北海道厚岸郡浜中町 | 明治39年 | <発足> 北海道厚岸郡 [浜中村・後静村・琵琶瀬村・散布村・霧多布村・榊町] が合併村制施行→浜中村
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 北海道虻田郡喜茂別町 | 明治39年 | <発足> 北海道虻田郡真狩村が村制施行
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 北海道虻田郡京極町 | 明治39年 | <発足> 北海道虻田郡俱知安村が村制施行
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 北海道虻田郡俱知安町 | 明治39年 | <発足> 北海道虻田郡俱知安村が村制施行
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 北海道虻田郡セト町 | 明治39年 | <発足> 北海道虻田郡狩太村が村制施行
- 1906年4月1日-09:00 | 日本 | 北海道虻田郡真狩村 | 明治39年 | <発足> 北海道虻田郡真狩村が村制施行

1906迄 (2431件)

1906年4月1日-09:00|日本|北海道虻田郡留寿都村|明治39年|<発足>北海道虻田郡真狩村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道岩内郡共和町|明治39年|<発足>北海道岩内郡[前田村・老古美村・梨野舞納村・幌似村の一部]が合併村制施行→前田村、[発足村・幌似村の一部]が合併村制施行→発足村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道岩見沢市|明治39年|<発足>北海道空知郡栗沢村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道歌志内市|明治39年|<発足>北海道空知郡歌志内村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道雨竜郡雨竜町|明治39年|<発足>北海道雨竜郡秩父別村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道恵庭市|明治39年|<発足>北海道千歳郡[漁村・島松村]が合併村制施行→恵庭村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道江別市|明治39年|<発足>北海道札幌郡[江別村・対雁村]・石狩郡篠津村が合併村制施行→札幌郡江別村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道奥尻郡奥尻町|明治39年|<発足>北海道奥尻郡[釣懸村・赤石村・薬師村・青苗村]が合併村制施行→奥尻村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道小樽市|明治39年|<発足>北海道忍路郡[塩谷村・桃内村・忍路村・蘭島村]が合併村制施行→塩谷村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道河西郡芽室町|明治39年|<発足>北海道河西郡[芽室村・美生村・羽帯村]・河東郡[美蔓村・西士狩村]が合併村制施行→河西郡芽室村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道河東郡音更町|明治39年|<発足>北海道河東郡[音更村・然別村・東士狩村]・中川郡洞寒村の一部が合併村制施行→河東郡音更村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道河東郡上士幌町|明治39年|<発足>北海道河東郡[音更村・東士狩村・他1村]・中川郡洞寒村の一部が合併村制施行→河東郡音更村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道河東郡鹿追町|明治39年|<発足>北海道河東郡[音更村・然別村・東士狩村]・中川郡1村の一部が合併村制施行→河東郡音更村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道河東郡士幌町|明治39年|<発足>北海道河東郡[音更村・東士狩村・他1村]・中川郡洞寒村の一部が合併村制施行→河東郡音更村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道樺戸郡月形町|明治39年|<発足>北海道樺戸郡月形村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道上磯郡知内町|明治39年|<発足>北海道上磯郡[知内村・小谷石村]が合併村制施行→知内村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道上川郡愛別町|明治39年|<発足>北海道上川郡愛別村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道上川郡剣淵町|明治39年|<発足>北海道上川郡剣淵村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道上川郡清水町|明治39年|<発足>北海道河西郡[芽室村・羽帯村・他1村]・河東郡2村が合併村制施行→河西郡芽室村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道上川郡鷹栖町|明治39年|<発足>北海道上川郡鷹栖村の一部が村制施行→鷹栖村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道上川郡当麻町|明治39年|<発足>北海道上川郡当麻村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道上川郡東川町|明治39年|<発足>北海道上川郡東川村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道上川郡比布町|明治39年|<発足>北海道上川郡鷹栖村の一部が村制施行→比布村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道茅部郡鹿部町|明治39年|<発足>北海道茅部郡鹿部村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道茅部郡森町|明治39年|<発足>北海道茅部郡[砂原村・掛潤村]が合併村制施行→砂原村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道久遠郡せたな町|明治39年|<発足>北海道瀬棚郡東瀬棚村が村制施行;太櫓郡[太櫓村・古櫓太村・良榴石村・鶴泊村]が合併村制施行→太櫓村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道札幌市|明治39年|<発足>北海道札幌郡[琴似村・発寒村・篠路村の一部]が合併村制施行→琴似村、[山鼻村・円山村]が合併村制施行→藻岩村、篠路村の一部が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道様似郡様似町|明治39年|<発足>北海道様似郡[様似村・鶴苦村・平鶴村・冬島村・二七村・岡田村・幌満村・誓内村]が合併村制施行→様似村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道士別市|明治39年|<発足>北海道上川郡士別村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道島牧郡島牧村|明治39年|<発足>北海道島牧郡[永豊村・千走村・江泥辺村・原歌村]が合併村制施行→西島牧村、[本目村・歌島村・軽臼村]が合併村制施行→東島牧村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道積丹郡積丹町|明治39年|<発足>北海道積丹郡[西河村・来岸村・余別村・神岬村]が合併村制施行→余別村、[野塚村・日司村・入舸村・出岬村]が合併村制施行→入舸村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道寿都郡寿都町|明治39年|<発足>北海道歌棄郡[潮路村・有戸村・種前村・美谷村]が合併村制施行→歌棄村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道瀬棚郡今金町|明治39年|<発足>北海道瀬棚郡利別村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道空知郡上富良野町|明治39年|<発足>北海道空知郡上富良野村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道空知郡中富良野町|明治39年|<発足>北海道空知郡上富良野村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道滝川市|明治39年|<発足>北海道空知郡滝川村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道十勝郡浦幌町|明治39年|<発足>北海道十勝郡[生剛村・愛牛村]が合併村制施行→生剛村;十勝郡[大津村・長臼村・龍奴村・十勝村]・当縁郡1村・中川郡1村が合併村制施行→十勝郡大津村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道苫前郡羽幌町|明治39年|<発足>北海道苫前郡[焼尻村・天売村]が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道中川郡池田町|明治39年|<発足>北海道中川郡[洞寒村の一部・蝶多村の一部・十弗村・様舞村・誓牛村・信取村・蓋派村・居辺村]が合併村制施行→洞寒村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道中川郡豊頃町|明治39年|<発足>北海道中川郡[豊頃村・安骨村]が合併村制施行

1906迄 (2431件)

- 豊頃村;十勝郡[大津村・長臼村・他2村]・当縁郡当縁村の一部・中川郡旅来村が合併村制施行→十勝郡大津村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道中川郡幕別町|明治39年|<発足>北海道中川郡[幕別村・止若村・唖別村・白人村・別奴村]が合併村制施行→幕別村;広尾郡の1村・当縁郡[当縁村の一部・他2村]が合併村制施行→広尾郡茂寄村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道根室市|明治39年|<発足>北海道根室郡[和田村・穂香村・幌茂尻村・厚別村]・花咲郡[昆布盛村・落石村]が合併村制施行→根室郡和田村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道函館市|明治39年|<発足>北海道茅部郡[臼尻村・熊泊村]が合併村制施行→臼尻村・尾札部村が村制施行;亀田郡尻岸内村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道日高郡新ひだか町|明治39年|<発足>北海道三石郡[姨布村・辺訪村・幌毛村・鳧舞村・本桐村・歌笛村]が合併村制施行→三石村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道美唄市|明治39年|<発足>北海道空知郡[沼貝村・市来知村の一部]が合併村制施行→沼貝村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道檜山郡厚沢部町|明治39年|<発足>北海道檜山郡[土橋村・目名村・俄虫村・赤沼村・安野呂村・館村・鶉村]が合併村制施行→厚沢部村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道檜山郡江差町|明治39年|<発足>北海道檜山郡[泊村・伏木戸村・柳崎村・鍼川村・小黒部村・田沢村]が合併村制施行→泊村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道広尾郡大樹町|明治39年|<発足>北海道当縁郡[歴舟村・大樹村・当縁村の一部]・広尾郡の1村が合併村制施行→広尾郡茂寄村;十勝郡4村・当縁郡当縁村の一部・中川郡1村が合併村制施行→十勝郡大津村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道広尾郡広尾町|明治39年|<発足>北海道広尾郡茂寄村・当縁郡の3村が合併村制施行→茂寄村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道深川市|明治39年|<発足>北海道雨竜郡一已村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道古宇郡神恵内村|明治39年|<発足>北海道古宇郡[神恵内村・赤石村・珊内村]が合併村制施行→神恵内村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道北斗市|明治39年|<発足>北海道上磯郡[茂辺地村・石別村]が合併村制施行→茂別村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道幌泉郡えりも町|明治39年|<発足>北海道幌泉郡[幌泉村・油駒村・小越村・庶野村・猿留村・近呼村・笛舞村・歌露村・歌別村]が合併村制施行→幌泉村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道松前郡福島町|明治39年|<発足>北海道松前郡[礼髭村・吉岡村・宮歌村]が合併村制施行→吉岡村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道三笠市|明治39年|<発足>北海道空知郡[市来知村の一部・幌内村・幾春別村]が合併村制施行→三笠山村
1906年4月1日-09:00|日本|北海道紋別郡滝上町|明治39年|<発足>北海道紋別郡渚滑村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道紋別郡湧別町|明治39年|<発足>北海道紋別郡湧別村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道紋別市|明治39年|<発足>北海道紋別郡渚滑村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道山越郡長万部町|明治39年|<発足>北海道山越郡長万部村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道夕張市|明治39年|<発足>北海道夕張郡登川村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道勇払郡厚真町|明治39年|<発足>北海道勇払郡厚真村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道勇払郡安平町|明治39年|<発足>北海道勇払郡安平村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道余市郡赤井川村|明治39年|<発足>北海道余市郡赤井川村が村制施行
1906年4月1日-09:00|日本|北海道留萌郡小平町|明治39年|<発足>北海道留萌郡[鬼鹿村・天登雁村]が合併村制施行→鬼鹿村
1906年4月1日-09:00|日本|満鉄安奉線|明治39年|安奉軽便鉄道(日本軍用鉄道)[沙河鎮-鳳凰城-鷄冠山-(石井)-秋木-連山閣-南フ-橋頭-孟家-本溪湖-石橋-渾河-奉天(>南奉天)]開業
1906年4月1日-09:00|日本|スノ|明治39年|大阪で美津濃商店が創業
1906年4月1日-01:00|サマリノ|||<就任>サマリノ共和国執政「シヨウアンニ・ベルツィ」「ヒ・エトロ・フランチニ」
1906年4月2日 00:00|ガナ/イギリス|||<就任>ワールド・コースト総督・最高司令官代行「ハ・ハート・ブライアン」(3回目~9.2)
1906年4月3日-09:00|日本|||明治39年|<創刊>百芸雑誌社「月刊百藝雑誌」4月号
1906年4月3日-09:00|日本|クラブ・コスメチックス|明治39年|中山太陽堂がクラブ洗粉を発売
1906年4月4日-09:00|韓国/朝鮮|||大韓帝国で政治結社大韓自強会結成
1906年4月4日-09:00|日本|||明治39年|明治39年勅令第067号「陸軍士官学校条例中改正削除ノ件」公布
1906年4月5日-09:00|日本|||明治39年|小島鳥水らの山岳会が機関紙「山岳」を創刊
1906年4月5日-09:00|日本|||明治39年|日本海軍第六型「第六潜水艇」「第七潜水艇」川崎造船所で竣工
1906年4月5日-09:00|日本|||明治39年|明治39年勅令第068号「明治二十六年勅令第九十三号(東京帝国大学講座ノ件)中改正追加ノ件」公布
1906年4月5日-01:00|コンゴ共和国/ガボン/フランス|||<就任>フランス領中央コンゴ管理責任者「アドル・ルイ・キロー」(~19090312)
1906年4月5日-01:00|ドイツ|||ドイツ海軍巡洋艦「ローン」竣工就役(1916年11月、武装が取り払われて練習艦兼宿泊艦に改装)
1906年4月6日-09:00|日本|||明治39年|土地復権同志会創立(宮崎民蔵ら)
1906年4月6日-09:00|日本|||明治39年|明治39年法律第010号「災害地方田畑地租免除ニ関スル法律」施行(0317公布)
1906年4月6日-09:00|日本|土佐電機橋線|明治39年|土佐電気鐵道潮江線[堀詰-(八百屋町通)-潮江橋-梅ノ辻]延

1906迄 (2431件)

伸開業改称→棧橋線〔堀詰～棧橋〕

- 1906年4月7日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第025号「台湾総督府鉄道部現金前渡官吏設置ニ関スル法律」公布施行
- 1906年4月7日-01:00|イタリア| |||イタリアのヴェスヴィオ火山噴火/死傷者数百人
- 1906年4月7日 00:00|モロッコ/フランス/スペイン| |||アルハシス議定書締結/モロッコは名目上は独立国となるが、警察権を西仏両国に握られる
- 1906年4月8日-09:00|日本|三菱UFJフィナンシャル・グループ|明治39年|(株)中笠貯蓄銀行、愛知に設立(明治39.08.1開業)
- 1906年4月8日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国首相「シャントル・ウエケル」(2回目~19100118)
- 1906年4月10日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>美術商、林忠正/54歳
- 1906年4月10日-09:00|日本|愛知県知多市|明治39年|<合併>愛知県知多郡〔金沢村・日長村〕が合併→旭村
- 1906年4月11日-09:00|日本| ||明治39年|<竣工>豊明図書館兼講堂(目白台、→日本女子大学成瀬記念講堂)<設計:田辺淳吉(清水組)>
- 1906年4月11日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第069号「内務省官制第十二条中改正ノ件」公布
- 1906年4月11日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第012号「国債証券ノ取引所稅廢止ニ関スル法律」、明治39年法律第014号「鉄道敷設法中改正法律」各施行(0322公布)
- 1906年4月11日-09:00|日本|学習院|明治39年|華族女学校と学習院を併合し、華族女学校を学習院女学部と改称
- 1906年4月11日-08:00|台湾/日本| ||明治39年|<就任>台湾総督「佐久間左馬太子爵・陸軍大将」(⇒1907年、伯爵に陞爵~19150501)
- 1906年4月12日-09:00|日本| ||明治39年|<開設>天の橋立公園〔京都府与謝郡〕
- 1906年4月13日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第070号「陸軍服制中削除ノ件」、明治39年勅令第071号「陸軍戦時服服制中改正削除ノ件」、明治39年勅令第072号「陸軍軍服服制中濃紺絨ヲ以テ茶褐絨ニ代用スルノ件」、明治39年勅令第073号「明治三十七年勅令第二十五号(臨時海軍軍法會議及海軍合圍地軍法會議ニ於ケル主理、録事、海軍警査ニ関スル件)第一条中追加ノ件」、明治39年勅令第074号「明治三十七年勅令第三十一号(臨時海軍監獄ニ関スル件)ノ件」各公布
- 1906年4月13日-09:00|日本|愛知県知多市|明治39年|<合併>愛知県知多郡〔八幡村・新知村・佐布里村〕が合併→八幡村
- 1906年4月13日-09:00|日本|都電蓬萊橋線|明治39年|東京市街鉄道三原橋線〔三原橋-蓬萊橋〕開業/1907廃止
- 1906年4月13日-03:00|サウジアラビア| |||<死去>ジャバル・シヤマル首長「アブドゥル・アジズ・ブン・ムタワ・アル・ラシド」イブン・サウド家に攻殺される
- 1906年4月13日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>ジャバル・シヤマル首長「ムタワ2世イブン・アブドゥル・アジズ・アル・ラシド」(~12.27没)
- 1906年4月13日 00:00|イギリス| |||<死去>ウォルター・ウェルトン、イギリスの生物学者(生年1860年)
- 1906年4月13日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、テキサス州ブラウンズウِيلで人種的衝突が発生、3人の白人が死亡
- 1906年4月13日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍戦艦「キヤサジ」キューバのクルーズ岬沖での射撃訓練中に13インチ主砲の装薬が爆発事故を起こし、士官2名と兵員8名が死亡
- 1906年4月14日-09:00|日本| ||明治39年|<移転改称>番町教会⇒富士見町教会〔東京富士見町〕
- 1906年4月14日-09:00|日本| ||明治39年|<特別保護建造物>佐竹寺本堂〔室町後期〕〔茨城県常陸太田市大字天神林〕;小山寺三重塔〔室町中期〕〔茨城県桜川市富谷〕;大宝八幡神社本殿〔桃山〕〔茨城県下妻市大字大宝〕;大泉寺観音堂〔桃山〕〔新潟県柏崎市大字大清水〕;蓮華峰寺:金堂〔室町中期〕・弘法堂〔桃山〕〔新潟県佐渡市小比叡〕;魚沼神社阿弥陀堂〔室町後期〕〔新潟県小千谷市土川2〕;雄山神社前立社壇本殿〔室町後期〕〔富山県中新川郡立山町岩嶺寺〕;妙成寺:本堂・祖師堂〔桃山〕・五重塔〔江戸前期〕〔石川県羽咋市滝谷町〕;氣多神社撰社若宮神社本殿〔室町後期〕〔石川県羽咋市寺家町〕;長光寺地蔵堂〔室町後期〕〔愛知県稲沢市六角堂〕;園城寺:塔婆(三重塔)〔室町前期〕・一切経蔵(経堂)〔室町中期〕・金堂・閻伽井屋〔桃山〕〔滋賀県大津市園城寺町〕;日吉大社:撰社樹下神社本殿及び拝殿・撰社白山姫神社本殿及び拝殿〔桃山〕〔滋賀県大津市坂本本町〕;八幡神社本殿(儀俄大宮)〔桃山〕〔滋賀県甲賀市水口町巖峨〕;油日神社:楼門・左廻廊・右廻廊〔室町後期〕〔滋賀県甲賀市甲賀町油日〕;老杉神社本殿〔室町中期〕〔滋賀県草津市下笠町〕;小津神社本殿〔室町後期〕〔滋賀県守山市杉江町〕;大宝神社境内社追来神社本殿〔鎌倉後期〕〔滋賀県栗東市繕〕;靈雲院書院〔室町後期〕〔京都市右京区花園妙心寺町〕;御香宮神社表門〔江戸前期〕〔京都市伏見区御香宮門前町〕;藤森神社境内社:八幡宮本殿・大將軍社社殿〔室町後期〕〔京都市伏見区深草烏居崎町〕;寶塔寺:四脚門(総門)・塔婆(多宝塔)〔室町中期〕〔京都市伏見区深草宝塔寺山町〕;許波多神社本殿〔室町後期〕〔京都府宇治市五ヶ庄古川〕;荒見神社本殿〔桃山〕〔京都府城陽市富野荒見田〕;久世神社本殿〔室町前期〕〔京都府城陽市久世芝ヶ原〕;水度神社本殿〔室町中期〕〔京都府城陽市寺田水度坂〕;出雲大神宮本殿〔室町前期〕〔京都府亀岡市千歳町〕;元興寺極楽坊禅室〔鎌倉前期〕〔奈良市中院町〕;東大寺:本坊経庫(奈良)・二月堂参籠所〔鎌倉後期〕・法華堂手水屋〔室町前期〕〔奈良市雑司町〕;南明寺本堂〔鎌倉後期〕〔奈良市阪原町〕;傳香寺本堂〔桃山〕〔奈良市小川町〕;圓成寺楼門〔室町後期〕〔奈良市忍辱山町〕;石上神宮:拝殿〔鎌倉前期〕・石上神宮楼門〔鎌倉後期〕〔奈良県天理市布留町〕;金峯山寺二王門〔室町中期〕〔奈良県吉野郡吉野町大字吉野山〕;百濟寺三重塔〔鎌倉後期〕〔奈良県北葛城郡広陵町大字百濟〕;南法華寺三重塔〔室町後期〕〔奈良県高市郡高取町大字壺坂〕;崇福寺:大雄宝殿・第一峰門〔江戸前期〕・三門(楼門)〔江戸末期〕〔長崎市鍛冶屋町〕
- 1906年4月14日-09:00|日本|山陰合同銀行|明治39年|今市奨業合資会社、今市奨業銀行と改称
- 1906年4月14日-09:00|日本|福井県|明治39年|浄得寺「世界及び日本図六曲屏風」国宝に指定
- 1906年4月14日-08:00|台湾| |||台湾南西部大地震/死者15, 家屋倒壊1794
- 1906年4月14日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官代行「ケラム・ジョン・パウアー」(3回目~19060914)

1906迄 (2431件)

- 1906年4月14日 06:00|アメリカ| |||ハイチ州、群衆3千がはやし立て暴徒が黒人2人を焼殺
- 1906年4月15日-09:00|日本| ||明治39年|二代目市川猿蔵、没40才
- 1906年4月15日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第075号「逓信省官制中改正ノ件」、明治39年勅令第077号「海軍局官制第四条中改正ノ件」各公布
- 1906年4月15日-03:00|タンザニア/ドイツ| |||<就任>ドイツ東アフリカ植民地知事「ゲオルク・アルブレヒト・フライヘル・フォン・レヒェンベルク」(~19120422)
- 1906年4月16日-09:00|日本| ||明治39年|<開通>川越電気鉄道[川越町~大宮町]間
- 1906年4月16日-09:00|日本|JR|明治39年|新橋-神戸間<最大急行列車>の運転はじまる(時速44km, 所要13時間40分)
- 1906年4月16日-09:00|日本|JR東海東海道本線|明治39年|官設鉄道東海道線:清洲→枇杷島/移転駅名改称
- 1906年4月16日-09:00|日本|西武大宮線|明治39年|川越電気鉄道[川越久保町-成田山前-二ノ関-沼端-黒須-芝池-高木-合土(西遊馬)-五味貝戸-内野-並木-(種鶏場前)-大成-工場前-大宮]開業電車運転開始
- 1906年4月16日-09:00|日本|広島県|明治39年|広島県佐伯郡大竹村でペスト患者発生(6. 16、死者10人(油見村1人を含む)に達する)
- 1906年4月17日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>磯部百麟、日本画家(生年1836年)
- 1906年4月17日-09:00|日本| ||明治39年|警視庁、巡査教習所を警察消防練習所と改称、選抜消防職員の教育訓練開始、あわせ現役職員及び新人職員、組員の教育訓練も規定化、但し現役消防組員は対象外
- 1906年4月17日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍砲艦「隅田」(105t)(イギリス、ソニコワ社で製造)上海ファナム社で組立て竣工就役
- 1906年4月17日-09:00|日本| ||明治39年|日本製紙所組合、規約改正し、日本製紙連合会と改称
- 1906年4月17日-09:00|日本|祐徳軌道|明治39年|祐徳馬車軌道[松原-富岡(19090100以前、武雄駅前)1915以前、武雄]間延伸→[祐徳門前~富岡]開業
- 1906年4月18日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第079号「警視庁官制」、明治39年勅令第082号「警察官及消防官服制中改正削除ノ件」各公布
- 1906年4月18日-09:00|日本| ||明治39年|也阿弥火災<京都の3大火災時代の終わり>
- 1906年4月18日-09:00|日本|京都府京都市|明治39年|円山、也阿弥火災焼失
- 1906年4月18日 06:00|アメリカ| |||サンフランシスコ大地震/カリフォルニア州西海岸を震源とする地震が発生/マグニチュード7. 8、サンフランシスコ市の三分の二を焼失、死者3000人
- 1906年4月19日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍雑役船「館山」除籍
- 1906年4月19日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第036号「専売塩特別定価売渡及交付金下付規則中改正削除ノ件」施行(0330公布)
- 1906年4月19日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第083号「在外帝国専管居留地特別会計法ヲ適用スル居留地指定ノ件」、明治39年勅令第084号「北海道庁官制中改正ノ件」各公布
- 1906年4月19日-01:00|フランス| |||<死去>ピエール・キュリー、馬車に轢かれて事故死(46歳、生:18590515)フランスの物理学者でノーベル物理学賞受賞者
- 1906年4月19日 00:00|イギリス| |||<死去>スペンサー・ゴア、イギリスのテニス選手(生年1850年)
- 1906年4月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|治道局を設置
- 1906年4月20日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第017号「鉄道国有法」、明治39年法律第018号「京釜鉄道買収法」各施行(0331公布)
- 1906年4月20日-01:00|ドイツ| |||ドイツ海軍巡洋艦「ライプツィヒ」(3816ト)ウエザー造船所で竣工
- 1906年4月21日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>伯爵(公家)花山院流花山院家支流難波家庶流「飛鳥井雅望」⇒長男「飛鳥井恒麿」が襲爵(⇒19241123、死去)
- 1906年4月22日-02:00|ギリシャ| |||アテネ/0502/近代オリンピック開催10周年記念の特別大会/公式に認められているが、回数には数えられていない
- 1906年4月24日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第087号「関税率調査ニ関スル職員ノ件」、明治39年勅令第089号「明治三十六年勅令第六十八号(京都帝国大学講座ノ件)中改正追加ノ件」、明治39年勅令第090号「糖業改良事務局官制」各公布
- 1906年4月24日-09:00|日本| ||明治39年|「東京競馬会」(池上)発足、11月24日開催
- 1906年4月25日-09:00|日本/ロシア| ||明治39年|<開始>樺太~函館間定期航路
- 1906年4月25日-09:00|日本| ||明治39年|<刊行>桜井忠温「肉弾」英文新誌社出版部
- 1906年4月25日 06:00|アメリカ| |||<死去>ジョン・ホルズ・ヘイン、アメリカの作曲家(生年1839年)
- 1906年4月27日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>木村荘平、実業家・政治家(生年1841年)
- 1906年4月27日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第091号「統監府勸業模範場官制」、明治39年勅令第093号「陸軍採炭事業ニ要スル機械器具及諸材料ノ購入並炭礦採掘請負ニ関スル随意契約ノ件」各公布
- 1906年4月27日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第027号「明治三十八年法律第十七号(煙草専売局及製鉄所据置運転資本補足ニ関スル件)中改正法律」、明治39年法律第028号「農工銀行補助法中改正法律」各施行(7日公布)
- 1906年4月27日-01:00|ガボン/フランス| |||<就任>フランス領ガボン植民地副総督代行「シャル・アンリ・アトリアン・ヌワール」(~19070423)
- 1906年4月27日 00:00|イギリス/中国| |||イギリスと清国の間に協定が調印され、イギリスがチベットの領土の不併合、内政不干渉を保障
- 1906年4月28日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第094号「農商務省官制中改正ノ件」、明治39年勅令第095

1906迄 (2431件)

号「工業試験所官制第二条中改正ノ件」各公布

- 1906年4月28日-09:00|日本| ||明治39年|「後樂園余興大相撲実写」、神戸大黒座で封切
- 1906年4月28日-01:00|イタリヤ| ||ミラノで国際交通博覧会が開催(〜10/31)
- 1906年4月29日-09:00|日本|日本郵政|明治39年|(記念切手)明治三十八年戦役陸軍凱旋観兵式(1906年)額面:1銭、3銭、発行
- 1906年4月29日-09:00|日本|日本郵政|明治39年|戦勝記念絵はがきを発売
- 1906年4月29日 00:00|イギリス| ||<死去>5代マンスフィールド伯爵「ウィリアム・デヴィッド・マレー」
- 1906年4月29日 00:00|イギリス| ||<就任>6代マンスフィールド伯爵「アラン・デヴィッド・マレー」(〜19350314死去)
- 1906年4月30日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第096号「府県社以下神社神饌幣帛料供進ニ関ル件」公布
- 1906年4月30日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|明治39年|<合併>愛知県宝飯郡[蒲郡町・神之郷村・静里村・豊岡村]が合併→蒲郡町
- 1906年4月30日-01:00|セルビア| ||<就任>セルビア王国閣僚評議会議長「ニコラ・パシッチ」(3回目〜19080720)
- 1906年5月-12:00|マニラ諸島/ドイツ| ||<就任>マニラ諸島地方判事「ヴィクトル・バーク」(〜19070430没)
- 1906年5月-09:00|日本| ||明治39年|<営業開始>三笠軒(長野県軽井沢町、30室、1980年国の重要文化財指定)軽井沢の鹿鳴館と呼ばれた
- 1906年5月-09:00|日本| ||明治39年|<刊行>岡倉天心「The Book of Tea」(茶の本)
- 1906年5月-09:00|日本| ||明治39年|<発表>鈴木三重吉「千鳥」(「朴ツキ」に)
- 1906年5月-09:00|日本| ||明治39年|大阪の日露戦争戦捷記念博覧会で観覧車設置【日本初の観覧車】
- 1906年5月-09:00|日本| ||明治39年|東西の音楽と歌劇の研究・保存・創作・演奏を目的に小松耕輔・山田源一郎・小林愛雄により楽苑会結成
- 1906年5月-09:00|日本|商船三井|明治39年|<購入>大阪商船「鹿港丸」・「薬取丸」・「襟裳丸」(3172t)海軍省から;「蘇州丸」(1805t)ドイツから
- 1906年5月-09:00|日本/イギリス|商船三井|明治39年|イギリスSoc. Anon Ungarese, Di Arm. Marit貨客船「SIAM」(3285 G/T, 1893年, ニュースカルのR. Stephenson & Co. Ltdで「Resolve」竣工→1902年, 「SIAM」と改名)捕獲船払い下げにより大阪商船会社(大阪)に移籍、「襟裳丸」と改名
- 1906年5月-09:00|日本/イギリス|商船三井|明治39年|イギリス・西ハートルプールのWilliam Gray & Co. Ltd. 貨客船「Severus」大阪商船(大阪)に売却、「薬取丸」と改名
- 1906年5月-09:00|日本|同志社大学|明治39年|京都看護婦学校は廃止
- 1906年5月-09:00|日本|東陽倉庫|明治39年|東海倉庫(株)設立。堀川沿いの天王崎及び三つ蔵町の県有地(元尾張藩倉)1万5千坪を買収(19070516開業)
- 1906年5月-09:00|日本|長崎ウエスタン大学|明治39年|加伯利英和学校が私立鎮西学院と改称
- 1906年5月-09:00|日本|朝鮮|日本郵船|明治39年|日本郵船が大阪鎮南浦線開始
- 1906年5月-03:00|イタリヤ/トルコ| ||<就任>パスタの瓦斯代行「メット・ヘイ」(〜9月)
- 1906年5月-01:00|ルウェー| ||<初演>エドヴァルト・ハゲルッパ・グリーク《抒情組曲》
- 1906年5月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|<施行>韓国統監府、「保安条例」(保安令, 4月17日制定)
- 1906年5月1日-09:00|日本| ||明治39年|原富太郎が三溪園を公開(神奈川県横浜市本牧)
- 1906年5月1日-09:00|日本| ||明治39年|新宿御苑完成(東京都, 皇室専用)
- 1906年5月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第033号「地租条例ヲ北海道ニ施行ル件ニ関スル法律」, 明治39年法律第036号「明治三十三年法律第八十六号(外国ヨリ輸入スル鹹魚燻魚及魚粕課税ニ関スル件)中改正法律」, 明治39年法律第040号「鉄道国有法及京釜鉄道買収法ニ依リ買収スル鉄道ノ出納官吏ニ関スル法律」各施行(0411公布); 明治39年法律第044号「海上衝突予防法中改正法律」施行(0418公布)
- 1906年5月1日-09:00|日本|愛知県安城市|明治39年|<合併>愛知県碧海郡[榎前村・根崎村・城ヶ入村・西端村・東端村・米津村・和泉村]が合併→明治村、[桜井村・三ツ川村・小川村・藤野村]が合併→桜井村
- 1906年5月1日-09:00|日本|愛知県安城市|明治39年|<合併町制>愛知県碧海郡[安城村・古井村・今村・赤松村・福釜村・平貴村・箕輪村・里村・長崎村の一部<篠目>]が合併町制施行→安城町
- 1906年5月1日-09:00|日本|愛知県一宮市|明治39年|<合併>愛知県丹羽郡[豊富村・青木村・浮野村・幼村の一部<加納馬場・芝原>]が合併→千秋村; 葉栗郡[光明寺村・佐千原村・大田島村]が合併→葉栗村、[浅井町・瑞穂村]が合併→浅井町
- 1906年5月1日-09:00|日本|愛知県岩倉市|明治39年|<合併>愛知県丹羽郡[岩倉町・島野村・豊秋村・幼村の一部<八劔・井上・石仏・神野>]が合併→岩倉町
- 1906年5月1日-09:00|日本|愛知県大府市|明治39年|<合併>愛知県知多郡[大府村・吉田村・北崎村・横根村・長草村・共和村・森岡村の一部<旧猪伏村>]が合併→大府村
- 1906年5月1日-09:00|日本|愛知県岡崎市|明治39年|<合併>愛知県額田郡[豊岡村・高富村・栄枝村の一部<夏山>]が合併→豊富村; 碧海郡[合歓木村・上青野村・占部村・糟海村・中井村・中島村]が合併→六ツ美村、[矢作町・中郷村・本郷村・渡村・長瀬村・志貴村・志賀須香村]が合併→矢作町
- 1906年5月1日-09:00|日本|愛知県岡崎市|明治39年|<編入>愛知県額田郡[三島村・乙見村の一部<稲熊・小呂>]を編入→岡崎町、栄枝村の一部<千万町・木下>を編入→宮崎村
- 1906年5月1日-09:00|日本|愛知県刈谷市|明治39年|<合併>愛知県碧海郡[刈谷町・重原村・小山村・逢妻村・元刈谷村]が合併→刈谷町、[逢見村・一ツ木村・境村・東境村]が合併→富士松村、[高棚村・小垣江村・半高村・野田村]が合併→依佐美村
- 1906年5月1日-09:00|日本|愛知県江南市|明治39年|<合併>愛知県丹羽郡[古知野町・東野村・和勝村・旭村・両高屋村・秋津村の一部<山王・北野・石枕・尾崎>・栄村の一部<赤童子>]が合併→古知野町; 葉栗郡[草井村・小鹿村・村

1906迄 (2431件)

- 久野村]が合併→草井村、[宮田村・飛保村]が合併→宮田村
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県江南市|明治39年|<編入>愛知県丹羽郡[秋津村の一部<東大海道・今市場・力長・安良・寄木>・栄村の一部<木賀・中奈良>]を編入→布袋町
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県新城市|明治39年|<合併>愛知県南設楽郡[信楽村・石座村・平井村]が合併→東郷村、[千秋村・西郷村]が合併→千郷村、[荒原村・高松村・杉平村・菅沼村・大和田村・田原村・田代村・巴村・保永村]が合併→作手村
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県高浜市|明治39年|<合併>愛知県碧海郡[高浜町・吉浜村・高取村]が合併→高浜町
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県知多郡阿久比町|明治39年|<合併>愛知県知多郡[阿久比村・上阿久比村・東阿久比村]が合併→阿久比村
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県知多郡東浦町|明治39年|<合併>愛知県知多郡[藤江村・石浜村・生路村・緒川村・森岡村の一部<旧村木村>]が合併→東浦村
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県知立市|明治39年|<合併>愛知県碧海郡[知立町・牛橋村・上重原村・長崎村の一部<西中・谷田・ハッ田>]が合併→知立町
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県東海市|明治39年|<合併>愛知県知多郡[横須賀町・加木屋村・高横須賀村・大田村・養父村]が合併→横須賀町
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県常滑市|明治39年|<合併>愛知県知多郡[榎戸村・西ノ口村・多屋村]が合併→鬼崎村、[苅屋村・古場村・西阿野村・樽水村]が合併→枳豆志村、[久米村・金山村・矢田村]が合併→三和村
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県豊田市|明治39年|<編入>愛知県東加茂郡[賀茂村・伊勢神村・金沢村の一部<山ヶ谷・有洞・綾渡・大蔵連・椿立・室口・漆畑・山ノ中立・東大見・葛沢・安実京・御内蔵連>]が合併→賀茂村、[盛岡村・金沢村の一部<戸中・川端>・穂積村の一部<霧山・則定>]が合併→盛岡村、[松平村・豊栄村・小川村・志賀村・穂積村の一部<酒呑・白瀬・重田和・西野・二本木>]が合併→松平村、[阿摺村・瑞穂村・大和村]が合併→阿摺村、[下山村・大沼村・富義村]が合併→下山村、[介木村・生駒村・築羽村・野見村]が合併→旭村、碧海郡[寿恵野村・上野村・畝部村・和会村・枅塚村]が合併→上郷村、[駒場村・若園村・竹村・堤村]が合併→高岡村
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県西尾市|明治39年|<合併>愛知県幡豆郡[西尾町・久麻久村・西野町村の一部<上町・下町・小間・法光寺>・奥津村の一部<住崎>・大宝村の一部<徳次・丁田・寄近・矢曾根>]が合併→西尾町、[平坂村・中畑村・西野町村の一部<田貫>・奥津村の一部<新在家・国森・羽塚・上矢田・下矢田>]が合併→平坂村、[大宝村の一部<深池・川口・菱池・今川>・六郷村・豊田村・井崎村]が合併→福地村、[御鋤村・吹羽良村・川崎村]が合併→三和村、[寺津村・西崎村]が合併→寺津村、[幡豆村・東幡豆村]が合併→幡豆村、[一色町・衣崎村・栄生村・五保村・味沢村]が合併村制施行→一色村、[吉田村・宮崎村・保定村]が合併→吉田村、[横須賀町・荻原村・厨村・瀬門村・富田村]が合併村制施行→横須賀村
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県額田郡幸田町|明治39年|<合併>愛知県額田郡[坂崎村・相見村・深溝村]が合併→広田村、幡豆郡[松坂村・豊国村]が合併→豊坂村
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県半田市|明治39年|<合併>愛知県知多郡[亀崎町・有脇村・乙川村]が合併→亀崎町
1906年5月1日-09:00|日本|愛知県碧南市|明治39年|<合併>愛知県碧海郡[志貴崎村・伏見屋村・鷺塚村]が合併→旭村
1906年5月1日-09:00|日本|札幌北洋ホールディングス|明治39年|(株)小樽銀行(明治30~)が(株)北海道商業銀行を合併、(株)北海道銀行(~昭和19)と改称
1906年5月1日-09:00|日本|広島県|明治39年|<創刊>「広島県報」
1906年5月1日-09:00|日本|広島県安芸郡|明治39年|広島県安芸郡役所、安芸郡海田市町に移転
1906年5月1日-09:00|日本|みずほフィナンシャルグループ|明治39年|(個人)楊井銀行、(株)第五十八銀行に合併
1906年5月1日-08:00|台湾/日本|||明治39年|<就任>台湾総督「安東貞美男爵・陸軍大将」(~19180606)
1906年5月1日-01:00|ナジエリア/イギリス|||<就任>南ナジエリア植民保護区総督・管理者「ウォルター・Egerton卿」(~19120227)
1906年5月1日 00:00|イギリス/ナジエリア|||イギリスの南ナジエリア植民地保護領設立
1906年5月2日-09:00|日本|||明治39年|明治39年勅令第097号「開港港則第一条中追加ノ件」公布施行
1906年5月2日-09:00|日本|||明治39年|明治39年勅令第098号「町村行政ニ関シ主務大臣許可ノ職権ヲ県知事ニ委任スルノ件」公布
1906年5月2日-09:00|日本|愛知県稲沢市|明治39年|<合併>愛知県中島郡[六輪村・左右川村・三宅村の一部<三宅・東城>]が合併→平和村
1906年5月2日-09:00|日本|福岡県宗像市|明治39年|<町制施行>福岡県宗像郡神湊村→神湊町
1906年5月2日-01:00|オーストリア|||<就任>オーストリア首相「コンラート・フリンツ・ス・ホエンローエ・シリングスフェルスト」(~6.2)
1906年5月3日-02:00|エジプト/イギリス/トルコ|||オスマン帝国が、イギリスのパレスチナ国境紛争に関する最後通牒に屈して、シナイ半島の領有権を放棄、シナイ半島はエジプト領に
1906年5月5日-09:00|日本|||明治39年|陸軍、三八式歩兵銃・騎兵銃を制定
1906年5月5日-09:00|日本|中国銀行|明治39年|(株)吉富銀行が(株)吉富貯蓄銀行と改称
1906年5月5日-09:00|日本|ふくおかフィナンシャルグループ|明治39年|(株)津田銀行、(個人)津田銀行(~大正5)に改組、石川に設立
1906年5月5日-04:00|ロシア|||<交替>全ロシア閣僚会議議長(首相)「セルゲイ・ユリエヴィチ・ガイツ伯爵」ニコライ2世が罷免⇒「イワン・ル・ギンガッチ・ゴレキ」就任(1回目~7.21)
1906年5月5日-01:00|ベナン/フランス|||<就任>フランス領西アフリカ・ダホメ植民地総督代行「ジョゼフ・エティエンヌ・ガブリエル・ルレ」(

1906迄 (2431件)

~6.9)

- 1906年5月5日 03:00|スリナム/ブラジル| |||ブラジルとオランダ領ギアナの国境成立
- 1906年5月6日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>初代常磐津林中(65歳)浄瑠璃太夫
- 1906年5月6日-08:00|中国| |||日本の関東総督府、遼陽から旅順に移転
- 1906年5月6日-05:30|インド| |||<就任>ラタンブール国摂政代行「ハロルド」(~19070301)
- 1906年5月6日-04:00|ロシア| |||ロシアが国家基本法を公布/「10月宣言」を修正し、ツァーリを専制君主と
- 1906年5月7日-09:00|日本| ||明治39年|<刊行>薄田泣菫、詩集「白羊宮」(図書月販)
- 1906年5月7日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>5代市川寿美蔵(62歳)歌舞伎役者
- 1906年5月7日-09:00|日本|東北電力|明治39年|<運用開始>須賀川町:前田川発電所[福島県福島県須賀川市大字前田川字男滝186-1]250KW/水力発電
- 1906年5月7日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ヴァージニア級戦艦BB-13「(5代)ヴァージニア」(14948t,ニューポート・ニューズ・シップビルディング&トラスト社)
- 1906年5月8日-09:00|日本| ||明治39年|静岡県水産試験場、動力船富士丸を試運転(石油発動機装備のはじめ)
- 1906年5月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|朝鮮の崔益鉉・林秉鈞、義兵蜂起(全北・泰仁)
- 1906年5月8日-09:00|日本|広島県安芸郡|明治39年|<移転>「安芸郡役所」[安芸郡海田市町に]
- 1906年5月8日-05:00|カザフスタン/ロシア| |||<就任>ステップ 総督「ワラハバウ・イフ・イ・タロフ」(~19080621)
- 1906年5月8日 06:00|コスタリカ| |||<就任>コスタリカ共和国大統領「クレト・デ・ヘスス・ゴンサレス・ビケス」(1回目~19100508)
- 1906年5月9日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第045号「産業組合法中改正法律」施行(0419公布)
- 1906年5月9日 00:00|イギリス/ベルギー-コンゴ共和国| |||英・ベルギー-国王レオポルド2世、協定締結(ロンドン)/英はコンゴにおけるレオポルド2世の主権を認め、レオポルド2世はナイル上流の請求権放棄
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県愛知郡東郷町|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[春木村・諸和村]が合併→東郷村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県愛知郡長久手町|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[岩作村・上郷村・長湫村]が合併→長久手村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県一宮市|明治39年|<合併>愛知県中島郡[苅安賀村・高井村・三輪村・妙興寺村・日光村の一部<毛受・馬引・福森>・稲保村の一部<於保>]が合併→苅安賀村、[起町・三条村・小信中島村・大徳村の一部<今・東五城・西五城・富田>]が合併→起町、[玉野村・上祖父江村・明地村・祐賀村・大徳村の一部<西萩原・蓮池>]が合併→朝日村、[新明村・萩原町・中島村の一部<中島>・日光村の一部<花井方・富田方>]が合併→萩原町、[開明村・神戸村・馬寄村]が合併→今伊勢村; 葉栗郡[黒田町・里小牧村・玉ノ井村]が合併→黒田町
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県一宮市|明治39年|<編入>愛知県葉栗郡黒田町の一部<曾根>を編入→北方村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県稲沢市|明治39年|<合併>愛知県中島郡[稲沢町・一治村・下津村・国府宮村・山形村・大江村の一部<大塚・平野・池部・横地・重本>・中島村の一部<木全・石橋>・稲保村の一部<稲島>]が合併→稲沢町、[光郷村・国分村・西島村・片原一色村・井長谷村の一部<儀長>]が合併→明治村、[奥田村・四家村・市田村・島田村・日下部村]が合併→大里村、[吉田村・三宅村・実田村・豊田村・井長谷村の一部<井堀>・大江村の一部<梅須賀>]が合併→千代田村、[四貫村・拾町野村・神明津村・西鶴ノ本村・馬飼村]が合併→長岡村、[祖父江町・丸甲村・山崎村・牧川村・領内村]が合併→祖父江町
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[幡野村・山口村]が合併→幡山村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県豊明市|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[豊明村・沓掛村]が合併→豊明村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[植田村・瑞穂村・島野村・平針村・弥富村の一部<八事地区>]が合併→天白村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[高社村・猪子石村]が合併→猪高村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[岩塚村・松葉村・柳森村]が合併→常盤村、[御器所村・広路村]が合併→御器所村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[織豊村・鷹場村・日比津村]が合併→中村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[田代村・鍋屋上野村]が合併→東山村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[笠寺村・星崎村・鳴尾村]が合併→笠寺村、[荒子村・御厨村・一柳村]が合併→荒子村、[寛政村・宝田村・明德村]が合併→小碓村
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|明治39年|<編入>愛知県愛知郡[瑞穂村・弥富村の一部<中根地区>]を編入→呼続町
- 1906年5月10日-09:00|日本|愛知県日進市|明治39年|<合併>愛知県愛知郡[岩崎村・香久山村・白山村]が合併→日進村
- 1906年5月10日-08:00|ブルネイ| |||<死去>ブルネイ・スルタン「ハシム・ジャリル・アラム・アクマデイン」
- 1906年5月10日-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「ムハンマド・ジャマル・アマル2世」(~19240911死去)、摂政「評議会:ハングラン・アナク・ムハンマド・サレハ(19121202まで)/ハングラン・アナク・チュチュ・ベサル(19170703まで)/ハングラン・アル・ハジ・ムハンマド・ヤン・イブニ・アル・マルファム・ベングラン・トウア・オマル・アリ(1913年から)」(~19180515)
- 1906年5月10日-04:00|ロシア| |||ロシア暦4月27日|ロシアで第1回の国会が召集され、ロシア帝国憲法が公布される
- 1906年5月11日-09:00|日本/アメリカ| ||明治39年|日米著作権保護条約公布
- 1906年5月11日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第102号「陸海軍ニ属スル臨時事件費特別会計終結ニ関スル件」公布

1906迄 (2431件)

1906年5月11日-01:00|チュニジア| |||<死去>サイン朝ベイ「ムハンマド4世アル・ハディ」50歳
1906年5月11日-01:00|チュニジア| |||<即位>サイン朝ベイ「ムハンマド5世・ナシル」ムハンマド2世の息子(〜19220710死去66歳)
1906年5月12日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島管理者「Raphael Valentin Marius Antonette」(〜19080815)
1906年5月12日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ヴァージニア級戦艦BB-16「ニュー・ジャージー」(14948t, フォア・リグ・アー・シップ & エンジ・ビルディング社)
1906年5月13日-09:00|日本| ||明治39年|<移転>聖心教会堂[横浜居留地80番⇒山手44]
1906年5月13日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第104号「種牡牛馬種付料ニ関スル件」公布施行
1906年5月13日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ管理者「トーマス・ローレンス・ロクスバーグ」(〜1915年8月)
1906年5月14日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「春風」(381t) 神戸川崎造船所で竣工
1906年5月14日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第046号「工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法」, 明治39年勅令第086号「工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法施行規則」各施行 (0424公布)
1906年5月15日-09:00|日本| ||明治39年|成功雑誌社から探検冒険雑誌「探検世界」創刊
1906年5月15日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第105号「統監府通信官署官制中改正追加ノ件」公布
1906年5月15日-09:00|日本| 日本郵政|明治39年| (菊切手) 「1銭5厘」「3銭」発行
1906年5月17日-09:00|日本| ||明治39年|夏目漱石『漾虚集』発行/大倉書店・服部書店/定価1円40銭
1906年5月17日-09:00|日本/アメリカ| ||明治39年|日米追加犯罪人引渡条約調印 (9月26日公布)
1906年5月17日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「初雪」(381t) 横須賀海軍工廠で竣工
1906年5月17日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルで、国王カレル1世がジョアン・フランコ首相を任命し、独裁権を与える
1906年5月18日-09:00|日本| ||明治39年|<改称>(株) 共立商業銀行[東京]⇒(株) 日本明治銀行
1906年5月18日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第108号「統監府及所属官署職員服制中追加ノ件」公布
1906年5月19日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>久保田米僊. 胃癌のため (55歳) 画家
1906年5月19日-09:00|日本| ||明治39年|<大相撲>明治39年5月場所[東京本所回向院] (10日間) 幕内優勝: (西横綱) 常陸山, 8勝0敗2休
1906年5月19日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治39年|韓国の王族閔宗植, 忠清南道で抗日拳兵 (11月, 日本軍に捕われる)
1906年5月19日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治39年|朝鮮の忠清南道の洪州で、義兵部隊1000人が蜂起し、洪州城を占領/抗日運動が激化 (31日, 日本軍が奪回)
1906年5月19日-03:00|ジブチ/フランス| |||<就任>フランス領ソマリランド 総督代行「ポール・デジレ・パット」(〜6. 19)
1906年5月19日-01:00|ドイツ| |||独、艦隊法修正案可決(弩級艦建造など)
1906年5月19日-01:00|イタリア/スイス| |||イタリアとスイスを結ぶシンプロントンネルが開通(長さ20キロメートル, 世界最長)
1906年5月19日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第47代首相「ジョアン・フランコ・フェレイラ・エ・ピント・カステロ・ブランコ」(〜19080204)
1906年5月20日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍戦艦「香取」(15950トン) イギリス・ギャッカーズ社で竣工
1906年5月20日-01:00|フランス| |||フランスの総選挙が行われ、クレマンソー率いる急進社会党が第1党となる
1906年5月20日 05:00|キューバ| |||大統領選挙. 二期目を狙う中道党のエストラダが大規模な不正の末勝利
1906年5月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||明治39年|韓日銀行、設立
1906年5月21日-09:00|日本| ||明治39年|宮内省植物御苑 (明治6年開設の勸農試験場を, 明治12年改称) を新宿御苑と改める
1906年5月23日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍戦艦「鹿島」(16400トン) 英国の阿姆斯特朗社ロビンソン工場で竣工
1906年5月23日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第111号「台湾総督府医院官制中追加ノ件」, 明治39年勅令第112号「明治三十六年勅令第百四十五号(臨時台湾総督府/防疫事務ニ従事スル職員ノ件) 中追加ノ件」, 明治39年勅令第113号「台湾総督府地方官官制中改正追加ノ件」, 明治39年勅令第115号「台湾総督府医院事務官特別任用ノ件」各公布
1906年5月23日-09:00|日本/中国| 日本郵船|明治39年|<運航開始>日本郵船: 香港ハンコウ航路
1906年5月23日-01:00|ルウェー| |||<死去>ハフリック・イェン (78歳, 生: 18280320) ルウェーの劇作家・詩人
1906年5月24日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第116号「師団長ノ官等ニ関スル件」, 明治39年勅令第117号「臨時鉄道国有準備局官制」, 明治39年勅令第119号「臨時鉄道国有準備局事務官任用ノ件」各公布
1906年5月24日 00:00|イギリス| |||<開業>セザール・リッツ「リッツ・ロンドン」
1906年5月25日-09:00|日本| ||明治39年|高野毅、日本天然瓦斯を設立/新潟県大口村でガス井成功 (長岡町で都市ガスに利用)
1906年5月25日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍巡洋艦「筑紫」除籍、雑役船に編入
1906年5月26日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「夕暮」(381t) 佐世保海軍工廠で竣工
1906年5月26日 00:00|世界| |||万国郵便条約・価格表記書状及び箱物交換約定・小包郵便物交換条約・郵便為替業務約定, それぞれ調印 (翌年9月19日公布, 10月1日実施)
1906年5月26日 06:00|アメリカ| |||アメリカのルイス・ニコッスが、潜水艦の水中音波探知装置の発明を発表
1906年5月27日-01:00|オーストリア| |||<初演>グスタフ・マーラー 《交響曲第6番イ短調「悲劇的」》音楽芸術家祭
1906年5月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|<就任>大韓帝国議政府議政大臣「閔泳奎」(〜6. 12)
1906年5月28日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第049号「議院法中改正法律」, 明治39年法律第051号「紙幣類似証券取締法」各施行 (8日公布)
1906年5月29日-09:00|日本| ||明治39年|<移転>(株) 鴨川銀行[千葉県安房郡鴨川町⇒東京市]

1906迄 (2431件)

1906年5月29日-09:00|日本| ||明治39年|<改称>(株)荏原銀行[東京]⇒(株)明治興業銀行
1906年5月29日-09:00|日本|沖電気工業|明治39年|<死去>沖牙太郎 (59歳、生年1848年) 電気技術者、実業家・明工舎創業者
1906年5月29日-01:00|スウェーデン| ||<就任>第13代スウェーデン首相アルグ・イット・リントマン。有権者連盟 (~19111007)
1906年5月29日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>アングラト・エロイス民政知事「Jose Pereira da Cunha da Silva e Sousa Junior」PP (~19071104)
1906年5月30日-01:00|イタリヤ| ||<就任>イタリヤ王国首相(閣僚評議会議長)「ジョヴァンニ・ジョリッティ」(3回目~19091211)
1906年5月30日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「エドゥアルド・アウグスト フェレイラ・ダ・コスタ」(2回目~19070501)
1906年5月30日-01:00|スウェーデン/ドイツ| ||独・スウェーデン通商条約締結
1906年5月30日 00:00|イギリス| ||イギリス海軍戦艦「モンターキュー」プリステル海峡でラテン島に座礁、離礁できず喪失
1906年5月30日 03:00|仏領ギニア/フランス| ||<就任>ギニア総督「Edouard Picanon」(~19070705)
1906年5月31日-09:00|韓国/朝鮮/日本| ||大韓帝国・光武10年|漢城より急派の田中新助少佐指揮日本軍により洪州城陥落
1906年5月31日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第052号「陸海軍ニ属スル臨時事件費特別会計終結ニ関スル法律」施行(11日公布)
1906年5月31日-01:00|スペイン| ||スペイン国王アルフォンソ13世、英・ビクトリア女王の孫と結婚
1906年5月31日-01:00|スペイン| ||スペイン、アルフォンソ13世の結婚祝賀パレードにナーキストが爆弾。20名以上が死亡
1906年6月-09:00|日本| ||明治39年|<初演>「南都炎上」/五代目中村芝翫
1906年6月-09:00|日本|伊予銀行|明治39年|<改称>(株)中川銀行⇒(株)実業銀行
1906年6月-09:00|日本/中国|日本郵船|明治39年|日本郵船が横濱漢口線(後の大阪漢口線)開設
1906年6月-02:00|トルコ| ||(夏)トルコのハッタ遺跡でヒッタイトの楔形文字の公文書が発見
1906年6月 06:00|エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス| ||グアテマラのカレーラ独裁に反対するパリア、エルサルバドル、ホンジュラスの支持を受け侵入/グアテマラとエルサルバドル、ホンジュラス間に戦争状態
1906年6月1日-09:00|日本/アメリカ| ||明治39年|日米間海底電信布設竣工
1906年6月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第026号「貨幣法中改正法律」施行(0407公布);明治39年法律第050号「裁判所構成法中改正法律」施行(0508公布);明治39年勅令第109号「明治三十年勅令第百四十四号(貨幣ノ形式ヲ定ムル件)中改正ノ件」施行(0519公布);明治39年勅令第110号「台湾総督府税関官制第一条中追加ノ件」施行(0523公布);明治39年勅令第121号「馬政局官制」、明治39年勅令第124号「馬政局職員特別任用令」、明治39年勅令第125号「馬政局高等官ノ官等ニ関スル件」、明治39年勅令第126号「陸軍現役将校同相当官ニシテ馬政局職員ニ任セラルル者ニ関スル件」、明治39年勅令第127号「馬政委員会官制」各施行(0531公布)
1906年6月1日-09:00|日本|広島県呉市|明治39年|町制施行|広島県安芸郡警固屋村→警固屋町
1906年6月1日-04:00|ロシア/日本| ||明治39年|日露講和条約により、北緯50度以南の樺太がロシアから割譲される
1906年6月2日-09:00|日本| ||明治39年|<創刊>彩雲閣「趣味」6月号
1906年6月2日-09:00|日本| ||明治39年|歌劇「羽衣」初演/詞・曲・小松耕輔、「楽苑会第1回公演」振・市川團子/神田YMCA
1906年6月2日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第131号「東京府知事ヲシテ警察署長、警察分署長ヲ指揮監督セシムル件」、明治39年勅令第132号「明治三十二年勅令第二百七十七号(行旅病人死亡人等ノ取引及費用弁償ニ関スル件)第一条改正ノ件」各公布
1906年6月2日-09:00|日本|商船三井|明治39年|大阪商船貨客船「城津丸」(1244G/T)三菱合資会社三菱造船所(長崎)で竣工
1906年6月2日-02:00|リトアニア/ロシア| ||<就任>グイナ総督「ドミトリー・ニコラエヴィッチ・リュビモフ」(~19120507)
1906年6月2日-01:00|オーストリア| ||<就任>オーストリア首相「マックス・ウラジミール・フライヘル・フォン・ベック」(~19081115)
1906年6月2日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍コネカット級戦艦BB-19「(3代)ルジアン」(16000t,ニューポート・ニュース・シップビルディング&ドライドック社)
1906年6月3日-09:00|日本| ||明治39年|トドフィンガー、六甲山上ゴルフコースで日本で初めてホールインワン達成
1906年6月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|元・議政府賛政の義兵將崔益鉉、全羅北道泰仁で、門人たちと決起
1906年6月4日-01:00|ドイツ| ||ドイツ海軍軽巡洋艦「ケニヒスベルク」(3814ト)就役
1906年6月5日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第135号「明治三十六年勅令第六十八号(京都帝国大学講座ノ件)中追加ノ件」公布
1906年6月5日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ポントネルガダ民政知事「Luis de Bettencourt de Medeiros e Camara」(2期目~19100629)
1906年6月6日-09:00|日本| ||明治39年|<竣工就役>大日本帝国海軍(初代)神風型駆逐艦「白露」(381t)
1906年6月6日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第140号「鉄道作業局官制中改正ノ件」公布
1906年6月6日 00:00|ポルトガル| ||<就任>フンシャル地区民政知事「Bernardo Antonio da Costa de Sousa Mil de Macedo」(2期目~19070713)
1906年6月6日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>パル民政知事「Manuel Antonio Lino」(~9.13)
1906年6月6日 07:00|メキシコ| ||ソラ州のカタ銅山で、賃金差別に抗議し1万人がスト/州知事の指令により23名が虐殺され敗北
1906年6月7日-09:00|日本|MS&ADインシュアランスグループホールディングス|明治39年|共同火災保険株式会社創立(東京)
1906年6月8日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第141号「臨時横浜港設備委員会官制」、明治39年勅令第14

1906迄 (2431件)

2号「南満洲鉄道株式会社」各公布

- 1906年6月8日 06:00|アメリカ| |||T.ロースヴェルト、国定記念物法案に署名
- 1906年6月9日-01:00|ベナン/フランス| |||<就任>フランス領西アフリカ・ダホメ植民地総督「シャル・エマニュエル・ジヨゼフ・マルシャル」(7.16まで代行~19080308)
- 1906年6月10日-09:00|日本| ||明治39年|和歌研究会「常磐会」創立
- 1906年6月10日-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<就任>南ナイジェリア植民保護区総督・管理者代理「Widenham フランス・Wideham Fosbery」(~8.5)
- 1906年6月10日-01:00|スウェーデン/諸島| |||<設立>スウェーデン/諸島最初の定住地(ロング・イヤシティ、創設者ジョン・マンロー・ロング・イヤーにちなんで名付けられた)
- 1906年6月10日-01:00|ノルウェー| |||スウェーデン/諸島に最初の恒久的な入植地(ロング・イヤシティ)を設立
- 1906年6月11日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第143号「陸軍編修官官制」公布
- 1906年6月11日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第147号「臘虎臘肭獸保護=関係件」公布施行
- 1906年6月11日-09:00|日本|京都大学|明治39年|京都帝国大学に文科大学開設
- 1906年6月11日-09:00|日本|JR東日本中央本線|明治39年|官設鉄道[岡谷-辰野-小野-塩尻]間27.2km延伸, [塩尻-篠ノ井]間編入→[八王子-塩尻(-篠ノ井)]開業
- 1906年6月11日-09:00|日本|西鉄北方線|明治39年|小倉軌道[香春口-(1927~33小倉座前)-(1932~34香春口五丁目>1969以前、三萩野)-(1931以降、旧競馬場前>1933以降、総合グラウンド前>廃止)-(1925以前、片野>1933以前、木町通>廃止)-(1926以前、三郎丸>1965~69片野)-(1925以前、城野駅前)-城野]馬車鉄道として開通
- 1906年6月11日 06:00|アメリカ| |||アメリカで森林自営農地法制定
- 1906年6月12日-09:00|日本| ||明治39年|高等商業学校生徒・加藤節が企画し、黒板勝美らの呼びかけにより「日本エスペラント協会」設立(8月、月刊雑誌《日本エスペラント》創刊)
- 1906年6月12日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治39年|日本軍憲兵・警察官、韓国軍とともに、崔益鉉・林炳らの反乱を鎮圧
- 1906年6月12日-09:00|日本|国学院大学|明治39年|國學院を私立國學院大學と改称
- 1906年6月13日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第149号「帝国学士院規程」<東京学士会院を帝国学士院とする>公布
- 1906年6月14日-09:00|日本|JR東日本中央本線|明治39年|甲武鉄道[大久保-中野]間に柏木駅開業
- 1906年6月14日-04:00|ロシア| |||ロシア暦:1906/6/1|ロシアのビヤルストク市で、大規模なユダヤ人迫害が行われる
- 1906年6月14日-01:00|フランス| |||<死去>ジョルジュ・ラエ、フランスの天文学者(生年1839年)
- 1906年6月15日-09:00|日本| ||明治39年|<開業>宮ノ下水力電気合資会社(山口仙之助)
- 1906年6月15日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第148号「臨時陸軍似鳥検疫所条例」施行(0612公布)
- 1906年6月15日 00:00|イギリス| |||<ゴルフ>第46回全英オープン選手権優勝:ジェームズ・ブレイト(3回目)(スコットランド/300)
- 1906年6月16日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第150号「韓国政府=聘用セラルル者=関係件」公布
- 1906年6月16日-09:00|日本|愛知県常滑市|明治39年|<合併>愛知県知多郡[小鈴谷村・大谷村・坂井村・上野間村]が合併→小鈴谷村
- 1906年6月17日-09:00|日本| ||明治39年|<再開>住友汽船:新居浜~阪神航路
- 1906年6月17日-08:00|中国| |||中国のハルビン鄭州鉄道完成
- 1906年6月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|<就任>大韓帝国議政府議政大臣「趙秉鎬」(~19070204)
- 1906年6月19日-09:00|日本| ||明治39年|本因坊秀栄が九段(名人)に昇った
- 1906年6月19日-09:00|日本|札幌北洋ホールディングス|明治39年|<合併>(株)江差銀行⇒(株)北海道貯蓄銀行
- 1906年6月20日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第152号「徴兵事務条例中改正追加ノ件(本)」公布施行
- 1906年6月21日-12:00|ニュージーランド| |||<就任>ニュージーランド首相代行「ウィリアム・ホルズボーン」(~8.6)
- 1906年6月21日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第153号「明治三十八年勅令第百五十九号(地租条例第四条第一項第一号及第二号=依ル公共団体及期間指定ノ件)第一条中追加ノ件」, 明治39年勅令第154号「千住製絨所官制第二条中改正ノ件」各公布
- 1906年6月22日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第155号「刑ノ執行ヲ猶予セラルル者ノ北海道及沖縄県=於ケル区ノ公民権及区會議員選挙権=関係件」, 明治39年勅令第156号「明治三十二年勅令第二百二十七号(島嶼ノ府県會議員選挙人名簿=関係件)第二条中追加ノ件」各公布
- 1906年6月22日-09:00|日本|東北大学|明治39年|東北帝国大学(現=東北大学)創立. 3番目の帝国大学
- 1906年6月22日-09:00|日本|ふくおかフィナンシャルグループ|明治39年|<改称>(株)福竹銀行⇒(株)彼杵銀行
- 1906年6月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>フリッツ・シャウエン(34歳)ドイツの微生物学者/ホマンと共に梅毒の病原体(細菌)を発見
- 1906年6月23日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>伯爵(公家)勸修寺流「坊城俊章」⇒「坊城俊徳」が襲爵(⇒19110115、死去)
- 1906年6月23日 06:00|アメリカ/オーストラリア| |||<テニス>第26回全米選手権混合ダブルス優勝:サラ・コフィン&エドワード・デューハースト
- 1906年6月23日 06:00|アメリカ| |||<テニス>第26回全米選手権女子シングルス優勝:ヘレン・ホーマン
- 1906年6月23日 06:00|アメリカ| |||<テニス>第26回全米選手権女子ダブルス優勝:アン・ハート・コート&エセル・ブリス・ブラット
- 1906年6月25日-09:00|日本|愛知県豊川市|明治39年|<合併>愛知県宝飯郡[平幡村・穂原村]が合併→八幡村
- 1906年6月25日-09:00|日本|商船三井|明治39年|大阪商船貨客船「馬山丸」(1244G/T)三菱合資会社三菱造船所(長崎)で竣工
- 1906年6月25日-09:00|日本|北國銀行|明治39年|<設立>(株)加賀実業銀行[石川]
- 1906年6月26日-09:00|日本| ||明治39年|<創刊>「呉公論」(呉市)

1906迄 (2431件)

- 1906年6月26日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治39年|韓国ニ於ケル裁判事務ニ関スル法律(明治39年法律第56号)公布
1906年6月26日-09:00|日本/アメリカ| ||明治39年|日米直通海底有線電話が開通
1906年6月26日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第161号「韓国ニ於テ適用スル法律命令/施行期限ニ関スル件」公布施行
1906年6月26日-01:00|フランス| ||ル・マンの第1回ケラップ・リリースが行われ、ハンガリー人フェレンツ・ツィスが運転するルノーが優勝する
1906年6月27日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第169号「在外公館費用条例第二十五条追加/件」, 明治39年勅令第170号「外国在勤警部巡查任用及支給規則第十一条中追加/件」, 明治39年勅令第173号「製鉄所官制第二条中改正/件」, 明治39年勅令第174号「明治二十六年勅令第七十四号(取引所/資本金営業保証金株式手数料積立金及売買取引/方法ニ関スル規程並仲買人免許料金額)中第七条/二削除/件」各公布
1906年6月27日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第056号「韓国ニ於ケル裁判事務ニ関スル法律」, 明治39年勅令第164号「統監府法務院官制」, 明治39年勅令第166号「韓国ニ於ケル裁判事務取扱規則」各施行(26日公布)
1906年6月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|鉱業令、公布
1906年6月29日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第175号「陸軍大学校条例中改正加除/件」公布
1906年6月29日-09:00|日本|東洋大学|明治39年|私立哲学館大学を私立東洋大学と改称
1906年6月29日 06:00|アメリカ/イギリス| ||「ゴルフ」第12回全米オープン選手権優勝:アレックス・スミス(スコットランド/295)
1906年6月29日 06:00|アメリカ| ||アメリカでヘアパン法制定、鉄道規制強化
1906年6月30日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第176号「統監府鉄道管理局官制」, 明治39年勅令第178号「統監府鉄道管理局職員特別任用令」, 明治39年勅令第179号「統監府鉄道管理局職員官等/初叙及陸叙ニ関スル件」, 明治39年勅令第180号「統監府鉄道管理局雇員使用/件」各公布
1906年6月30日-09:00|日本|大分県竹田市|<町制施行>大分県直入郡玉来村→玉来町
1906年6月30日 06:00|アメリカ| ||アメリカで純良食品薬剤法、食肉検査法制定
1906年7月-09:00|日本| ||明治39年|三国貯金銀行、森田貯蓄銀行と改称
1906年7月-09:00|日本| ||明治39年|「キリスト一代記」封切、MATEI
1906年7月-09:00|日本|東海汽船|明治39年|東京灣汽船木製汽船「鶴丸」(182G/T、東京灣汽船株式会社月島造船所(東京)で建造)就航
1906年7月-09:00|日本|東武前橋線|明治39年|上毛馬車鉄道[田中町-渋川新町]→前橋馬車鉄道/社名変更
1906年7月-03:00|ウガンダ| ||<就任>ルイ・大統領「セイル・ルクレンツ・ワクレンツ・カクセル」(~19140115)
1906年7月-01:00|ナイジェリア/イギリス| ||<就任>北ナイジェリア保護区高等弁務官代理「ウィリアム・Wallace卿」(~1907. 4)
1906年7月1日-09:00|日本| ||明治39年|国木田独歩、近事画報社から独立し独歩社を主宰《婦人画報》を継承(翌年8月、破産して《婦人画報》を東京社(島田義三)に譲渡)
1906年7月1日-09:00|日本| ||明治39年|浜寺海水浴場(大阪府)開設
1906年7月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第013号「民法施行法中改正法律」施行(0322公布); 明治39年法律第023号「輸出羽二重精練業法」施行(0406公布); 明治39年法律第032号「屠場法」, 明治39年法律第034号「国債ニ関スル法律」, 明治39年法律第035号「登録税法中改正法律」, 明治39年法律第039号「韓国ニ於テ帝国/経営スル鉄道/会計ニ関スル法律」各施行(0411公布); 明治39年勅令第136号「整理公債条例中削除/件」, 明治39年勅令第137号「国債償還/為抽籤執行/場合ニ於ケル立会者ニ関スル件」各施行(0606公布); 明治39年勅令第159号「韓国ニ於テ帝国/経営スル鉄道/会計ニ関スル件」施行(0622公布); 明治39年勅令第171号「屠畜取締ニ関スル職員/件」, 明治39年勅令第172号「屠畜取締/費用負担及検査手数料ニ関スル件」各施行(0627公布); 明治39年勅令第181号「宅地組換ニ関スル件」施行(0630公布)
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県愛西市|明治39年|<合併>愛知県海西郡[開治村・八輪村・六ツ和村の一部<塩田>]が合併→八開村、[五会村・川治村・早尾村・立和村・六ツ和村の一部<葛木・二老・戸倉>]が合併→立田村; 海東郡[佐依木村・八幡村]が合併→佐屋村、[諸古村・勝幡村・川淵村・草場村・藤浪村]が合併→佐織村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|明治39年|<合併>愛知県海東郡[蟹江町・新蟹江村・須成村・西ノ森村]が合併→蟹江町
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県海部郡飛島村|明治39年|<編入>愛知県海西郡宝地村の一部<重宝・大宝新田・八島新田>を編入→飛島村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県あま市|明治39年|<合併>愛知県海東郡[甚目寺村・萱津村・春富村・新居屋村・森村・東今宿村・白鷹村]が合併→甚目寺村、[伊福村・井和村・宝村]が合併→七宝村、[篠田村・正則村・蜂須賀村]が合併→美和村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県一宮市|明治39年|<合併>愛知県丹羽郡[時ノ島村・瀬部村・赤羽村・浅淵村・穂波村・多加森村の一部]→西成村、[九日市場村・吾鬢村・三重島村・二川村・多加森村の一部]→丹陽村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県岡崎市|明治39年|<合併>愛知県額田郡[岩津村・奥殿村・細川村・大樹寺村]が合併→岩津村、[常磐村・乙見村]が合併→常磐村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県新城市|明治39年|<合併>愛知県南設楽郡[鳳来寺村・愛郷村・一色村・塩瀬村・只持村・布里村]が合併→鳳来寺村; 八名郡[井代村・高岡村・細川村・能登瀬村・睦平村・名越村・名号村]が合併→七郷村、[乗本村・日吉村]が合併→舟着村、[長部村・富岡村]が合併→八名村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県知多郡南知多町|明治39年|<編入>愛知県知多郡[内海町・山海村]が合併→内海町、[豊浜町・豊丘村の一部<旧切山村・矢梨村>]が合併→豊浜町、[師崎町・大井村]が合併→師崎町
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県知多郡美浜町|明治39年|<合併>愛知県知多郡[河和町・布土村・豊丘村の一部<古布>]が合併→河和町、[野間村・奥田村]が合併→野間村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県津島市|明治39年|<合併>愛知県海東郡[神守村・益和村・越治村・百高村・野間村

1906迄 (2431件)

-]が合併→神守村、[神島田村・千秋村・大井村]が合併→永和村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県豊川市|明治39年|<合併>愛知県宝飯郡[豊川町・麻生田村・睦美村の一部<三谷原・当古・土筒・牧野>]が合併→豊川町、[桑富村・本茂村]が合併→一宮村、[牛久保町・明子村・睦美村の一部<瀬木>]が合併→牛久保町、[御津村・御馬村・佐脇村]が合併→御津村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県豊田市|明治39年|<合併>愛知県西加茂郡[挙母町・梅ヶ坪村・根川村・宮口村・逢妻村]が合併→挙母町、[伊保村・橋見村]が合併→保見村、[益富村・四谷村・市木村・寺部村・渋川村・上野山村・平井村・野見村]が合併→高橋村、[広沢村・上郷村・富貴下村の一部<西広瀬・西枝下>]が合併→猿投村、[七重村・石下瀬村・中野村・富貴下村の一部<藤沢・富田・松嶺・押沢>]が合併→石野村、[清原村・福原村・豊原村・本城村]が合併→小原村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県豊田市|明治39年|<分割編入>愛知県西加茂郡富貴下村の一部<御作>を編入→藤岡村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明治39年|<合併>愛知県渥美郡[大川町・谷川村・細谷村・小沢村]が合併→二川町、[吉田方村・牟呂村]が合併→牟呂吉田村;八名郡[下条村・牛川村]が合併→下川村、[玉川村・三輪村・嵩山村・西郷村・多米村]が合併→石巻村;宝飯郡[下地町・鹿菅村・大村]が合併→下地町
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県名古屋市中川区|明治39年|<合併>愛知県海東郡[戸田村・赤星村・豊治村・万須田村]が合併→富田村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県名古屋市港区|明治39年|<合併>愛知県海東郡[茶屋村・福屋村・福田村]が合併→南陽村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県みよし市|明治39年|<合併>愛知県西加茂郡[三好村・明越村・筋生村]が合併→三好村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県弥富市|明治39年|<合併>愛知県海西郡[弥富町の一部・十四山村の一部<鎌倉新田>・市腋村の一部<荷之上・五之三>]が合併→弥富町、[東市江村・市腋村の一部<西保・東保>・十四山村の一部<佐古木新田・又八新田>]が合併→市江村、[大藤村・両国村・弥富町の一部<中山新田>]が合併→鍋田村
1906年7月1日-09:00|日本|愛知県弥富市|明治39年|<分離編入>愛知県海西郡宝地村の一部<鳥ヶ地新田・榎場新田・神戸新田>を編入→十四山村
1906年7月1日-09:00|日本|京都府舞鶴市|明治39年|<分離>京都府加佐郡[倉梯村の一部・志楽村の一部]を分離町制施行→新舞鶴町
1906年7月1日-09:00|日本/韓国|鮮鉄京仁線|明治39年|京釜鉄道[永登浦～仁川]→朝鮮鉄道京仁線/買収
1906年7月1日-09:00|日本/韓国|鮮鉄京釜本線|明治39年|京釜鉄道[草梁～西大門]→朝鮮総督府鉄道京釜線/買収
1906年7月1日-09:00|日本|栃木県栃木市|明治39年|<編入>栃木県下都賀郡谷中村を編入→藤岡町
1906年7月1日-09:00|日本|南海|明治39年|<開設>南海電気鉄道「浜寺海水浴場」
1906年7月1日-09:00|日本|毎日新聞|明治39年|大阪毎日新聞社、浜寺海岸に海水浴場と海泳練習所を開く
1906年7月1日-09:00|日本|毎日新聞|明治39年|東京毎日新聞、報知社の経営にうつる(大正2年、山本実彦がこれを買収)
1906年7月1日-09:00|日本|みずほファイナンシャルグループ|明治39年|<合併>(株)湖東銀行⇒近江銀行
1906年7月1日-08:00|台湾/日本|台鉄縦貫線|明治39年|台湾総督府鉄道縦貫線:五堵駅旅客営業廃止
1906年7月1日-04:00|ロシア/日本||明治39年|ロシア, 東亜汽船に命じて週1回の敦賀・ウラジオストク間直通定期航路を開設
1906年7月1日-01:00|モロコシ/フランス||<就任>モロコシ総督・國務院議長「ビエール・シルヴァン・ド・モン・アンリ・ロジェ」(~1909年1月)
1906年7月2日 05:00|キューバ/アメリカ||ハバナで米国との間に新条約締結/グアンタナモ湾とバヤ・オンダが無期限に米軍基地として提供
1906年7月3日-09:00|日本||明治39年|明治39年勅令第182号「北海道一級町村制第九十二条中改正削除/件」、明治39年勅令第183号「北海道二級町村制第四十八条中改正/件」各公布
1906年7月3日-09:00|日本|東京電力|明治39年|<廃止改称>東京電灯:深川発電所⇒深川配電所
1906年7月3日-05:30|インド||<就任>ライクフル国王「ヒル・チャンドラ・ラジャ・ウマニ・デ・オジャナム」(~19480101)
1906年7月4日-09:00|日本|日活|明治39年|エム・パテ活動写真会(頭取・梅屋庄吉)が東京・新富座で初興行
1906年7月4日-08:00|フィリピン/アメリカ||<没>カウ共和国は米国により消滅
1906年7月4日-03:00|エチオピア/フランス/イタリア/イギリス||英仏伊3国間の協定が調印され、エチオピアでの3国の勢力圏が設定される
1906年7月5日-01:00|ドイツ||<死去>ハル・トルデー、ドイツの物理学者(生年1863年)
1906年7月5日 00:00|イギリス||<テニス>第30回ウィンブルドン選手権女子シングルス優勝:ドロア・ダグラス
1906年7月5日 00:00|イギリス||<テニス>第30回ウィンブルドン選手権男子シングルス優勝:ローレンス・ド・ハティエ
1906年7月5日 00:00|イギリス||<テニス>第30回ウィンブルドン選手権男子ダブルス優勝:フランク・ライス&ストニー・スミス
1906年7月6日-04:00|ロシア/日本||明治39年|<就任>樺太日本軍司令官「岡崎清」(~19070331)
1906年7月6日-01:00|スペイン||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Jose Lopez Dominguez[自由党](~19061130)
1906年7月7日-09:00|日本|古河電気工業|明治39年|<運用開始>古河鋳業:細尾第一発電所[栃木県]2000KW(⇒廃止)
1906年7月7日-01:00|オーストリア/セルビア||オーストリア・ハンガリー帝国とセルビアが「豚戦争」を開始
1906年7月8日 00:00|カリヤ諸島/スペイン||<就任>スペイン王領カリヤ諸島市民知事代理「Jose Maria Carballo」(~14日)
1906年7月9日-09:00|日本||明治39年|<創建>三島神社[母智丘神社から分霊]

1906迄 (2431件)

- 1906年7月9日-09:00|日本|東京電力|明治39年|<運用開始>甲府電力:芦川第二発電所[山梨県山梨県西八代郡三
珠町畑熊93-2]380KW/水力発電
- 1906年7月10日-09:00|日本|DOWAホールディングス|明治39年|<運用開始>藤田組:扇平(第三)発電所[秋田県(小坂鉱山)
]600KW
- 1906年7月11日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「時雨」(381t)川崎造船所で竣工
- 1906年7月11日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第184号「統監府及所属官署/民事訴訟=関シテ代表スル/件
」朝鮮総督府及所属官署/民事訴訟=関スル件」,明治39年勅令第185号「台湾総督府鉄道部官制第二条中改正/件」各
公布
- 1906年7月11日-09:00|日本|愛知県名古屋市北区|明治39年|<合併>愛知県西春日井郡[如意村・味鏡村]が合併→
楠村
- 1906年7月11日-09:00|日本|愛知県名古屋市西区|明治39年|<合併>愛知県西春日井郡[上小田井村・大野木村・中
小田井村・比良村・平田村]が合併→山田村
- 1906年7月11日-09:00|日本|JR東海東海道本線|明治39年|官設鉄道東海道線[舞坂-鷺津]間に弁天島駅開業
- 1906年7月11日-07:30|日本|新潟県上越市|明治39年|<直江津明治39年の大火「ながさ火事」>午前1時30分ごろ、寄
町の森りん方から出火し瞬く間に四方、八方に飛び火して延焼。焼失した区域は、火元の寄区の208戸を筆頭に
新川端区144戸、新区131戸、川端区107戸、中区92戸、中島区79戸、片原区73戸、出村町58戸、下新町57戸、船見区43
戸、本砂山区31戸、横区13戸、四ツ屋区5戸、合計1041戸が焼失/焼失した主な建物は、郵便局、水上警察署、商業会
議所、直江津銀行、商業銀行、北越倉庫銀行、柏崎銀行支店、百三十九銀行支店など金融機関を中心とした建物が
焼け、郵便局、商業会議所の焼失も含め、町の商工業活動に大打撃となった
- 1906年7月12日-09:00|日本| ||明治39年|青山葬祭場の落成式が行われる
- 1906年7月12日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第054号「刑/執行ヲ猶予セラルル者/公民権及議員選挙権被
選挙権=関スル法律」,明治39年法律第055号「債務者ニ代位スル債券者/登記申請=関スル法律」各施行(0622公布)
- 1906年7月13日-09:00|日本| ||明治39年|<開館>横浜教育水族館
- 1906年7月13日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第187号「神宮司庁職員ト神部署職員ト間ノ転任=関スル件」
公布
- 1906年7月14日 00:00|カナダ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王領カナダ諸島市民知事「Pio Laguna」(~8.9)
- 1906年7月15日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明治39年|<編入>愛知県渥美郡[花田村・豊岡村]を編入→豊橋町
- 1906年7月16日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「夕立」(381t)佐世保海軍工廠で竣工
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県尾張旭市|明治39年|<合併>愛知県東春日井郡[印場村・新居村・八白村]が合併
→旭村
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県春日井市|明治39年|<合併>愛知県東春日井郡[玉川村・不二村・雛五村の一部<
大留>]が合併→高蔵寺村、[神坂村・内津村]が合併→坂下村、[下原村・小木田村・八幡村・雛五村の一部<堀之内・
熊野・桜佐・神領>]が合併→篠木村、[田楽村・片山村]が合併→鷹来村、[勝川町・味美村・春日井村・柏井村]が合
併→勝川町、[小野村・和爾良村]が合併→鳥居松村
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県北名古屋市|明治39年|<合併>愛知県西春日井郡[下拾箇村・九之坪村・上拾箇
村]が合併→西春村、[熊之庄村・訓原村・鹿田村・六ツ師村]が合併→師勝村、[五条村・小木村・多気村・尾張村]が
合併→北里村
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県清須市|明治39年|<合併>愛知県西春日井郡[清洲町・一場村・朝田村]が合併→
清洲町、[下之郷村・落合村]が合併→春日村
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県小牧市|明治39年|<合併>愛知県東春日井郡[小牧町・外山村・境村・真々村・和
多里村]が合併→小牧町、[大草村・大野村・池林村・陶村]が合併→篠岡村、[味岡村・岩崎村・久保一色村]が合併
→味岡村
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|明治39年|<合併>愛知県東春日井郡[下品野村・掛川村・上品野村]が合
併→品野村
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県田原市|明治39年|<合併>愛知県渥美郡[福江町・清田村・中山村]が合併→福江
町、[田原町・相川村・大久保村・童浦村]が合併→田原町、[伊良湖村・堀切村・和地村]が合併→伊良湖岬村、[赤羽
根村・高松村・若戸村]が合併→赤羽根村
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県名古屋市守山区|明治39年|<合併>愛知県東春日井郡[志談村・上志段味村]が
合併→志段味村
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県名古屋市守山区|明治39年|<合併町制>愛知県東春日井郡[高間村・小幡村・大
森村・二城村]が合併町制施行→守山町
- 1906年7月16日-09:00|日本|愛知県西春日井郡豊山町|明治39年|<合併>愛知県西春日井郡[豊場村・青山村]が合
併→豊山村
- 1906年7月16日 06:00|アメリカ| ||アメリカのセントポール島付近で、日本人のアザラシ密猟者に沿岸警備隊が発砲し、5人が死
亡
- 1906年7月17日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第057号「内国官憲/管掌ニ属スル事項ニツキ統監/職権=関スル法
律」,明治39年勅令第167号「韓国ニ於ケル内国官憲/管掌事項ヲ統監/職権ニ属セシムル件」各施行(0627公布)
- 1906年7月17日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍テネシー級装甲巡洋艦ACR-10「(2代)テネシー」(14500t,ウィリアム・クラフ &サ
ンス・シップ &インヅン・ビルディング社)フィラデルフィア海軍工廠にて
- 1906年7月18日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第188号「明治二十三年勅令第九号(郡区長任用/件)第二
条削除/件」,明治39年勅令第189号「明治三十三年勅令第二百四十八号(府県出納吏及郡出納吏/身元保証並賠償
責任=関スル件)中追加/件」各公布

1906迄 (2431件)

- 1906年7月18日-09:00|日本|神奈川県横浜市|明治39年|横浜市根岸町相沢から発火、山元町に延焼して、590戸を焼失
- 1906年7月18日-09:00|日本|近鉄長野線|明治39年|河南鉄道:学校前駅営業廃止
- 1906年7月18日-02:00|エジプト/イギリス| ||6月13日の事件(テントウイ事件:エジプト人がイギリス軍の将校を殺害)で、イギリス軍がエジプト人4人を見せしめのため絞首刑に処する/以後、激しい反英・民族闘争の発展
- 1906年7月19日-09:00|日本| ||明治39年|富士山郵便局を開設/～9月10日/記念スタンプの押印などで登山者の人気を集めた/最初の季節郵便局
- 1906年7月20日-09:00|日本|NTT|明治39年|日本初の専用線電話サービスが日本銀行と横浜正金銀行本店間で開始
- 1906年7月20日-02:00|フィンランド| ||フィンランドで新憲法が制定される/ヨーロッパで初の女性参政権が規定される
- 1906年7月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|韓国政府、「鉱業法」を公布
- 1906年7月21日-09:00|日本|JR西日本山陽本線|明治39年|日本初の通学定期券発行(山陽鉄道株式会社)
- 1906年7月21日-04:00|ロシア| ||<交替>全ロシア閣僚会議議長(首相)「イワン・リウ・ギノウ・イチ・ゴロミキ」辞任⇒「ピョートル・アルカディエヴィチ・ストルビツ」就任(～19110918没)
- 1906年7月21日-04:00|ロシア| ||<創刊>「海国時報」(呉市)
- 1906年7月21日-04:00|ロシア| ||ロシアの第1回国会が解散/カト党など国会議員が納税拒否のウイトル宣言を発表
- 1906年7月23日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>陸軍大将児玉源太郎(享年55歳)
- 1906年7月23日-09:00|日本| ||明治39年|雪中行軍遭難記念像建立(青森県青森市)
- 1906年7月23日 03:00|ブラジル| ||リチゼンで第3回汎米会議
- 1906年7月24日-09:00|日本/台湾| ||明治39年|(台湾)律令10号「台湾鉱業規則」
- 1906年7月24日-09:00|日本| ||明治39年|逓信省が、初めて女性17人を判任官待遇で登用
- 1906年7月25日-09:00|日本|福井銀行|明治39年|<改称>(株)三国貯金銀行⇒(株)森田貯蓄銀行
- 1906年7月26日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第191号「沖縄県国有林野特別処分ニ関スル件」公布
- 1906年7月28日-09:00|日本| ||明治39年|東京活版株式会社の設備一切を買収して内外印刷株式会社創立(社長:菊池晋二)
- 1906年7月28日-07:30|日本|東京都|明治39年|<明治39年7月台風、東京市内洪水>東京では各地で洪水が発生、赤坂で500余戸、本所で5000余戸が浸水、小石川では関口水道町の出水が1.5mに達して避難者が続出、浅草方面では380戸が家屋の浸水や損壊に見舞われた。また荒川沿岸で当時の北豊島郡岩淵、王子、尾久、南千住にいたる地帯が浸水に見舞われている
- 1906年7月29日-01:00|フランス| ||<死去>アレクサンドル・ルシノーニ、フランスの作曲家・ヴァイオリニスト(生年1850年)
- 1906年7月30日-04:00|ロシア| ||クオンシュタットの反乱/ロシアのクオンシュタットとスベアホルクで軍隊の革命が起こる
- 1906年7月30日-03:30|イラン| ||<就任>ペルシャ大宰相「ミルザ・ナシラ・カン・ムシール・アタラ」(～19070317)
- 1906年7月30日-01:00|フランス| ||フランスの物理学者ガブリエル・リッパマンは、フランス科学アカデミーに写真術による色彩再現法の論文を提出
- 1906年7月31日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第194号「北海道地方費ノ吏員ニ関スル件」公布
- 1906年8月-09:30|オーストリア| ||シトニーに新しくセントラル・ステーションが建設され、レッド・ファンからの路線が延長された
- 1906年8月-09:00|日本|ENEOSホールディングス|明治39年|浅野総一郎ら、東西石油を設立(9月南北石油に合併)
- 1906年8月-09:00|日本|東北電力|明治39年|<運用開始>中央電気:高沢発電所[新潟県]
- 1906年8月 04:00|アンティガ・バーブータ/イギリス/アンギラ/トミニカ国/セントクリストファー・ネイビス/英領ヴァージン諸島| ||<就任>リワード 諸島総督・最高司令官「アーネスト・ヒックム・スウィート・エスコット卿」(～19120415)
- 1906年8月 05:00|ケイマン諸島/イギリス| ||<死去>イギリス領ケイマン諸島行政長官「フレデリック・シデン・Sanguinetti」
- 1906年8月 05:00|ケイマン諸島/イギリス| ||<就任>イギリス領ケイマン諸島行政長官代理「チャールズ・ハンリー・Yorke Slader」(～19070316)
- 1906年8月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|韓国駐劄軍司令部条例公布(司令官は陸軍大将または中將、天皇に直隷、統監の命令あるときは兵力を使用)
- 1906年8月1日-09:00|日本| ||明治39年|日米間の海底電線による通信開始
- 1906年8月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第190号「明治三十三年勅令第百二十三号(市町村行政ニ関シ主務大臣許可ノ職權ヲ府県知事ニ委任ノ件)中改正追加ノ件」施行(0720公布)
- 1906年8月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第195号「外務省官制中改正ノ件」、明治39年勅令第206号「明治三十四年勅令第百三十九号(獣疫及畜牛結核病予防ニ関スル費用負担区分ノ件)第一条中改正ノ件」、明治39年勅令第207号「台湾総督府専売局官制第三条中改正ノ件」各公布
- 1906年8月1日-09:00|日本| ||明治39年|「実写・相馬の馬追」、電気館封切
- 1906年8月1日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明治39年|<市制施行>愛知県渥美郡豊橋町→豊橋市
- 1906年8月1日-09:00|日本|JR東海東海道本線|明治39年|官設鉄道東海道線[岐阜-大垣]間に穂積駅開業
- 1906年8月1日-09:00|日本|湘南軌道|明治39年|湘南馬車鉄道[秦野-大竹-上井ノ口-下井ノ口-一色-中里-二宮]9.0km開業
- 1906年8月1日-09:00|日本|三井住友フィナンシャルグループ|明治39年|三河興業銀行、兵庫に設立
- 1906年8月1日-08:00|中国/日本| ||明治39年|関東総督府を廃止、旅順に関東都督府設置
- 1906年8月1日-08:00|中国|満鉄|南満州鉄道(満鉄)設立
- 1906年8月1日 04:00|グアテマラ/フランス| ||<就任>グアテマラ 知事代理「Paul Joseph Cecile Artaud」(～20日)
- 1906年8月3日-09:00|日本|商船三井|明治39年|<運航開始>大阪商船:大阪境安来線
- 1906年8月3日-09:00|日本|都電吾妻橋線|明治39年|東京電車鉄道[上野停車場前-屏風坂-下車坂町-山伏町-松葉町-合羽橋-公園六区-田原町]廃止

1906迄 (2431件)

- 1906年8月3日-01:00|ドイツ| || |ドイツ帝国海軍戦艦「トイッチュント」(14218トン)竣工就役(1917年8月戦艦としての任務解除, 1922年ヴァルヘルムスハーフェンにて解体)
- 1906年8月4日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第208号「金鷄勲章年金令第四条中追加ノ件」, 明治39年勅令第209号「南満洲鉄道株式会社ノ職員ト為ルル官吏ニ関スル件」, 明治39年勅令第210号「南満洲鉄道株式会社設立委員長及委員ノ旅費支給ニ関スル件」各公布
- 1906年8月4日 00:00|イギリス| || |<死去>「ラント公」ケランビ侯「ジョン・ジェイムズ・ロバート・マナーズ」
- 1906年8月4日 00:00|イギリス| || |<就任>「ラント公」ヘンリー・ジョン・ブリスリー・マナーズ」先代の長男(~19250508死去)
- 1906年8月5日-09:00|日本| || |明治39年|<開館>私立尾道図書館[広島県尾道市久保町]
- 1906年8月6日-12:00|ニュージーランド| || |<就任>ニュージーランド首相「ジョセフ・ジョージ・ウォード」(1回目~19120328)
- 1906年8月6日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第211号「明治三十七八年戦役ニ関スル一時賜金預託ノ件」公布
- 1906年8月6日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第212号「行賞賜金ニ対シ特別郵便貯金通帳及特別証券保管通帳交付ノ件」公布施行
- 1906年8月7日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第215号「衛戍病院条例中加除ノ件」公布
- 1906年8月7日 06:00|アメリカ| || |<就役>アメリカ海軍テネシー級装甲巡洋艦AGR-11「(7代)ワシントン」(14500t, ニューヨーク・シップビルディング社)フィレール海軍工廠にて
- 1906年8月8日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第217号「文武判任官等級表中改正ノ件」, 明治39年勅令第218号「特許局官制第二条中改正ノ件」各公布
- 1906年8月8日-09:00|日本| |滋賀銀行|明治39年|<改称>蒲生倉庫株式会社⇒(株)蒲生銀行
- 1906年8月9日 00:00|カナリヤ諸島/スペイン| || |<就任>スペイン王領カナリヤ諸島市民知事「Sinibaldo Gutierrez Mas」(~1906.15)
- 1906年8月10日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第220号「神社寺院仏堂合併跡地ノ譲与ニ関スル件」公布
- 1906年8月10日-09:00|日本| || |明治39年|スタグアート活動写真「体育奨励大相撲取組」など、錦輝館封切
- 1906年8月11日-01:00|チャト/フランス| || |<就任>フランス領チャト司令官「ウイクトル・エマニュエル・エティエンヌ・ラルジョー」(2回目~19080725)
- 1906年8月11日 00:00|イギリス| || |フランス人牧師のウエーヌ・ローストが、サント・オン・フィルム方式の光による録音方式を発明してイギリスで特許を得る
- 1906年8月13日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| || |<就任>ポルトガル・ギニア総督「ジョアン・アウグスト・デ・オリベイラ・ダ・ガントイ」(~19090629)
- 1906年8月14日-09:00|日本| |八十二銀行|明治39年|<廃業継承>(個人)山本銀行⇒(資)山本銀行
- 1906年8月14日-05:30|インド| || |<死去>ナガール国統治者(マハラジャ・ジャム・サハブ)「ジャシュワンスিং・ウイホーシ」
- 1906年8月14日-05:30|インド| || |<即位>ナガール国統治者(マハラジャ・ジャム・サハブ)「ラジツインジ・ウイホーシ」(~19330402没)
- 1906年8月15日-09:00|日本| || |明治39年|逓信省海底電纜敷設船「小笠原丸」(1397トン)三菱重工業長崎造船所で竣工
- 1906年8月15日-09:00|日本/韓国/朝鮮| || |大韓帝国・光武10年|日本、韓国駐劄軍司令部条例施行/韓国駐劄軍は韓国に常駐となる
- 1906年8月15日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第205号「韓国駐劄軍司令部条例」施行(1日公布)
- 1906年8月15日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第221号「理事理事試補及陸軍監獄長服制」陸軍法務官陸軍法務官試補及陸軍監獄長服制」公布
- 1906年8月15日-09:00|日本| |南海本線|明治39年|南海鉄道[箱作-深日]間に淡輪簡易停車場開業(>1910駅に昇格)
- 1906年8月17日 04:00|リビア| || |リビアバライソ沖、リビア地震(マグニチュード8.2)死者3760人
- 1906年8月18日 06:00|アメリカ| || |<就役>アメリカ海軍セント・ルイス級防護巡洋艦C-20「(4代)セント・ルイス」(9700t, ニューフェイスリップ&エンジン・ビルディング社)
- 1906年8月19日 05:00|キューバ| || |ピナルデルリオでJMGオズ将軍の率いる自由派の蜂起開始。自由派の黒人モルアはゲアナコアの軍基地を襲撃。アサルト・ゲラ、ロハス・デル・カステイヨなどの自由党員、武装蜂起を開始
- 1906年8月20日-09:00|日本| || |明治39年|<任意解散>(株)花輪貯蓄銀行[群馬]
- 1906年8月20日-09:00|日本| || |明治39年|合名会社〈国定教科書共同販売所〉, 日本書籍株式会社は合議の上いったん解散し、新たに文部大臣の認可を得て株式会社〈国定教科書共同販売所〉設立
- 1906年8月20日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第219号「領事官ノ取扱ヲ登記ノ登録税ニ関スル件」施行(10日公布)
- 1906年8月20日-09:00|日本| |呉市電|明治39年|<創立>呉馬車鉄道(株)
- 1906年8月20日-09:00|日本| |和歌山県|明治39年|<死去>侯爵(武家)「徳川茂承」(63歳)元紀州藩主・和歌山藩知藩事、貴族院議員⇒翌日、養子「徳川頼倫」が襲爵(⇒19250519、死去)
- 1906年8月20日-04:00|ロシア/日本| || |明治39年|ロシア帝国防護巡洋艦「ノウィーク」(1901年、シヤウ社で竣工)日本海軍艦籍に編入、通報艦「鈴谷」とする(19120828, 二等海防艦に編入)
- 1906年8月20日 04:00|グアドループ/フランス| || |<就任>グアドループ知事代理「William Maurice Fawtier」(1期目~19070721)
- 1906年8月21日-09:00|日本| || |明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「追風」(381t)舞鶴海軍工廠で竣工
- 1906年8月21日-09:00|日本| || |明治39年|明治39年勅令第222号「官有地特別処分規則第一条中改正ノ件」公布
- 1906年8月21日-09:00|日本| |香川県|明治39年|香川県博物館、香川県物産陳列所と改称(11月28日開所)
- 1906年8月22日 04:00|バミューダ/イギリス| || |<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「ステファン・フリーウエン」(~1910.14)

1906迄 (2431件)

- 1906年8月25日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第223号「明治三十七年勅令第九十五号(外国政府ニ聘用セラルル官吏ニ関スル件)中改正追加ノ件」, 明治39年勅令第224号「台湾総督府鉄道部工場ニ於テ機械其ノ他ノ製作及修理ヲ引受け得ルノ件」, 明治39年勅令第225号「学校職員恩給審査規程中改正ノ件」各公布
- 1906年8月26日-01:00|フランス| |||<死去>第5代プロイ公「ウイクトル」
- 1906年8月26日-01:00|フランス| |||<就任>第6代プロイ公「モーリス」(~19600714死去)
- 1906年8月28日-09:00|日本| ||明治39年|<創刊>ハル会「理想」8月号
- 1906年8月28日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「白露」(381t)三菱重工業長崎造船所で竣工
- 1906年8月28日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第226号「臨時郵便貯金事務ノ為通信官署ニ職員増置ノ件」, 明治39年勅令第228号「工業用酒精戻税規則ニ依ル酒精使用証明書下附ニ関スル件」各公布
- 1906年8月29日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>黒川真頼(78歳)国学者、歌人
- 1906年8月29日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>桃澤如水。結核性腹膜炎のため(34歳)画家、歌人
- 1906年8月29日 06:00|アメリカ| |||<テニス>第26回全米選手権男子シングルス優勝:ウィリアム・クロジャー
- 1906年8月29日 06:00|アメリカ| |||<テニス>第26回全米選手権男子ダブルス優勝:ルコム・ウォード & ビル・ライト
- 1906年8月30日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第232号「関東都督府文官服制」, 明治39年勅令第233号「関東都督府警察官服制」, 明治39年勅令第234号「廃兵院基金管理規則」各公布
- 1906年8月30日-09:00|日本|JR東日本信越本線|明治39年|北越鉄道:春日新田駅廃止
- 1906年8月30日-04:00|レニオン/フランス| |||<就任>レニオン知事「Auguste Marius Verignon」(~11.7)
- 1906年8月31日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第235号「公債事務処理ノ大蔵省及臨時国債整理局高等官ノ中一名ヲ欧米ニ駐在セムルノ件」公布施行
- 1906年8月31日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第237号「明治三十七年勅令第四十四号(俘虜情報局設置ノ件)廃止ノ件」, 明治39年勅令第238号「陸軍補充条例中改正追加ノ件」, 明治39年勅令第239号「高等教育会議規則第四条中改正追加ノ件」各公布
- 1906年8月31日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明治39年|<合併>愛知県渥美郡[高根村・豊南村]が合併→高豊村、[高師村・磯辺村・植田村・大崎村・福岡村・野依村]が合併→高師村
- 1906年8月31日 00:00|北極/ルウェー| |||ルウェーの探検家アムンゼンが船で北極海を横断してノム港に到着
- 1906年9月-09:00|日本| ||明治39年|<掲載>夏目漱石「草枕」(新小説)<現実を美的にとらえて、非人情を貫こうとする画家を描いた>
- 1906年9月-09:00|日本| ||明治39年|<創刊>広島県末寺有志僧侶「広済新報」
- 1906年9月-09:00|日本|専修大学|明治39年|専修学校に大学部を設置
- 1906年9月-03:00|イタリヤ/トルコ| |||<就任>ハスラのワス「アブドゥラフマン・ハサン・ベイ」(~1908年8月)
- 1906年9月 00:00|イギリス| |||イギリス海軍戦艦(6代)「フリタニア」(17500トン)竣工就役
- 1906年9月 07:00|メキシコ| |||自由党員30人がテキサスから侵入。コウウ州州ヒメリスの街を襲撃
- 1906年9月1日-10:00|パプアニューギニア/オーストラリア/イギリス| |||イギリス領ニューギニアがオーストラリア連邦に譲渡され、パプア準州と改称
- 1906年9月1日-09:00|日本/韓国| ||明治39年|漢城新報と大同新報を合併し韓国統監府の機関紙として京城日報が創刊
- 1906年9月1日-09:00|日本| ||明治39年|東京に廃兵院開設(初代院長に川崎虎三中佐を任命)
- 1906年9月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第029号「廃兵院法」<戦闘により起居不自由・生活困難な傷病兵を收容し、国費で扶養することを目的として設置>施行(0407公布); 明治39年勅令第192号「統監府鉄道管理局ニ臨時鉄道建設部ヲ置クノ件」施行(0727公布); 明治39年勅令第196号「関東都督府官制」, 明治39年勅令第197号「関東都督府郵便電信局官制」, 明治39年勅令第198号「関東都督府法院令」, 明治39年勅令第200号「関東都督府職員特別任用令」, 明治39年勅令第201号「関東都督府法院判官及検察官任用令」, 明治39年勅令第202号「関東都督府秘書官ノ任用及官等ニ関スル件」, 明治39年勅令第203号「関東州ニ於ケル諸般ノ成規ニ関スル件」, 明治39年勅令第204号「関東都督府陸軍部条例」各施行(0801公布); 明治39年勅令第214号「廃兵院条例」施行(0806公布); 明治39年勅令第229号「関東局ニ於ケル郵便ノ業務ニ関シ郵便法、郵便為替法、郵便貯金法、鉄道船舶郵便法ノ規定ヲ準用スルノ件」施行(0830公布); 明治39年勅令第236号「帝国ト関東州トノ間ニ通航スル船舶ニ関スル件」, 明治39年勅令第240号「関東都督府職員旅費規則」各施行(0831公布)
- 1906年9月1日-09:00|日本|愛知県東海市|明治39年|<合併>愛知県知多郡[荒尾村・富木島村・名和村]が合併→上野村
- 1906年9月1日-09:00|日本|JR東日本信越本線|明治39年|北越鉄道[直江津-犀潟]間に黒井/貨物駅を一般駅に変更
- 1906年9月1日-09:00|日本|日本たばこ産業|明治39年|<発売>煙草専売局「ゴールデンバット」10本入り4銭
- 1906年9月1日-09:00|日本|三重県伊勢市|明治39年|<市制施行>三重県度会郡宇治山田町→宇治山田市
- 1906年9月1日-08:00|中国/日本| ||明治39年|<就任>第1代関東都督:大島義昌(~19120426)
- 1906年9月1日-08:00|中国/日本| ||明治39年|関東総督府が廃止され、旅順に移転・改組された関東都督府開設
- 1906年9月1日-08:00|中国| |||大連が自由港として開放
- 1906年9月1日-01:00|イタリア| |||<死去>ジュゼッペ・ジヤコサ、イタリアの詩人・劇作家(生年1847年)
- 1906年9月1日 00:00|マリ/ニジェル/フランス| |||<就任>フランス領オセッカール・ニジェル副総督代行「ジャン・ジュール・エミール・フウエルニユ」(~19070101)
- 1906年9月2日 00:00|カナ/イギリス| |||<就任>コールドウェル・ニコスト総督・最高司令官「ジョン・ヒッカーズギル・ロジャヤ」(3回目~19071009)
- 1906年9月3日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第242号「台湾総督府及関東都督府ニ顧問ヲ置クノ件」公布

1906迄 (2431件)

1906年9月5日-09:00|日本| ||明治39年|〈日本製紙聯合会〉機関誌《紙業雑誌》を創刊
1906年9月5日-09:00|日本| ||明治39年|東京市内の電車賃値上げ反対運動が激化、日本橋などで電車を破壊/90人余検挙される
1906年9月5日-09:00|日本| ||明治39年|「革命評論」創刊
1906年9月5日-01:00|オーストリア| |||〈死去〉ルトヴィヒ・ボルツマン。双極性障害に苦しみ、静養中に自殺(62歳、18440220生)オーストリアの物理学者・哲学者/統計力学の端緒を開いた
1906年9月5日 05:00|キューバ| |||キューバ 反乱軍が、島の大部分を制圧
1906年9月6日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「響」(381t)横須賀海軍工廠で竣工(19241201、掃海艇に編入)
1906年9月6日-04:00|ロシア/中国|満鉄連京線||東清鉄路南満支線[昌図-双廟子]延伸→[大連~双廟子]
1906年9月7日-12:00|ウオリス・フツ/フランス| |||〈死去〉フランス保護領ウオリス・フツ諸島ウヱ王「Lusiano Aisake」
1906年9月7日-12:00|ウオリス・フツ/フランス| |||〈即位〉フランス保護領ウオリス・フツ諸島ウヱ王「Sosefo Mautamakial世 “Tok ita”」(1期目~19100401)
1906年9月7日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第243号「南満洲鉄道株式会社ニ関スル件中追加ノ件」公布
1906年9月7日-09:00|日本|東京電力|明治39年|〈廃止改称〉東京電灯:芝発電所→芝配電所
1906年9月8日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||明治39年|韓国に日韓友好目的の大東協会設立
1906年9月8日 05:00|キューバ/アメリカ| |||〈就任〉アメリカ海軍ゲアンタモ湾司令官「Albert A. Ackerman」(~1907.7)
1906年9月9日-09:00|日本| ||明治39年|奥宮健之ら、労働党を結成
1906年9月9日-09:00|日本| ||明治39年|武林堂創業(宮本林治)。兵書出版(明治45年3月、兵用図書株式会社設立)
1906年9月9日-09:00|日本|博文館|明治39年|〈創刊〉博文館、月刊「少女世界」(巖谷季雄~1931年10月)
1906年9月10日-09:00|日本| ||明治39年|〈開業〉小田與吉郎、温泉旅館「加賀屋」[和倉町3部80番地]
1906年9月10日-09:00|日本| ||明治39年|〈創刊〉左久良書房「海國青年」9月号
1906年9月10日-09:00|日本| ||明治39年|北海道物産陳列場開館(札幌市)
1906年9月10日-09:00|日本| ||明治39年|「巡航博覧会」開催(~11月)[開催地]国内各地[会場]トモツ丸(巡航)[主催]報知新聞社/東京、伊豆、大阪、神戸、高松、徳島、宇品、門司、長崎、鹿児島と巡航
1906年9月10日-09:00|日本|愛知県豊川市|明治39年|〈合併〉愛知県宝飯郡[国府町・白鳥村]が合併→国府町
1906年9月10日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明治39年|〈合併〉愛知県渥美郡[杉山村・六連村]が合併→杉山村
1906年9月10日-09:00|日本|千葉県茂原市|明治39年|〈改称〉千葉県長生郡帆丘町が改称→本納町
1906年9月11日-09:00|日本| ||明治39年|〈開港〉「高浜港」[愛媛県温泉郡新浜村(松山市)]
1906年9月11日-09:00|日本| ||明治39年|東京電気鉄道、東京市街鉄道、東京電車鉄道の合併で東京鉄道が設立される/東京市電の前身となる
1906年9月11日-09:00|日本|京都大学|明治39年|京都帝国大学に文科大学開設
1906年9月11日-09:00|日本|JR東海東海道本線|明治39年|官設鉄道東海道線:弁天島駅廃止
1906年9月11日-09:00|日本|都電青山線|明治39年|東京市街鉄道[三宅坂-青山四丁目]→東京鉄道青山線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電吾妻橋線|明治39年|東京電車鉄道[上野停車場前-雷門]→東京鉄道吾妻橋線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電淡路町線|明治39年|東京市街鉄道本郷線[(須田町-)松住町(-本郷四丁目)]→東京鉄道淡路町線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電和泉橋線|明治39年|東京市街鉄道[水天宮前-人形町]→東京鉄道和泉橋線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電市ヶ谷線|明治39年|東京市街鉄道[富士見町-市ヶ谷見附]→東京鉄道市ヶ谷線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電上野線|明治39年|東京電車鉄道[須田町-上野停車場前]→東京鉄道上野線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電牛込線|明治39年|東京電気鉄道[四谷見附-飯田橋]→東京鉄道牛込線/東京電車鉄道・東京市街鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電厩橋線|明治39年|東京市街鉄道[上野広小路-外出町]→東京鉄道厩橋線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電江戸川線|明治39年|東京市街鉄道[九段坂下(>1908九段下)-飯田橋]→東京鉄道江戸川線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電御茶ノ水線|明治39年|東京電気鉄道[飯田橋-神田松住町(>1907松住町)]→東京鉄道御茶ノ水線/東京電車鉄道・東京市街鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電金杉線|明治39年|東京電車鉄道[薩摩原(>1930三田)-芝口(>1933新橋)]→東京鉄道金杉線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電神田橋線|明治39年|東京市街鉄道[日比谷(>1949日比谷公園)-小川町]→東京鉄道神田橋線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電切通線|明治39年|東京市街鉄道[本郷四丁目(>1908本郷三丁目)-上野広小路]→東京鉄道切通線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
1906年9月11日-09:00|日本|都電九段線|明治39年|東京市街鉄道[小川町-九段坂下]→東京鉄道九段線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併

1906迄 (2431件)

- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電蔵前線 | 明治39年 | 東京電車鉄道[浅草橋-雷門]→東京鉄道蔵前線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電江東橋線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[元町 (>1908東両国>1915両国駅前>1929国技館前)-(>1908頃、亀沢町)]→東京鉄道江東橋線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電品川線 | 明治39年 | 東京電車鉄道[八ツ山 (>1916品川)-薩摩原 (>1930三田)]→東京鉄道品川線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電信濃町線 | 明治39年 | 東京電気鉄道[信濃町-青山一丁目]→東京鉄道信濃町線/東京電車鉄道・東京市街鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電新大橋線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[蛸殻町-水天宮前]→東京鉄道新大橋線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電新宿線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[半蔵門-新宿]→東京鉄道新宿線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電水道橋線 | 明治39年 | 東京電車鉄道[(>常盤橋)-錦町河岸 (-師範学校前)]→東京鉄道錦町線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電洲崎線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[永代橋-福島橋 (>1911黒江町)]→東京鉄道洲崎線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電高橋線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[福島橋 (>1911頃、黒江町)-亀住町]→東京鉄道高橋線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電溜池線 | 明治39年 | 東京電気鉄道[琴平宮前-四谷見附]→東京鉄道溜池線/東京電車鉄道・東京市街鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電千代田橋線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[茅場町-永代橋]→東京鉄道千代田橋線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電築地線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[日比谷-蛸殻町]→東京鉄道築地線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電土橋線 | 明治39年 | 東京電車鉄道[-常盤橋-土橋 (>1908廃止)]→東京鉄道土橋線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電虎ノ門線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[桜田門-靈南坂]→東京鉄道虎ノ門線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電業平線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[(1908頃、亀沢町)-外手町]→東京鉄道業平線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電錦町線 | 明治39年 | 東京電車鉄道[(常盤橋-神田橋)-錦町河岸-師範学校前]→東京鉄道錦町線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電浜町線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[人形町-両国]→東京鉄道浜町線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電半蔵門線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[半蔵門-日比谷]→東京鉄道半蔵門線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電番町線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[富士見町-半蔵門]→東京鉄道番町線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電広尾線 | 明治39年 | 東京電気鉄道[青山一丁目-天現寺橋]→東京鉄道広尾線/東京電車鉄道・東京市街鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電蓬莱橋線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[三原橋-蓬莱橋]、東京電気鉄道外濠線[土橋 (>1908廃止)-琴平宮前]→東京鉄道蓬莱橋線/東京電車鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電本郷線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[須田町-本郷四丁目 (>1907本郷三丁目)]→東京鉄道本郷線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電本通線 | 明治39年 | 東京電車鉄道[芝口 (>1933新橋)-須田町]→東京鉄道本通線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電三田線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[三田-日比谷]→東京鉄道三田線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電室町線 | 明治39年 | 東京電車鉄道[本銀町角-浅草橋-本町角]→東京鉄道室町線/東京市街鉄道・東京電気鉄道と合併
- 1906年9月11日-09:00 | 日本 | 都電両国橋線 | 明治39年 | 東京市街鉄道[小川町-元町 (>1908東両国>1915両国停車場前>1918両国駅前>1929国技館前)]→東京鉄道両国橋線/東京電車鉄道、東京電気鉄道と合併
- 1906年9月12日-09:00 | 日本 | || 明治39年 | 東京鉄道、電車賃4銭均一に引上げ(従来3銭均一)
- 1906年9月12日-09:00 | 日本 | || 明治39年 | 日本海軍神風型駆逐艦「三日月」(381t)佐世保海軍工廠で竣工
- 1906年9月12日-09:00 | 日本 | || 明治39年 | 明治39年勅令第244号「医師法ニ依ル免許ヲ与フル者ニ関スル件」、明治39年勅令第245号「歯科医師法ニ依リ免許ヲ与フル者ニ関スル件」各公布
- 1906年9月12日-09:00 | 日本 | 愛知県豊川市 | 明治39年 | <合併>愛知県宝飯郡[伊奈村・豊秋村]が合併→小坂井村
- 1906年9月12日-01:00 | デンマーク | || デンマークの発明家、ヤコブ・エヒマーがLindholmの小島で“Danemark I”の初飛行を行ったが国際航空連盟は未公認
- 1906年9月12日 05:00 | ハイチ/アメリカ | || T. ローズヴェルト、ハイチに海兵隊を派遣
- 1906年9月13日-09:00 | 日本 | || 明治39年 | 「京浜競馬倶楽部」発足, 1907年7月13日開催
- 1906年9月13日-09:00 | 日本 | 東京電力 | 明治39年 | 東京電力株式会社設立

1906迄 (2431件)

- 1906年9月13日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブラunschweig公爵摂政「アルベルト・フォン・ホット」(~19070605)
- 1906年9月13日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル民政知事「Augusto da Silva Carvalho Osorio」(~19080215)
- 1906年9月15日-09:00|日本| ||明治39年|<開園>岩手公園(岩手県, →盛岡城跡公園)
- 1906年9月15日-09:00|韓国/朝鮮| |||韓国政府、「鉱業法」を施行/日本は韓国鉱業の行政権を掌握(欧米資本の鉱山特に金鉱は除く)
- 1906年9月15日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第246号「馬政局所管馬匹ノ売却ニ関スル件」公布
- 1906年9月15日-09:00|日本| |八十二銀行|明治39年|<改称>(資)山本銀行⇒(資)千曲銀行
- 1906年9月15日-09:00|日本| |広島銀行|明治39年|<改称>(株)呉商業銀行⇒(株)呉銀行
- 1906年9月17日-01:00|チェコ| |||<就任>モラヴィア総督代行「ヘルマン・フライヘル・フォン・ピラーシュト」(~19071010)
- 1906年9月18日-09:00|日本| ||明治39年|横須賀鎮守府では、無線電信の導入により軍用伝書鳩を廃止
- 1906年9月18日 04:00|刊| |||<就任>刊共和国大統領「ペドロ・エリアス・パブロ・モント・モント」(~19100816没)
- 1906年9月19日-09:00|日本| ||明治39年|日英商会活動写真「高等女学校生運動会」など。歌舞伎座封切
- 1906年9月20日-09:00|日本| ||明治39年|奈良・吉野の金峰神社から出火し、源義経ゆかりの蹴抜の塔が焼失
- 1906年9月20日-09:00|日本| ||明治39年|「社会パツク、活動写真」封切/松柳亭鶴枝の玉乗りなど、吉澤商店、錦輝館
- 1906年9月20日-08:00|フィリピン/アメリカ| |||<就任>アメリカ領フィリピン総督「ジェームズ・フランシス・ミス」(~19091111)
- 1906年9月20日-01:00|赤道ギニア/スペイン| |||<就任>フェルナンド・ホーネ総督「アンヘル・パレ・イ・ルヤント」(1回目~19070218)
- 1906年9月21日-09:00|日本| ||明治39年|<開館>明治三十七、八年戦役記念館(→松本市立博物館)
- 1906年9月21日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>伯爵(公家)閑院流嫡流三条支流「滋野井公寿」⇒養子「滋野井実麗」が襲爵(⇒19130127、失爵)
- 1906年9月22日-01:00|オランダ| |||オランダ海軍海防戦艦「ヤコブ・ヴァン・ヘムスケルク」(4920トン)アムステルダム造船所で進水(1908年竣工→1939年浮き砲台「Ijmuiden」に類別変更)
- 1906年9月22日 06:00|アメリカ| ||| (~24)ジョージア州アトランタで反黒人暴動が起こり、黒人18人を含む21人が死亡/アトランタに戒厳令がしかれる
- 1906年9月23日-09:00|日本| |JR東日本中央本線|明治39年|甲武鉄道[千駄木-新宿]間に代々木駅開業
- 1906年9月24日-09:00|日本| |JR東日本中央本線|明治39年|甲武鉄道[御茶ノ水-飯田町]間に水道橋駅開業
- 1906年9月24日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ヴァージニア級戦艦BB-15「ジョージア」(14948t, ハス鉄工所)チャールズタウン海軍工廠にて
- 1906年9月24日 06:00|アメリカ| |||米国ワイオミング州の巨岩「デビルズタワー」が初のナショナル・モニュメントに(「未知との遭遇」で有名)
- 1906年9月25日-01:00|コンゴ共和国/フランス| |||<就任>フランス領中央コンゴ長官代行「アルフレッド・フルー」(~19070405)
- 1906年9月26日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第258号「明治二十三年勅令第二百八号(省令庁令府県令及警察令ニ関スル罰則ノ件)第一条中改正ノ件」公布
- 1906年9月27日-09:00|日本| |都電江戸川線|明治39年|東京鉄道江戸川線[飯田橋-新小川町(>1909大曲)]延伸→[九段坂下(>1908九段下)-新小川町(>1909大曲)]
- 1906年9月28日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第264号「特許代理業者登録規則中追加ノ件」公布施行
- 1906年9月28日 05:00|キューバ| |||キューバのバルタ大統領が辞任
- 1906年9月29日-01:00|イタリア| |||ミラノで労働総同盟の結成大会が開会
- 1906年9月29日 05:00|キューバ/アメリカ| |||<就任>キューバ共和国暫定総督「ウィリアム・ホワード・タフト」(~10.13)
- 1906年9月29日 05:00|キューバ/アメリカ| |||ウィリアム・H・タフト、政府軍および自由党グループの武装を解除。オリエテでは海兵隊2千がハワコアに上陸作戦を展開。自由党の反乱を鎮圧
- 1906年9月29日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍コネカット級戦艦BB-18「(4代)コネカット」(16000t, ニューヨーク海軍工廠)
- 1906年9月30日-09:00|日本| ||明治39年|<移転>岡倉天心「日本美術院」[→茨城県五浦]
- 1906年9月30日-09:00|日本| |伊予銀行|明治39年|<任意解散債権債務譲渡>栄松合資会社⇒(株)五十二銀行
- 1906年9月30日-09:00|日本| |商船三井|明治39年|大阪商船会社「明石丸」厦門から汕頭に向け航行中、風潮に流されて厦門港外カムカ礁南東端で乗り揚げ、破壊、沈没
- 1906年9月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブラunschweig公爵摂政「アルブレヒト・フォン・プロイセン」
- 1906年9月30日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブラunschweig公爵摂政「ヨハン・アルブレヒト・ツー・メクレンブルク」(~19131101退任)
- 1906年9月30日 06:00|アメリカ| |||気球の国際レース、「ゴートン・ベネット・カップ」が行われ、最初の優勝者はアメリカ陸軍のフランク・ラムで647kmを飛行
- 1906年9月30日 06:00|アメリカ| |||アメリカのセントラル鉄道が、電気機関車を初めて導入
- 1906年10月-09:00|日本| ||明治39年|<移転>橋姫神社[放生院常光寺敷地内⇒宇治市宇治蓮華47番地]
- 1906年10月-09:00|日本| ||明治39年|<掲載>夏目漱石「二百十日」(中央公論)
- 1906年10月-09:00|日本| ||明治39年|福井県、中角橋(吉田郡中藤島村・河合村間)竣工
- 1906年10月-09:00|日本| |日本郵船|明治39年|日本郵船が逓信省命令航路横濱牛莊線開設
- 1906年10月-09:00|韓国| |三越伊勢丹ホールディングス| |漢城(ソウル)に三越出張所が開店/現在の新世界(シンゲ)百貨店の前身
- 1906年10月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク州総督「アルフレッド・アウグスト・フレイレ・デ・アントラーデ」(~19101026)
- 1906年10月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|韓国政府、「新地方官制」施行し、全国を13道・11府・333郡に改編し、地方官官制も改め、地方官の権限を縮小し、日本人参与官を配置し、行政監督を委任

1906迄 (2431件)

- 1906年10月1日-09:00|日本| ||明治39年|吉岡弥生らが大日本実業婦人会を結成
- 1906年10月1日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍砲艦「伏見」(150t, イギリス、ヤロー社で製造)上海に出張した川崎造船所により組立て竣工就役
- 1906年10月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第267号「地方産業ニ関ル技師、技手並試験場、講習所及種畜場職員ノ名称、待遇、任免及官等々級配当ノ件」、明治39年勅令第268号「地方産業ニ関ル技師、技手並試験場、講習所及種畜場職員ノ休職ニ関ル件」、明治39年勅令第270号「私設鉄道ニ於テ為シタル契約ヲ随意契約ヲ以テ継続ノ件」各公布
- 1906年10月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第019号「関税定率法」施行(0331公布);明治39年法律第047号「医師法」、明治39年法律第048号「歯科医師法」各施行(0502公布);明治39年勅令第157号「明治三十二年勅令第三百四十二号(開港及開港ニ於テ輸出スベキ貨物ノ指定ニ関ル件)第二条ノ三改正ノ件」施行(0622公布);明治39年勅令第248号「旅順鎮守府条例」、明治39年勅令第249号「旅順海軍港務部条例」、明治39年勅令第250号「旅順海軍工作部条例」、明治39年勅令第251号「旅順敷設隊条例」、明治39年勅令第252号「旅順海軍病院条例」、明治39年勅令第253号「旅順海軍経理部条例」、明治39年勅令第255号「旅順海軍監獄官制」、明治39年勅令第256号「関東州海軍区ニ関ル件」、明治39年勅令第257号「旅順港ノ境域ヲ定ムルノ件」各施行(0925公布);明治39年勅令第260号「関税法施行規則中改正追加ノ件」、明治39年勅令第261号「関税定率法ニ依リ加工ノタメ輸入ル物品ニ関ル件」、明治39年勅令第262号「関東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入税率ニ関ル件」各施行(0926公布);明治39年勅令第263号「旅順港規則制定及該規則違反者罰則ノ件」施行(0928公布);明治39年勅令第265号「関税定率法ニ依ル製造品ノ原料輸入税払戻ニ関ル件」、明治39年勅令第266号「関税定率法ニ依ル肥料ノ原料輸入税払戻ニ関ル件」各施行(0929公布)
- 1906年10月1日-09:00|日本| ||明治39年|「こども博覧会」開催(〜11月5日)[開催地]東京都[会場]上野公園[主催]同文館;(11月1日〜11月25日)[開催地]京都府[会場]岡崎公園, 博覧会館[主催]京都市教育会[入場者]207, 222人;(11月〜12月)[開催地]大阪府[会場]府立博物場
- 1906年10月1日-09:00|日本|愛知県犬山市|明治39年|<合併>愛知県丹羽郡[犬山町・岩橋村・高雄村の一部<上野・木津>]が合併→犬山町、[岩田村・今井村・善師野村]が合併→城東村
- 1906年10月1日-09:00|日本|愛知県丹羽郡大口町|明治39年|<合併>愛知県丹羽郡[小口村・太田村・富成村・柏森村の一部<余野>]が合併→大口村
- 1906年10月1日-09:00|日本|愛知県丹羽郡扶桑町|明治39年|<合併>愛知県丹羽郡[山名村・豊国村・高雄村の一部<高雄>・柏森村の一部<柏森>]が合併→扶桑村
- 1906年10月1日-09:00|日本|伊豆箱根鉄道|明治39年|<商号変更>駿豆電気(株)⇒駿豆電気鉄道(株)
- 1906年10月1日-09:00|日本|京急本線|明治39年|京浜電気鉄道[雑色-八幡塚-中町-六郷橋]間廃止、[六郷橋-新宿-川崎]間を大師線に衣冠、[雑色-六郷堤(>1932以前、六郷土手)-川崎]開業
- 1906年10月1日-09:00|日本|国鉄手宮線||北海道炭礦鉄道[小樽-手宮]→国有化
- 1906年10月1日-09:00|日本|JR東海東海道本線|明治39年|東海道線三等急行に和食食堂車が設けられる
- 1906年10月1日-09:00|日本|JR西日本可部線|明治39年|<設立>広島軌道株式会社
- 1906年10月1日-09:00|日本|JR東日本信越本線|明治39年|官設鉄道[横川-軽井沢]間に熊ノ平/給水給炭所を駅に変更
- 1906年10月1日-09:00|日本|JR東日本中央本線|明治39年|甲武鉄道[御茶ノ水-八王子]間買収・国有化編入→官営鉄道[御茶ノ水-塩尻(-篠ノ井)]
- 1906年10月1日-09:00|日本|JR北海道歌志内線|明治39年|北海道炭礦鉄道[砂川-歌志内]→官営鉄道/買収
- 1906年10月1日-09:00|日本|JR北海道石勝線|明治39年|北海道炭礦鉄道[追分-夕張]→官営鉄道/買収
- 1906年10月1日-09:00|日本|JR北海道函館本線|明治39年|北海道炭礦鉄道[小樽-空知太]→官営鉄道/買収[小樽-旭川]が官設線となる;幌向太→幌向/改称
- 1906年10月1日-09:00|日本|JR北海道幌内線|明治39年|北海道炭礦鉄道[岩見沢-栄町-幌内太-幾春別]、[幌内太-幌内]国有化→官営鉄道
- 1906年10月1日-09:00|日本|JR北海道室蘭本線|明治39年|北海道炭礦鉄道[室蘭-岩見沢]→官営鉄道/買収
- 1906年10月1日-09:00|日本|電通|明治39年|日本広告株式会社, 電報通信社を買収し, 新たに日本電報通信社を設立(わが国最初の国際通信社)
- 1906年10月1日-09:00|日本|福岡県北九州市若松区|明治39年|<合併>福岡県遠賀郡[若松町・石峰村]が合併→若松町
- 1906年10月1日-09:00|日本|北海道炭礦汽船|明治39年|北海道炭礦鐵道株式会社が北海道炭礦汽船株式会社(東京)と改称
- 1906年10月1日-05:30|インド| ||<就任>ケルワイ国支配者(ナワブ)「モハマト・サルワール・アリ・カーン」(~19480528)、摂政「カマル・ウン・ニサ・ベグム・サルカル・アンマ」(~19230409)
- 1906年10月1日-04:00|ロシア/中国|満鉄連京線||東清鉄路南滿支線[双廟子-四平街-郭家店-公主嶺]延伸→[大連~公主嶺]
- 1906年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アルフレド・レフフィ」[ジヨウアンニアルジツリ]
- 1906年10月2日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第271号「海軍望楼条例第四条中追加ノ件」、明治39年勅令第273号「明治三十八年勅令第二百二十一号(通信省部内ノ官吏ニシテ戦時ニ際シ所属部局以外ニ於テ臨時通信ノ事務ニ従事シ又ハ陸海軍特設ノ事務ニ従事シタル者ノ復帰ニ関ル件)中改正ノ件」各公布
- 1906年10月3日-01:00|ドイツ| ||ベルリンでの第1回国際無線電信会議で、国際遭難信号「SOS」の採用が決まる
- 1906年10月4日-09:00|日本|りそなホールディングス|明治39年|<設立>(株)商業貯蓄銀行[神奈川県横浜市青木町]
- 1906年10月5日-09:00|日本| ||明治39年|中央製紙株式会社(岐阜県中津町)創立
- 1906年10月6日-08:00|中国| ||<竣工>聖安德烈堂[香港](協会)
- 1906年10月6日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド総督「ガブリエル・ルイ・アングレム」(~19071202)

1906迄 (2431件)

- 1906年10月6日 00:00 | イギリス/アメリカ | ||| アメリカ、イギリスが、ニューファントランド島の漁業権について暫定協定を結ぶ
- 1906年10月8日-03:30 | イラン | ||| ヘルシヤ第1回国会が開設される
- 1906年10月8日 00:00 | イギリス | ||| 英の美容室に電熱式パーマント機器初登場
- 1906年10月9日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 札幌商業会議所設立
- 1906年10月9日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 明治39年勅令第274号「図書館令中改正追加ノ件」公布
- 1906年10月9日-09:00 | 日本 | 土佐電伊野線 | 明治39年 | 土佐電気鐵道伊野線 [乗出 (>)1952以前、ゲラント通) - 枅形 - 本町筋一丁目 - 本町筋二丁目 - 本町筋三丁目 - 本町筋四丁目 - 本町筋五丁目 - 中須賀 - 赤石前 - 下島 - 鏡川橋] 延伸開業 → [堀詰 ~ 鏡川橋]
- 1906年10月9日-01:00 | ドイツ | ||| ツェッペリン飛行船 LZ III が初飛行
- 1906年10月10日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 二葉亭四迷「其面影」を東京朝日新聞に連載開始 (12月31日まで)
- 1906年10月10日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 豊田佐吉が「経糸解舒及緊張装置」の特許を取得
- 1906年10月10日 04:00 | マルティニーク/フランス | ||| <就任>フランス領マルティニーク知事「Edmond Gaudard」 (~19070310)
- 1906年10月11日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 大日本実業婦人会創立
- 1906年10月11日-09:00 | 日本 | 東京大学 | 明治39年 | 初めて整形外科の一科を東京帝国大学医学部に開設
- 1906年10月11日-04:00 | ロシア/中国 | 満鉄連京線 | 東清鉄路南満支線 [公主嶺 - 范家屯 - 孟家屯] 延伸 → [大連 ~ 孟家屯]
- 1906年10月12日-09:30 | オーストラリア | ||| 関税法と物品税法が立法化
- 1906年10月12日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 日本海軍神風型駆逐艦「白雪」(381t) 三菱長崎で竣工
- 1906年10月12日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 明治39年勅令第275号「陸軍参謀及高等官衙副官ノ補職ニ関スル件」公布
- 1906年10月12日-09:00 | 日本 | 京都府京田辺市 | 明治39年 | <町制施行> 京都府綴喜郡田辺村 → 田辺町
- 1906年10月12日-01:00 | ナミビア/ドイツ | ||| 南西アフリカでヘロ族が反乱を起こすが、ドイツ軍が鎮圧
- 1906年10月12日 03:00 | アルゼンチン | ||| <就任>アルゼンチン第16代大統領ルセ・フイゲロア・アルコタ [国民自治党] (~19101012) キータ政権下の副大統領、キータ死亡に伴い大統領就任
- 1906年10月13日 05:00 | キューバ/アメリカ | ||| <就任>キューバ共和国暫定総督「チャールズ・エドワード・マクーン」 (~19090128)
- 1906年10月14日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | <死去>初代藤浪与兵衛 (78歳) 歌舞伎小道具方
- 1906年10月14日-04:00 | ロシア | ||| <死去>ウラディミール・スターツ、ロシアの芸術評論家 (生年1824年)
- 1906年10月14日 04:00 | ハミュダ/イギリス | ||| <就任>イギリス直轄植民地ハミュダ総督「ロバート・マクラー - スチュワート卿」(3期目 ~19070626)
- 1906年10月15日-08:00 | 中国/日本 | ||| 明治39年 | 明治39年勅令第247号「横浜正金銀行ノ関東州及清国ニ於ケル銀行券ノ発行ニ関スル件」施行 (0915公布)
- 1906年10月15日 04:00 | グレナダ/セントビンセント/セントルシア/イギリス | ||| <就任>ウィントワート 諸島連邦植民地総督代行「フィリップ・クラーク・コーク」 (~19070116)
- 1906年10月16日-09:00 | 日本/韓国/朝鮮 | ||| 谷口房蔵ら紡績業者、韓国棉花を設立 (本社大阪。綿作農民への前貸等を行う。のち朝鮮棉花と改称。1916年、日本棉花に買収される)
- 1906年10月16日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 日本海軍神風型駆逐艦「朝露」(381t) 大阪鉄工所桜島工場で竣工
- 1906年10月16日-09:00 | 日本 | 三重交通神都線 | 明治39年 | 伊勢電気鐵道 [前田 (>)古市口] - (>)1912以前、倉田山>倭姫宮前) - 中山 (>)1939以降、廃止) - 松尾 - (1925以前、中道>廃止) - 楠部 - (>)1925以前、月読宮>廃止) - (月読宮前) - 宇治] 間4.5km、[中山 (>)1939以降、廃止) - 二軒茶屋] 間0.6km 延伸 → [山田 - 前田 - 中山 - 宇治] [前田 - 二見] [中山 - 二軒茶屋] 開業
- 1906年10月16日-01:00 | ドイツ | ||| ケーベニック事件/近衛第1連隊の大尉と名乗る靴職人ヴァルヘルム・フォイト (57) と兵士10名が、ベルリン近郊のケーベニック市庁舎に乱入して市長を拘禁
- 1906年10月17日-09:00 | 日本 | 東洋大学 | 明治39年 | 井上円了銅像除幕式 (東洋大学)
- 1906年10月17日-01:00 | ドイツ | ||| ミュンヘン大学の物理学教授コルンが、1800キロ離れた場所への写真電送に成功
- 1906年10月18日-09:00 | 韓国/朝鮮 | ||| 最初の記念切手を発行
- 1906年10月18日-09:00 | 日本 | 商船三井 | 明治39年 | 大阪商船旅客船「滋賀丸」(783G/T) 大阪鉄工所桜島造船場 (大阪) で竣工
- 1906年10月19日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | <死去>佐野経彦 (73歳) 神理教の開祖
- 1906年10月19日-09:00 | 日本 | 東海汽船 | 明治39年 | 東京灣汽船「祝丸」(198G/T) 浦賀船渠株式会社 (浦賀) で竣工
- 1906年10月19日-08:00 | 中国 | ||| 孫文らの中国革命同盟会、湖南省で中国回復・共和国建設などをスローガンに蜂起
- 1906年10月20日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 日本海軍海防艦「天龍」除籍、雑役船に編入、舞鶴海兵団練習船となる
- 1906年10月20日 06:00 | アメリカ | ||| <死去>バック・ユイング、メジャーリーグ (生年1859年)
- 1906年10月21日-09:00 | 日本 | ||| シンガ - シン裁縫女学校が開校
- 1906年10月22日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 名古屋電力が設立される
- 1906年10月22日-01:00 | フランス | ||| <死去>ポール・セザンヌ、故郷エクス=アン=プロヴァンスで肺充血のため (67歳、18390119生) フランスの「後期印象派」画家
- 1906年10月22日-01:00 | フランス | ||| サントス・デモンがパリで、固定翼動力機「14-bis」号で60mの公開飛行を行い、フランス飛行クラブが認めた欧州における最初の動力飛行となる
- 1906年10月23日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 鹿児島県では、特に下甕島のサコ採取船90隻、乗組員700余名が暴風のため行方不明となり、陸上では家屋の倒壊と死傷者が多く、電線の切断や橋梁の流失などの被害が出ている
- 1906年10月23日-09:00 | 日本 | 日本郵船 | 明治39年 | 日本郵船「淡路丸」竣工 (1923年、近海郵船株式会社に移籍)
- 1906年10月24日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 池野成一郎、「植物系統学」刊/メンデルの遺伝法則を日本で初めて紹介
- 1906年10月24日-09:00 | 日本 | ||| 明治39年 | 長崎県五島列島近海では、サコ採取船とカツ漁船が男島付近で遭難。サ

1906迄 (2431件)

コ 採取船は為石、富江、玉之浦、崎山、奥浦各港の船で、150隻、481人が行方不明。かつ漁船は崎山、大浜の船に鹿児島県からの船も混じり、8隻、131人が行方不明。福岡県でも箱崎、姪浜港などの漁船が糸島半島沿海や博多湾などで11隻沈没し13人死亡・行方不明。同県沿岸各海域で小型廻船、帆船、石炭運搬船など4隻沈没、15隻破損、若松港では石炭運搬用の川船が20隻沈没し、それぞれの乗組員が行方不明。陸上では博多港の石垣約80mが破壊されている/山口県でも、下関、彦島、大津郡の漁船13隻が遭難し、5人が行方不明。陸上では萩地方で夏みかんの被害が少なからずあった

- 1906年10月24日-08:00|中国/日本| ||明治39年|明治39年勅令第277号「関東都督府典獄監吏及看守服制並提灯徽章」公布
- 1906年10月24日-01:00|オーストリア/ハンガリー| ||<就任>オーストリア=ハンガリー帝国帝国・王室・外務大臣「アロイス・フライヘル・レサ・フォン・エレンタール」(~19120217)
- 1906年10月25日-01:00|フランス| ||<就任>フランス第三共和政第63代首相シヨルジュ・クレマンソー[共和主義急進派・急進社会党](第1次~1909年7月24日)
- 1906年10月27日-09:00|日本| ||明治39年|「報知新聞」夕刊で創刊、東京・横浜
- 1906年10月28日 06:00|アメリカ| ||アメリカ合衆国ニュー・ヨーク州アトランティックシティ駅西側の可動橋の固定がずれ、列車が脱線し転落。死者53人
- 1906年10月29日-09:00|日本| ||明治39年|帝国肥料株式会社(資本金300万円)が設立
- 1906年10月30日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>5代竹本弥太夫(70歳)浄瑠璃太夫
- 1906年10月30日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第278号「憲兵条例中改正加除韓国ニ駐劄ル憲兵ノ行政警察及司法警察ニ関ル件廃止ノ件」公布
- 1906年10月30日-09:00|日本| JR東日本山手線|明治39年|日本鉄道品川線[代々木-渋谷]間に原宿駅開業、[渋谷-目黒]間の恵比寿駅旅客営業開始
- 1906年10月30日 00:00|イギリス| ||<死去>初代クランブルック伯「ゲイソン・ゲイソン=ハート」
- 1906年10月30日 00:00|イギリス| ||<就任>2代クランブルック伯「ジョン・ステュワート・ゲイソン=ハート」(~19110713死去)
- 1906年10月31日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第281号「外国政府ニ聘用セラレタル判事検事ニ関ル件」公布
- 1906年10月31日-04:00|ロシア| ||ロシア帝国海軍黒戦艦「エカテリナ2世」退役
- 1906年10月31日-01:00|フランス| ||<初演>ジュール・エミール・フレデリック・マヌー《歌劇「アリアヌ」》
- 1906年11月-03:00|イメン/イギリス| ||<就任>イギリス領アレン理事官「Ernest de Brath」(~1910.4)
- 1906年11月-02:00|ザンビア/イギリス| ||<就任>イギリス保護領ロデシア北西部管理者代理「Ernest Charles Baxter」(~12月)
- 1906年11月-01:00|カメルーン/ドイツ| ||<就任>ドイツ保護領カメルーン総督代行「オットー・グライム」(2回目~19070509)
- 1906年11月1日-09:00|日本| ||明治39年|<運用開始>岩内水力電気:敷島内発電所[北海道]120KW(⇒廃止)北海道初の水力発電所
- 1906年11月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|『少年韓半島』を創刊(最初の少年雑誌)
- 1906年11月1日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「野分」(381t)佐世保海軍工廠で竣工
- 1906年11月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年法律第030号「明治二十九年法律第十三号(公立学校職員退職料等ニ関ル件)中改正法律」施行(0407公布)
- 1906年11月1日-09:00|日本| IGRいわて銀河鉄道|明治39年|日本鉄道[(上野~)盛岡~福岡~(~青森)]国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| 青い森鉄道|明治39年|日本鉄道[(上野-)三ノ戸-尻内(-青森)]国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| 伊豆箱根鉄道|明治39年|駿豆電気(株)が駿豆電気鉄道(株)に社名変更
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR|明治39年|政府、日本鉄道会社を買収
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本埼京線|明治39年|日本鉄道品川線[池袋-赤羽]国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本塩釜線|明治39年|日本鉄道東北線支線[岩切-塩竈]国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本上越線|明治39年|日本鉄道[高崎-{}新前橋](-小山)]間国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本常磐線|明治39年|日本鉄道海岸線[日暮里-岩沼]国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本高崎線|明治39年|日本鉄道[(上野-)大宮-高崎]買収国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本東北本線|明治39年|日本鉄道[上野-岩切-盛岡(-)尻内-青森][岩切-松島(-)塩竈]]国有化→官営鉄道→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本日光線|明治39年|日本鉄道日光線[宇都宮-日光]買収国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本八戸線|明治39年|日本鉄道[尻内-八ノ戸]買収国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本岩越西線|明治39年|岩越鉄道[郡山-喜多方]81.9km買収国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本水戸線|明治39年|日本鉄道[小山-友部(-水戸)]買収国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本山手線|明治39年|日本鉄道品川線[(赤羽-)池袋-品川]、豊島線[田端-池袋]国有化→官営鉄道
- 1906年11月1日-09:00|日本| JR東日本両毛線|明治39年|日本鉄道高崎線[小山-前橋-{}新前橋](-高崎)]買収国有化→官営鉄道[小山-{}新前橋](-高崎-上野)]
- 1906年11月1日-09:00|日本| 栃木県鹿沼市|明治39年|<町制施行>栃木県上都賀郡粟野村→粟野町
- 1906年11月1日-09:00|日本| 宮城県登米市|明治39年|<町制>宮城県本吉郡麻崎村が改称町制施行→柳津町
- 1906年11月1日-01:00|オーストリア| ||<死去>オーストリア大公「オットー・フランツ・フォン・エステルライヒ」(41歳)
- 1906年11月2日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第283号「明治二十六年勅令第七十四号(取引所/資本金営業保証金株式手数料積立金及売買取引ノ方法ニ関ル規程並仲買人免許料金額)中改正追加ノ件」公布施行
- 1906年11月2日-09:00|日本| 北國銀行|明治39年|<改称>竜二合資会社⇒(資)竜二銀行

1906迄 (2431件)

- 1906年11月2日-04:00|ロシア| |||革命家レフ・トロツキーがシベリアへ永久追放
- 1906年11月3日-09:00|日本| ||明治39年|大阪パッパ社から漫画雑誌「大阪パッパ」大阪で発行
- 1906年11月3日-09:00|日本|中日新聞|明治39年|「中京新報」、「名古屋新聞」と改称
- 1906年11月3日 00:00|世界/日本| ||明治39年|国際無線通信条約調印(明治41. 6. 23公布, 41. 7. 1実施)
- 1906年11月3日 05:00|キューバ| |||エストラダの与党だった中道党が、正式に解散され多くが保守党へ流れる
- 1906年11月4日-09:00|日本| ||明治39年|夏目漱石『吾輩ハ猫テアル〔中編〕』発行/大倉書店・服部書店/定価90銭
- 1906年11月4日-09:00|日本| ||明治39年|慶應義塾と東京師範学校が初の器械体操連合競技会を行う
- 1906年11月5日-09:00|日本/刊| ||明治39年|日本・刊間通商航海条約調印
- 1906年11月5日-09:00|日本|東邦瓦斯|明治39年|名古屋瓦斯設立
- 1906年11月5日-02:00|ブルガリア| |||<就任>ブルガリア首相(閣僚会議議長)「テ・イミット・ア・ニコロフ・ヘ・トコフ」(~19070311没)
- 1906年11月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|洪鍾燮、大韓窯業を設立
- 1906年11月6日-08:00|中国| |||清朝が中央官制を改革/6部の尚書を11部とし/各部に長官1人を任命
- 1906年11月6日-08:00|中国/日本| |||日本、南満州鉄道会社(満鉄)を設立
- 1906年11月6日 06:00|アメリカ| |||アメリカ大統領選挙で、セオドア・ルーズベルト(48)がアルトン・パークを破って再選される
- 1906年11月8日-09:00|日本| ||明治39年|<火災>安祥寺多宝塔(京都府山科村)
- 1906年11月8日-09:00|日本| ||明治39年|<開設>池上競馬場[東京府荏原郡池上村](~1910年)
- 1906年11月8日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>レユニオン知事「Jules Adrien Jean Bonhoure」(~19071227)
- 1906年11月9日-09:00|日本| ||明治39年|<移転改称>(株)房総農商銀行[千葉県千葉郡千葉町]⇒(株)東亜銀行[東京市]
- 1906年11月10日-09:00|日本| ||明治39年|歌舞伎座で、文芸協会演芸部の第1回大会が開かれる/坪内逍遙作、東儀鉄笛作曲のオペラ「常闇」を上演
- 1906年11月10日-09:00|日本| ||明治39年|藤井実、棒高跳びで3m90の世界新記録
- 1906年11月10日-09:00|日本|北國銀行|明治39年|<移転改称>(株)集成貯蓄銀行[東京]⇒(株)秩父貯蓄銀行[埼玉]
- 1906年11月11日-01:00|デンマーク| |||<初演>カール・ニールセン《歌劇「仮面舞踏会」》
- 1906年11月11日-01:00|フランス/イタリア| |||セスティーノ・ヴェリとカッロ・クレステが「ミラノ」号と名付けた気球でミラノからフランスのイクス=レ=バンまでの360kmを4時間あまりで飛行して、アルプス越えを行った
- 1906年11月12日-01:00|フランス| |||サントス・デ・モンガバリーで再び、固定翼動力機「14-bis」号の公開飛行を行い高さ6m、距離220mを飛行し、100m以上の飛行にかけられていたアルシュテック賞(アルクテック賞)を獲得
- 1906年11月13日-09:00|日本| ||明治39年|<創刊>「尚古」(広島市大手町広島尚古会)
- 1906年11月13日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|韓国政府、「為替手形・約束手形・小切手に関する手形条例」を公布し、約束手形条例(19050930発布)を廃止
- 1906年11月14日-09:00|日本| ||明治39年|日本製糖・日本精製糖の両社合同し、大日本製糖会社設立
- 1906年11月14日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第285号「陸軍懲治隊条例第十四条改正/件」公布
- 1906年11月15日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>山本芳翠。脳溢血のため(57歳)画家
- 1906年11月15日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル合衆共和国大統領「アフォンソ・アウグスト・モレイラ・ペーニャ」(~19090614在任中に死去)
- 1906年11月16日-01:00|フランス| |||フランスのルノー兄弟が製作した飛行船「祖国号」が初飛行
- 1906年11月17日-09:00|日本|りそなホールディングス|明治39年|<移転>(株)共精商業銀行[埼玉⇒東京]
- 1906年11月18日 00:00|カナダ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナダ諸島市民知事「Ignacio Martinez de Campos」(~12. 18)
- 1906年11月19日-09:00|日本|京阪|明治39年|京阪電気鉄道が設立される
- 1906年11月19日-01:00|ポーランド| ||明治39年|ポーランド社会党が分裂
- 1906年11月19日 05:00|パナマ/アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国パナマ運河地帯軍政総督「リチャード・リット・ロジャース」(~19070331)
- 1906年11月20日-09:00|日本| ||明治39年|<設立>大日本ホテル業同盟会(→日本ホテル協会、帝国・都・富士屋・金谷・大阪)
- 1906年11月20日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「白妙」(381t)三菱長崎で竣工
- 1906年11月21日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第286号「統監府鉄道管理局職員官等ノ初叙及陞叙ニ関スル件ニ改正/件」公布
- 1906年11月21日-08:00|中国| |||清国政府が阿片禁止章定を改正し、10年間々の作付けを禁止する
- 1906年11月22日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第287号「要港部条例中改正加除/件」、明治39年勅令第288号「水雷団条例」、明治39年勅令第289号「駆逐隊艇隊条例」、明治39年勅令第290号「敷設隊条例」各公布施行
- 1906年11月22日-04:00|ロシア| |||露・ストイリン首相、農民層の革命気運封じのため、自作自農など認める農業改革法公布
- 1906年11月23日-09:00|日本| ||明治39年|<開場>日本レースクラブ・ゴルフイング・アソシエーション[根岸競馬場内]
- 1906年11月23日-09:00|日本| ||明治39年|江原素六、根本正らが日本平和協会を設立
- 1906年11月23日-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ総理大臣「マルコ・ラド・ウロヴィ」(~19070131)
- 1906年11月24日-09:00|韓国/朝鮮| ||大韓帝国・光武10年|韓国の王族閔宗植、日本軍に捕われる
- 1906年11月24日-09:00|日本| ||明治39年|初の本格的な馬券付き競馬、東京競馬会第1回秋季競馬が開催される

1906迄 (2431件)

- 1906年11月25日 04:00|パ ラグ アイ | |||<就任>パ ラグ アイ共和国大統領「ベニグノ・アスンシオン・フェレイラ」(~19080704)
- 1906年11月26日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第292号「税関官制第四条中改正/件」, 明治39年勅令第293号「専売塩特別定価売渡及交付金下付規則第十九条中改正/件」, 明治39年勅令第294号「官設鉄道/職員=宿舍料ヲ支給スル/件」各公布
- 1906年11月26日-08:00|中国| |||清朝が、中央官制を改革し、全国に36師団の陸軍(新軍)を設置する
- 1906年11月26日-08:00|中国/日本|満鉄|明治39年|<設立>南満州鉄道株式会社(資本金二億円、半額政府出資、初代総裁・後藤新平)
- 1906年11月27日-09:00|日本| ||明治39年|<転出改称>大原銀行[千葉県夷隅郡大原町]⇒阿賀銀行[広島県]
- 1906年11月28日-09:00|日本|伊豆箱根鉄道軌道線|明治38年|駿豆電気鉄道[広小路(▷三島広小路)-茶町(▷廃止)-(木町)-茅町(▷廃止)-千貫樋-伏見-玉井寺前-八幡(▷廃止)-長沢-(1945以降、国立病院前)-(1945以降、臼井産業前)-木瀬川橋(▷廃止)-黄瀬川-石田-(191703以降、麻糸前)-山王前-平(▷平町)-三枚橋-志多町(▷1945以前、廃止)-駿東郡役所前(▷1926頃、追手町)-沼津停車場前(▷沼津駅前)]間開業
- 1906年11月28日-09:00|日本|商船三井|明治39年|大阪商船旅客船「琉球丸」(783G/T)大阪鐵工所櫻島造船場(大阪)で竣工
- 1906年11月28日-09:00|日本|広島銀行|明治39年|<移転改称>(株)大原銀行[千葉]⇒(株)阿賀銀行[広島]
- 1906年11月28日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サトール首相「フレデリック・ロート・ムア」無党派(~19100428)
- 1906年11月29日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|明治39年|<死去>侯爵(武家)「伊達宗徳」(77歳)元伊予宇和島藩主⇒12月27日、長男「伊達宗陳」が襲爵(⇒19230207、死去)
- 1906年11月29日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|明治39年|<死去>加藤明実(59歳)元近江水口藩主・知藩事
- 1906年11月30日-09:00|日本| ||明治39年|改築中の内務省伝染病研究所、東京芝白台に完成
- 1906年11月30日-09:00|日本|三菱UFJフィナンシャル・グループ|明治39年|<事業譲渡>(資)藤本銀行[大阪]⇒(株)北浜銀行
- 1906年11月30日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Segismundo Moret[自由党](~19061204)
- 1906年12月-09:00|日本| ||明治39年|<開業>相生座[神戸・新開地]
- 1906年12月-09:00|日本| ||明治39年|<初演>「櫻時雨」作・高安月郊/片岡我當(11片岡仁左衛門)二役/南座
- 1906年12月-09:00|日本|東邦銀行|明治39年|<改組>(資)興商銀行⇒(株)興商銀行
- 1906年12月-03:00|イタリヤ/トルコ| |||<就任>パガダットのワリス「テヘ・イラン・エフ・ベキル・ハジム・ベイ」(~1908年5月)
- 1906年12月-01:00|北マケドニア/トルコ| |||<就任>マステル・ワリス(総督)「ア・ム・レシット・ベイ」(~1907年2月)
- 1906年12月 00:00|イギリス/中国| |||イギリスの探検家オレル・スタインが天山南道のミラン遺跡を発掘
- 1906年12月1日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第295号「煙草専売局官制」, 明治39年勅令第297号「明治三十一年勅令第三百十五号中改正/件」, 明治39年勅令第298号「明治三十七年勅令第五百十五号中改正/件」, 明治39年勅令第299号「明治三十七年勅令第六百六十四号(煙草専売法/施行=関シ間接国税犯則者処分法施行規則ヲ準用シ及收税官吏又ハ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フキ官吏指定/件)中改正/件」, 明治39年勅令第300号「煙草専売局職員特別任用令中改正/件」, 明治39年勅令第301号「塩務局職員特別任用令中改正/件」, 明治39年勅令第302号「専売局会計規則中改正/件」各施行(1128公布); 明治39年勅令第304号「韓国及清国/生産ニ係ル物品輸入稅率ニ関スル件」施行(1129公布)
- 1906年12月1日-09:00|日本|大阪府|明治39年|<改称>「大阪図書館」[大阪市北区中之島1丁目]⇒「大阪府立図書館」
- 1906年12月1日-09:00|日本|国鉄宇品線|明治39年|山陽鉄道[広島-宇品]国有化/陸軍省から鉄道院に移管
- 1906年12月1日-09:00|日本|国鉄関門航路|明治39年|山陽汽船関門航路[馬関~門司]、渡船「大瀬戸丸」「下關丸」国有化→官營関門航路
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR四国宇高連絡線|明治39年|山陽汽船商社[岡山港~高松港]客船「玉藻丸」(→1924年、瀬戸内連絡急行汽船に売却)国有化; 山陽汽船商社[尾道港~多度津港]客船「児島丸」国有化
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR四国土讃線|明治39年|山陽鉄道[(丸亀~)多度津~琴平]国有化→官營鉄道
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR四国予讃線|明治39年|山陽鉄道[高松~多度津(~琴平)]国有化→官營鉄道
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR西日本大阪環状線|明治39年|西成鉄道[大阪-西九条(-安治川口)]国有化
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR西日本吳線|明治39年|山陽鉄道[吳~海田市]国有化→官營鉄道
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR西日本桜島線|明治39年|西成鉄道[(大阪-)西九条-安治川口-天保山]買収国有化
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR西日本山陽本線|明治39年|山陽鉄道[神戸~馬関]買収国有化→官營鉄道; 塩屋、舞子/仮停車場→駅に変更
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR西日本播但線|明治39年|山陽鉄道播但線[飾磨-豆腐町][姫路-和田山]国有化→官營鉄道; 長谷駅移設
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR西日本美祿線|明治39年|山陽鉄道[厚狭~大嶺]国有化→官營鉄道
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR西日本宮島フェリー|明治39年|山陽鉄道宮島航路[宮島~厳島]及び連絡船「宮島丸」国有化→官營宮島航路
- 1906年12月1日-09:00|日本|JR西日本和田岬線|明治39年|山陽鉄道和田岬線[兵庫-和田岬]国有化改マイル0.32km延長→官營鉄道
- 1906年12月1日-09:00|日本|滋賀銀行|明治39年|<買収>(株)日野銀行⇒近江銀行
- 1906年12月1日-09:00|日本/韓国|省線閔釜航路|明治39年|山陽汽船閔釜連絡船貨客船「尅岐丸」「対馬丸」国有化、国有鉄道の所有となる
- 1906年12月1日-09:00|日本/韓国|商船三井|明治39年|<運航開始>大阪商船:大阪馬山線
- 1906年12月1日-09:00|日本|松竹|明治39年|<買収直営開場>松竹「京都南座」
- 1906年12月1日-09:00|日本|東邦電力唐津軌道線|明治39年|満島馬車鉄道[材木町-(銀行前)-大手前]延伸→[浜

1906迄 (2431件)

崎～大手前]

- 1906年12月1日-04:00|ロシア/日本|省線樺太東線|明治39年|軍用鉄道[コルコフ(大泊)-トレンチャ=パ=チ(三ノ沢)-ソロウイヨカ(貝塚)-ツリヨカ(中里)-私トカ(大沢)-ウラジミロカ(豊原)]開通
- 1906年12月2日-09:00|日本|福井銀行|明治39年|<改組>(個人)大七銀行⇒(株)大七銀行[福井]
- 1906年12月2日 00:00|イギリス| ||イギリス海軍戦艦(6代)「ドレットノット」(21845トン)ホーツス造船所で竣工就役
- 1906年12月3日-10:00|ケアン/アメリカ| ||<就任>ケアン知事「Templin Morris Potts」(~19071003)
- 1906年12月3日-09:00|日本| ||明治39年|<改称>「貿易新報」⇒「横浜貿易新報」
- 1906年12月3日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第308号「税務署官制別表中改正ノ件」公布
- 1906年12月3日-09:00|日本|七十七銀行|明治39年|<設立>(株)白石銀行[東京]
- 1906年12月3日 05:00|キューバ/アメリカ| ||ルースベルト米大統領からの指示に従って、外法令(10月12日発令)が廃止される。これにより、190512月1日と190603月19日に選ばれた議員は、その「任期」の終了まで給与を受け取るることとなる
- 1906年12月4日-09:00|日本|神奈川県横浜市|明治39年|<焼失>横浜会館
- 1906年12月4日-08:00|中国| ||江西省萍郷・湖南省醴陵で革命党員の蔡紹南が洪江会と連合して蜂起する(萍醴革命)が軍に鎮圧される
- 1906年12月4日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Antonio Aguilar y Correa[自由党](~19070125)
- 1906年12月5日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第309号「外国在勤警部巡查任用及支給規則中改正削除ノ件」公布
- 1906年12月5日-09:00|日本|筑後軌道本線|明治39年|筑後馬車鉄道[久留米停車場(久留米駅)-縄手]延伸→[久留米停車場(久留米駅)~吉井町]開業
- 1906年12月5日-09:00|日本|広島県広島市|明治39年|厳島町民300人、町会の墓地移転決議に反対し、役場を襲撃/24人検挙される
- 1906年12月5日-09:00|日本|矢作水力岩村電気軌道|明治39年|岩村電気軌道[大井-(円通寺前正家)-東野口向島-(駒瀬)-小沢-(山王下)-飯場-箕之輪-岩村]開業
- 1906年12月5日 00:00|カナダ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王領カナリア諸島市民知事「Joaquin Santos y Ecay」(2期目~19091104)
- 1906年12月6日-09:00|日本| ||明治39年|帝国劇場会社設立
- 1906年12月6日-09:00|日本|東京メトロ|明治39年|福沢桃介ら、東京地下電気鉄道株式会社を創立
- 1906年12月6日-01:00|アントラ| ||<就任>アントラ公国共同大公代行「カルヘル司教ジョゼップ・ブジヤルギモン・イ・カマルトンス」(~19070711)
- 1906年12月7日-08:00|中国| ||湖南省で洪福齊天会が蜂起するが、軍に鎮圧される
- 1906年12月8日-09:00|日本| ||明治39年|<竣工>函館中華会館
- 1906年12月9日-09:00|日本| ||明治39年|<改称>(株)鴨川銀行[東京市]⇒(株)三光銀行
- 1906年12月9日-09:00|日本| ||明治39年|東京の品川沖で、強風のため100人が乗った渡船が沈没し、60人余りが死亡
- 1906年12月10日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第310号「海軍造兵生徒条例中改正ノ件」公布
- 1906年12月10日-01:00|フランス/イタリア/スペイン/スウェーデン/イギリス/アメリカ| ||第6回ノーベル賞授賞式/物理学賞:イギリスのJ.J.トムソン/化学賞:フランスのH.モッサン/医学・生理学賞:イタリアのC.ゴッリ、スペインのS.ラモン・イ・カハル/文学賞:イタリアのG.カルトゥッチ/平和賞:アメリカのT.ルースベルト
- 1906年12月10日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍セント・ルイス級巡洋艦C-21「(2代)ミルウォーキー」(9685t)ユニオン鉄工所
- 1906年12月11日-09:30|オーストラリア| ||オーストラリアで最初の常設交響楽団である、メルボルン・シンフォニー・オーケストラ結成、最初の演奏会
- 1906年12月11日-09:00|日本| ||明治39年|<死去>片岡千蔵/56才(四代目三樹大五郎門下で片岡亀蔵→片岡我久三郎→片岡蝶十郎→1877年現名襲名)
- 1906年12月11日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第313号「庁府県屠畜検査技師技手ノ休職ニ関スル件」公布
- 1906年12月12日-09:00|日本| ||明治39年|<設立>沢原銀行
- 1906年12月12日-09:00|日本|佐賀銀行|明治39年|<改称>(株)戸部銀行⇒(株)千歳銀行
- 1906年12月12日 00:00|イギリス| ||イギリス海軍装甲巡洋艦「ウォリア」(13550トン)ペンブルック工廠で竣工
- 1906年12月13日-09:00|日本| ||明治39年|日本初の天然色活動写真、東京座で興行
- 1906年12月13日-09:00|日本|ミキト|明治31年|<移転開店>御木本真珠店[銀座通り、→ミキト本店]
- 1906年12月13日-08:00|中国| ||萍醴革命が清軍に敗北
- 1906年12月13日-01:00|フランス/イタリア/イギリス| ||英仏伊三カ国、アビシニア条約を締結
- 1906年12月13日-01:00|ドイツ| ||ドイツ帝国議会で、南西アフリカ駐留軍維持のための追加予算が否決される/宰相ビュローは議会を解散
- 1906年12月14日-01:00|ドイツ| ||ドイツ海軍でドイツ海軍の潜水艦(Uボート)第一号艦U1が進水
- 1906年12月15日-09:00|日本| ||明治39年|<設立>沢原銀行[広島、19070125(株)呉貯蓄銀行の債権債務継承開業]
- 1906年12月15日-09:00|日本| ||明治39年|年賀郵便取扱制度が創設され、この日から受付が開始される
- 1906年12月15日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第314号「関税定率法ニ依ル肥料ノ原料輸入税払戻ニ関スル件」中改正ノ件」施行(13日公布)
- 1906年12月15日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|明治39年|<合併>神奈川県三浦郡[横須賀町・豊嶋町]が合併→横

1906迄 (2431件)

須賀町

- 1906年12月16日-09:00|日本| ||明治39年|田中弘之・三浦安・物集高見らの主唱により国語擁護会の創立大会、東京・赤坂の三会堂で開催
- 1906年12月17日-09:00|日本|フロリアホルテ`イ`ン`グ`ス|明治39年|<設立>(株)前橋貯蓄銀行[群馬]
- 1906年12月18日-09:00|日本|名鉄瀬戸線|明治39年|瀬戸自動鉄道[大曾根-瀬戸]→瀬戸電気鉄道/社名変更
- 1906年12月18日 00:00|カナリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナリヤ諸島市民知事「Manuel Benitez y Parodi」(~19070201)
- 1906年12月19日-09:00|日本| ||明治39年|尋常小学校の修業年限が4年から6年に
- 1906年12月20日-09:00|日本| ||明治39年|<出版>カルコト、訳:北田秋圃「小婦人」(彩雲閣)
- 1906年12月20日-09:00|日本| ||明治39年|<設立>(株)横須賀商業銀行[神奈川]
- 1906年12月20日 00:00|トゴ` | |||<就任>ゴトコリ統治者(オロヱツ)「ジ`ヨ`ホ`4世`ブ`ライマ」(~19240906)
- 1906年12月21日-09:00|日本|阪神本線|明治39年|阪神電気鉄道本線[梅田-出入橋]間延伸開業→[梅田-神戸]
- 1906年12月21日 00:00|イギリス| |||イギリスで労働争議法が成立
- 1906年12月23日 05:00|エアドル` | |||アルファロ派が内戦に勝利、第12番目の憲法公布
- 1906年12月24日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、発明家レ`ナ`ルト`・`フェ`ッ`セ`ン(40)が、世界初のラジオ放送に成功
- 1906年12月25日-09:00|日本| ||明治39年|日本海軍神風型駆逐艦「夕凧」(381t)舞鶴海軍工廠で竣工
- 1906年12月25日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第316号「種禽及種卵ノ払下代金納付ニ関スル件」、明治39年勅令第317号「種豚種付料ニ関スル件」各公布施行
- 1906年12月25日-09:00|日本|JR東日本奥羽本線|明治39年|官営奥羽本線[峠-関根]間に大沢/信号所を駅に格上げ開業
- 1906年12月25日-05:30|インド` | |||<死去>ベンガル太守「ハ`サ`ン`・`ア`リ`・`ミ`ル`ザ`ー`・`ハ`ン`」
- 1906年12月25日-05:30|インド` | |||<即位>ベンガル太守「ワ`シ`フ`・`ア`リ`・`ミ`ル`ザ`ー`・`ハ`ン`」(~19591023死去)
- 1906年12月25日-01:00|中央アフリカ/フランス| |||<就任>ウ`バ`ン`ギ`・`チャ`リ`副`総`督「エ`ミ`ル`・`ジ`ョ`セ`フ`・`ム`ル`ワ`ト」(~19090228)
- 1906年12月26日-09:00|日本| ||明治39年|<移転>(株)寄銀行[神奈川→東京]
- 1906年12月26日-09:00|日本| ||明治39年|『大日本史』編纂の大事業完成
- 1906年12月26日-09:00|日本|滋賀県高島市|明治39年|<町制施行>滋賀県高島郡今津村→今津町
- 1906年12月27日-09:00|日本|東邦電力|明治39年|<送電開始>名古屋電燈:水主町発電所第4期工事(500kW)
- 1906年12月27日-08:00|台湾| |||台北-台南間に直通電話が開始される
- 1906年12月27日-03:00|サジ`アラビ`ア` | |||<死去>ジ`ヤ`ハ`ル`・`シ`ヤ`マル`首`長「ム`タ`イ`ブ`2世`イ`ブ`ン`・`ア`ブ`ド`ウ`ル`・`ア`ジ`ズ`・`ア`ル`・`ラ`シ`ト`」
- 1906年12月28日-05:30|インド` | |||カルカッタの国民会議でス`ラ`ジ` (民族自治)・ス`ワ`デ`シ(国産品愛用)を決議
- 1906年12月29日-09:00|日本| ||明治39年|明治39年勅令第318号「台湾、樺太、韓国、清国等ニ在ル者ノ徴兵身体検査ニ関スル件」、明治39年勅令第320号「航路標識管理所官制中追加ノ件」、明治39年勅令第322号「兼任海員審判所高等官ノ官等ニ関スル件」各公布
- 1906年12月29日-09:00|日本|都電青山線|明治39年|東京鉄道青山線[青山四丁目(1950以前、移設)-(1911頃、青山五丁目)-青山六丁目(>1911頃、善光寺前>1922頃、明治神宮前)-(1911頃、青山六丁目)-青山七丁目(>1929頃、青山車庫前)]延伸→[三宅坂-青山七丁目]
- 1906年12月29日-01:00|チュニジア/フランス| |||<就任>フランスのチュニジア駐在司令官「ガ`ブ`リ`エル`・`フェ`ル`テ`・`イ`ナ`ト`・`ア`ラ`ベ`テ`ィ`ット」(~19181026)
- 1906年12月30日-09:00|日本|日本郵政|明治39年|郵便切手帳の売捌開始
- 1906年12月30日-05:30|インド` | |||東インドのタ`タ`で、ム`ス`リ`ムの政治団体の全インド`・`ム`ス`リ`ム連盟が結成される
- 1906年12月30日-03:30|イラン| |||イランで基本法(憲法)の一部が発布
- 1906年12月31日-09:30|オーストラリア/ニュージーランド` | |||<テニス>第2回オーストラレシアン選手権男子シングルス優勝:フランス・フィッシャー
- 1906年12月31日-09:30|オーストラリア/ニュージーランド` | |||<テニス>第2回オーストラレシアン選手権男子ダブルス優勝:アンソニー・ワイルディング & ロドニー・ヒース
- 1906年12月31日-09:00|日本| ||明治39年|東宮御所(現・迎賓館)ほぼ完成、造営局廃止